徳島県埋蔵文化財センター調査報告書　第 90 集

中山路遺跡

平成 28 年度緊急地方道路整備事業（道の駅）
関連埋蔵文化財発掘調査報告書

2018

徳　島　県　教　育　委　員　会
公益財団法人　徳島県埋蔵文化財センター

序文

この度、平成 28 年度緊急地方道路整備事業（道の駅）関連埋蔵文化財発掘調査の正式報告書がまとまりましたのでここに刊行いたします。

中山路遺跡は、徳島県北西部美馬市美馬町字願勝寺に所在します。近接して、飛鳥時代の建立である国指定史跡　郡里廃寺跡が所在しています。郡里廃寺跡周辺には、「郡里」のほか、「駅」「駅次」の地名があることから、郡衙や駅家などの古代の官衙に関連する遺跡の存在が想定されており、今回の調査においても、官衙関連遺構が検出される可能性を視野に入れて発掘調査を実施しました。

今回の発掘調査では、当該期の大型掘立柱建物等は検出されず、官衙の存在を積極的に肯定するものは確認できませんでした。しかし、包含層中から古墳時代の須恵器や古墳の副葬品と推定される青銅鈴等が出土し、寺院建立に伴い周辺地域の改変時に古墳が破壊された可能性も想定されます。改めて当遺跡の重要性を再確認することができました。

今後、本書が当該地域および本県の歴史を解明する上で貴重な資料として活用され、広く文化財保護の一助となることを期待したいと思います。

末尾ではありますが、この度の発掘調査の実施により、貴重な成果を上げることができましたのも、関係機関並びに地元の皆様の多大な御理解、御協力のおかげであり、心から感謝申し上げる次第です。また、発掘調査および報告書作成にあたっては、徳島県教育委員会をはじめ関係各位から貴重な御指導・御教示を賜りました。ここに厚く御礼申し上げますとともに、今後も当センターの事業について一層御支援下さるようお願い申し上げます。

平成 29 年 6 月

公益財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
理事長　　福　家　　清　司

例言

1　本書は平成 28 年度緊急地方道路整備事業（道の駅）に伴い、平成 28（2016）年度に実施した中山路遺跡（美馬市美馬町所在）の発掘調査報告書である。
2　発掘調査は徳島県からの委託により公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターが実施した。
3　発掘調査および報告書作成期間は次の通りである。
　・発掘調査期間　　平成 28 年 4 月 1 日～ 9 月 30 日
　・報告書作成期間　平成 29 年 4 月 1 日～ 6 月 30 日
4　遺構種別および番号は調査時のものを基本的に踏襲している。遺物番号は通し番号とし、土器・土製品には 1，2，3…、金属製品には M1，M2，M3…、石器は S1，S2，S3…、というように材質毎に通し番号を付与しており、本文・挿図・観察表・図版と一致する。
5　第 2 図は、国土地理院発行の 1：50,000 の地形図「脇町」を改変したものである。第 3 図は、国土地理院発行の 1：25,000 の地形図「貞光」を改変したものである。第 5 図は国土地理院発行の 1：25,000 の地形図「貞光」を転載・改変した徳島県教育委員会発行の『徳島県遺跡地図』を改変したものである。
6　本書の執筆はⅠ－ 1 を徳島県教育委員会が行い、それ以外の執筆と編集は栗林誠治が行った。遺構写真は調査担当者が、遺物写真は栗林誠治が担当した。
7　本書に収録した遺物および写真・図版などの記録の一切は、徳島県板野郡板野町犬伏字平山 86 番 2 に所在する徳島県立埋蔵文化財総合センターに保管している。

凡例

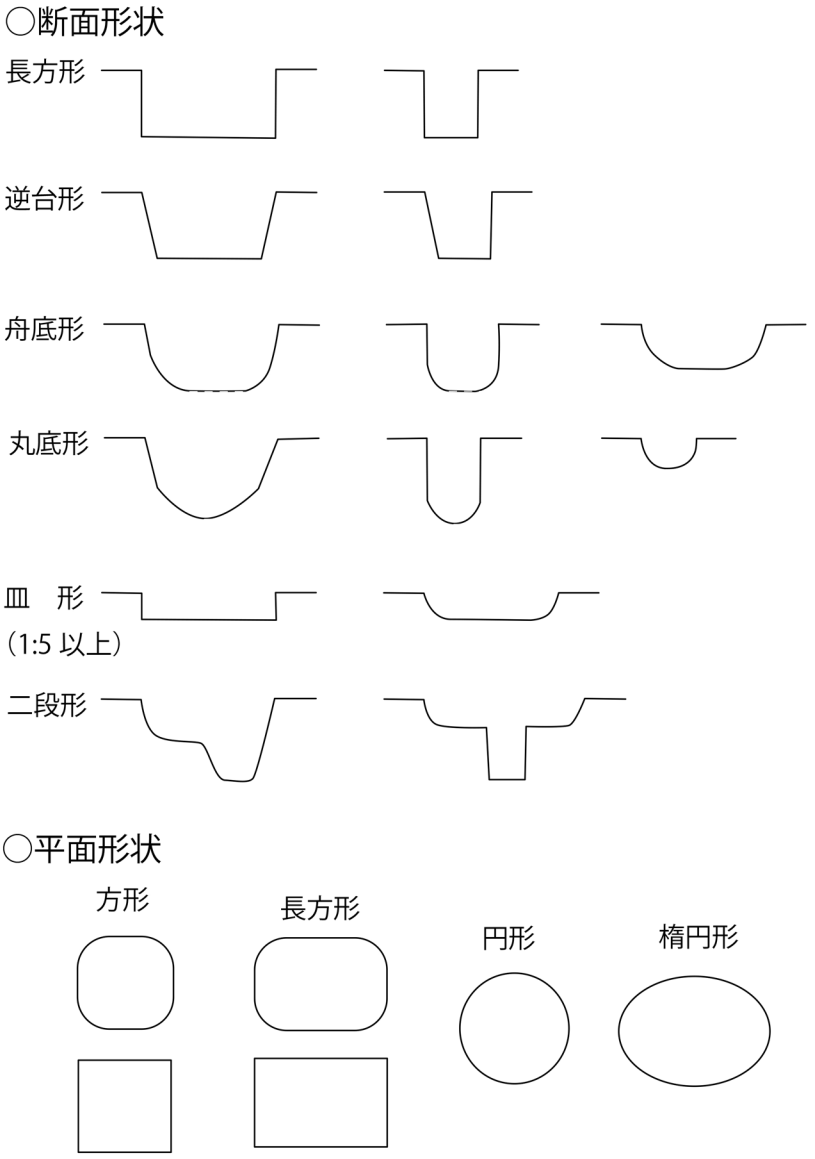
1　遺構の表示は（公財）徳島県埋蔵文化財センターが定める発掘調査基準による略記号を用いた。
　SD：溝　SK：土坑　SP：柱穴・小穴　SX：性格不明遺構
2　遺構番号は、4 桁で表示する。4 桁目の番号は遺構面数を表し、以下の 3 桁が遺構の通し番号を表す。
3　遺構掲載サイズは、グリッド単位の遺構平面は 1/50、遺物出土状況図は 1/25、遺構覆土層図は 1/25 で掲載し、各スケールに縮尺を表示している。
4　方位、座標は世界測地系に準拠するが、調査時に設定したグリッドにて表示する。標高は東京湾標準潮位（T.P）に準拠する。
5　本書で用いた土層及び土器の色調は、小山正忠・竹原秀雄『新版土色帳』2011 年度版、および細野尚久編『標準色彩図表 A』に準拠する。
6　遺物の掲載サイズは、原則下記のものに統一した。
　土器・土製品：1/3　剥片石器：1/1　礫石器・石製品：1/3　鉄器：2/3
7　図版・挿図及び表は基本的に通し番号であるが、自然化学分析に関しては独自の番号を付与する。
8　観察表中の弥生土器、土師器、須恵器、古代、中世土器に関しては以下の文献を参考にして記載している。
古代の土器研究会編 1992『古代の土器 1　都城の土器集成Ⅰ』真陽社

古代の土器研究会編 1993『古代の土器２　都城の土器集成Ⅱ』真陽社
古代の土器研究会編 1994『古代の土器３　都城の土器集成Ⅲ』真陽社
中世土器研究会編 1995『概説中世の土器・陶磁器』真陽社
（公財）徳島県埋蔵文化財センター 2002『四国縦貫道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 18　大柿遺跡 1』
（公財）徳島県埋蔵文化財センター 2014『南蔵本遺跡－徳島県立中央病院改築事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書－』
（公財）徳島県埋蔵文化財センター 2017『清成遺跡　徳島県立農林水産総合技術支援センター整備業に関わる埋蔵文化財発掘調査報告書』

９　土器観察表中の胎土（含有物）の略号は下記の通りである。

結：結晶片岩　石：石英　　長：長石　チ：チャート　雲：雲母　金雲：金雲母
角：角閃石　赤：赤色斑粒　砂：砂岩粒　泥：泥岩粒　黒：黒色粒　花：花崗岩

10　遺構の平断面形状の記載は下記の通りである。



目次

Ⅰ　調査及び整理の経緯……1
1　調査に至る経緯……3
2　発掘調査の方法……7
3　発掘調査の経過……8
4　整理作業の経過……8
5　発掘調査・整理作業の体制……8
6　調査日誌……9

Ⅱ　遺跡の地理的環境と歴史的環境……13
1　地理的環境……15
2　歴史的環境……16

Ⅲ　調査成果……21
1　基本層序……23
2　遺構と遺物……24

Ⅳ　まとめ……133

挿図目次

第 1 図　中山路遺跡位置図（1/2,500,000）……3
第 2 図　中山路遺跡位置図（1/50,000）……4
第 3 図　中山路遺跡位置図（1/25,000）……5
第 4 図　中山路遺跡調査区の位置（1/5,000）……6
第 5 図　グリッド配置（1/1,000）……7
第 6 図　中山路遺跡周辺の遺跡分布図（1/25,000）……17
第 7 図　中山路遺跡標準土層図……23
第 8 図　第 1 遺構面遺構配置図（1/500）……25
第 9 図　J4 付近遺構配置図（1/50）……28
第 10 図　SK1038,1039 遺構図（1/25）……29
第 11 図　SD1002 ～ 1004 遺構図（1/25）……29
第 12 図　K7,J7 付近遺構配置図（1/50）……30
第 13 図　SK1041 ～ 1054 遺構図（1/25）……31
第 14 図　SP1056 ～ 1063 遺構図（1/25）……32
第 15 図　SP1064 ～ 1082 遺構図（1/25）……33
第 16 図　SP1083 ～ 1093 遺構図（1/25）……34
第 17 図　SX1004 遺構図（1/25）……35
第 18 図　SP1062 遺構図（1/25）出土遺物図（1/3）……35
第 19 図　J8，K8 付近遺構配置図（1/50）……36
第 20 図　SK1040,1044,1049,1050 遺構図（1/25）……37
第 21 図　SK1051 ～ 1053 遺構図（1/25）……38
第 22 図　SP1024 ～ 1026 遺構図（1/25）……38
第 23 図　SP1027 ～ 1032 遺構図（1/25）……39
第 24 図　SP1033 ～ 1043 遺構図（1/25）……40
第 25 図　SP1044 ～ 1054 遺構図（1/25）……41
第 26 図　SP1055 ～ 1071 遺構図（1/25）……42
第 27 図　SP1074 ～ 1077 遺構図（1/25）……42
第 28 図　SX1003,1005,1006,1007 遺構図（1/25）……43
第 29 図　包含層出土遺物図（1/3）……44
第 30 図　SP1030 遺構図（1/25）……45
第 31 図　SP1025 遺構図（1/25）……45
第 32 図　SK1051 出土遺物図（1/3）……45
第 33 図　I11 付近遺構配置図（1/50）……46

第 34 図　SP1127 等遺構図（1/25）……47
第 35 図　包含層出土遺物図（1/3）……47
第 36 図　包含層出土遺物図（1/3）……48
第 37 図　包含層出土遺物図（1/3）……49
第 38 図　K11,L11 付近遺構配置図（1/50）……50
第 39 図　SK1070 遺構図（1/25）……51
第 40 図　SP1111 ～ 1125 遺構図（1/25）……51
第 41 図　包含層出土遺物図（1/3）……52
第 42 図　包含層出土遺物図（1/3）……53
第 43 図　包含層出土遺物図（1/3）……54
第 44 図　包含層出土遺物図（1/3）……55
第 45 図　包含層出土遺物図（1/3）……56
第 46 図　包含層出土遺物図（1/3）……57
第 47 図　M11,N11 付近遺構配置図（1/50）……58
第 48 図　SK1056 等遺構図（1/25）……59
第 49 図　SP1109,1110 遺構図（1/25）……59
第 50 図　SX1009,1010 遺構図（1/25）……60
第 51 図　SK1068 遺構図（1/25）・出土遺物図（1/3）……60
第 52 図　SX1010,SK1063 遺構図（1/25）……61
第 53 図　SK1063 出土遺物図（1/3）……61
第 54 図　SX1010 出土遺物図（1/3）……61
第 55 図　包含層出土遺物図（1/3）……62
第 56 図　N11,O11 付近遺構配置図（1/50）……63
第 57 図　SD1005 遺構図（1/25）……64
第 58 図　SK1055 ～ 1065 遺構図（1/25）……64
第 59 図　SP1094 ～ 1100 遺構図（1/25）……65
第 60 図　SX1008 遺構図（1/25）……66
第 61 図　SX1009 遺構図（1/25）……67
第 62 図　SX1009 出土遺物図（1/3）……67
第 63 図　SX1009 出土遺物図（1/3）……68
第 64 図　SX1009，包含層出土遺物図（1/3）……69
第 65 図　O12 付近遺構配置図（1/50）……70
第 66 図　SP1101 ～ 1108 遺構図（1/25）……71
第 67 図　SK1064,1065 遺構図（1/25）出土遺物図（1/3）……72
第 68 図　SK1059 遺構図（1/25）出土遺物図（1/3）……72
第 69 図　付近 SK,SP 遺構図（1/25）……72
第 70 図　包含層出土遺物図（1/3）……73
第 71 図　包含層出土遺物図（1/3）……74
第 72 図　O14 付近遺構配置図（1/50）……75
第 73 図　SK1066 遺構図（1/25）、出土遺物図（1/3）……76
第 74 図　SK1062,1071 遺構図（1/25）……77
第 75 図　包含層出土遺物図（1/3）……77
第 76 図　包含層出土遺物図（1/1）……78
第 77 図　O16，P16 付近遺構配置図（1/50）……79
第 78 図　SK1033 遺構図（1/25）・出土遺物図（1/3）……80
第 79 図　SK1035 遺構図（1/25）出土遺物図（1/3）……80
第 80 図　SK1034，1036 遺構図（1/25）……80
第 81 図　SP1018 遺構図（1/25）……81
第 82 図　包含層出土遺物図（1/3）……81
第 83 図　N17 付近遺構配置図（1/50）……82
第 84 図　SD1001 遺構図（1/25）……83
第 85 図　SK1022 ～ 1037 遺構図・SK1023 出土遺物図（1/3）……83
第 86 図　SP1020 ～ 1022 遺構図（1/25）……84
第 87 図　包含層出土遺物図（1/3）……85
第 88 図　包含層出土遺物図（1/1）……86
第 89 図　M15 付近遺構配置図（1/50）……87
第 90 図　SK1001 遺構図（1/25）出土遺物図（1/3）……88
第 91 図　SK1002 遺構図（1/25）……88
第 92 図　SK1007 遺構図（1/25）出土遺物図（1/3）……89
第 93 図　SK1008 ～ 1016 遺構図（1/25）……89
第 94 図　SK1018 ～ 1021，SP1004 遺構図（1/25）……90
第 95 図　SP1005 ～ 1008 遺構図（1/25）……90
第 96 図　SK1017，1020 遺構図（1/25）出土遺物図（1/3）……91
第 97 図　SK1012，1013 遺構図（1/25）……92
第 98 図　SK1012 出土遺物図（1/3）……93
第 99 図　SK1012 出土遺物図（1/3）……94
第 100 図　SK1012 出土遺物図（1/3）（1/1）……95
第 101 図　包含層出土遺物図（1/3）……96
第 102 図　包含層出土遺物図（1/3）……97
第 103 図　L16,M16 遺構配置図（1/50）……98
第 104 図　SK1003 ～ 1014 遺構図（1/25）……99
第 105 図　SK1029，1028 遺構図（1/25）……100
第 106 図　SP1003，1007 遺構図（1/25）……100
第 107 図　SK1006 遺構図（1/25）出土遺物図・包含層出土遺物図（1/3）……101
第 108 図　SK1006 出土遺物図（2/3）……102
第 109 図　L17,M17 遺構配置図（1/50）……103

第 110 図　SK1031 遺構図（1/25）……104
第 111 図　SK1030 ～ 1032, SP1009 ～ 1013 遺構図（1/25）……105
第 112 図　包含層出土遺物図（1/3）（1/1）……106
第 113 図　K17 遺構配置図（1/50）……107
第 114 図　旧 SP1014 出土遺物図（2/3）……108
第 115 図　SK1026, 1027 遺構図（1/25）……110
第 116 図　SP1001, 1002 遺構図（1/25）……110
第 117 図　SX1002 出土遺物図（1/3）……111
第 118 図　SX1002 出土遺物図（1/3）……112
第 119 図　SX1002 出土遺物図（1/3）……113
第 120 図　包含層出土遺物図（1/3）……114
第 121 図　包含層出土遺物図（1/3）……115
第 122 図　包含層出土遺物図（1/1）……116
第 123 図　I15,J15 遺構配置図（1/50）……117
第 124 図　SX1001 遺構図（1/25）……118
第 125 図　I15 包含層出土遺物図（1/3）……118
第 126 図　I15 包含層出土遺物図（1/3）……119
第 127 図　包含層出土遺物図（1/3）……120
第 128 図　包含層出土遺物図（1/3）……121
第 129 図　包含層出土遺物図（1/3）……122
第 130 図　包含層出土遺物図（1/3）……123
第 131 図　包含層出土遺物図（1/3）……124
第 132 図　包含層出土遺物図（1/3）……125
第 133 図　包含層出土遺物図（2/3）……126
第 134 図　包含層出土遺物図（2/3）……127
第 135 図　包含層出土遺物図（2/3）……128
第 136 図　包含層出土遺物図（2/3）……129

表目次

第 1 表　SK1038,1039 遺構計測表……29
第 2 表　SD1002 ～ 1004 遺構計測表……29
第 3 表　SK1041 ～ 1043,1045,1046 遺構計測表……31
第 4 表　SP1047 ～ 1054 遺構計測表……32
第 5 表　SP1056 ～ 1063 遺構計測表……32
第 6 表　SP1064 ～ 1082 遺構計測表……33
第 7 表　SX1083 ～ 1093 遺構計測表……34
第 8 表　SX1004 遺構計測表……35
第 9 表　SK1040,1044,1049,1050 遺構計測表……37
第 10 表　SK1051 ～ 1053 遺構計測表……38
第 11 表　SP1024 ～ 1032 遺構計測表……39
第 12 表　SP1033 ～ 1043 遺構計測表……40
第 13 表　SP1044 ～ 1052 遺構計測表……41
第 14 表　SP1053 ～ 1071 遺構計測表……42
第 15 表　SP1074 ～ 1077 遺構計測表……43
第 16 表　SX1003,1005,1006,1007 遺構計測表……44
第 17 表　SP1126,1127,1131,1132 等遺構計測表……47
第 18 表　SK1070 遺構計測表……51
第 19 表　SP1111 ～ 1125 遺構計測表……52
第 20 表　SK1056,1063,1067 ～ 1069 遺構計測表……59
第 21 表　SP1109,1110,SX1009,1010 遺構計測表……60
第 22 表　SD1005 遺構計測表……64
第 23 表　SK1055 ～ 1065 遺構計測表……65
第 24 表　SP1094 ～ 1100 遺構計測表……66
第 25 表　SX1008,1009 遺構計測表……66
第 26 表　SP1101 ～ 1108 遺構計測表……71
第 27 表　SK1062,1066,1071 遺構計測表……77
第 28 表　SK1033 ～ 1036 遺構計測表……80
第 29 表　SP1018 遺構計測表……81
第 30 表　SD1001 遺構計測表……83
第 31 表　SK1022 ～ 1025,1037 遺構計測表……84
第 32 表　SP1020 ～ 1022 遺構計測表……84
第 33 表　SK1001,1002,1007 ～ 1010 遺構計測表……88
第 34 表　SK1011 ～ 1013,1015 ～ 1017 遺構計測表……89
第 35 表　SK1018 ～ 1021 遺構計測表……90
第 36 表　SP1004 ～ 1006,1008 遺構計測表……90
第 37 表　SK1003 ～ 1006,1014 遺構計測表……99
第 38 表　SK1028,1029 遺構計測表……100
第 39 表　SP1003,1007 遺構計測表……100
第 40 表　SK1030 ～ 1032 遺構計測表……104
第 41 表　SP1009 ～ 1013 遺構計測表……105
第 42 表　SK1026,1027 遺構計測表……110
第 43 表　SP1001,1002 遺構計測表……110
第 44 表　SX1001 遺構計測表……118
第 45 表　土器・瓦観察表……136
第 46 表　石器観察表……156
第 47 表　土製品観察表……156
第 48 表　金属品観察表……156

図版目次

写真 1　調査前風景……9
写真 2　機械掘削状況……9
写真 3　遺構検出作業……9
写真 4　遺構内掘削作業……9
写真 5　包含層掘削作業……10
写真 6　遺構計測作業……10
写真 7　埋め戻し状況……10
写真 8　埋め戻し状況……10
写真 9　現地説明会風景……11
写真 10　現地説明会風景……11
写真 11　現地説明会風景……11
写真 12　調査区より国史跡郡里廃寺跡を望む……15
写真 13　調査区基本土層堆積状況……24
写真 14　調査区基本土層堆積状況……24
写真 15　完掘状況と国史跡郡里廃寺跡……26
写真 16　第 1 遺構面完掘状況……26
写真 17　第 1 遺構面完掘状況……27
写真 18　第 1 遺構面完掘状況……27
写真 19　SK1051 軒丸瓦出土状況……44
写真 20　SX1010 遺物出土状況……61
写真 21　SX1009 全景及び遺物出土状況……66
写真 22　SX1009 遺物出土状況……66
写真 23　SP1104,1105 遺物出土状況……70
写真 24　SK1059 完掘状況……72
写真 25　SK1062 完掘状況……77
写真 26　SP1020 土層堆積状況……85
写真 27　N16 太型蛤刃石斧（S2）出土状況……86
写真 28　SK1001 完掘状況……88
写真 29　SK1017 完掘状況……91
写真 30　SK1020 完掘状況……91
写真 31　SK1006 遺物出土状況……102
写真 32　青銅製鈴出土状況……109
写真 33　青銅製鈴出土状況……109
写真 34　青銅製鈴出土状況……109
写真 35　青銅製鈴出土状況……109
写真 36　SP1001,1002 完掘状況……110
写真 37　SP1002 完掘状況……110
写真 38　I5 遺物出土状況……116
写真 39　I15 遺物出土状況……116

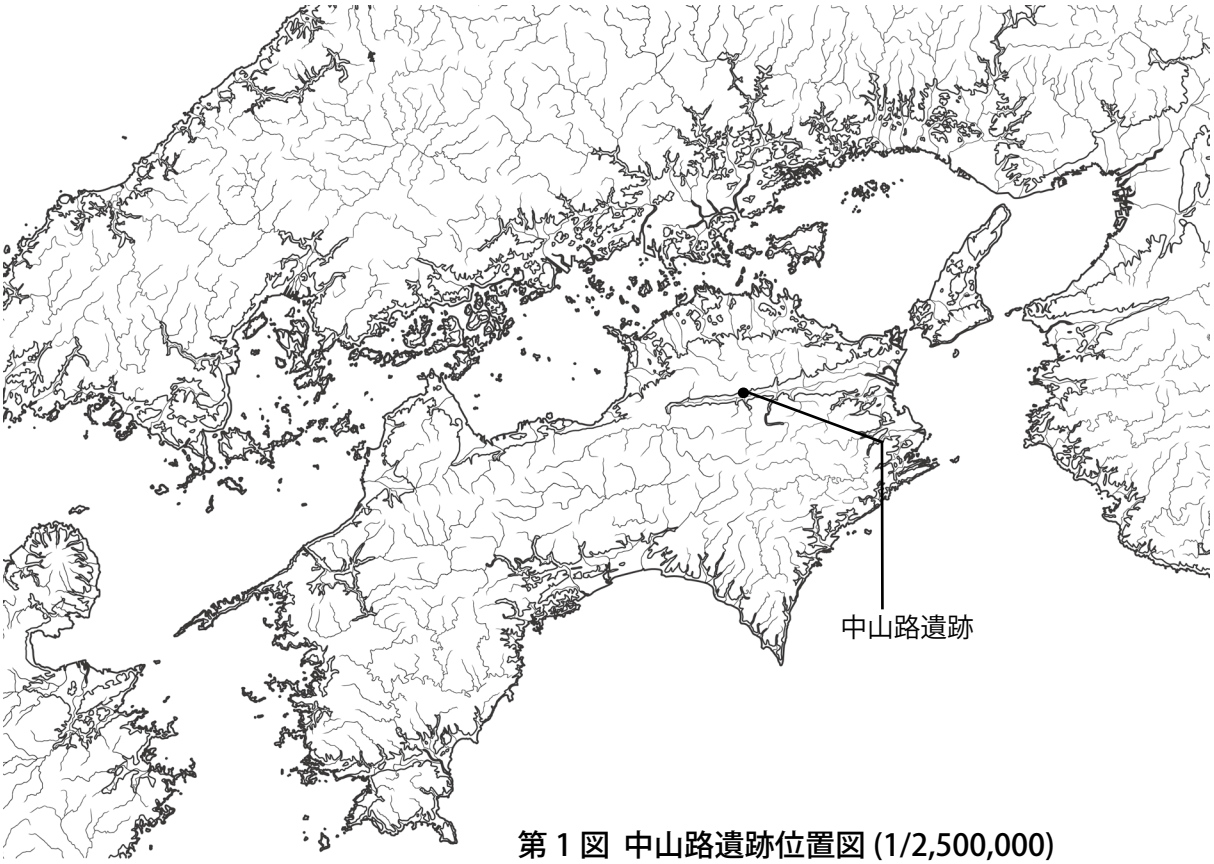
Ⅰ　調査及び整理の経緯

1 調査に至る経緯

道の駅は、一般道路をドライブする人々が安全で快適に道路を利用するための交通環境の提供、各種情報提供や地域の賑わい創出等を目的とした施設である。自治体と道路管理者が設置者となり、国土交通省道路局への申請により、道の駅としての登録を受ける。平成 5 年に全国 103 箇所の登録を第 1 号として、平成 29 年 4 月現在では 1,117 箇所の道の駅が設置され、地域振興の一端を担っている。

美馬市は、段の塚穴や郡里廃寺跡、重要伝統的建造物群保存地区美馬市脇町南町などの歴史遺産が数多く残され、吉野川や剣山などの豊かな自然に彩られた地域である。毎年、多くの観光客が訪れる一方で、美馬市のもつ歴史、文化、自然等の魅力を発信し、来訪者を迎える拠点施設の整備も課題とされてきたところである。こうした背景のもと、平成 24 年に美馬市から徳島県に対し、県道鳴門池田線沿いに本県 16 箇所目となる道の駅整備の要望がなされた。

平成 26 年秋、徳島県西部総合県民局（美馬庁舎）道路担当（以下、西部総合県民局という。）から、徳島県教育委員会教育文化政策課（現、教育文化課。以下、教育文化課という。）に対し、美馬市美馬町字願勝寺における、道の駅「美馬（仮称）」の整備事業に係る埋蔵文化財の取り扱いについて協議があった。事業地は、周知の埋蔵文化財包蔵地（徳島県遺跡地図 207-102）に含まれる。また、国史跡郡里廃寺跡指定範囲の北東部直近にあたり、重要遺構が存在する可能性も考えられた。こうした点に鑑み、試掘調査により埋蔵文化財が確認された場合は，改めて協議を持ち、盛土による保護層の確保など、地下遺構に極力影響を与えない設計を採ること、記録保存を目的とした発掘調査を実施した場合も、郡里廃寺跡や美馬郡衙跡に関わるような重要遺構が検出された際には、現地保存について検討をすること



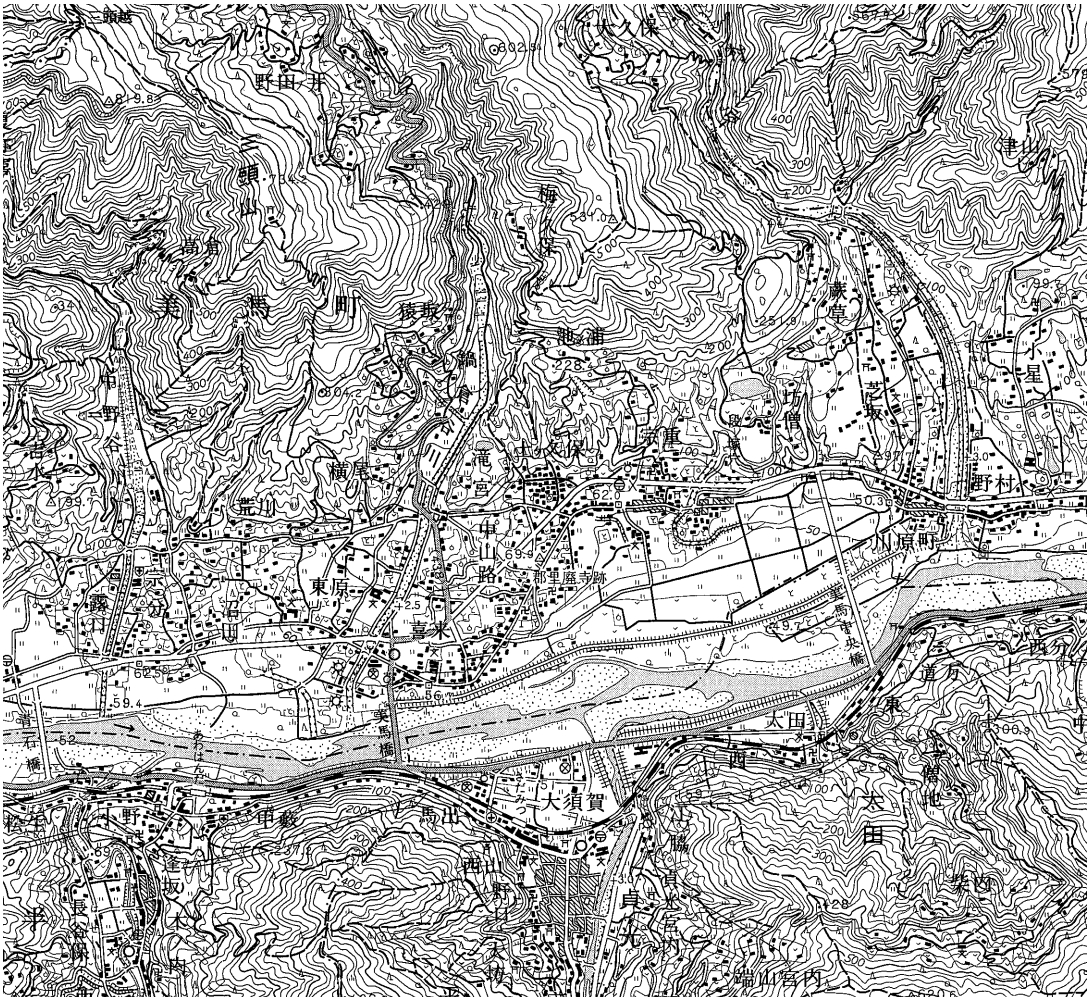
第 1 図 中山路遺跡位置図 (1/2,500,000)

等で合意している。

試掘調査は西部総合県民局からの依頼（h27.2.2 西総第 51784 号）に対する教育文化課の承諾（h27.2.13 教文課第 837 号）に基づき、用地買収の進捗に合わせて、平成 27 年 3 月 11 日、8 月 4 日、5 日の 3 日間実施した。事業地 9,500㎡を対象として、30 箇所（120㎡）の試掘トレンチを設定して調査にあたった結果、事業地の北東側を中心として、弥生時代・平安時代の遺跡が存在することが確認された。

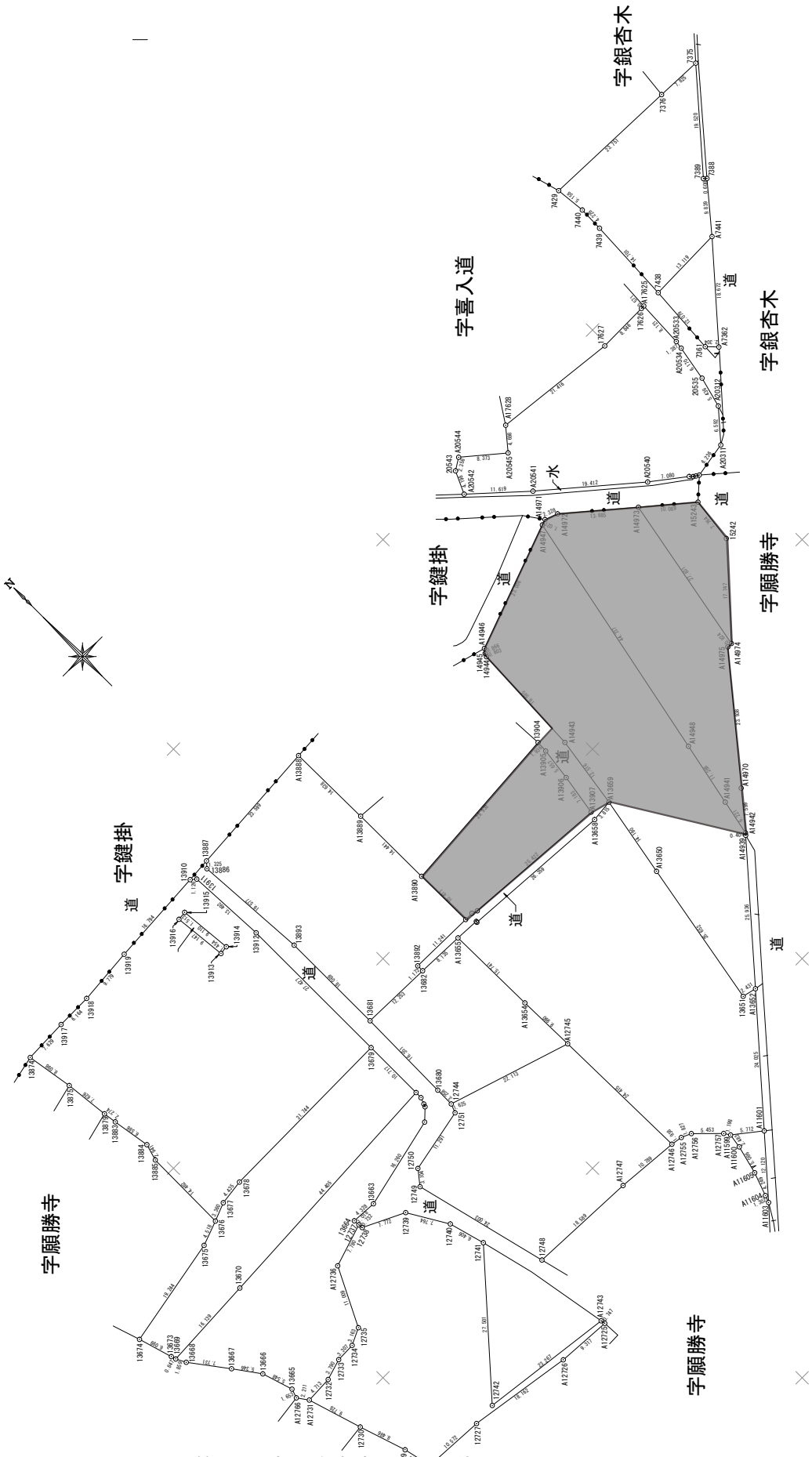
試掘調査の結果を受けて、西部総合県民局により、利用者の利便性・安全性と遺跡の保護を両立する敷地造成案が複数検討された。9 月 18 日、10 月 14 日の協議を経て造成案が固まり、これに基づき遺跡の現地保存が図られる範囲、発掘調査による記録保存措置を講じる範囲が検討され、11 月には県施工分 2,250㎡の発掘調査範囲を確定した。また、美馬市教育委員会が発掘調査を実施する美馬市管理部分 550㎡、美馬市施工部分 300㎡についても確定した。併せて遺跡の名称について、教育文化課と美馬市教育委員会との協議により当該地の字名を冠して「中山路遺跡」とすることも決まった。

発掘調査は文化財保護法第 94 条通知（h28.1.15 西総第 51624 号）と回答（h28.2.4 教文第 961 号）に基づき実施されたものである。徳島県から公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターへの委託により、平成 28 年 4 月から 9 月の 6 ヶ月間で、2,250㎡について実施した。調査の結果、古墳時代後期から飛鳥、奈良時代を主体とする土坑や柱穴等 217 基、須恵器、土師器、青銅鈴等 6,800 点の遺物が出土した。



第 2 図　中山路遺跡位置図 (1/50,000)

第3図 中山路遺跡位置図(1/25,000)



第 4 図 中山路遺跡調査区の位置 (1/5,000)

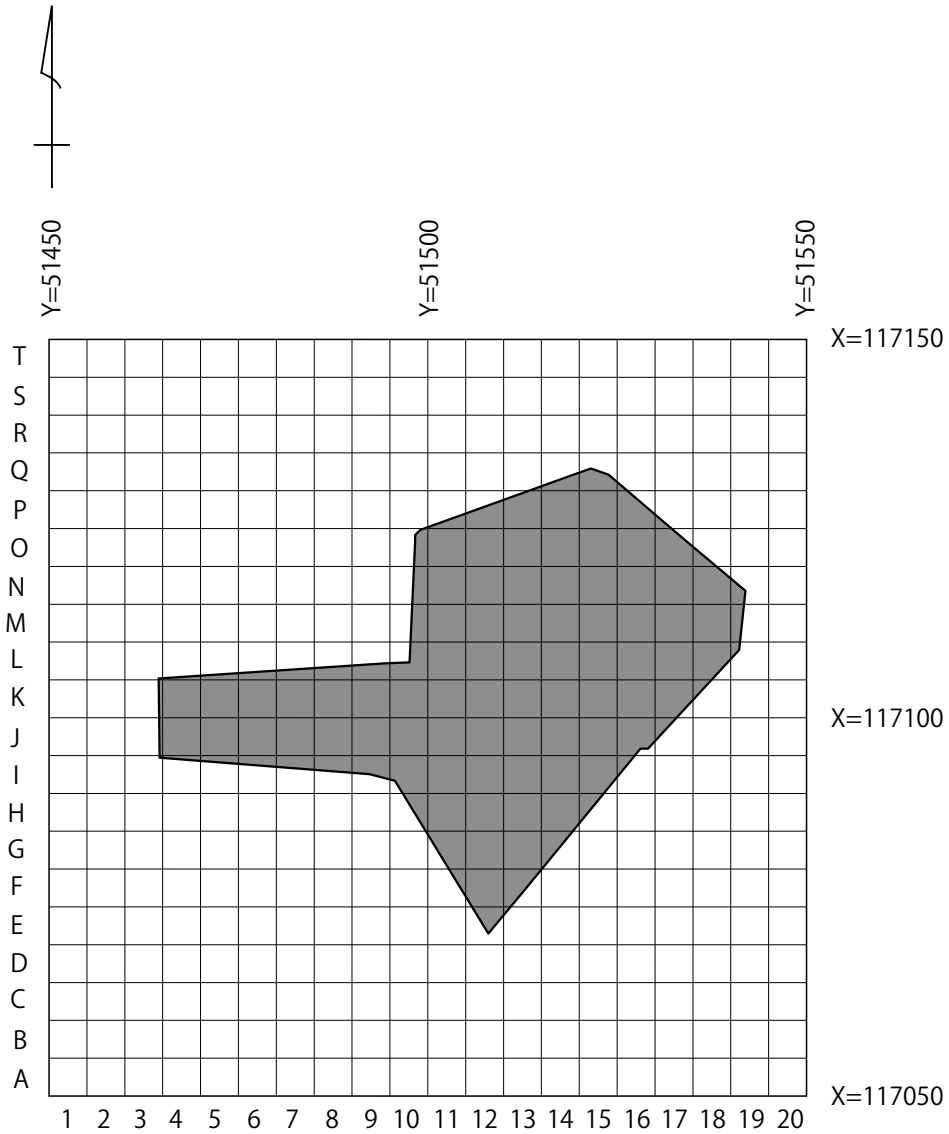
特に銅碗、軒丸瓦、円面硯など郡里廃寺跡に関わるとみられる遺物も出土したことから９月 10 日に現地説明会を開催し、広く調査成果を公開した。

報告書作成を含む資料整理作業についても、公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターに委託し、平成 29 年４月から６月（延べ４か月）の作業を実施した。

２　発掘調査の方法

当該調査範囲は、試掘調査の結果を踏まえ記録保存措置を講ずる範囲の内、県施行分を調査区として設定した。

調査によって検出した遺構・遺物などの測量・図化に関しては世界測地系を基準に設けた。調査区南西隅にあたる X=117,050、Y=51,450 を 100 × 100 mの中グリッドαⅠの原点として設定した。そし



第５図　グリッド配置 (1/1,000)

てαⅠグリッドの内側を、5×5mに分割した小グリッドを設定した。グリッド基点の南西隅をA-1とし、北方向にA・B・C…T、東方向に1・2・3…20として、英アルファベット文字A～Tとアラビア数字1～20の組み合わせによって5×5mの小グリッドをA-1・B-2のように特定できるよう表記した。

なお、高さについては東京湾標準潮位（T.P.）を用いた。

3　発掘調査の経過

当該発掘調査は、平成28年4月1日から9月30日まで1班体制で延べ6ヶ月で行った。

試掘調査の結果、表土下約1mで検出した土層から弥生～古代にかけての遺構・遺物の拡がりが確認され、集落の広がりが予想されたため、調査の実施にあたって、概ね弥生時代・平安時代の2つの時期にまたがる遺跡として調査計画をたてた。また、調査対象地が、国史跡郡里廃寺跡に近接した標高約75m前後の扇状地上の緩斜面に展開することから、官衙関連遺構が検出される可能性を視野に入れて発掘調査を実施した。

調査の進展に伴い、当初、概ね弥生時代および平安時代頃の2時期と考えていた遺構面より、古墳時代後期～飛鳥時代～奈良時代前葉頃の遺構・遺物などが確認された。包含層中からは弥生土器・石器や縄文土器が確認された。後世の土地改変による撹乱・削平が、遺構面まで及んでいる状況で、遺物包含層の遺存状況も良好とも言いがたい状況であった。しかし、調査区北・西側で遺構がやや密集して検出された。

なお、縄文土器が出土したことから、遺構構築面より下層に縄文包含層が存在することを想定して、確認トレンチを設定し、包含層・遺構の検出にあたったが、遺構・遺物は確認できず、古墳時代後期～奈良時代の遺構面と同一遺構面に縄文時代の遺構が展開したと想定される。

4　整理作業の経過

整理作業は平成29年4月1日より6月30日までに、遺物総点数6,800点/30箱分を実施した。

作業内容は、出土遺物6,800点の洗浄・注記・接合と、抽出した318点の復元・実測・トレース・遺物観察表の作成・写真撮影である。遺構については、平・断面図の作成とトレース・遺物出土状況図トレース・遺構写真の抽出である。併せて、原稿執筆・レイアウト編集を行った。

5　発掘調査・整理作業の体制

平成28（2016）年度

・事務局

所長　福家清司　　事務局長　丸居昭彦

（総務課）

課長　藤田吉則　　主任主事　上松健一郎

（事業課）

課長　藤川智之

・発掘調査担当

専門研究員　原　芳伸

研究補助員　曽根大地

平成 29（2017）年度
・事務局
所長　福家清司　　事務局長　丸居昭彦
（総務課）
課長　藤田吉則　　主任主事　上松健一郎
（事業課）
課長　藤川智之
・報告書作成担当
専門研究員　栗林誠治　　近藤　玲

6　調査日誌

平成 28 年
4 月 1 日（金）雨　辞令交付
4 月 4 日（月）雨 / 曇　調査前準備
4 月 5 日（火）曇 / 晴　現況確認
4 月 6 日（水）晴　調査前準備
4 月 8 日（金）　リース事務所・機材現地説明会
4 月 11 日（月）曇 / 晴　調査前準備
4 月 14 日（木）曇 / 晴　現地確認、調査前準備
4 月 15 日（金）晴　リース事務所・機材入札
4 月 19 日（火）晴　現地協議
4 月 22 日（金）晴 / 曇　リース仮設工現地打ち合わせ、周辺挨拶、調査準備
4 月 25 日（月）晴　仮設工開始（安全柵・プレハブ等）、現場作業員面接・調査準備
4 月 26 日（火）晴　仮設工（安全柵・プレハブ等）、調査準備・基準杭打設
5 月 2 日（月）晴　機械掘削開始
5 月 6 日（金）曇 / 雨　機械掘削、作業員呼集･安全教育、調査物品搬入
5 月 11 日（水）曇　機械掘削、人力側溝掘削、グリッド打設
5 月 13 日（金）晴 / 曇　機械掘削、人力包含層掘削、グリッド打設
5 月 17 日（火）晴　機械掘削、人力包含層掘削、遺構面精査、図面準備
5 月 23 日（月）　地区晴　機械掘削、人力包含層掘削、遺構面精査、グリッド打設・1/20 平面図

写真 1　調査前風景

写真 2　機械掘削状況

写真 3　遺構検出作業

写真 4　遺構内掘削作業

5 月 24 日（火）晴 / 曇　機械掘削、人力包含層掘削、遺構面精査、遺構検出状況写真撮影、グリッド打設、1/20 平面図

5 月 25 日（水）雨 / 曇　遺構掘削、グリッド打設・1/20 平・断面図

5 月 27 日（金）曇 / 晴　遺構掘削、グリッド打設・1/20 平・断面図

5 月 30 日（月）曇 / 晴　排水作業、遺構掘削、1/20 平・断面図

6 月 1 日（水）晴 / 曇　遺構完掘状況写真撮影、1/20 平・断面図

6 月 2 日（木）晴　下層状況確認トレンチ、1/20 遺構平・断面図、遺物・図面整理

6 月 7 日（火）雨　現場保全、遺物・図面整理

6 月 9 日（木）曇 / 晴　人力包含層掘削・遺構面精査、遺構出土状況写真撮影・遺構掘削、1/20 平・断面図、遺物・図面整理

6 月 14 日（火）晴 / 曇　遺構内遺物出土状況写真撮影、1/20 平・断面図、遺物・図面整理

6 月 22 日（水）曇 / 雨　機械掘削、人力包含層掘削、遺物・図面整理

6 月 27 日（月）晴 / 曇　機械掘削・人力包含層掘削・遺構面精査、遺構出土状況写真撮影・遺構掘削、1/20 平・断面図

6 月 28 日（火）雨　現場保全、排水作業、遺構内遺物出土状況写真撮影、遺物・図面整理

6 月 29 日（水）曇 / 雨　下層状況確認トレンチ、1/20 平・断面図、遺物・図面整理

6 月 30 日（木）曇 / 雨　機械掘削、遺物・図面整理

7 月 1 日（金）晴 / 曇　機械掘削・人力包含層掘削・遺構面精査、遺物・図面整理

7 月 6 日（水）晴 / 曇　機械掘削・人力包含層掘削・遺構面精査、遺構検出状況写真撮影、1/20 遺構平・断面図、遺物・図面整理

7 月 7 日（木）晴 / 曇　機械掘削、遺構掘削、1/20 遺構平・断面図、遺物・図面整理

7 月 12 日（火）晴 / 曇　機械掘削、遺物出土状況写真撮影、1/20 平・断面図、遺物・図面整理

7 月 14 日（木）曇 / 晴　機械掘削・人力包含層掘削・遺構面精査、1/20 遺構平・断面図、遺物・図面整理

7 月 19 日（火）晴　機械掘削・人力包含層掘削・遺構面精査、1/20 遺構平・断面図、グリッド打設、遺物・図面整理

7 月 20 日（水）晴 / 曇　機械掘削・人力包含層掘削・遺

写真 5　包含層掘削作業

写真 6　遺構計測作業

写真 7　埋め戻し状況

写真 8　埋め戻し状況

構面精査、遺構検出状況写真撮影、1/20 遺構平・断面図、グリッド打設

7 月 21 日（木）晴 / 曇　遺構掘削、1/20 遺構平・断面図

7 月 26 日（火）曇 / 晴　遺構掘削、1/20 遺構平・断面図、遺物・図面整理

8 月 2 日(火)晴 / 曇　遺構掘削、1/20 遺構平・断面図、遺物・図面整理

8 月 5 日(金)晴 / 曇　遺構掘削、1/20 遺構平・断面図、遺物・図面整理

8 月 8 日（月）晴　遺構完掘状況写真撮影準備、1/20 平・断面図、遺物・図面整理

8 月 9 日（火）晴　遺構出土状況写真撮影、1/20 平・断面図、遺物・図面整理

8 月 17 日（水）晴 / 曇　下層状況確認トレンチ、遺物・図面整理

8 月 22 日（月）晴 / 曇　現場保全、遺物・図面整理

9 月 1 日（木）晴 / 曇　現場保全、遺物・図面整理

9 月 10 日（土）晴 / 曇　現地説明会（来場者 150 名）

9 月 12 日（月）曇　現場撤収作業、遺物・図面整理

9 月 21 日（水）曇　調査物品搬出、現場撤収作業、遺物・図面整理

9 月 26 日（月）曇　とりまとめ

9 月 30 日（金）曇　とりまとめ

写真 9　現地説明会風景

写真 10　現地説明会風景

写真 11　現地説明会風景

Ⅱ　遺跡の地理的環境と歴史的環境

1　地理的環境

四国東部に位置する徳島県は、全面積の８割余りを山地が占め、平地は僅か２割弱しかない。県の北方をほぼ西から東に流れる吉野川は、その源を高知県土佐郡にある瓶ヶ森に発し、紀伊水道に注いでいる。吉野川北岸の讃岐山脈南麓に、西南日本を二分する中央構造線が東西に横断する。その北側は西南日本内帯、南側は西南日本外帯と呼称される。四国島内の西南日本内帯には和泉層群と領家帯が存在する。領家帯は変成岩や花崗岩で形成される。領家帯南縁に帯状に堆積するのが和泉層群である。松山平野南西から和泉山脈まで南北幅最大 15㎞、東西約 300㎞にわたり、中央構造線の横ずれ断層運動による沈降で形成された海盆で滞積した砂岩・礫岩・泥岩で構成される。和泉層群に位置する讃岐山脈は、中生代白亜紀の砂岩と泥岩質の頁岩が重なる層から成り、浸食が進んだなだらかな地形となる。一般に高度は低く、山麓には扇状地が発達する。

四国島内における西南日本外帯は、北側から三波川帯・御荷鉾帯・秩父帯・四万十帯が形成されている。三波川帯はフィリピン海プレート沈み込みに伴う低温高圧型の変成により緑色結晶片岩、緑色片岩と泥質片岩が重なる層である。三波川帯と御荷鉾帯の境界には御荷鉾構造線が、秩父帯と四万十帯の境界には仏像構造線が東西方向に延びる。

中山路遺跡が所在する美馬市美馬町は、讃岐山脈最高峰の竜王山（1,060m）の南側に位置し、阿讃山脈南部の山地を主体とする地域である。美馬町は徳島県の北西部に位置し、東部で美馬市脇町、西部

写真 12　調査区より国史跡郡里廃寺跡を望む

で三好郡三野町、南部で美馬郡つるぎ町（旧貞光町）と半田町、北部で香川県香川郡塩江町と同県綾歌郡 琴南町と接する。山地は白亜系和泉層群で構成され、多くの地すべり地形が分布し、ケスタ地形が各所に認められる。中央構造線以南は鮮新 ～更新統の土柱層や段丘地形が分布する。山麓部は、定高性のある丘陵が東西に連続し、更に南側には数段の段丘地形が分布する。河岸段丘は、高位より高位段丘・中位段丘１・中位段丘２・低位段丘１・低位段丘２に区分され、各段丘の構成層の形成時期について、低位段丘１は姶良 Tn 火山灰が挟在していることから最終氷期最盛期前後、中位段丘１は最終間氷期と推定されている。

遺跡は鍋倉谷川が形成した沖積扇状地上の標高約 75m 付近に立地する。標高約 100m の突出・滝宮付近を扇頂部として、南側に半径 1.5㎞の半円形に近い典型的扇状地を形成する。鍋倉谷川の伏流水化により扇央部の天神北・鍵掛・喜入道では地下水位が－ 10m で著しい乏水性を示す。扇端部の大泉・喜来付近は湧水点となるが、宗重～願勝寺にかけては吉野川本流旧河道二より比高約 4m の浸食崖となる。扇端部南は吉野川が東流し、吉野川に沿って、東西に細長い沖積平野が形成され、髙野・中須には比高 2m の緩やかな微高地地形が東西方向に延びる。

２　歴史的環境

旧石器時代　野村谷川と鍋倉谷川に挟まれた緩やかな隆起扇状地上に位置する坊僧遺跡（東段地区）ではサヌカイト製国府型ナイフ形石器とブロックが確認されている。

縄文時代　嫁坂谷川扇状地扇頂部の標高約 100m 付近に立地する荒川遺跡からは中期から晩期にかけての土器が出土している。中野谷川西側の標高 115m 前後の段丘上に立地する吉水遺跡からは、包含層から僅かに石器が出土している。野村谷川と鍋倉谷川に挟まれた緩やかな隆起扇状地上に立地する坊僧遺跡では、標高 150 m付近の坊僧地区において、草創期に属する有茎尖頭器が包含層から出土している。また、谷を一つ挟んだ西側の標高 145m 前後の東段地区からは、旧石器時代のと共に縄文時代の石鏃関連ブロックが検出されている。野村谷川西側の標高 120m 前後の緩やかな中位河岸段丘上に位置する薬師遺跡では、野村谷川に面した薬師地区から縄文時代後期の屋外炉２基を検出し、その内の １基からは縄文時代後期中葉の遺物が出土している。また小規模な埋没谷状地形の砂礫層中から、多量の晩期に属する土器・石器が出土している。 吉野川対岸のつるぎ町貞光町に所在し、貞光川下流の西河岸段丘上に位置する貞光前田遺跡からは、後期の竪穴住居跡や早期・中期に属する土器が確認された。

弥生時代　鍋倉谷川西側の標高 130m 前後の隆起扇状地に位置する下突出遺跡では、包含層からサヌカイト製石鏃などの石器類が出土している。吉水遺跡では、竪穴住居や掘立柱建物跡を検出した。荒川遺跡からは弥生時代後期の竪穴住居跡が確認されている。貞光前田遺跡では、後期から終末期の集落が確認されている。美馬市脇町の標高約 90m の段丘上に立地する井口東遺跡は、中期末から後期初頭に属する山住の集落で、竪穴住居跡やガラス製小玉が検出された。また高瀬谷川と中野谷川に挟まれた河岸段丘上にある松ノ花地区周辺において、サヌカイト製石鏃などの石器が多量に出ており、弥生時代後期の土器も出土している。

古墳時代　周辺には宗重古墳群、立光寺古墳群、荒川古墳群、八幡古墳群が分布する。 これらの古墳群は古墳時代後期以降に築造されたものである。前期古墳としては板状鉄斧が出土した七人塚古墳、中

第 6 図　中山路遺跡周辺の遺跡分布図 (1/25,000)

期古墳として箱形石棺を埋葬主体部に採用した井川塚古墳が築造されるが、総じて前・中期古墳は少ない。後期古墳としては、徳島県下で最古段階と考えられる横穴式石室を有する八幡古墳群の大国魂古墳が築造され、その後「段の塚穴型石室」と呼称される胴張型の平面形態に穹窿式天井構造を有する横穴式石室を主体部に持つ古墳が築造される。宗重古墳群に属する段の塚穴古墳群は、全長 13.10m の横穴

式石室を持つ太鼓塚古墳と、墳丘裾間で約 27m 程離れた北西に位置する棚塚古墳の 2 基の円墳で構成される。棚塚古墳は、玄室奥に厚さ 15cm の結晶片岩の板石 1 枚の石棚を有する。また美馬町を中心に同じ型式を持つ古墳が幾つも存在することから、この地域を一つのまとまりとする一大勢力圏が存在したと考えられる。段の塚穴古墳群に副葬された須恵器の内、最も新しい須恵器が、郡里廃寺と型式的に引き次ぐことから、段の塚穴古墳群に被葬された首長と郡里廃寺の建立に関連が指摘されている。また、それらの須恵器を生産したとされる窯跡が、坊僧池から丸山山麓及び蕨草にかけての山麓部に分布する。そのほとんどが郡里廃寺に関するものだが、美馬郷土博物館に展示されている蕨草からの出土品に古墳時代に遡るものも確認されている。鍋倉谷川を挟んだ西側には荒川古墳群が分布し、荒川古墳、平野古墳、海原古墳といった 3 基の古墳が集中している。いずれも古墳時代後期の古墳で、段の塚穴型石室の築造法を取り入れている。

古代・中世　飛鳥時代に入り、仏教の伝来や大化の薄葬令などにより古墳がしだいに築造されなくなると、古墳築造にかわって寺院建立へと変化していく。飛鳥時代には国史跡郡里廃寺（立光寺）が創建され、東に塔、西に金堂を配する法起寺式伽藍配置をもつ、東西 94m、南北 120m に広がる大寺院であったことが知られている。その後の郡里の寺院の興隆から考えると、遅くとも平安の中期頃には廃絶したものと推定される。また郡里廃寺では、主に瓦・須恵器・土師器・青銅器片などが出土している。平安時代中期頃から末法思想の広がりを受け、経塚の建立が相次ぐ。美馬町においても県指定史跡である滝の宮経塚で、鎌倉時代初期の銅製の経筒及び経筒外甕、和鏡、合子、刀剣、土製壺などが出土している。また、その北側に位置する標高約 130 mの段丘西端部の滝ノ宮遺跡からは、中世の遺構が検出された。薬師遺跡（芝坂地区）では平安時代の木炭焼成窯跡、鎌倉時代の土師質土器焼成窯跡、室町時代の掘立柱建物跡、また薬師遺跡（薬師地区）では、室町時代の集落跡を検出した。吉水遺跡では中世の掘立柱建物跡、炭窯、土坑を検出し、土器・磁器・瓦・銅銭・輪宝などが出土している。また、多量の瓦や県内では初めての「輪宝」の出土により、吉野川中流域北岸の中世寺院に関する重要な資料となった。平安時代中期から鎌倉時代にかけて、末法思想と浄土教の成立により、副明寺、天台宗真如寺が創建され、その後これらの寺を継承して真言宗願勝寺、浄土真宗安楽寺が成立した。願勝寺においては、南北朝時代の築造とされる四国最古の池泉式枯山水の庭園があり、滝の岩組みが京都の天竜寺庭園と同一手法であることから、中央との交流があったと考えられている。また安楽寺では、県下五大門の一つに数えられている丹塗の重層門（江戸時代建立）が存在する。このように、両寺とも時の領主や守護から厚い保護を受け、栄えたことが知られている。その他にもいくつかの中世寺院の存在が、『慶長検地帳』から写し取ったと思われる記録や、『重清村誌』や『阿波志』に明記されている。 鎌倉時代末期に築城されたと考える重清城跡が、標高 94 ～ 100 mに位置する美馬町字城の河岸段丘の西端に存在する。また標高 235 mに位置する郡里字滝宮の北部の小山には、戦国時代に築城されたと考える郡里城跡がある。重清城跡からは土塁と堀の存在が確認され、15 世紀代の瀬戸焼の小皿片・土師質土器羽釜や擂鉢、青磁片が出土した。

近世・近現代　文化十年（1813 年）の高都帳によると町域は、郡里村・郡里山・重清村の二村一山で構成されている。明治二十二年（1889 年）に郡里村と重清村の 2 ヶ村が成立する。その後、吉野川の川中島である中鳥地区が重清村に編入し、郡里村が町制に施行した。そして、昭和三十二年（1957 年）に郡里町と重清村が合併し、現在の美馬町が成立する。

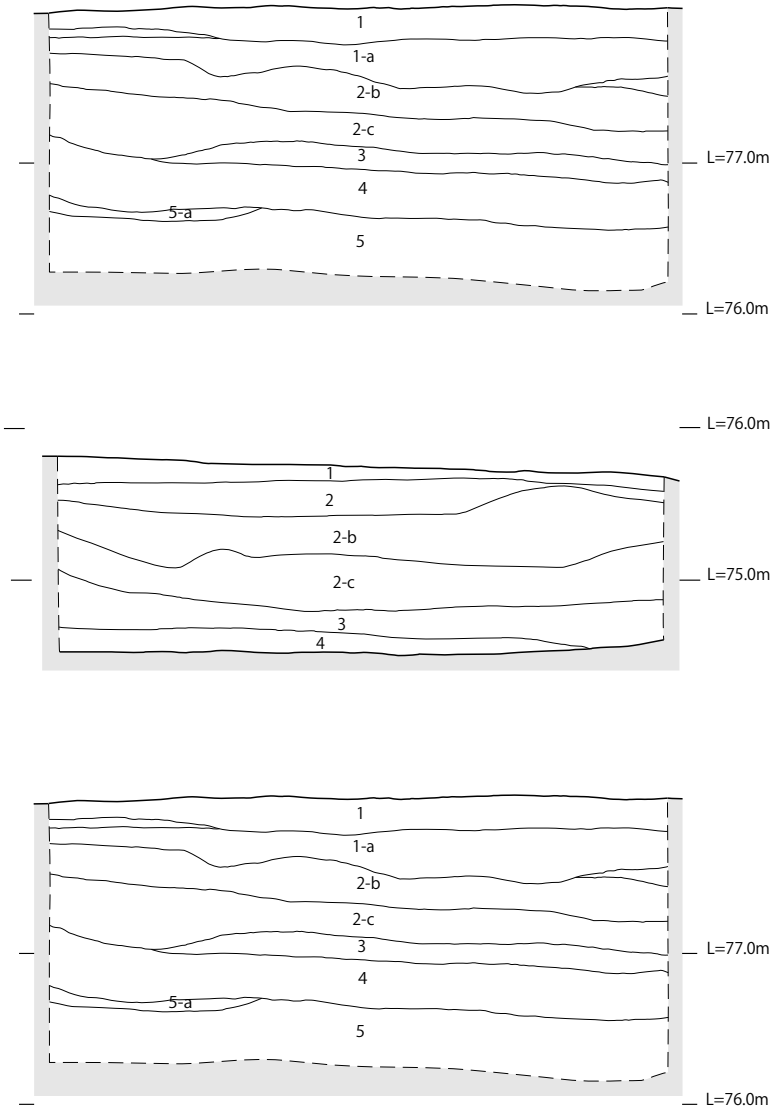
≪参考文献≫

美馬町史編集委員会 1989『美馬町史』美馬町
奥村 清・西村 宏・村田 守・小澤 大成 1998『徳島　自然の歴史』コロナ社
三好 昭一郎監修 2000『徳島県の地名　日本歴史地名大系大 37 巻』平凡社
天羽 利夫・岡山真知子 1985『徳島の遺跡散歩（徳島市民双書 19）』徳島市立図書館
徳島県地学のガイド編集委員会編 2001『徳島県 地学のガイド 徳島県の地質とそのおいたち』コロナ社
寺戸恒夫 1995『徳島の地理－地域からのメッセージ－』徳島地理学会
徳島県史編さん委員会 1994『徳島県史　第 1 巻』徳島県
岩崎 正夫 1979『徳島の自然　地質 1』徳島市中央公民館
中川 衷三 1981『徳島の自然　地質 2』徳島市中央公民館
（財）徳島県埋蔵文化財センター 1992『徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol.4』
（財）徳島県埋蔵文化財センター　1993『徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol.5』
（財）徳島県埋蔵文化財センター 2001『徳島県埋蔵文化センター調査報告書第 34 集　四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 17 薬師遺跡・坊僧遺跡』（財）徳島県埋蔵文化財センター他
（財）徳島県埋蔵文化財センター 2001『徳島県埋蔵文化センター調査報告書第 35 集 貞光前田遺跡－西部テクノスクール建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』（財）徳島県埋蔵文化財センター他
（財）徳島県埋蔵文化財センター 2001『徳島県埋蔵文化センター調査報告書第 39 集 四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 20 吉水遺跡』（財）徳島県埋蔵文化財センター他
（財）徳島県埋蔵文化財センター 2001『徳島県埋蔵文化センター調査報告書第 41 集 四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 21 試掘調査総括　下突出遺跡・滝ノ宮遺跡』（財）徳島県埋蔵文化財センター他
（財）徳島県埋蔵文化財センター 2005『徳島県埋蔵文化センター調査報告書第 61 集 四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 32　荒川遺跡』（財）徳島県埋蔵文化財センター他

Ⅲ　調査成果

1　基本層序

調査区の現況は畑地･店舗駐車場造成地である。標高約75～6ｍ前後の扇状地扇央部の緩斜面であり、調査前の現地盤高は約76.00ｍ前後を測る。後世の土地改変により、扇状地緩斜面の削平・盛土が著しい。地点によって多少の差異はみられるが､調査区を通して基本的な層序は6層に分層される。表土･盛土整地層が約0.5～1.0ｍの厚さで盛土され、整地層下のにぶい黄褐色粘性砂質土が旧耕作土層（第3層）で遺物包含層となる。主に中世～古代の遺物を包含する。4層は円礫を含むにぶい黄褐色粘性砂質土層で、上面が遺構検出面である。主に古代の遺物・遺構が確認されたが、土地改変が顕著で遺構の遺存状況は必ずしも良好とは言い難い。遺構面は標高約75.00ｍ前後である。4層以下は扇状地性の礫層堆積が顕著で、6層は岩盤層となり、遺構・遺物ともに確認できない。



1：現耕作土
1a：盛土
2a：盛土　（整地礫）
2b：盛土　（径=2cm程度の礫を含む）
2c：盛土　（径=6cm程度の礫を含む）
3：旧耕作土（遺物包含層）にぶい黄褐色（10YR5/3）
粘性砂質土　しまり良　（径=2mm程度の鉄分、マンガン粒を含む　径=3cm程度の円礫を含む）
4：遺構検出面　にぶい黄褐色（10YR4/3）
粘性砂質土　しまり良　（径=2mm程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径=3cm　程度の円礫を少量含む）
5：礫層　にぶい黄褐色（10YR5/3）
礫　（径=20cm程度の円礫を含む）
扇状地性自然堆積礫層　無遺物層
5a：礫層　にぶい黄褐色（10YR5/3）
（径=3cm程度の円礫を含む）
扇状地性自然堆積礫層

第7図　中山路遺跡標準土層図

写真 13　調査区基本土層堆積状況

写真 14　調査区基本土層堆積状況

2　遺構と遺物

1. 遺構配置と出土遺物

当初、弥生時代および平安時代頃の 2 時期と考えていた遺構面に、他に時期の異なる時代の遺構や遺物が確認され、同一遺構面上に展開することが確認された。第 1 遺構面からは、溝（SD）5 条、土坑（SK）71 基、柱穴（SP）131 基、性格不明遺構（SX）10 基が検出されている。

調査区内最高箇所に該当する標高 77.00m 付近（第 9 図）には、土坑（SK1038,1039）が 2 基分布するのみの空白地帯である。

標高 76.50 ～ 76.80m を測る K7,K8 グリッド付近（第 12 図）に遺構が集中する。標高 76.80m に沿うように南北方向の溝状遺構（SD1004）が構築される。約 3m 東側に SD1002,SD1004 が不連続ながら一直線上に分布する。なお、SK1051 は南北方向に突出する箇所があることから、SD1002 に連続する溝状遺構が掘削されていた可能性がある。SD1001,1002,1004 は、平行する 2 条の溝で構成される区画溝の可能性があるが、調査区内で直交する溝状遺構や離れた地点で平行する溝状遺構は、未検出であり、その機能は不明である。

溝状遺構東側の K8 ～ K9 グリッド（第 19 図）も柱穴や土坑が集中する。直径 30㎝程度の小穴・柱穴が中心であるが、根石を伴う柱穴や柱痕が検出される柱穴は少ない。また、等間隔で並ぶなど掘立柱建物を構成する柱穴は不明である。長軸 2m 規模の土坑は、平面形態が不定形で深度も 20㎝程度と浅い。主軸方位が東西方向を志向する一群と、南北方向を志向する一群が存在するが、規模・配置等に規則性は認められない。

標高 75.50m を測る I11,J11 グリッド付近（第 33 図）は遺構密度が低く、空閑地である。包含層中より須恵器の出土が増える。

K11,L11 グリッド付近（第 38 図）は標高 75.70m より高所に該当し、徐々に遺構密度が高くなるが、小穴・柱穴が点在するのみで、掘立柱建物等は構成されない。

M10,M11,N10,N11 グリッド付近（第 47 図、第 56 図）では遺構密度は低いが、2 基の性格不明遺構（SX1009,1010）が確認された。東側で約 2.5m を測り、隅丸方形を呈するが、遺構の西側約 2 ／ 3 は調査区外で全形・規模は不明である。遺構内からは比較的多くの須恵器や土師器が出土しており、廃棄

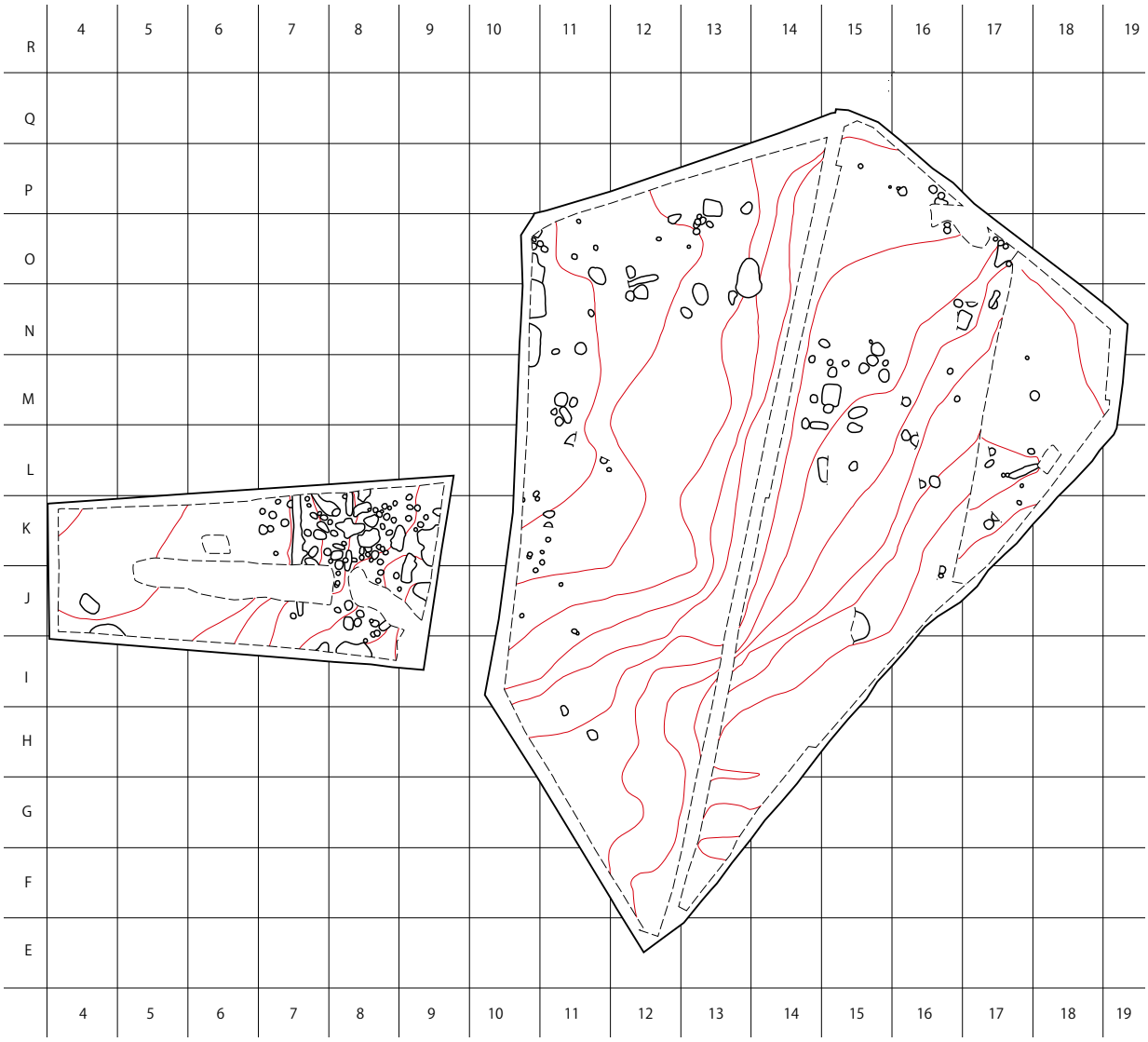
土坑の可能性があるが、竪穴住居の可能性が高い。竪穴住居（SX1009,1010）の東側は空閑地であるが、土坑や小穴が点在する。

標高 75.70m を測る O13 グリッド付近（第 65 図）では、小穴・柱穴が密集するが掘立柱建物は構成しない。また東西方向の溝状遺構 SD1005 も掘削されているが、不連続であり、区画溝・雨落ち溝としての機能は想定できない。包含層中より円面硯（116）や銅碗（M1）が出土している。

標高 75.50m を測る O14 グリッド付近（第 72 図）は、大型土坑（SK1066）が構築されているが、遺構密度は低く、空閑地である。

標高 75.30m を測る P16 グリッド付近（第 77 図）は、小穴・柱穴が密集するが、南側は空閑地であり、遺構集中区は北側へ展開すると推定される。なお、包含層中より弥生時代後期に属する遺物の出土量が増加する。

標高 75.00m を測る N16,N17 グリッド付近（第 83 図）は、柱穴と不定形土坑が分散する。遺構配置に規則性は認められない。包含層中より弥生時代に属する石器（S2,S3）が確認された。



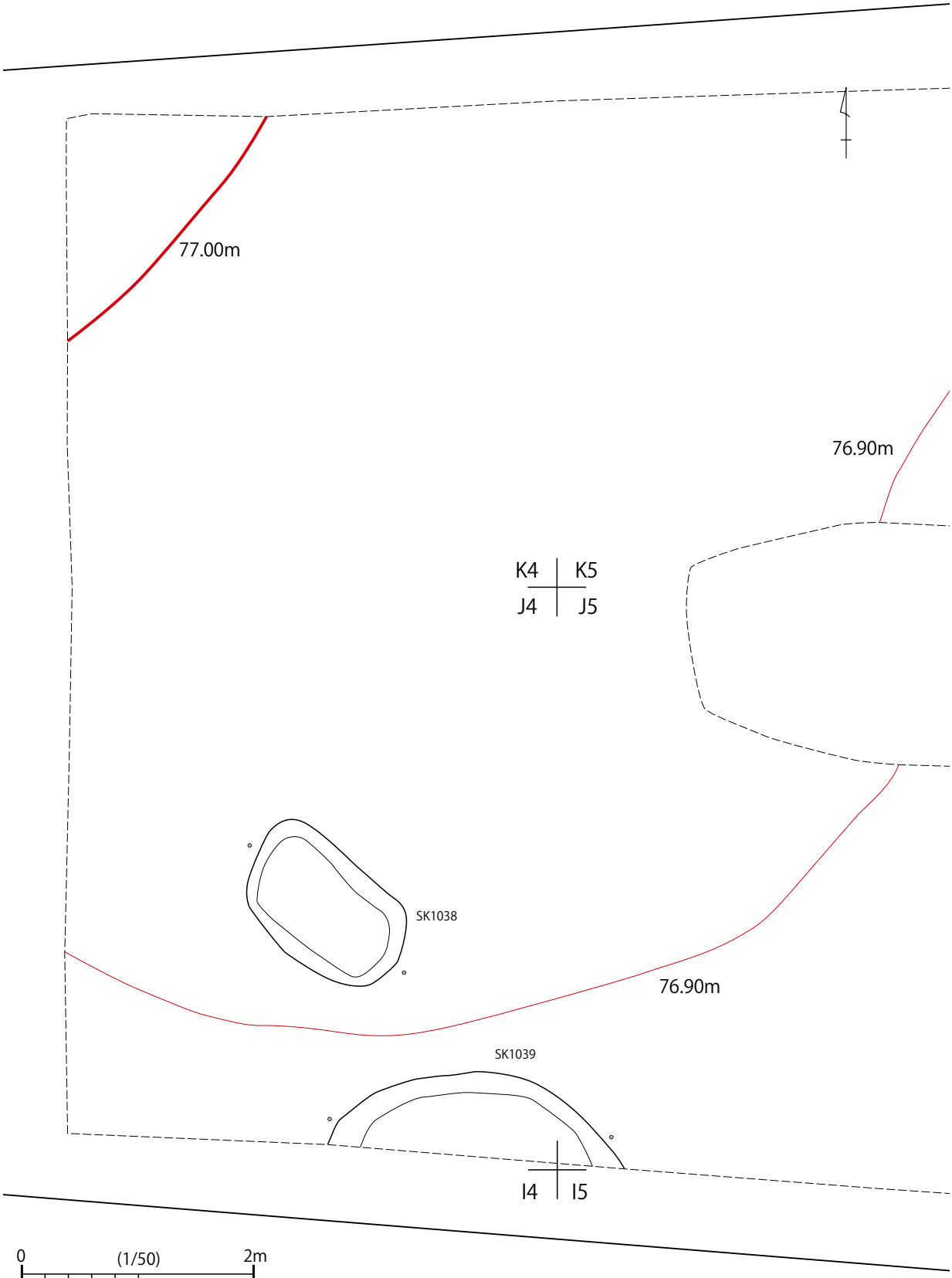
第 8 図　第 1 遺構面遺構配置図 (1/500)

写真 15　完掘状況と国史跡郡里廃寺跡

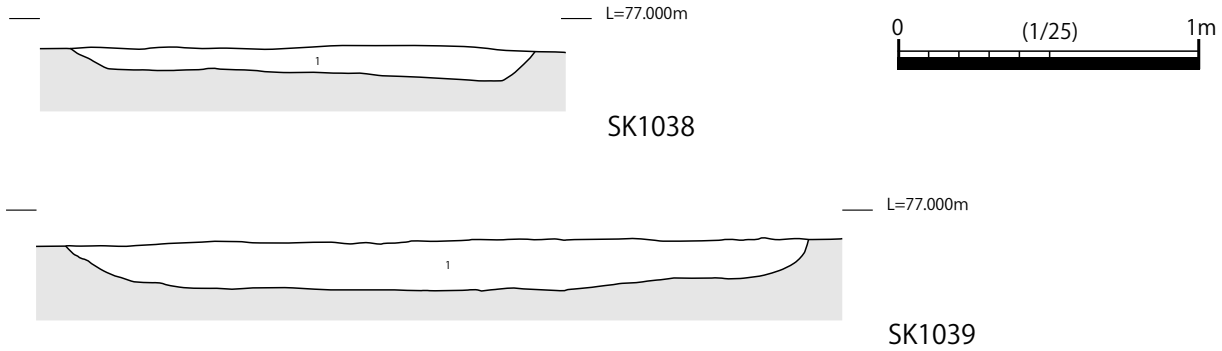
写真 16　第 1 遺構面完掘状況

写真 17　第 1 遺構面完掘状況

写真 18　第 1 遺構面完掘状況



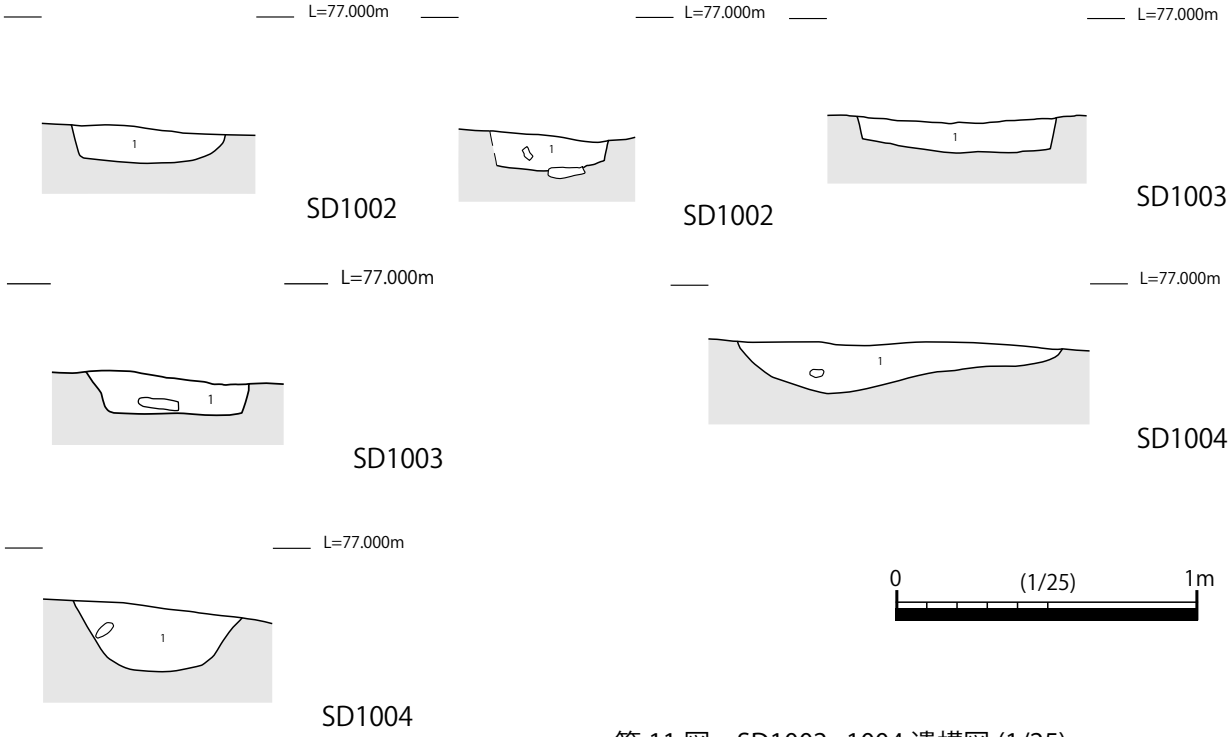
第 9 図　J4 付近遺構配置図 (1/50)



第 10 図　SK1038,1039 遺構図 (1/25)

第 1 表　SK1038,1039 遺構計測表

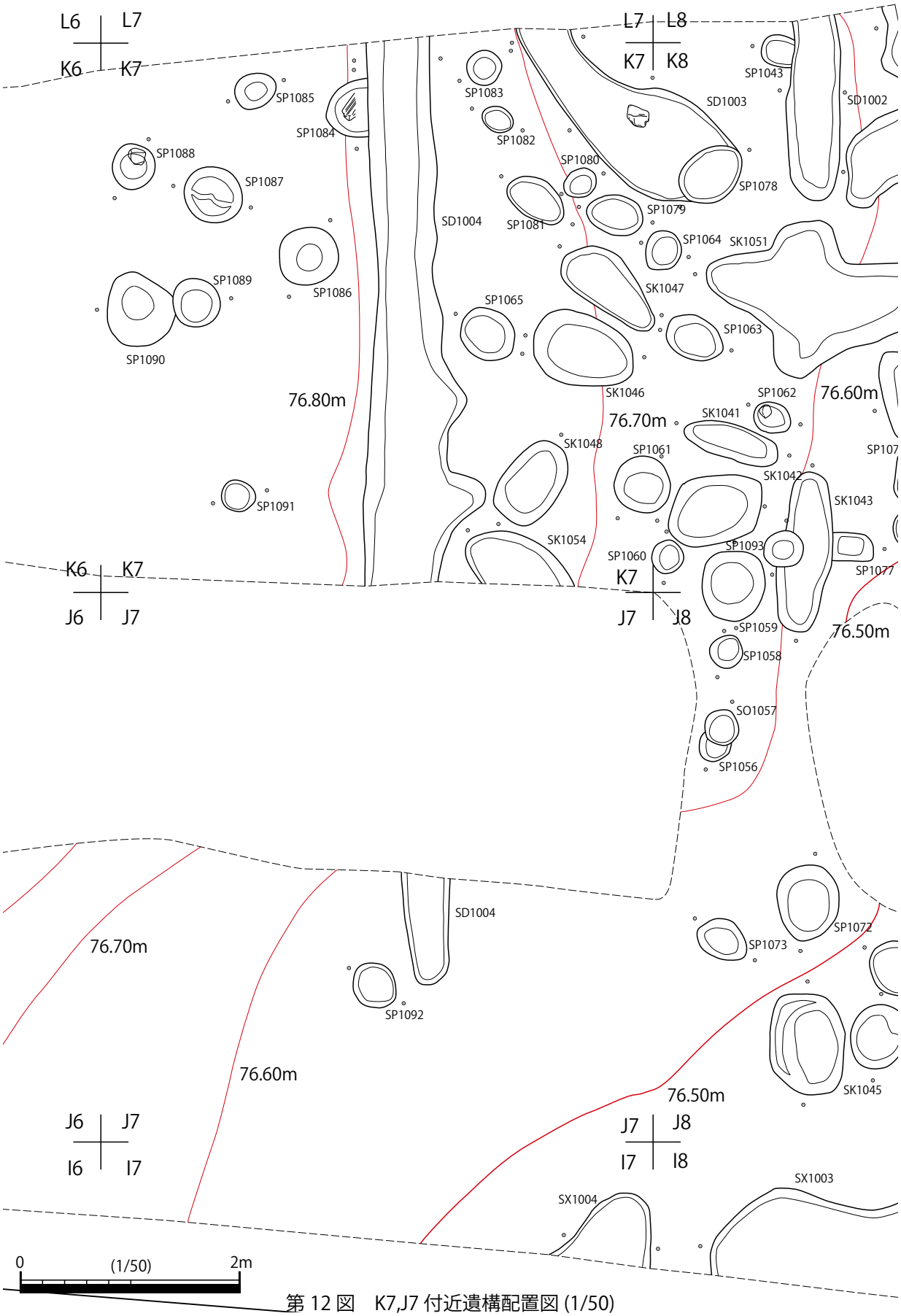
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1038	J-4	不整形	舟底形	152	97	10	N-50.00°-W	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =5mm 程度の炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SK	1039	J-4	不整形	舟底形	255	74	15	N-85.75°-W	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり悪　（径 =3mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2cm 程度の円礫を含む）



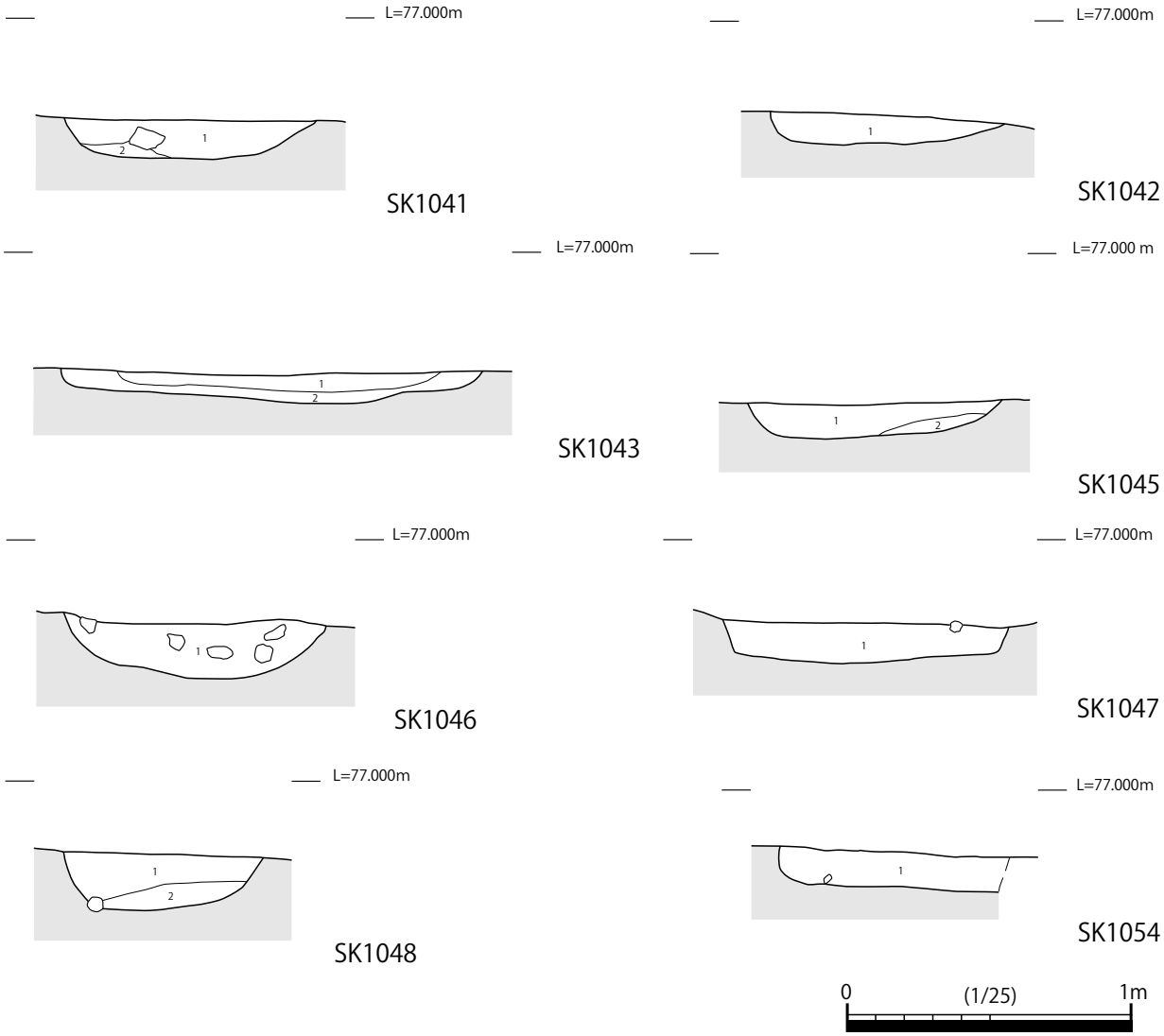
第 11 図　SD1002~1004 遺構図 (1/25)

第 2 表　SD1002~1004 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SD	1002A 北		不整形	舟底形	（145）	47	12	N-0.50°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =4cm 程度の円礫を含む）
SD	1003A 北	K-7.8	不整形	皿形	（245）	90	12	N-63.50°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む　径 =6cm 程度の円礫を含む） 底から 15cm 程度の亜角礫が出土
SD	1004A 北	J-7	不整形	舟底形	（865）	48	22	N-1.50°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2cm 程度の円礫を含む）



第 12 図　K7,J7 付近遺構配置図 (1/50)



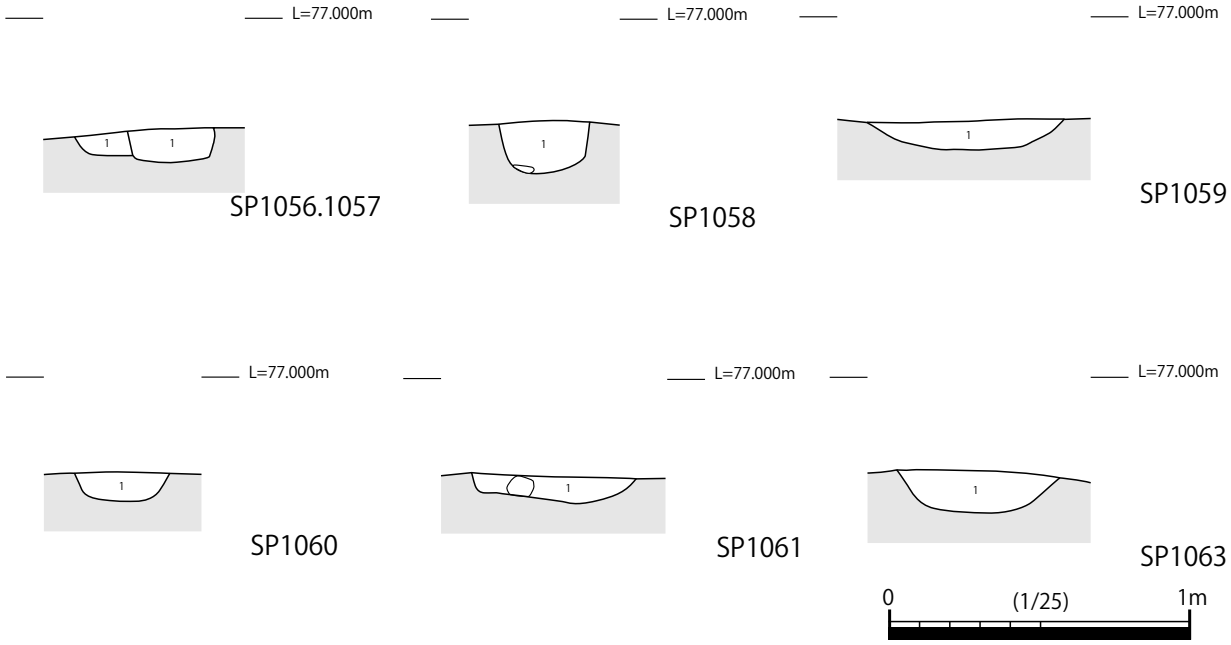
第 13 図　SK1041~1054 遺構図 (1/25)

第 3 表　SK1041~1043,1045,1046 遺構計測表

遺構	番号	グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1041	K-8	楕円形	舟底形	90	32	14	N-68.00°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3 粘性砂質土　しまり良（径 2mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SK	1042	K-8	不整形	舟底形	81	67	11	N-88.50°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3 粘性砂質土　しまり良　（径 1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）
SK	1043	K-8	不整形	舟底形	148	（40）	11	N-3.25°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3 粘性砂質土　しまり良　（径 =mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3 粘性砂質土　しまり良　（径 =5mm 程度の炭化物を含む）
SK	1045	J-8	不整形	舟底形	92	67	12	N-3.00°-W	1：灰黄褐色 10YR4/2 粘性砂質土　しまり良　（径 1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む） 2：灰黄褐色 10YR4/2 粘性砂質土　しまり良　（径 1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）　1 層より砂性が強い
SK	1046	K-8	不整形	舟底形	96	65	19	N-66.50°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3 粘性砂質土　しまり良　（径 10cm 程度の円礫を含む）

第４表　SK1047~1054 遺構計測表

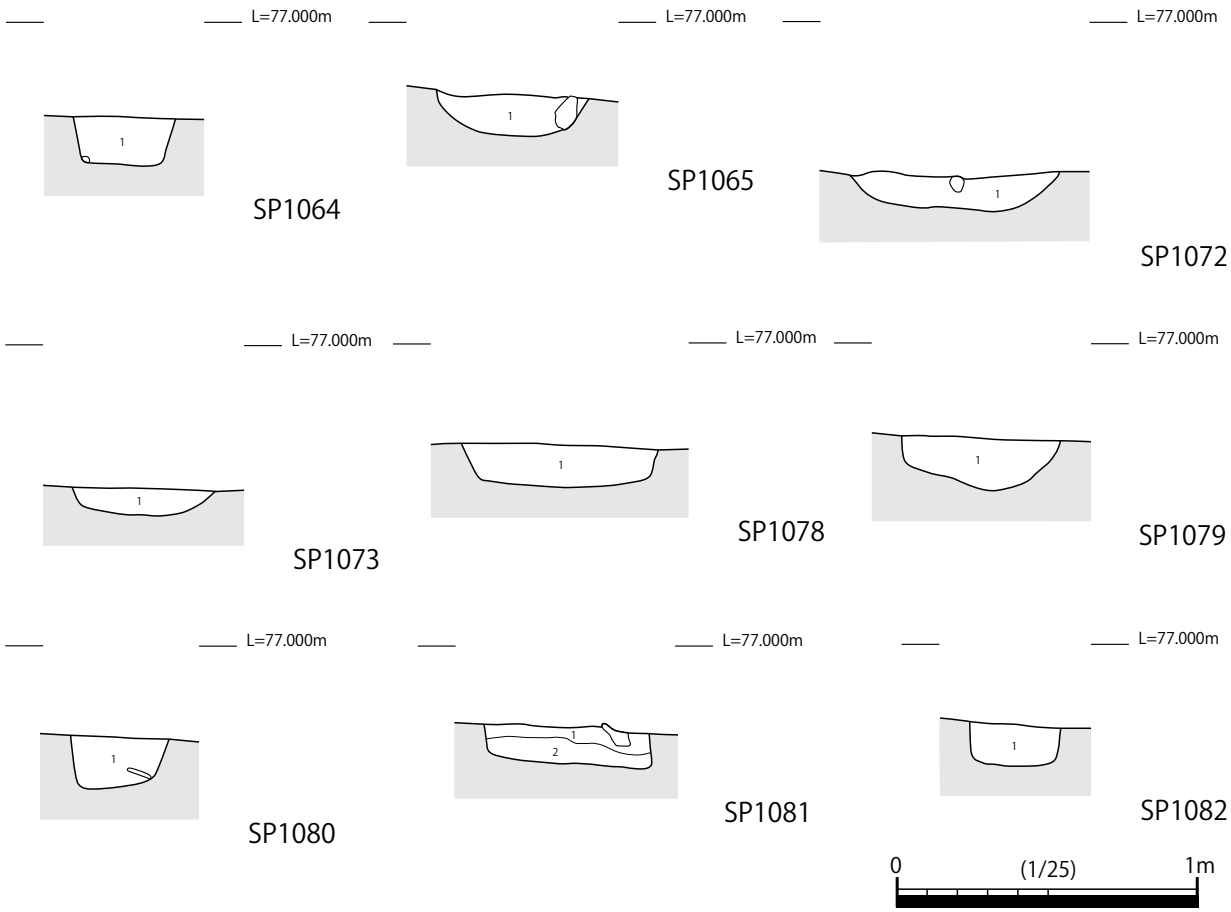
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1047	K-8	不整形	舟底形	120	39	15	N-47.75°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SK	1048	K-7	不整形	舟底形	67	57	20	N-27.00°-E	1:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =1cm 程度のの円礫を含む） 2：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む）
SK	1054	K-7	不整形	皿形	（75）	（60）	12	N-55.00°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む）



第 14 図　SP1056~1063 遺構図 (1/25)

第５表　SP1056~1063 遺構計測表

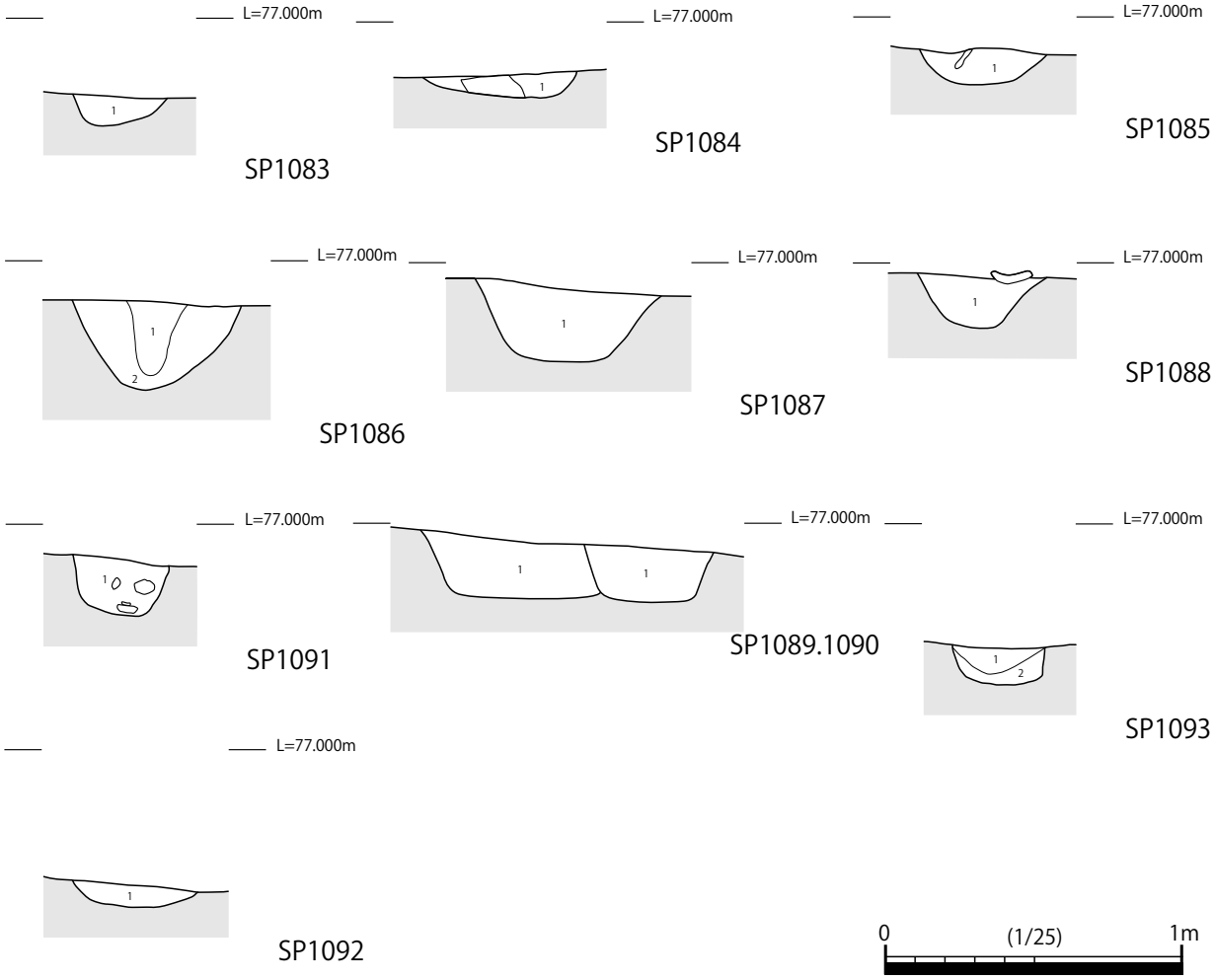
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1056	J-8	不整形	不整形	29	（14）	8	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2cm 程度の円礫を少量含む）
SP	1057	J-8	円形	逆台形	30	30	11	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =1cm 程度の円礫を少量含む）
SP	1058	J-8	円形	舟底形	30	30	17	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SP	1059	J.K-8	楕円形	皿形	63	56	9	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）
SP	1060	K-8	円形	舟底形	30	29	10	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SP	1061	K-7.8	楕円形	皿形	52	50	9	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SP	1062	K-8	楕円形	舟底形	35	29	10	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SP	1063	K-8	楕円形	舟底形	54	39	14	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、炭化物を含む）



第 15 図　SP1064~1082 遺構図 (1/25)

第 6 表　SP1064~1082 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	土色
SP	1064	K-7.8	楕円形	逆台形	34	33	16	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =1cm 程度の円礫を少量含む）
SP	1065	K-7	楕円形	舟底形	52	45	14	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SP	1072	J-8	楕円形	皿形	70	57	11	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =5cm 程度の円礫を含む）
SP	1073	J-8	楕円形	皿形	48	37	9	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SP	1078	K-8	楕円形	皿形	58	45	14	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =2cm 程度の円礫を含む）
SP	1079	K-7	楕円形	舟底形	52	36	17	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SP	1080	K-7	楕円形	逆台形	32	26	18	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SP	1081	K-7	楕円形	皿形	58	36	12	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）上面に 10cm 程度の円礫が出土
SP	1082	K-7	楕円形	長方形	30	23	14	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）



第 16 図　SP1083~1093 遺構図 (1/25)

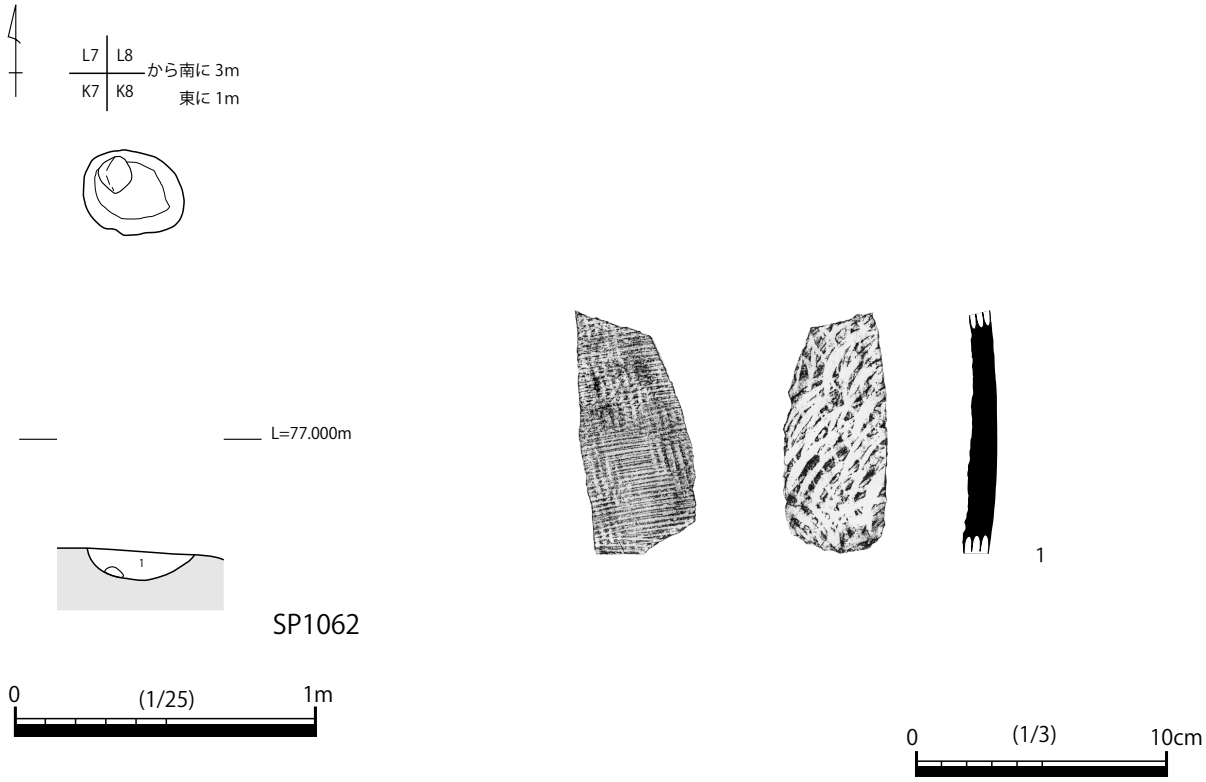
第 7 表　SP1083 ～ 1093 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1083	K-7	円形	舟底形	32	31	10	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SP	1084	K-7	不整形	不整形	50	（26）	8	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　）上面に 20cm 大結晶片岩礫
SP	1085	K-7	楕円形	舟底形	38	31	12	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =5cm 程度の円礫を含む）
SP	1086	K-7	円形	丸底形	56	54	30	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む） 2：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =2cm 程度の円礫を多量に含む）
SP	1087	K-7	楕円形	逆台形	53	50	25	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =4cm 程度の円礫を含む）
SP	1088	K-7	楕円形	逆台形	42	39	17	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1cm 程度の炭化物を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む）上面に 10cm 程度の亜角礫が出土
SP	1089	K-7	円形	逆台形	44	44	19	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2mm 程度の炭化物を含む）
SP	1090	K-7	不整形	舟底形	68	62	20	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2cm 程度の円礫を多量に含む）
SP	1091	J-7	円形	舟底形	44	39	18	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む　径 =1cm 程度の土器片を含む　径 =6cm 程度の円礫を含む）
SP	1092	J-7	円形	皿形	44	40	8	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む）
SP	1093	K-8	円形	舟底形	36	34	12	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =3cm 程度の円礫を多量に含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の炭化物を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む）

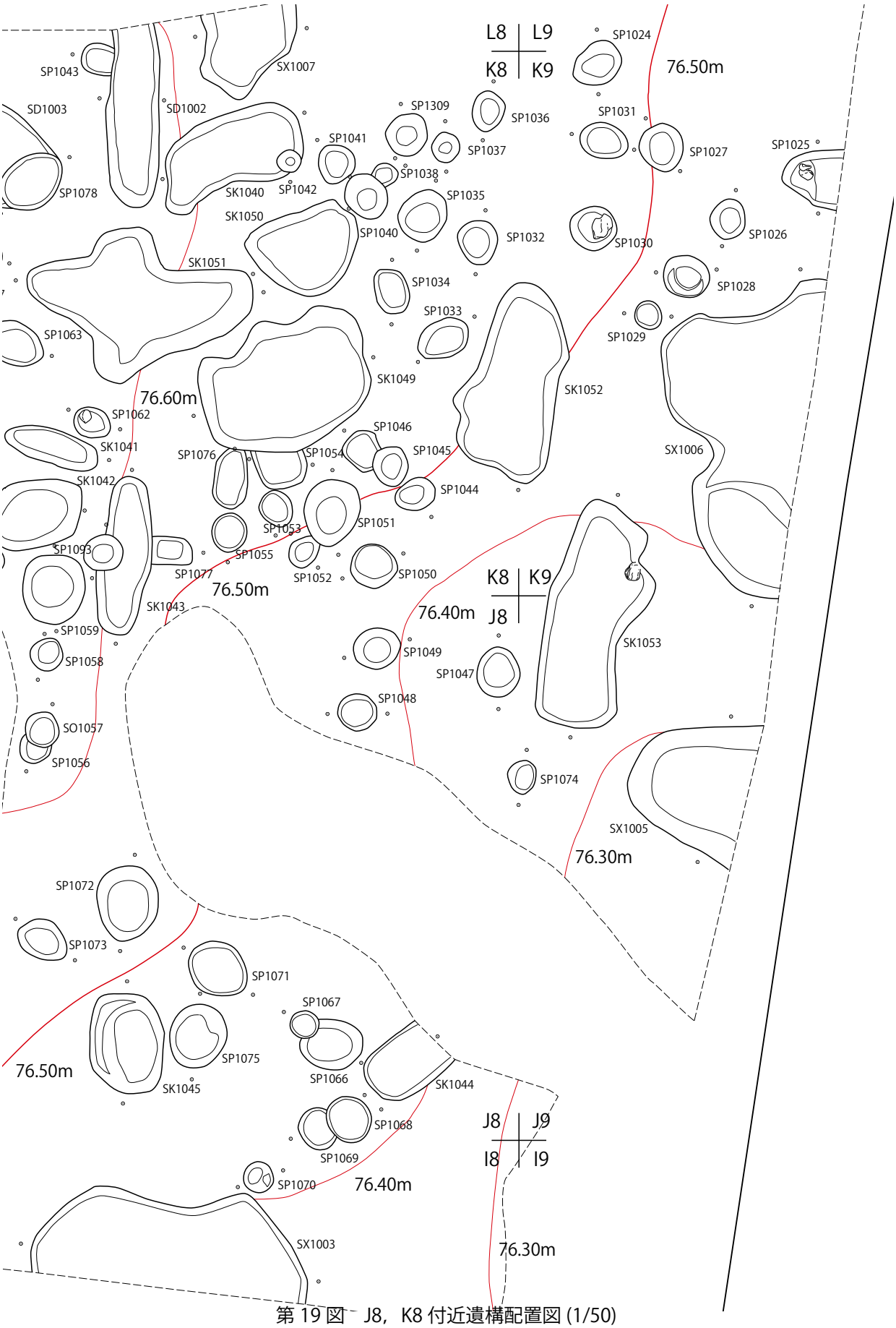
第 17 図　SX1004 遺構図 (1/25)

第 8 表　SX1004 遺構計測表

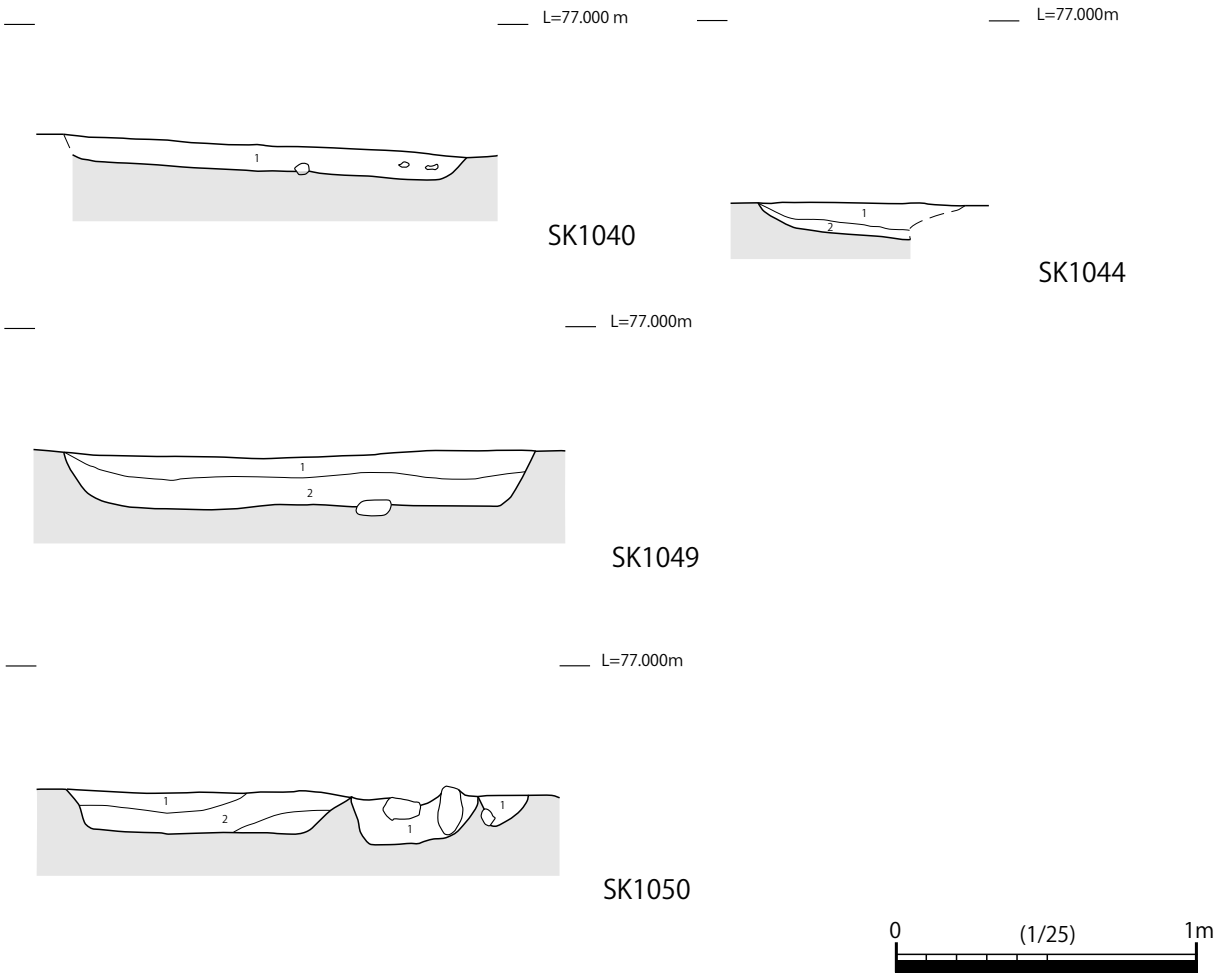
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SX	1004	I-7	不整形	皿形	92	（65）	7		1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =3cm 程度の円礫を含む）



第 18 図　SP1062 遺構図 (1/25) 出土遺物図 (1/3)



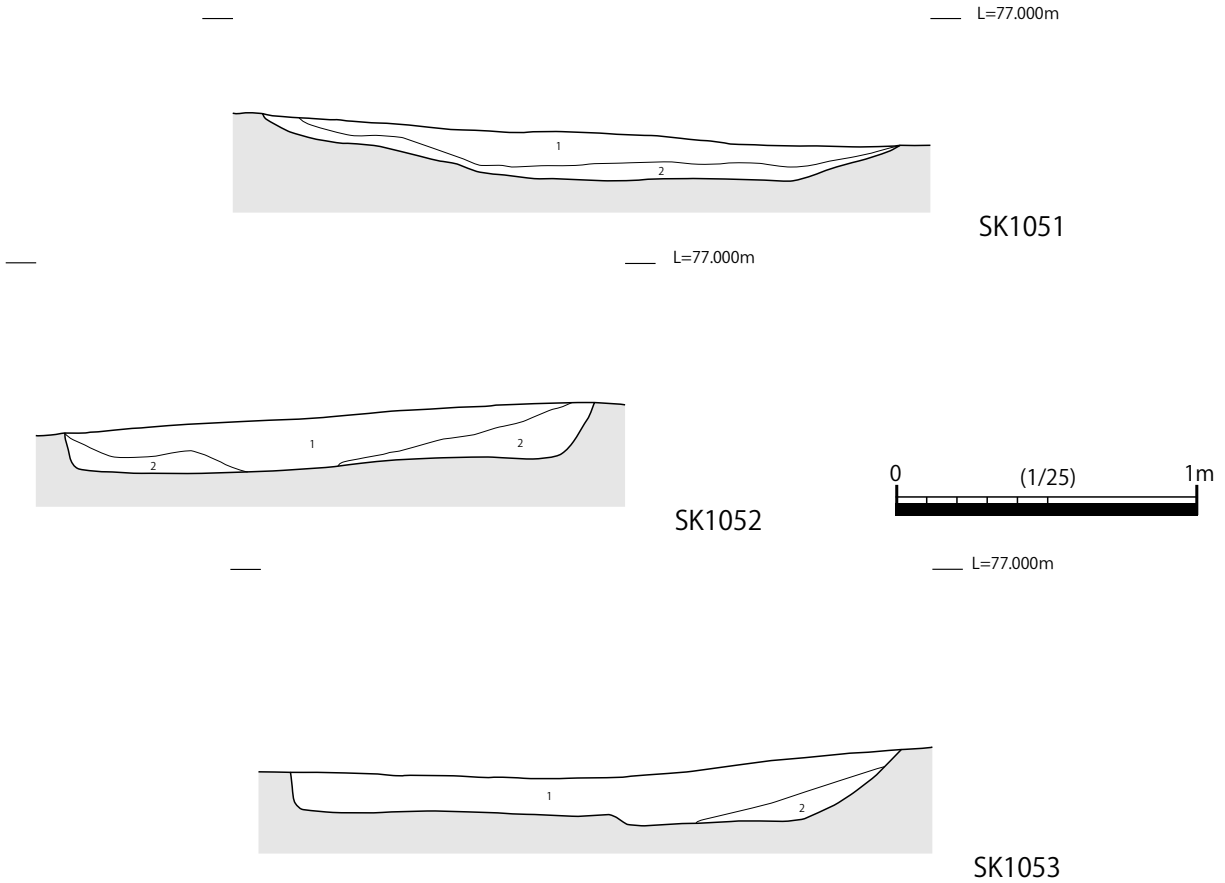
第 19 図　J8，K8 付近遺構配置図 (1/50)



第 20 図　SK1040,1044,1049,1050 遺構図 (1/25)

第 9 表　SK1040,1044,1049,1050 遺構計測表

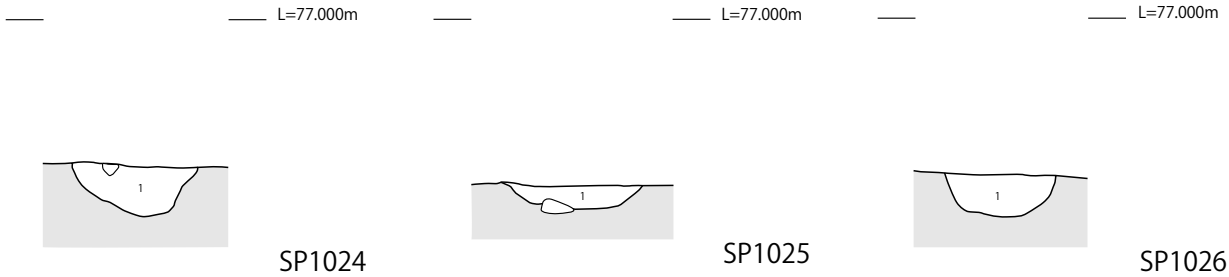
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1040	K-8	不整形	皿形	130	70	9	N-70.00°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む　径 =3cm 程度の亜角礫を含む）
SK	1044	J-8	不整形	舟底形	（71）	54	13	N-53.50°-E	1:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む） 2:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）　1 層より砂性が強い
SK	1049	K-8	不整形	舟底形	154	122	18	N-72.50°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1cm 程度の円礫を多量に含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2cm 程度の円礫を少量含む　径 =1mm 鉄分、マンガン粒を含む）
SK	1050	K-8	不整形	舟底形	96	81	16	N-56.25°-E	1:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む） 2:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）　1 層より砂性が強い 3：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）



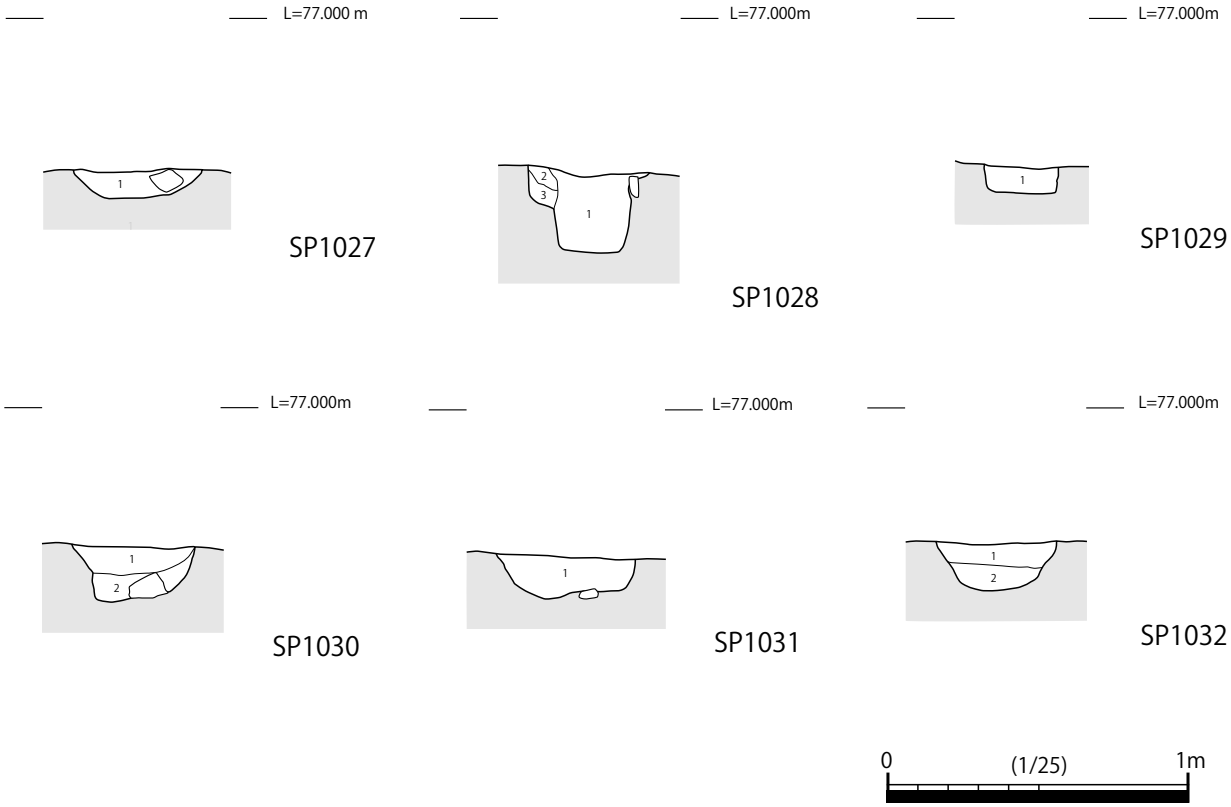
第 21 図　SK1051~1053 遺構図 (1/25)

第 10 表　SK1051~1053 遺構計測表

遺構	番号	グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1051	K-8	不整形	舟底形	206	144	16	N-87.50°-W	1:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む） 2:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）　1 層より砂性が強い
SK	1052	K-8.9	不整形	舟底形	184	94	19	N-2.25°-W	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =4cm 程度の円礫を多量に含む　径 =5mm 程度の土器片を含む） 2:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）
SK	1053	K.J-9	不整形	舟底形	210	95	20	N-5.00°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =4cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =4cm 程度の円礫を含む）　1 層より砂性が強い



第 22 図　SP1024 ～ 1026 遺構図（1/25）



第 23 図　SP1027 ～ 1032 遺構図（1/25）

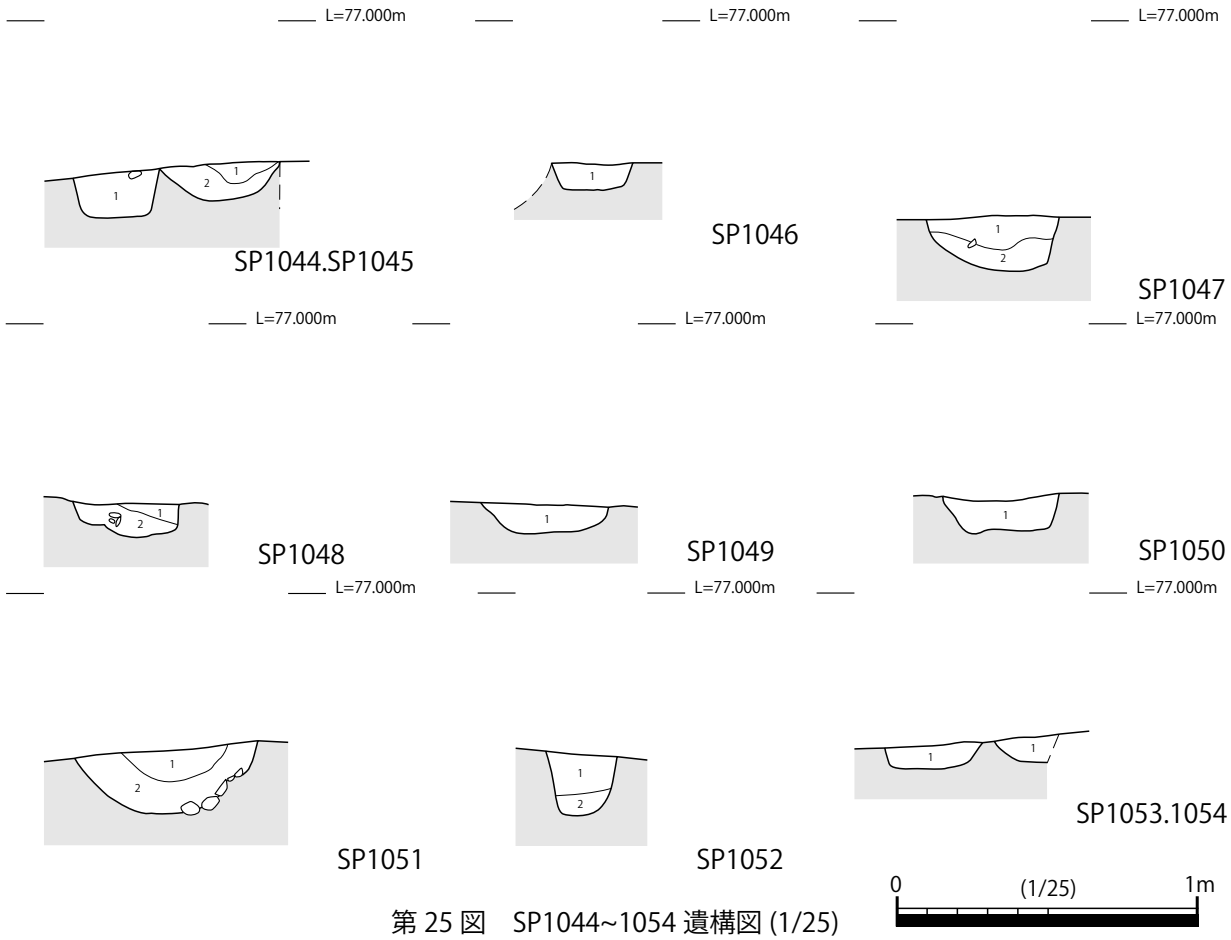
第 11 表　SP1024 ～ 1032 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1024	K.L-9	楕円形	皿形	48	40	16	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む）
SP	1025	K-9	楕円形	舟底形	51	34	8	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =5cm 程度の円礫を含む）
SP	1026	K-9	楕円形	舟底形	37	33	14	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =3cm 程度の円礫を多く含む）
SP	1027	K-9	楕円形	舟底形	42	40	9	1：にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり悪　（径 =2cm 程度の円礫を多く含む）
SP	1028	K-9	楕円形	二段形	42	38	26	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =8cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む） 3：にぶい黄褐色 10YR5/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む）　1 層より砂性が強い　上面に土師質土器片が出土
SP	1029	K-9	円形	長方形	25	25	8	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1cm 程度の円礫を含む）
SP	1030	K-9	円形	舟底形	44	40	18	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1cm 程度の円礫を少量含む） 2：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =6cm 程度の円礫を含む）上面に土師質土器片が出土
SP	1031	K-9	楕円形	舟底形	40	30	15	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =4cm 程度の角礫を含む）
SP	1032	K-8	楕円形	舟底形	40	35	15	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む）

第 24 図　SP1033 ～ 1043 遺構図（1/25）

第 12 表　SP1033 ～ 1043 遺構計測表

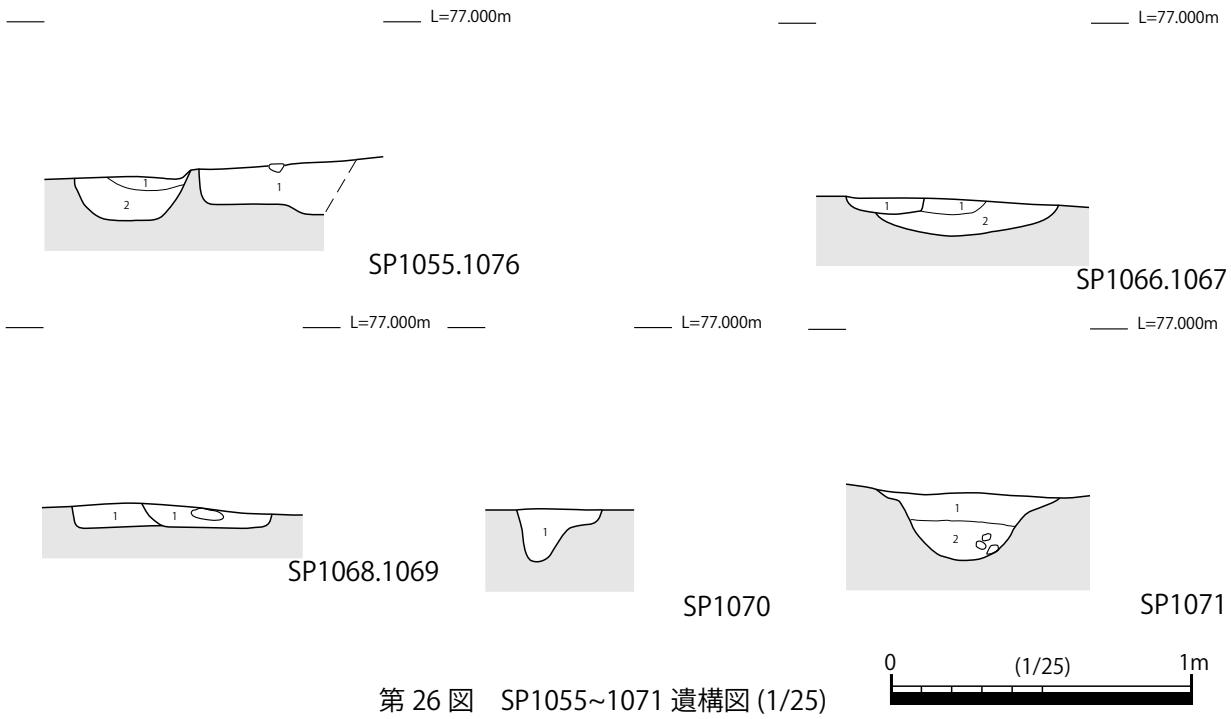
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1033	K-8	楕円形	長方形	50	45	17	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む　径 =5cm 程度の円礫を含む　径 =1cm 程度の土器片を含む）
SP	1034	K-8	楕円形	長方形	40	30	15	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =5cm 程度の円礫を含む） 上面に 2cm 程度の土師質土器片が出土
SP	1035	K-8	楕円形	舟底形	49	43	14	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SP	1036	K-8	楕円形	舟底形	37	30	13	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =2cm 程度の円礫を含む）
SP	1037	K-8	円形	丸底形	28	26	11	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を少量含む）
SP	1038	K-8	円形	丸底形	38	38	16	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3cm 程度の円礫を多く含む　径 =2cm 程度の土器片を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）　1 層より砂性が強い
SP	1041	K-8	楕円形	舟底形	35	34	11	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む　径 =1cm 程度の円礫を少量含む）
SP	1042	K-8	円形	舟底形	21	21	7	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3cm 程度の円礫を含む） 上面に土師質土器片が出土
SP	1043	K. Ⅰ -8	不整形	丸底形	（25）	29	11	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1cm 程度の円礫を含む　径 =1cm 程度の土器片を含む）



第 25 図　SP1044~1054 遺構図 (1/25)

第 13 表　SP1044~1052 遺構計測表

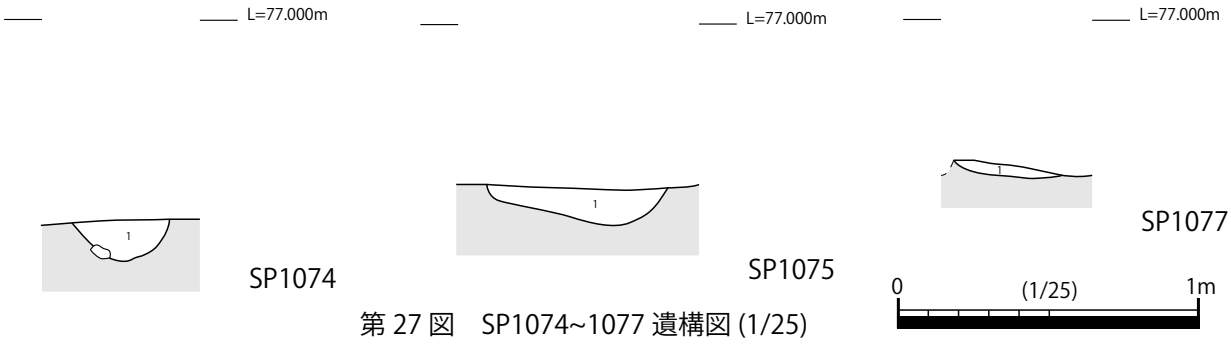
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1044	K-8	楕円形	逆台形	40	35	15	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SP	1045	K-8	楕円形	舟底形	36	32	13	1：にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1cm 程度の円礫を少量含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）　1 層より砂性が強い
SP	1046	K-8	不整形	舟底形	（25）	32	8	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）
SP	1047	J-8	楕円形	舟底形	46	39	18	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SP	1048	J-8	円形	二段形	35	34	11	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）
SP	1049	J-8	楕円形	舟底形	44	37	10	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）
SP	1050	K-8	円形	逆台形	42	40	11	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）
SP	1051	K-8	楕円形	丸底形	62	50	21	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む）　2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =4cm 程度の角礫を含む）
SP	1052	K-8	不整形	逆台形	（20）	25	21	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む） 2：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む） 1 層より砂性が強い



第 26 図　SP1055~1071 遺構図 (1/25)

第 14 表　SP1053~1071 遺構計測表

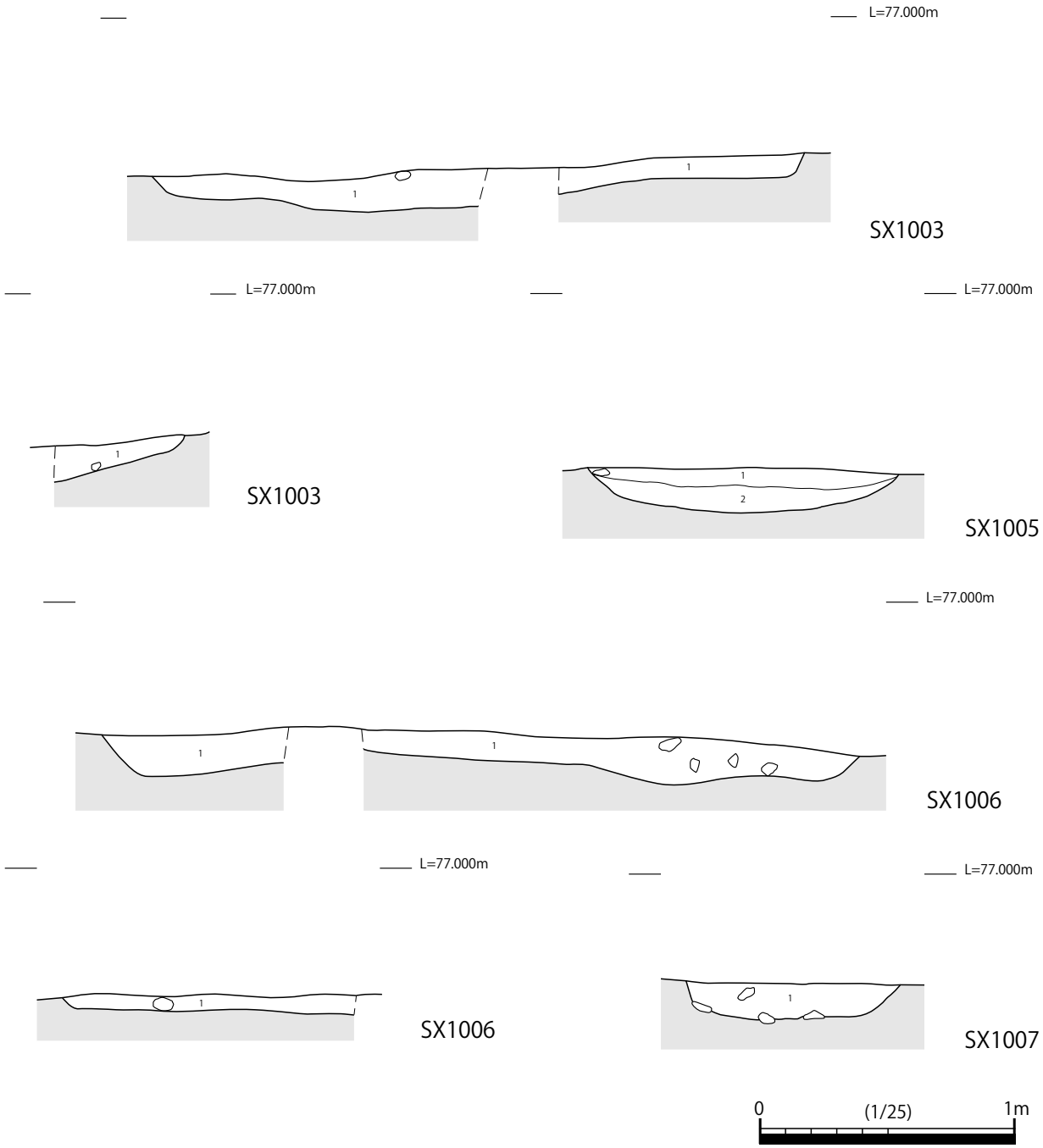
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1053	K-8	楕円形	舟底形	35	30	8	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1cm 程度の円礫を含む）
SP	1054	K-8	不整形	不整形	（24）	49	9	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の炭化物を含む）
SP	1055	K-8	楕円形	舟底形	38	32	14	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 鉄分、マンガン粒、炭化物を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）1 層より砂性が強い
SP	1066	J-8	不整形	不整形	58	46	12	1：にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3 粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SP	1067	J-8	楕円形	皿形	26	25	5	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SP	1068	J-8	楕円形	皿形	43	40	7	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物）
SP	1069	I.J-8	不整形	逆台形	39	（26）	7	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =6cm 程度の円礫を含む）
SP	1070	I-8	円形	二段形	28	28	17	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =2cm 程度の円礫を含む）
SP	1071	J-8	楕円形	丸底形	58	50	22	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =6cm 程度の円礫を含む）



第 27 図　SP1074~1077 遺構図 (1/25)

第 15 表　SP1074~1077 遺構計測表

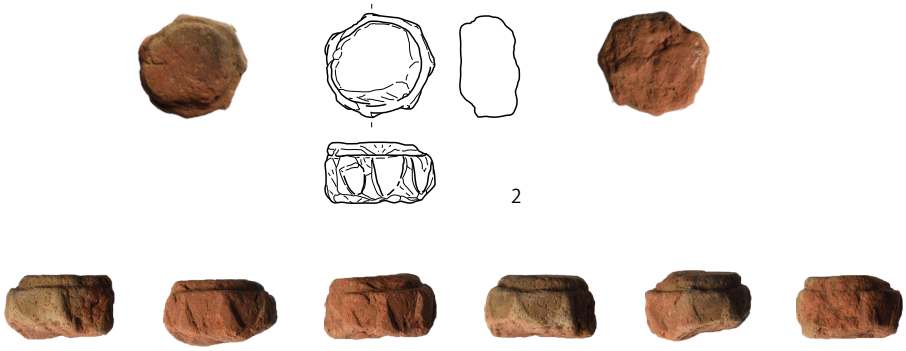
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1074	J-8.9	楕円形	丸底形	31	26	14	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む）
SP	1075	J-8	楕円形	皿形	59	51	12	1：にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SP	1076	K-8	不整形	不整形	（49）	31	17	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む）
SP	1077	K-8	不整形	不整形	（29）	25	4	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）



第 28 図　SX1003,1005,1006,1007 遺構図 (1/25)

第 16 表　SX1003,1005,1006,1007 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SX	1003	I-8	不整形	皿形	252	（126）	14		1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =5cm 程度の円礫を含む）
SX	1005	J-9	不整形	皿形	137	（109）	17		1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む）　1 層より砂性が強い
SX	1006	K-9	不整形	皿形	297	（143）	19		1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =6cm 程度の円礫を含む）
SX	1007	K.L-8	不整形	皿形	90	（82）	14		1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =4cm 程度の円礫を含む）



第 29 図　包含層出土遺物図（1/3）

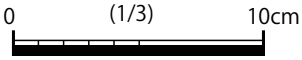
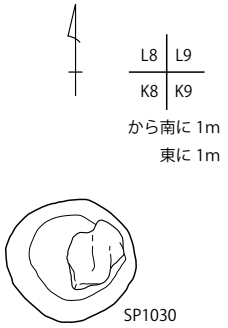
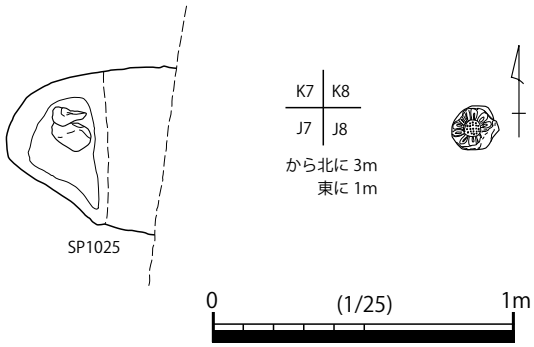


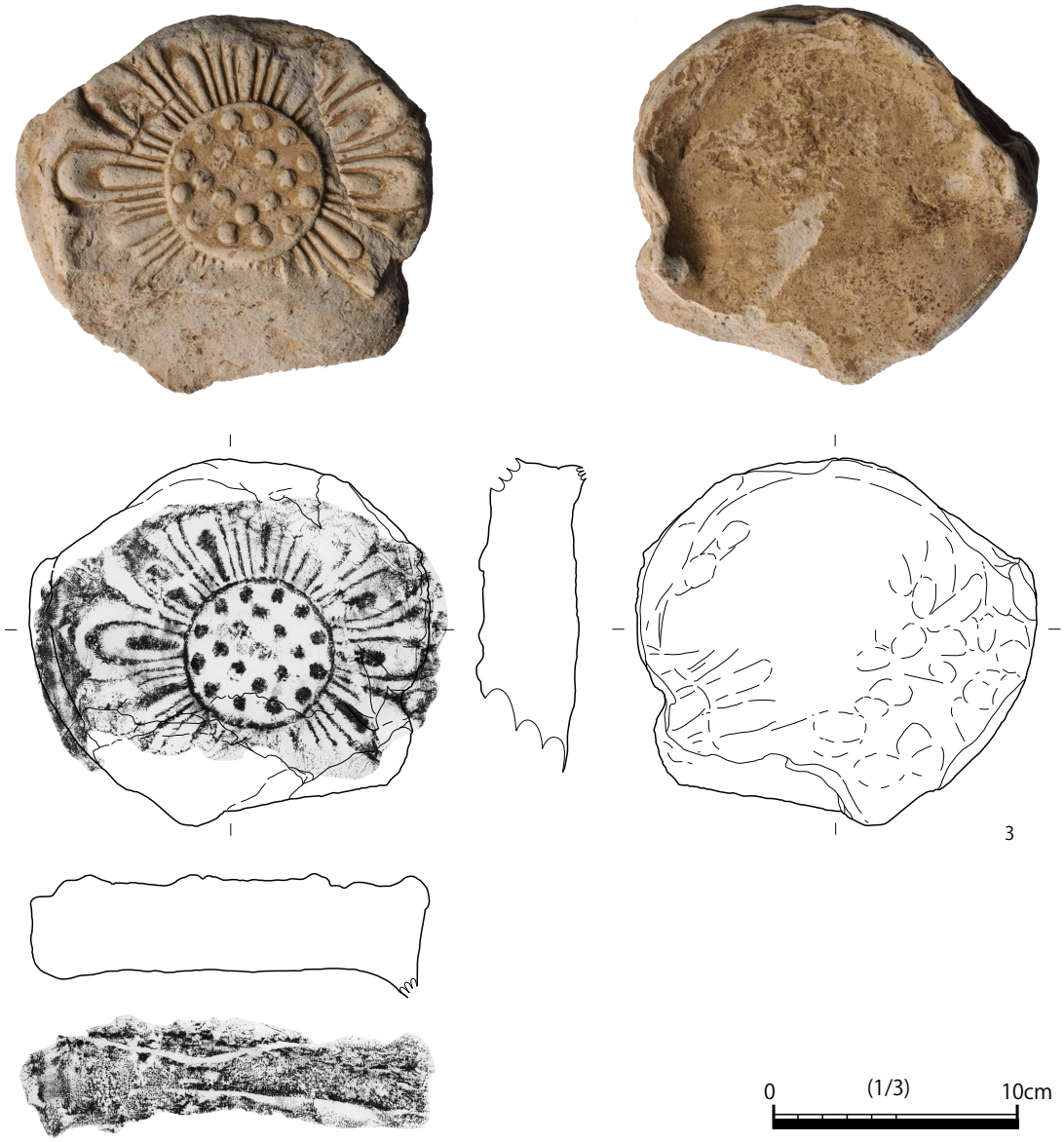
写真 19　SK1051 軒丸瓦出土状況



第 30 図　SP1030 遺構図（1/25）

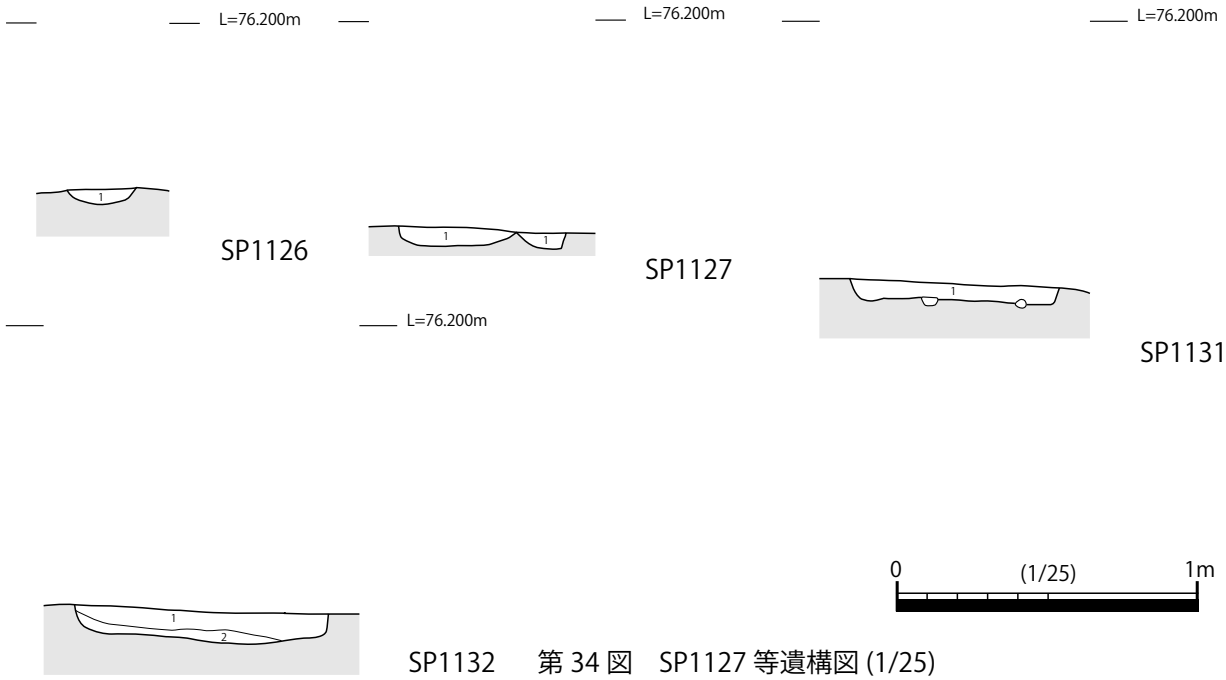


第 31 図　SP1025 遺構図（1/25）



第 32 図　SK1051 出土遺物図（1/3）

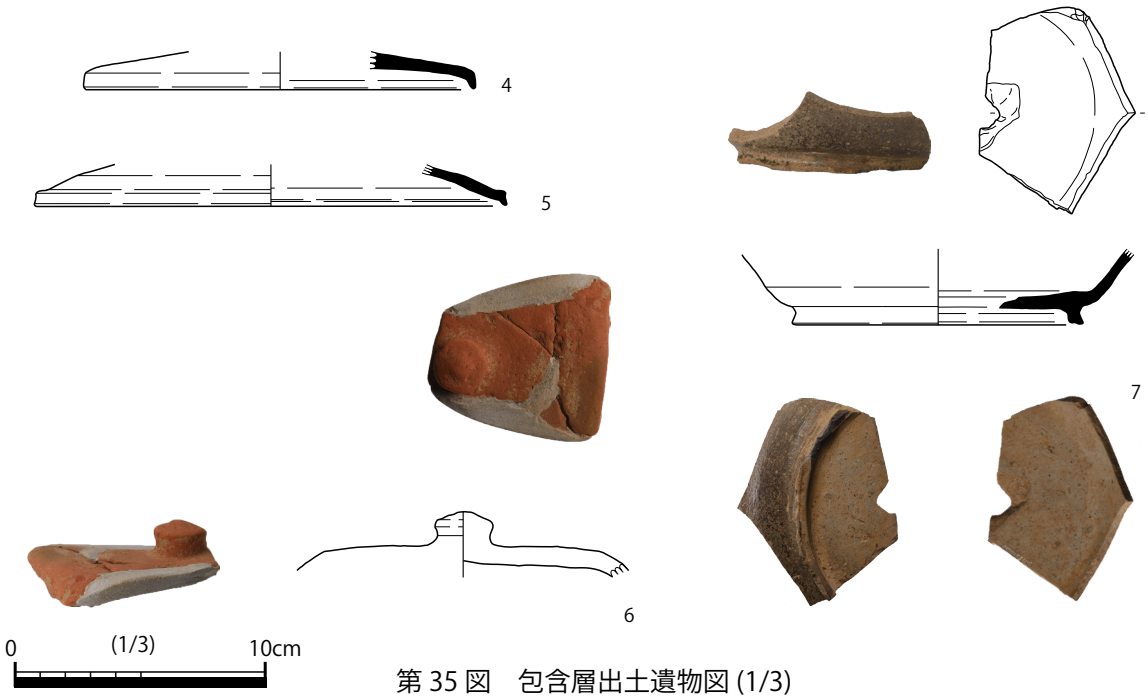
第 33 図　I11 付近遺構配置図 (1/50)



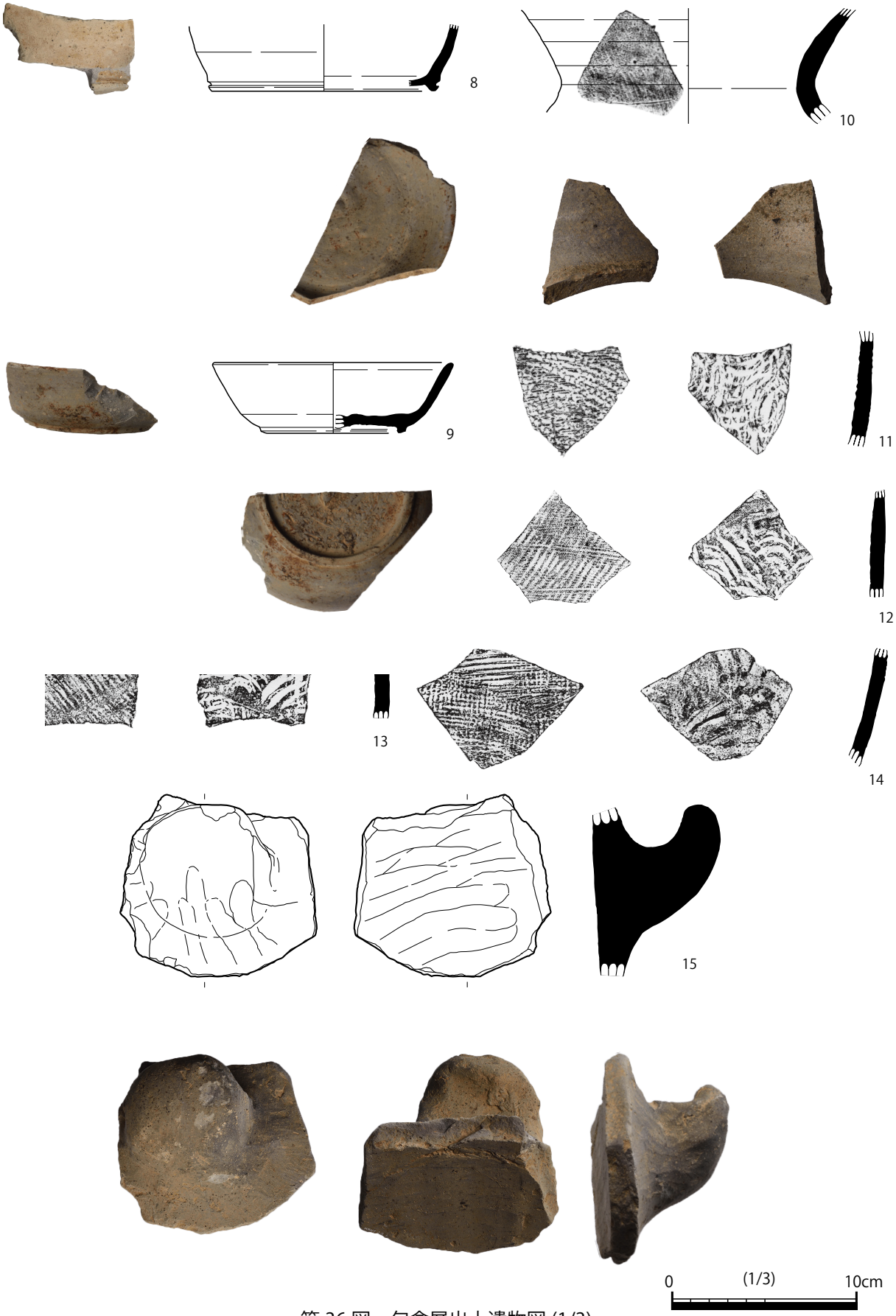
第 34 図　SP1127 等遺構図 (1/25)

第 17 表　SP1126,1127,1131,1132 等遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1126	J-11	円形	舟底形	28	24	5	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）
SP	1127	J-11	楕円形	皿形	40	30	6	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =1mm 程度の炭化物を含む）
SP	1131	H.I-11	長方形	皿形	72	44	7	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり悪　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）
SP	1132	H-11	楕円形	皿形	86	63	10	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり悪　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）　2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）

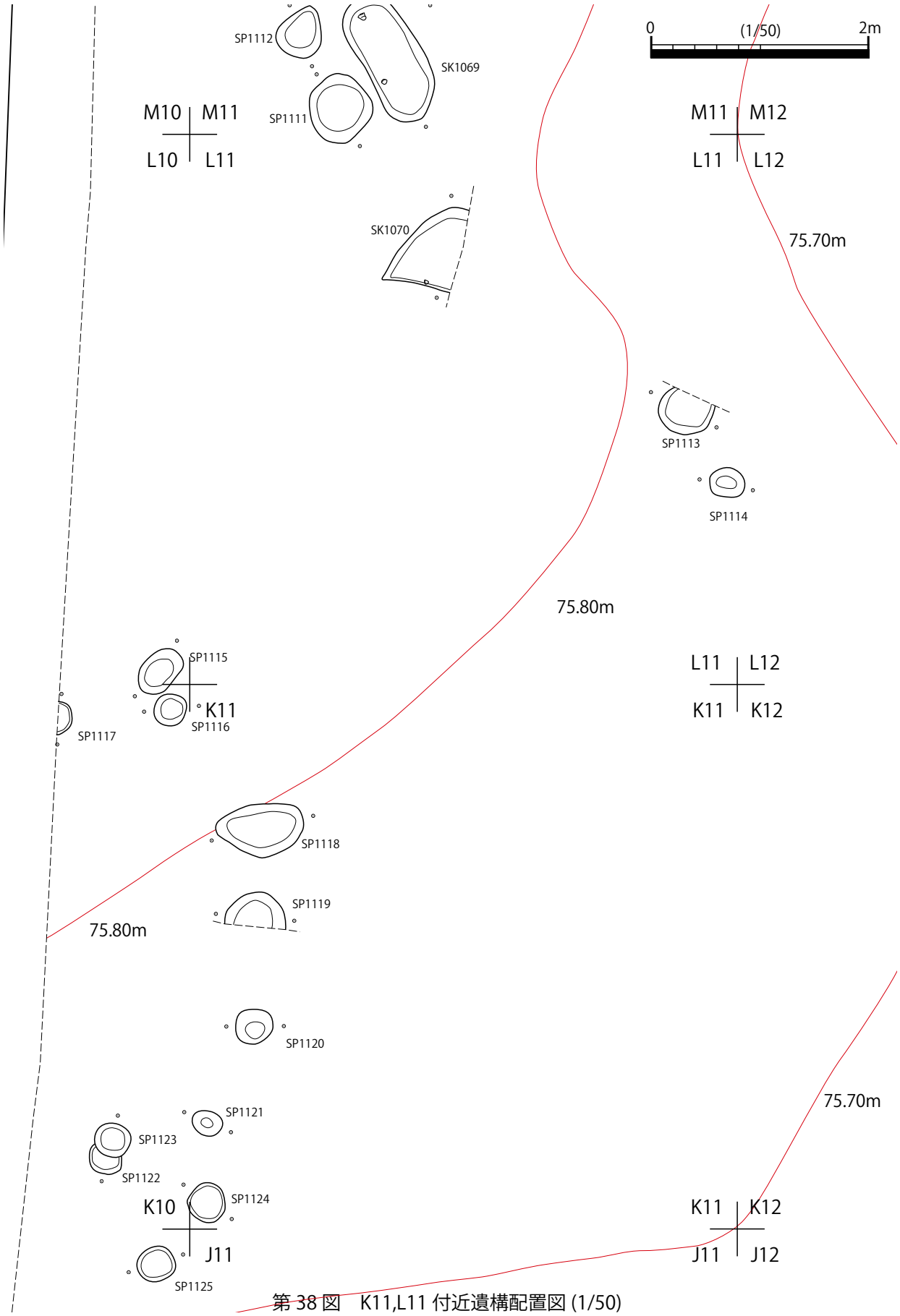


第 35 図　包含層出土遺物図 (1/3)

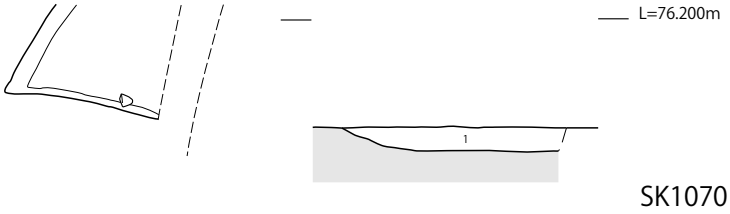


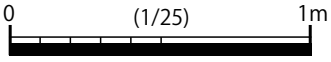
第 36 図　包含層出土遺物図 (1/3)

第 37 図 包含層出土遺物図 (1/3)



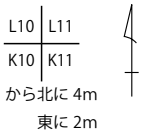
第 38 図　K11,L11 付近遺構配置図 (1/50)





第 39 図　SK1070 遺構図 (1/25)

第 18 表　SK1070 遺構計測表

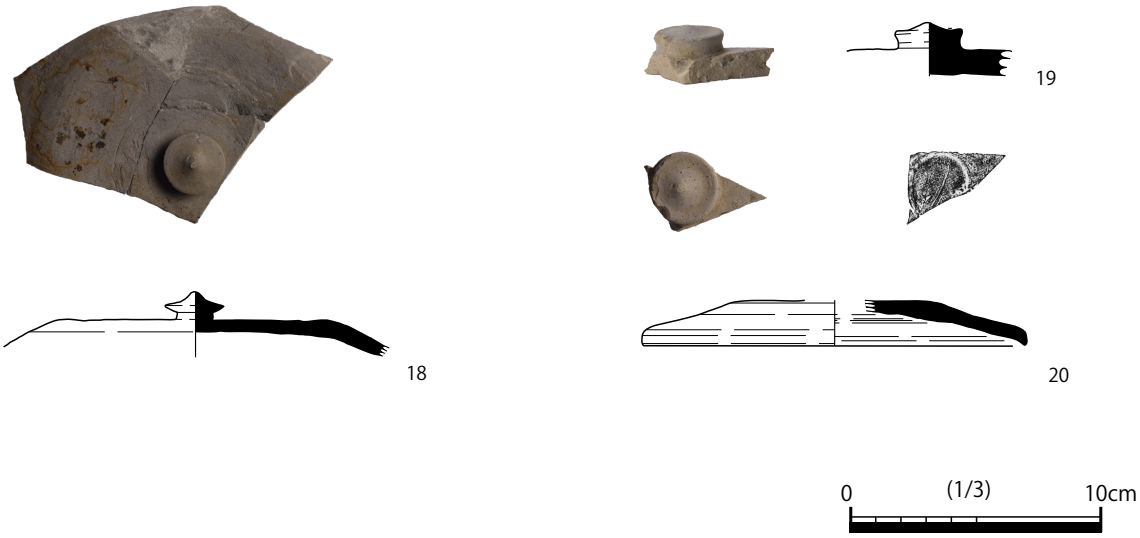


遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1070	L-13	不整形	皿形	（80）	（66）	8	N-13.00°-E	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）

第 40 図 SP1111~1125 遺構図 (1/25)

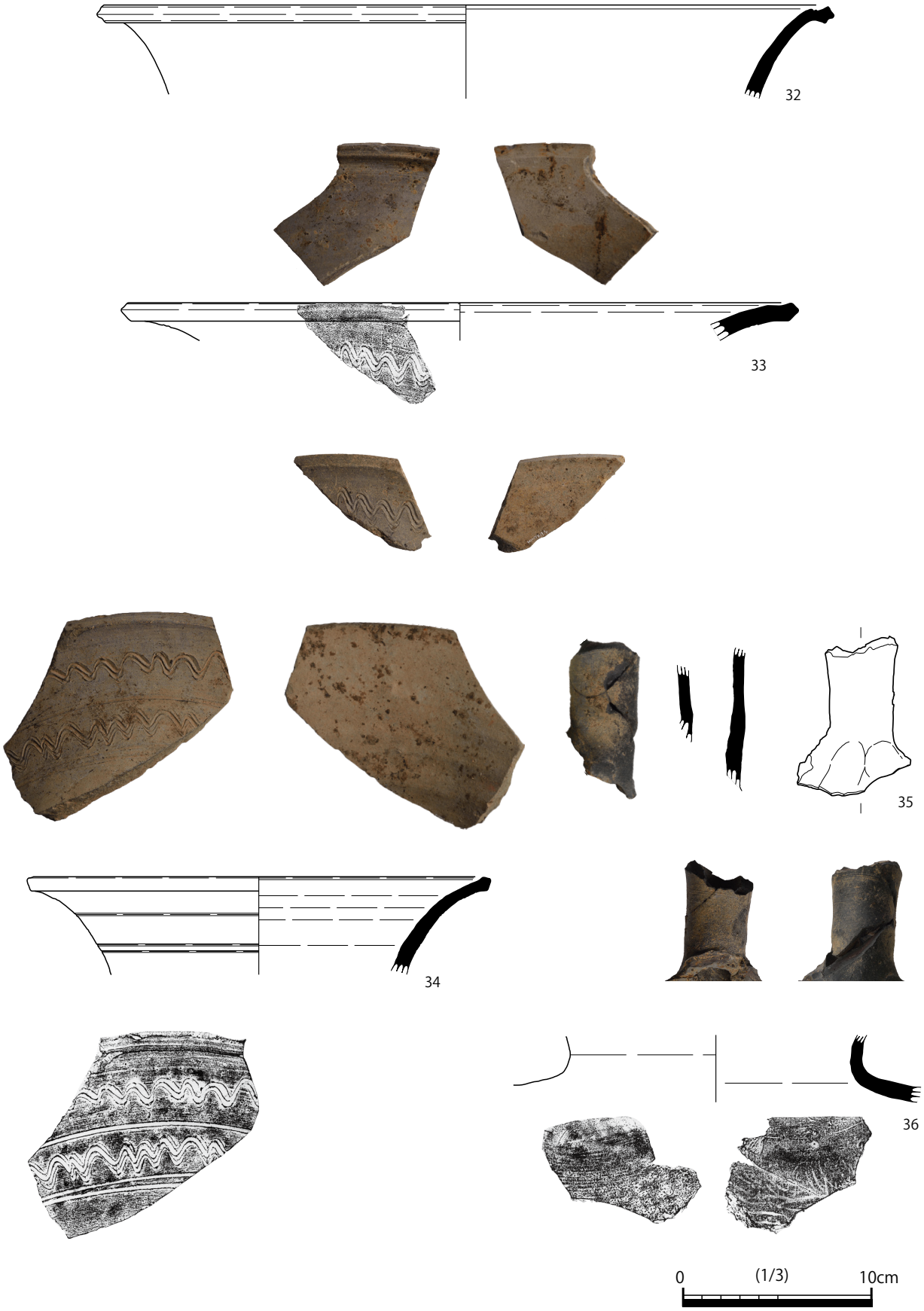
第 19 表 SP1111~1125 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1111	M-11	方形	舟底形	64	56	10	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SP	1112	M-11	不整形	舟底形	49	（40）	8	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =4cm 程度の円礫を少量含む）
SP	1113	L-11	不整形	皿形	52	（48）	10	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の炭化物を含む　径 =10cm 程度の円礫を含む）
SP	1114	L-11	楕円形	逆台形	32	28	8	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SP	1115	K.L-10	楕円形	舟底形	48	32	15	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =6cm 程度の円礫を多量に含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）
SP	1116	K-10	丸底形	舟底形	32	29	9	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =5cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SP	1117	K-10	不整形	皿形	30	（14）	5	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む）
SP	1118	K-11	楕円形	皿形	81	54	9	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SP	1119	K-11	不整形	舟底形	52	（32）	11	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2cm 程度の円礫を多量に含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む）
SP	1120	K-11	円形	舟底形	36	32	8	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）　1 層より砂性が強い
SP	1121	K-11	楕円形	皿形	30	23	6	1：にぶい黄褐色 10YR5/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）
SP	1122	K-10	不整形	逆台形	30	12	6	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）
SP	1124	K-11	円形	皿形	36	34	4	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）
SP	1125	J-10	方形	皿形	34	31	5	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1cm 程度の炭化物を含む）

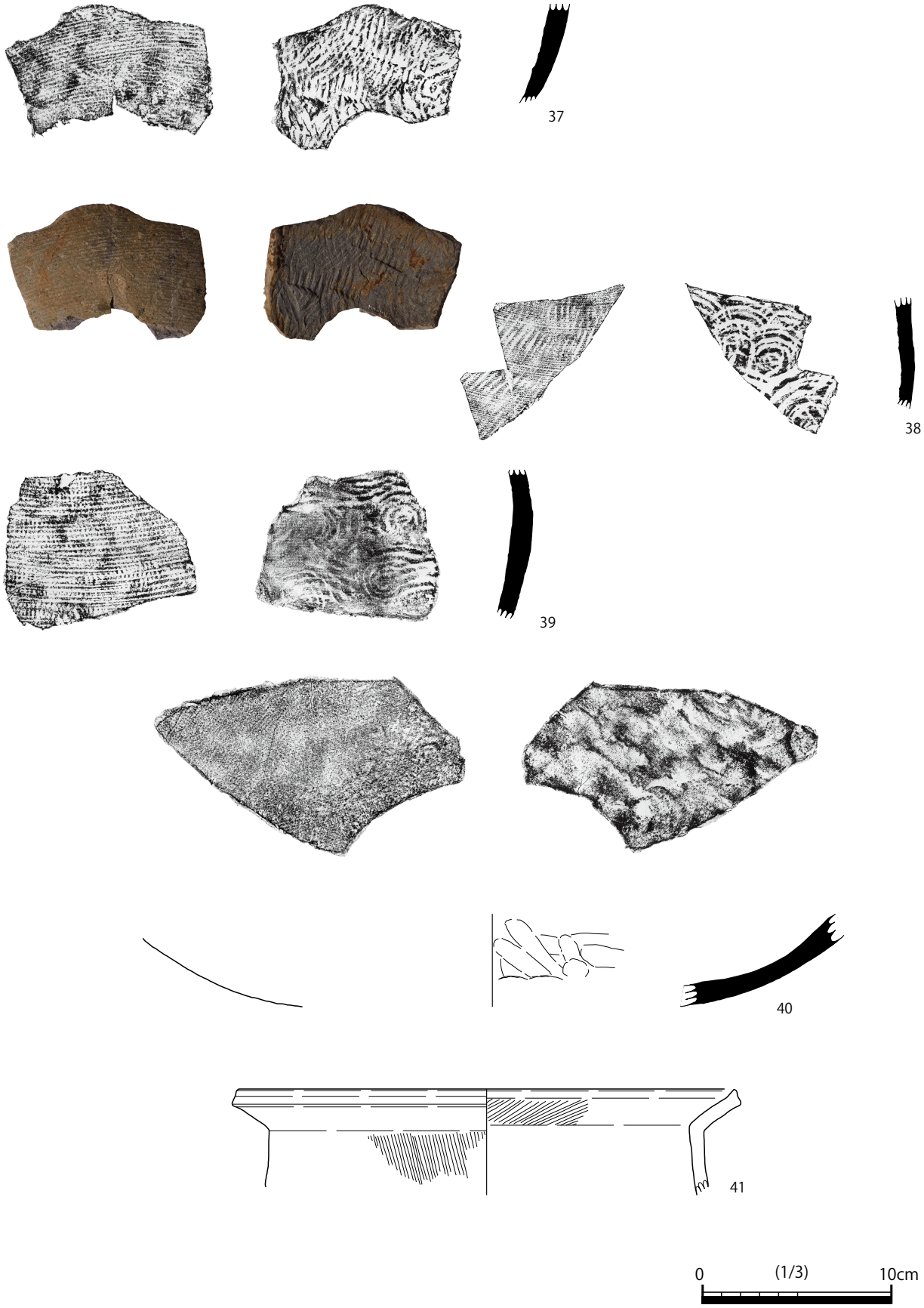


第 41 図　包含層出土遺物図 (1/3)

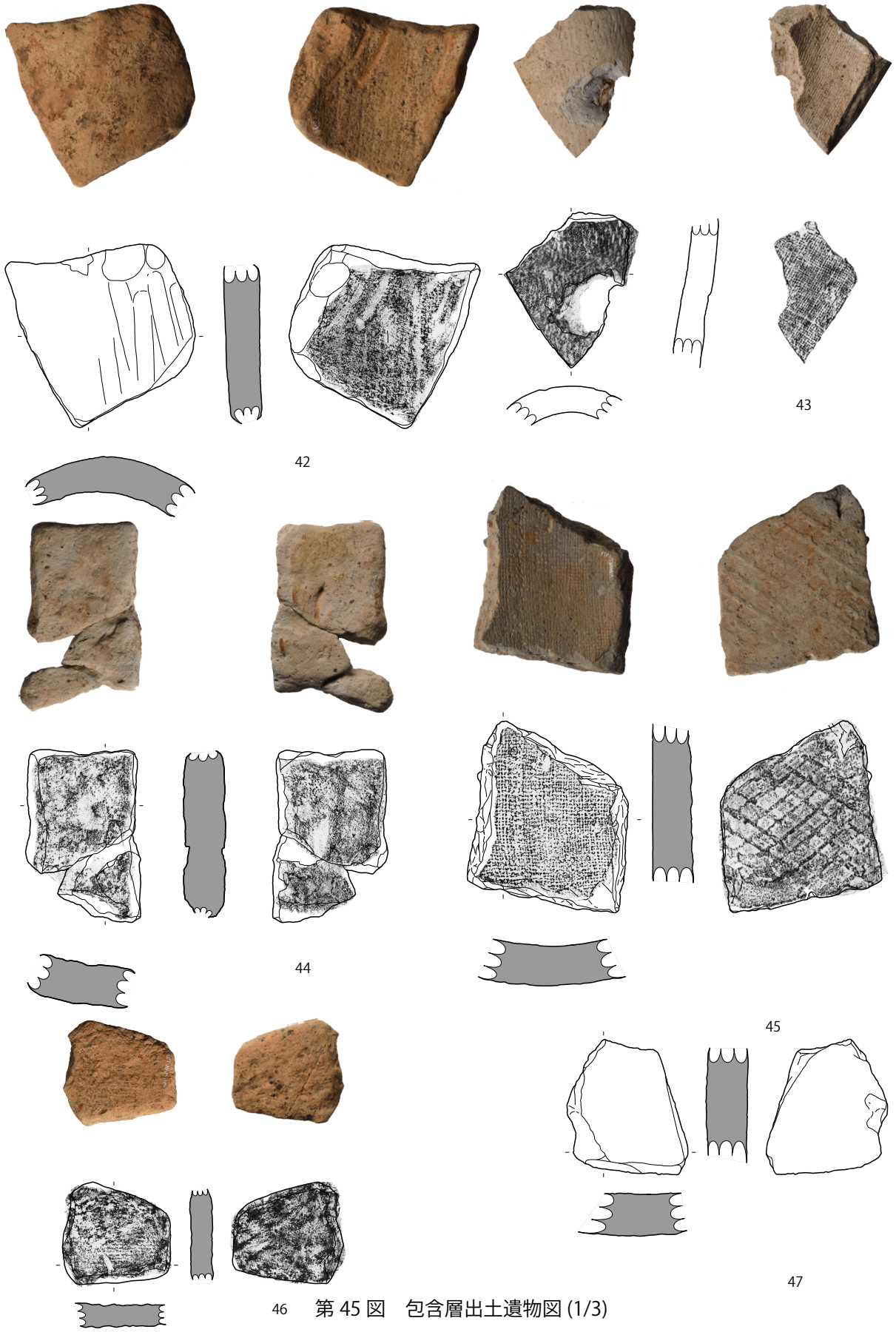
第 42 図　包含層出土遺物図 (1/3)



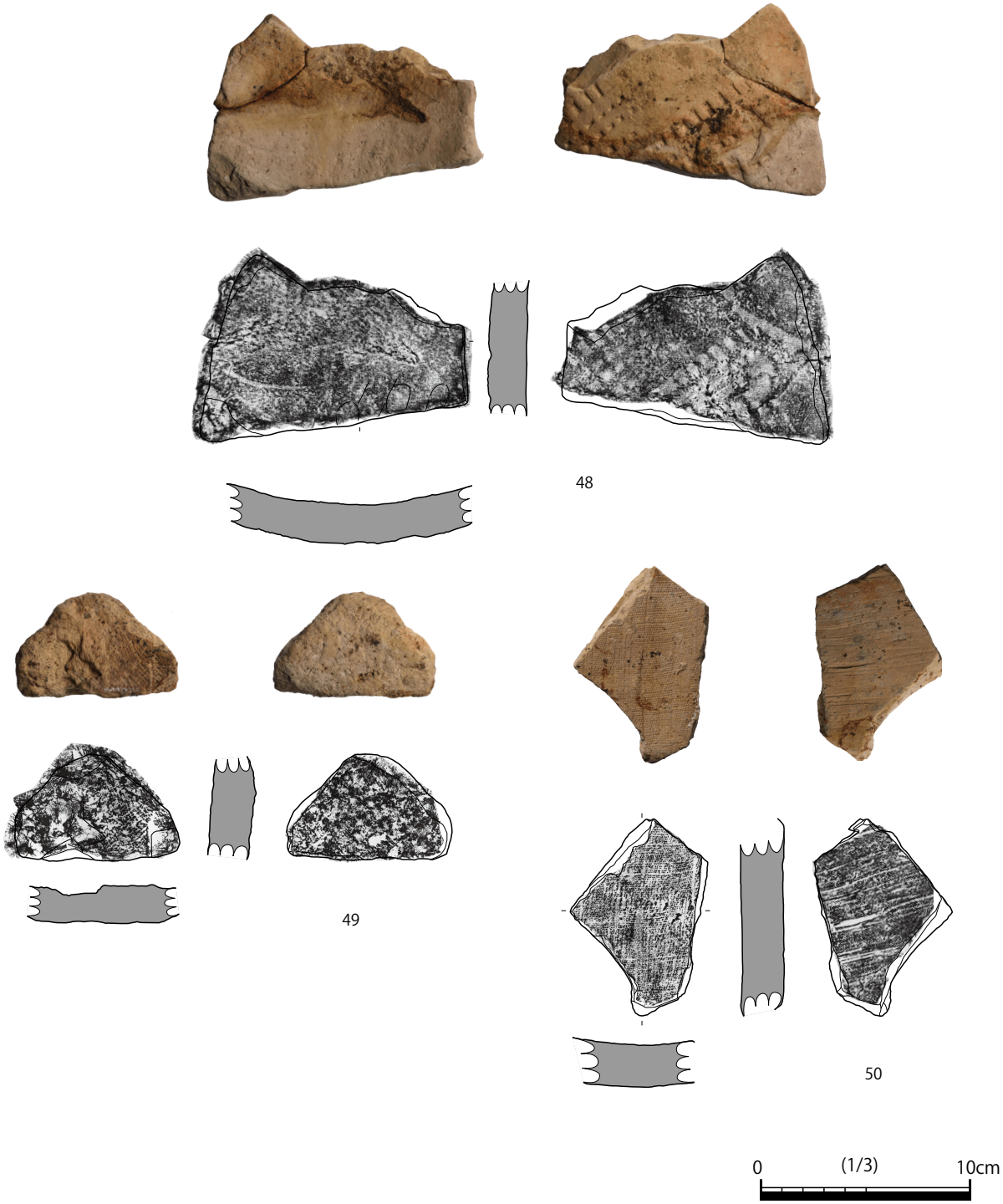
第 43 図　包含層出土遺物図 (1/3)



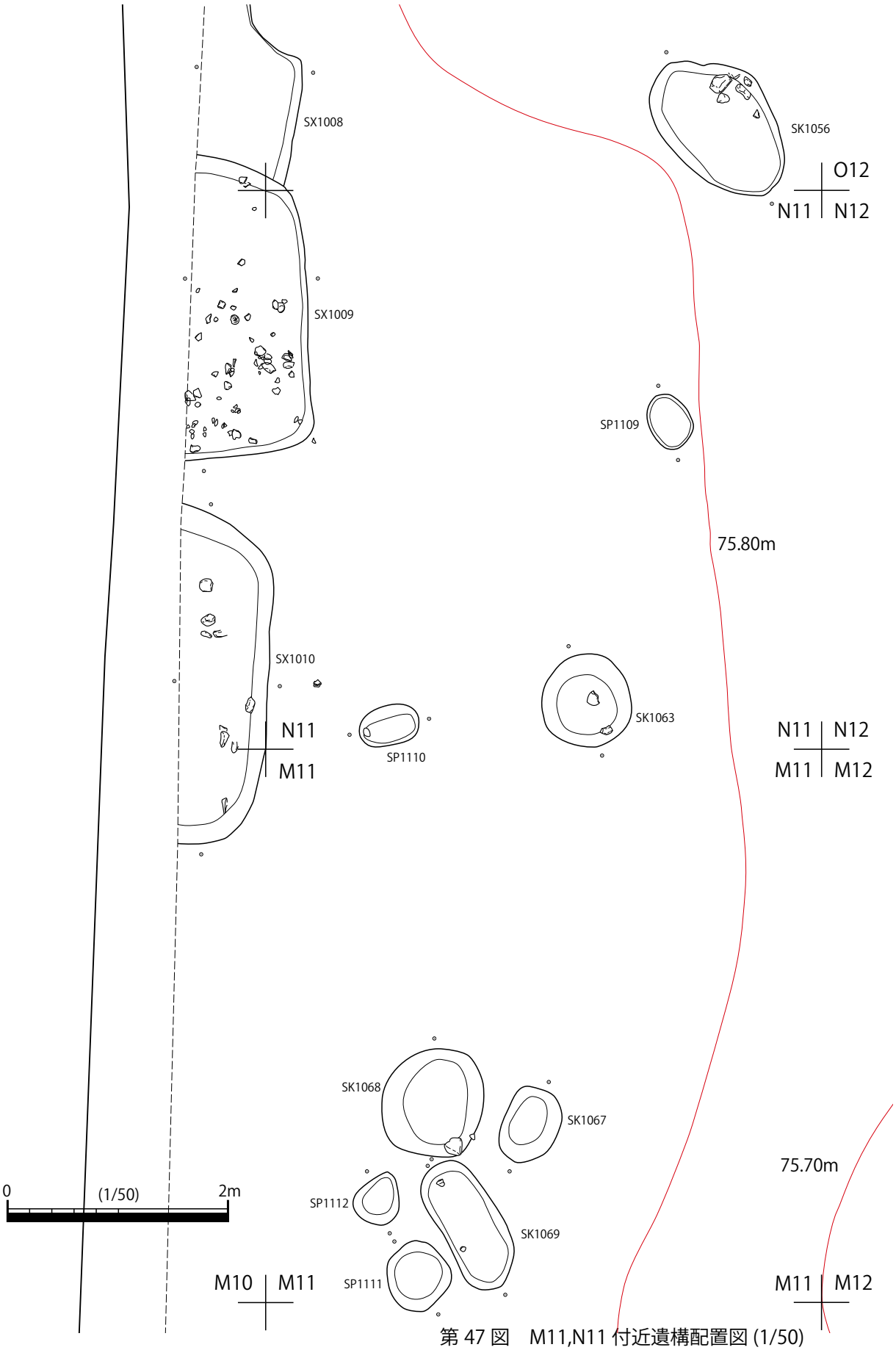
第 44 図　包含層出土遺物図 (1/3)



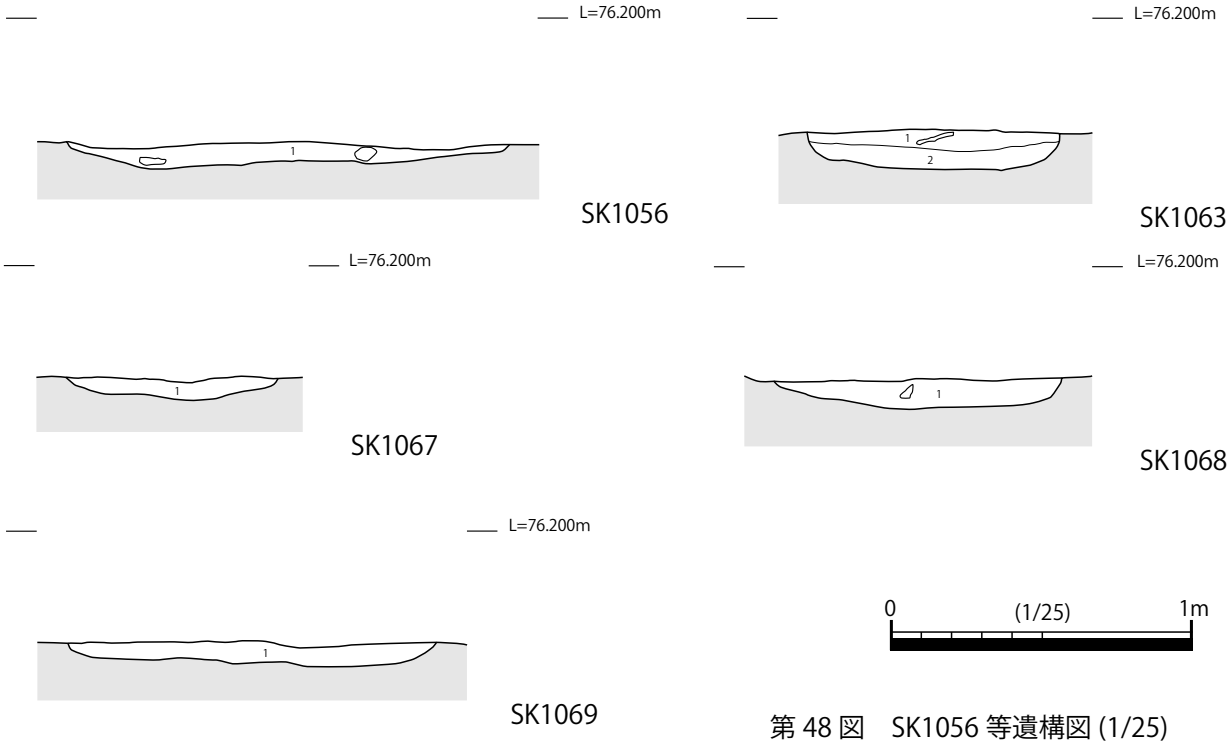
第 45 図　包含層出土遺物図 (1/3)



第 46 図　包含層出土遺物図 (1/3)



第 47 図　M11,N11 付近遺構配置図 (1/50)

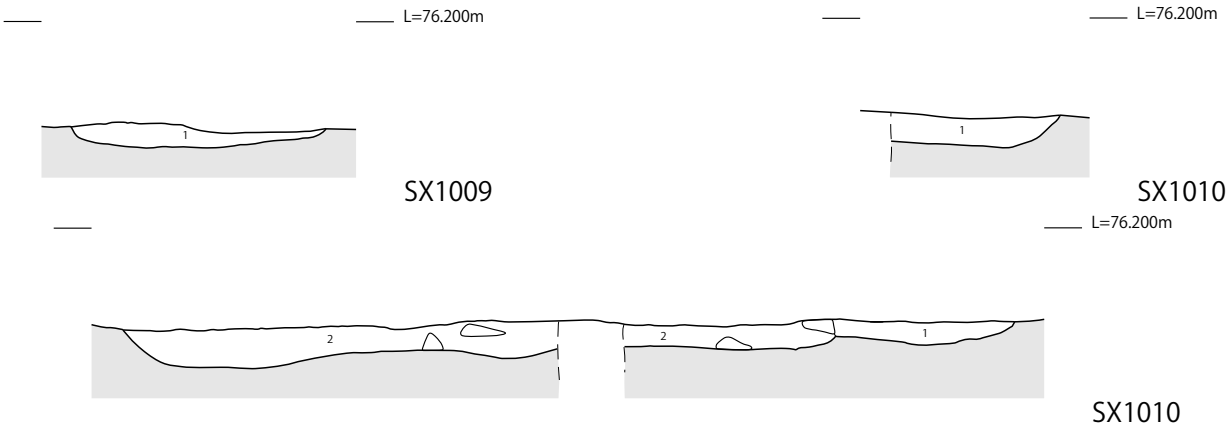


第 48 図　SK1056 等遺構図 (1/25)

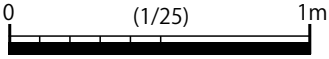
第 20 表　SK1056,1063,1067~1069 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1056	O-11	楕円形	舟底形	98	146	8	N-41.25°-W	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む）底から径 10cm を超える円礫が出土
SK	1063	M-11	円形	舟底形	85	82	13	N-19.75°-E	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =10cm 程度の土師質土器を含む） 2：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SK	1067	M-11	楕円形	舟底形	124	54	6	N-29.50°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =3mm 程度の炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SK	1068	M-11	円形	舟底形	96	90	10	N-46.50°-E	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む）
SK	1069	M-11	楕円形	皿形	124	53	7	N-28.75°-W	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）

第 49 図　SP1109,1110 遺構図 (1/25)

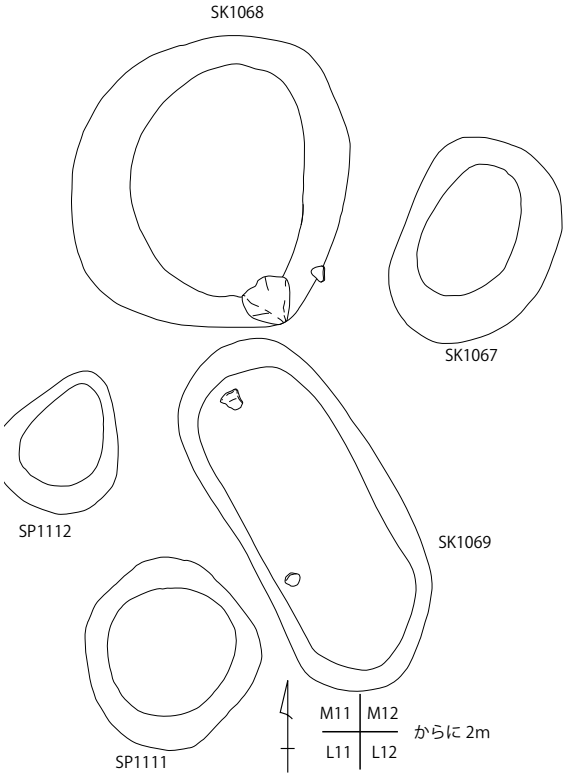


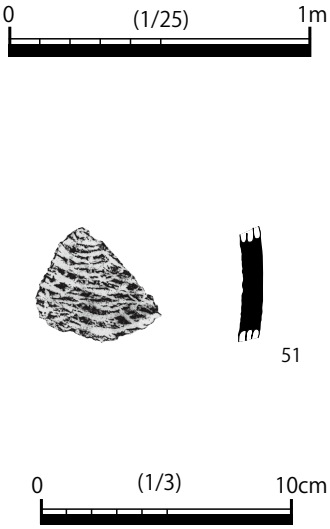
第 50 図　SX1009,1010 遺構図 (1/25)



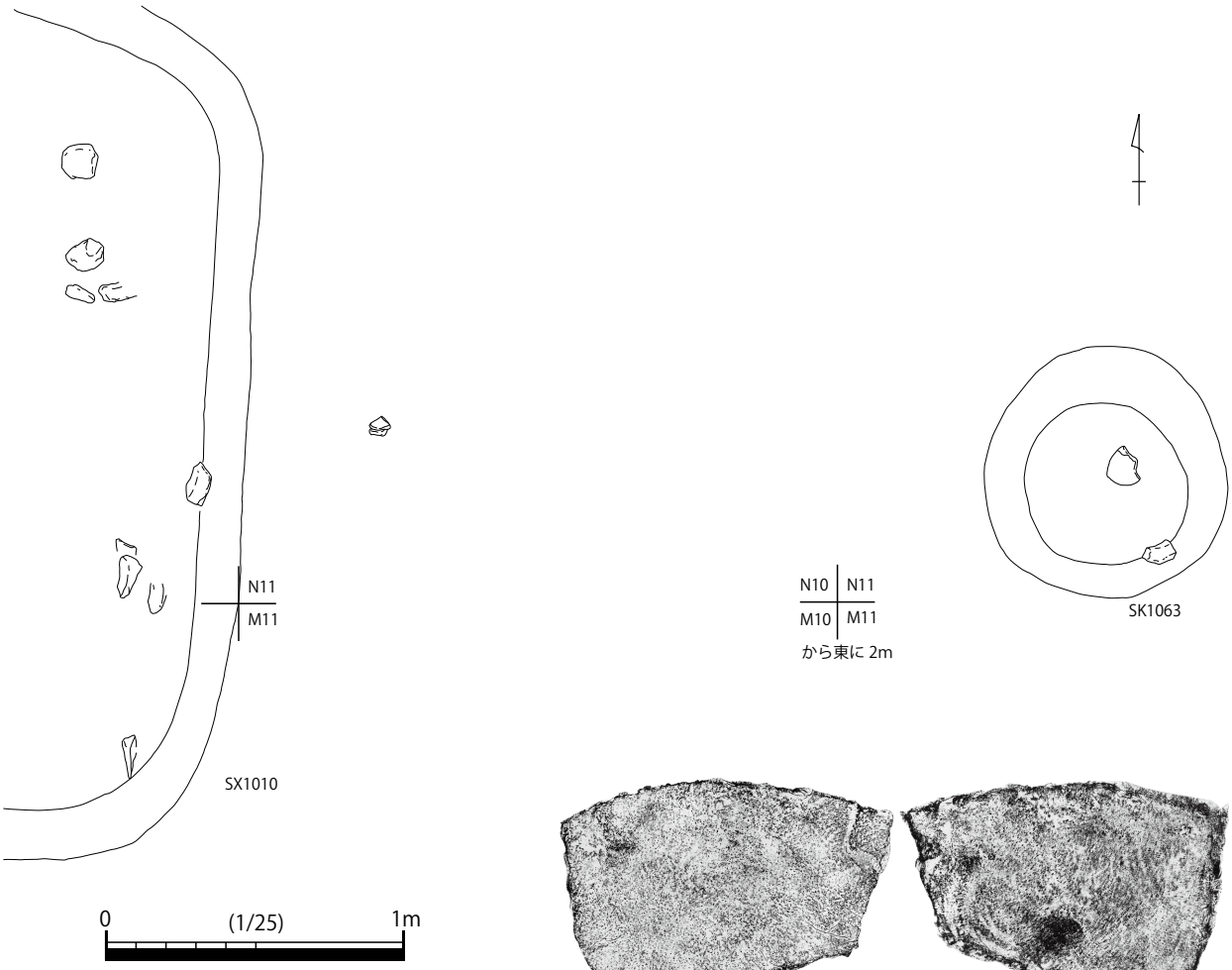
第 21 表　SP1109,1110,SX1009,1010 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1109	N-11	楕円形	皿形	50	37	6	1：褐灰色 10YR4/1　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の炭化物を含む　径 =2cm 程度の円礫を多量に含む）
SP	1110	N-10	楕円形	舟底形	54	34	10	1：にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2cm 程度の円礫を少量含む） 2：にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む）
SX	1009	O.N-10.11	不整形	皿形	275	（115）	6	1：にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む） 底から須恵質・土師質土器片が多量に出土。土器の廃棄場？
SX	1010	N 10.11	不整形	皿形	304	（85）	13	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =5mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =3mm 程度の炭化物を含む　径 =8cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2cm 程度の円礫を多量に含む）

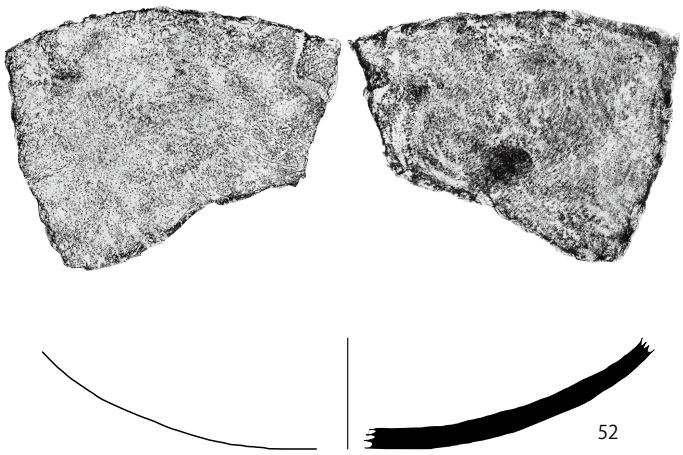




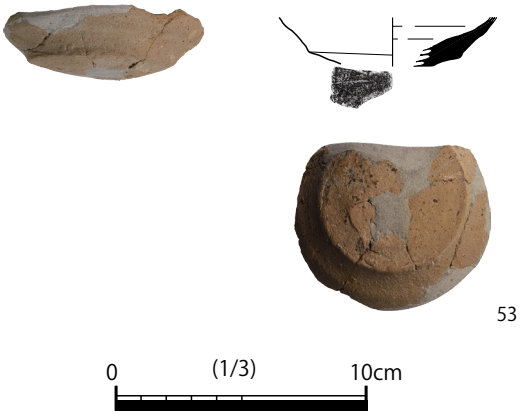
第 51 図　SK1068 遺構図 (1/25)・出土遺物図 (1/3)



第 52 図　SX1010,SK1063 遺構図 (1/25)



第 53 図　SK1063 出土遺物図 (1/3)



第 54 図　SX1010 出土遺物図 (1/3)

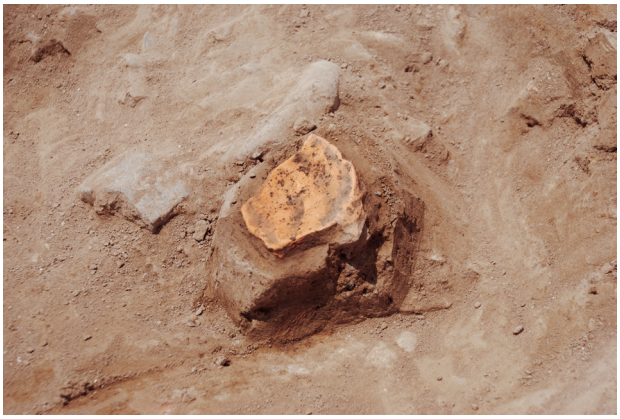
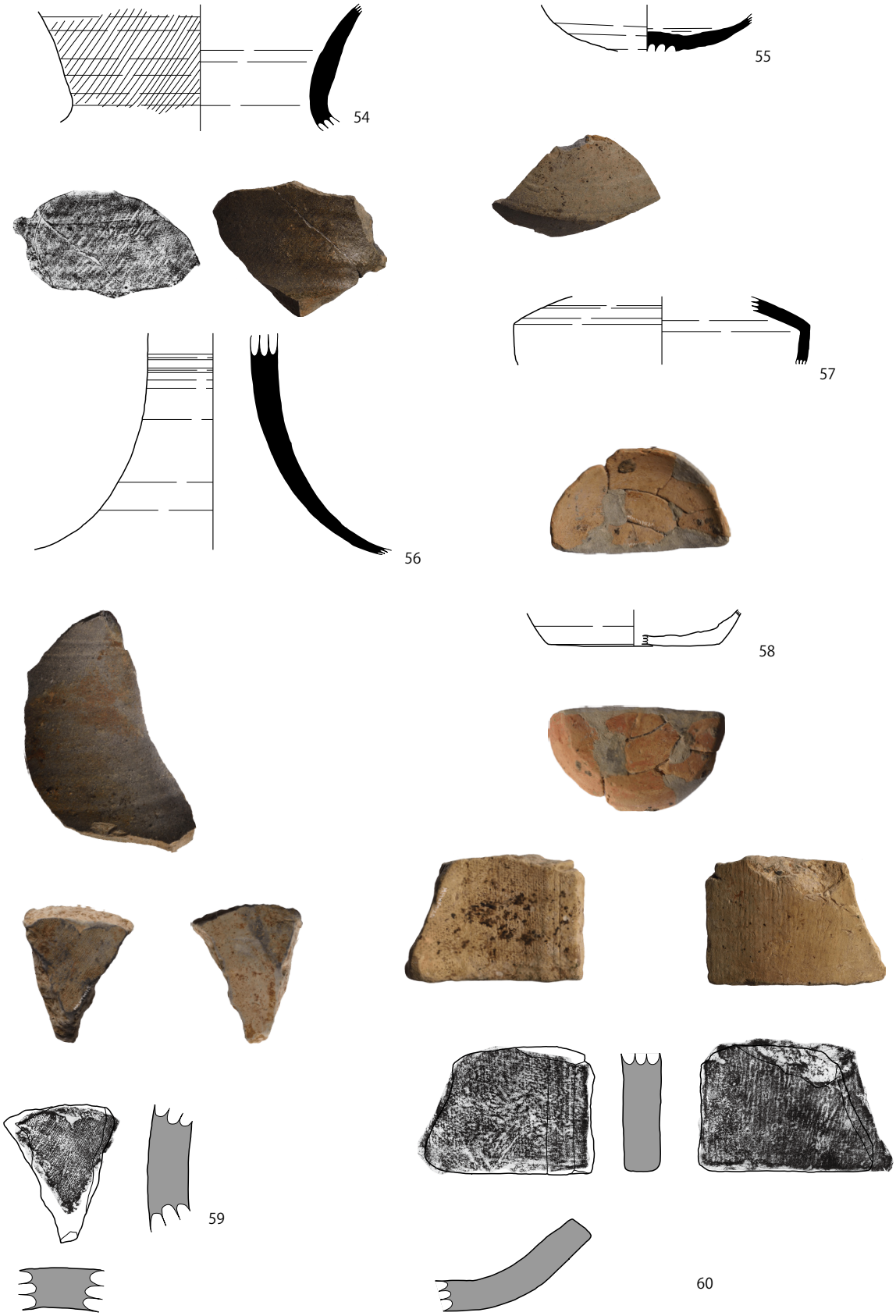
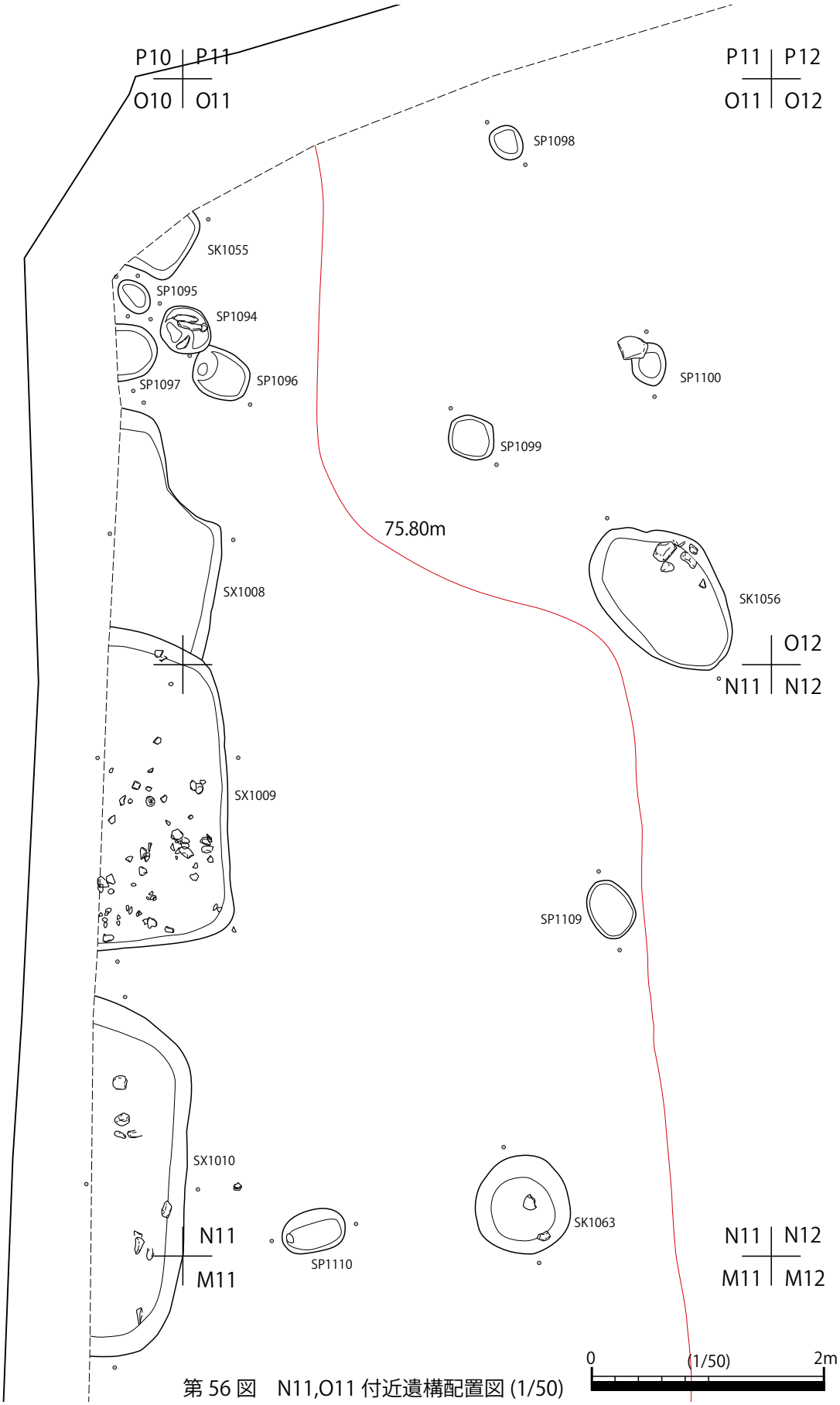


写真 20　SX1010 遺物出土状況



第 55 図 包含層出土遺物図 (1/3)

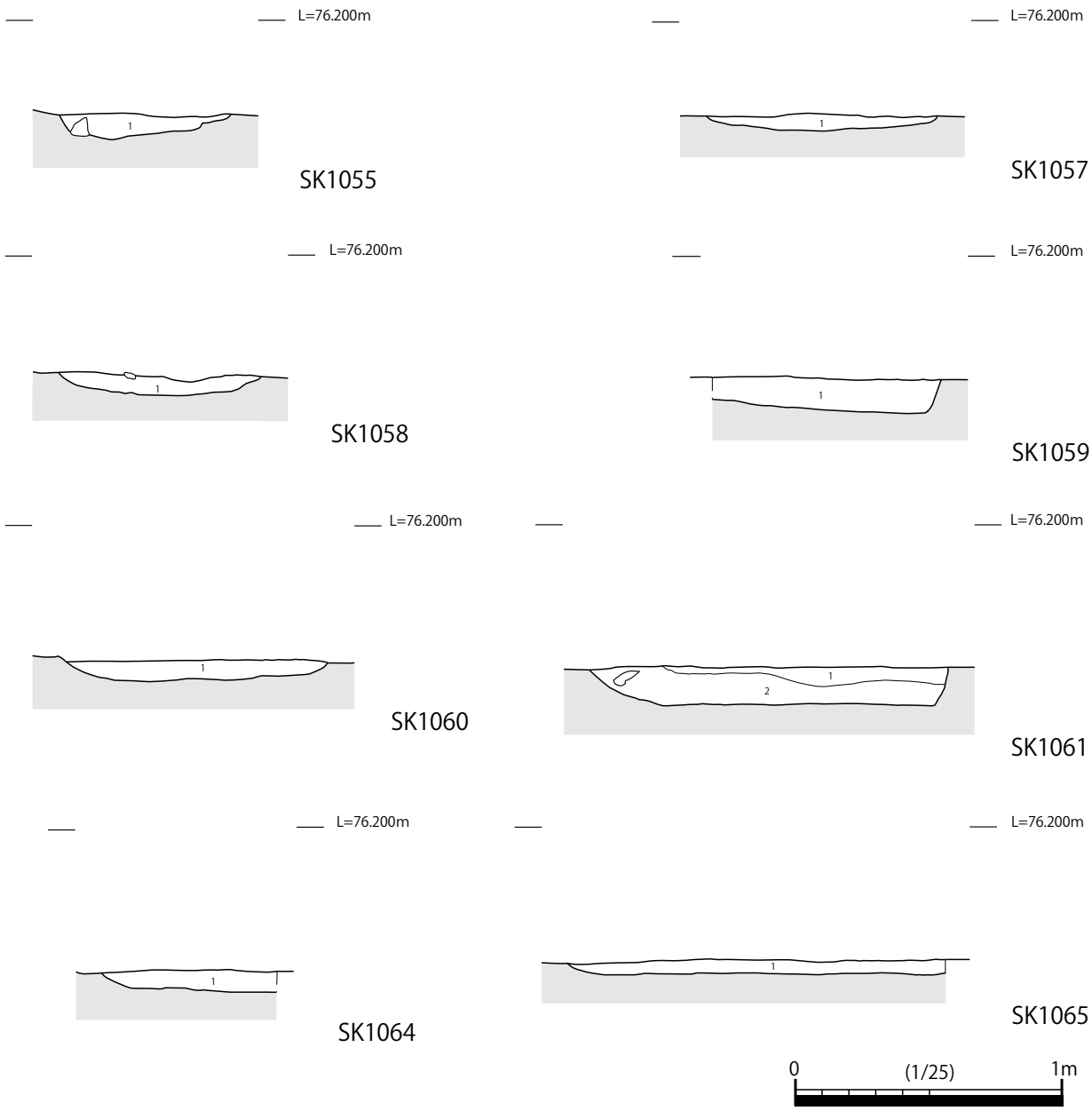


第 56 図　N11,O11 付近遺構配置図 (1/50)

第 57 図　SD1005 遺構図 (1/25)

第 22 表　SD1005 遺構計測表

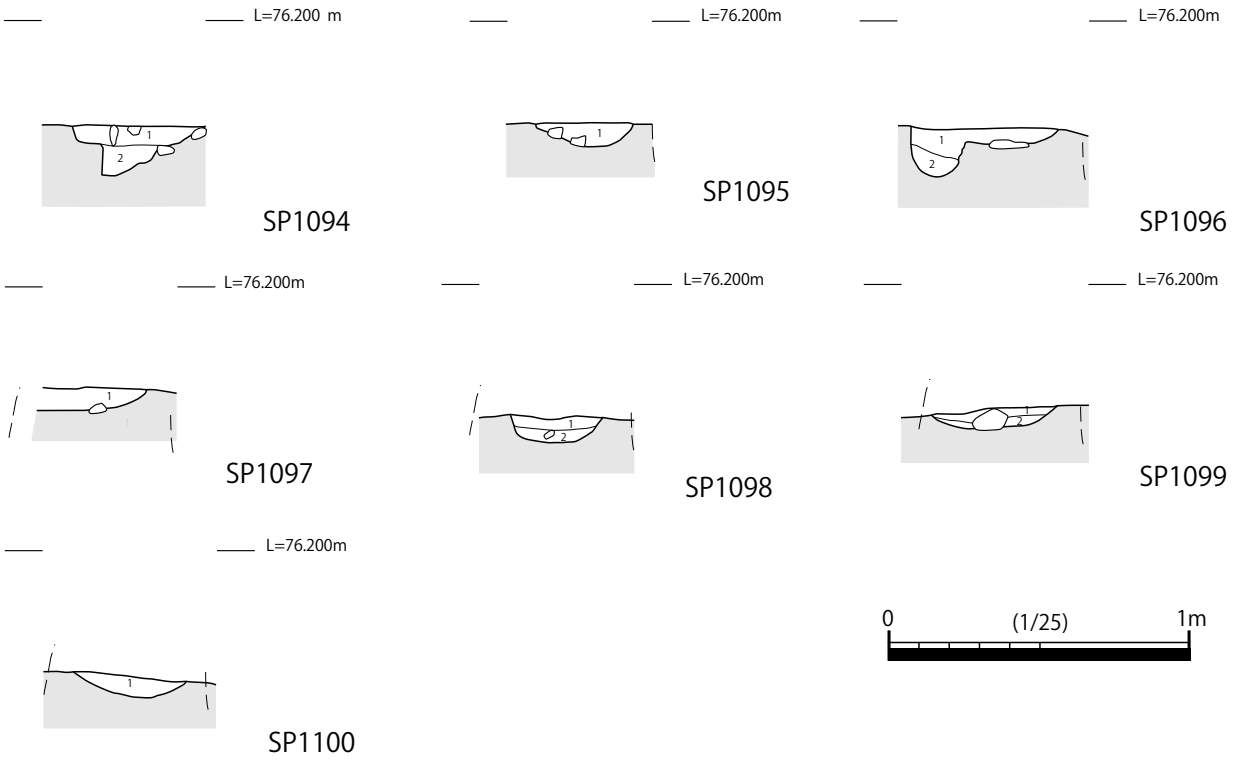
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SD	1005	N.O-12	不整形	舟底形	（215）	37	8	N-76.25°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1cm 程度の円礫を多量に含む）



第 58 図　SK1055 ～ 1065 遺構図 (1/25)

第 23 表　SK1055 ～ 1065 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1055	O-10,11	不整形	舟底形	（73）	（30）	10	N-51.25°-E	1:にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =5cm 程度の円礫を含む）
SK	1057	O-12	不整形	舟底形	84	59	6	N-19.00°-W	1:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =1cm 程度の炭化物を含む）
SK	1058	N-12	円形	舟底形	74	62	7	N-20.50°-W	1:にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む） 上面に 3cm 程度の土師質土器が出土
SK	1059	N-12	不整形	皿形	104	100	13	N-39.25°-W	1:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =1cm 程度の炭化物を含む　径 =6cm 程度の円礫を多量に含む）
SK	1060	O-12	不整形	皿形	100	63	7	N-62.50°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =5cm 程度の円礫を多量に含む）
SK	1061	P-13	長方形	舟底形	132	113	15	N-87.00°-E	1:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =4cm 程度の円礫を多量に含む）
SK	1064	N-13	楕円形	皿形	91	60	8	N-47.75°-W	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む）
SK	1065	N-13	楕円形	皿形	157	12	5	N-16.50°-W	1:にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =1cm 程度の円礫を少量含む）



第 59 図　SP1094 ～ 1100 遺構図 (1/25)

第 24 表　SP1094 ～ 1100 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1094	O-10 11	楕円形	二段形	46	38	18	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒含む　径 =4cm 程度の円礫を含む）　2 層より砂性が強い 2：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =10cm 程度の円礫を含む）
SP	1095	O-10	楕円形	皿形	32	21	8	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む）
SP	1096	O-11	長方形	二段形	50	40	16	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =10cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =10cm 程度の円礫を含む　1 層より砂性が強い）
SP	1097	O-10	不整形	舟底形	46	22	8	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SP	1098	O-11	楕円形	舟底形	30	26	8	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SP	1099	O-11	長方形	舟底形	44	42	6	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =10cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =10cm 程度の円礫を含む）　1 層より砂性が強い
SP	1100	O-11	不整形	皿形	34	30	7	1:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径=1mm 程度の鉄分､マンガン粒を含む）

SX1008

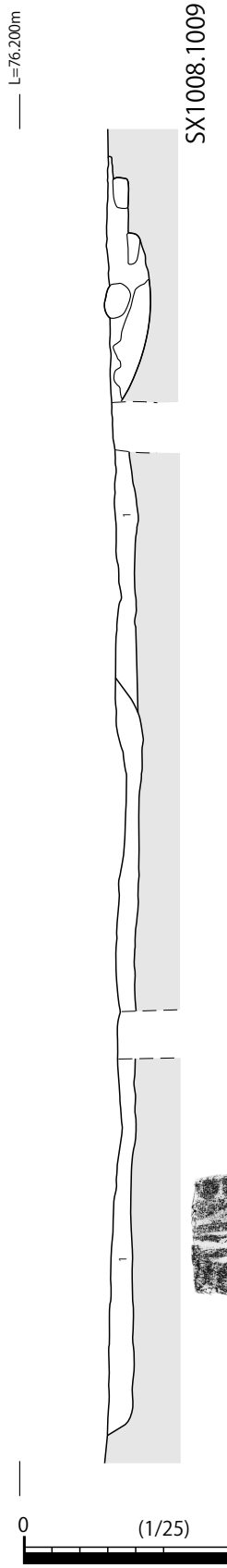
第 60 図　SX1008 遺構図 (1/25)

第 25 表　SX1008,1009 遺構計測表

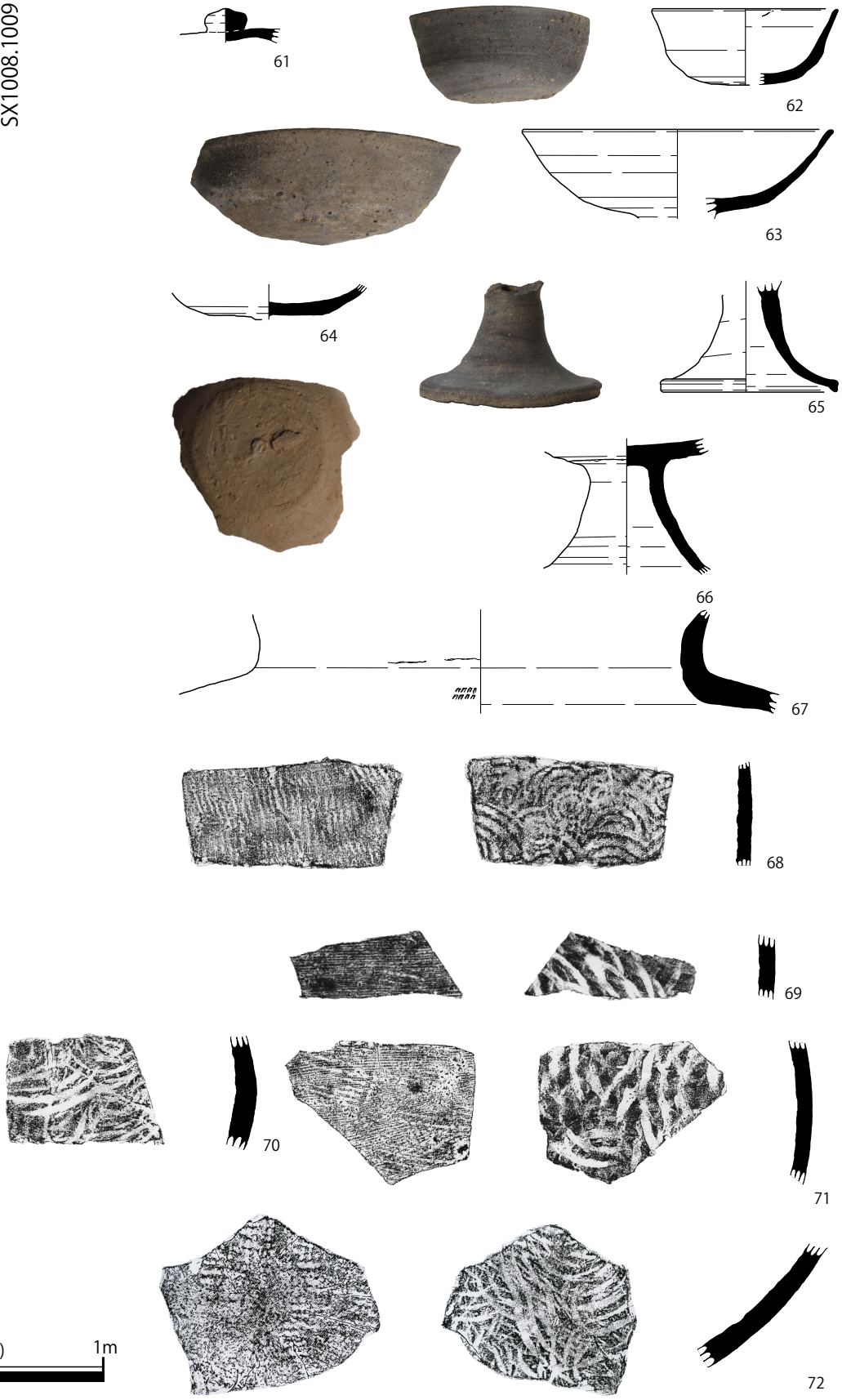
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SX	1008	O-10 11	不整形	皿形	187	（91）	8	1：にぶい黄褐色 10YR5/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =10cm 程度の円礫を含む）
SX	1009	O.N-10.11	不整形	皿形	275	（115）	6	1：にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む） 底から須恵質・土師質土器片が多量に出土。土器の廃棄場？

写真 21　SX1009 全景及び遺物出土状況

写真 22　SX1009 遺物出土状況



第 61 図　SX1009 遺構図 (1/25)

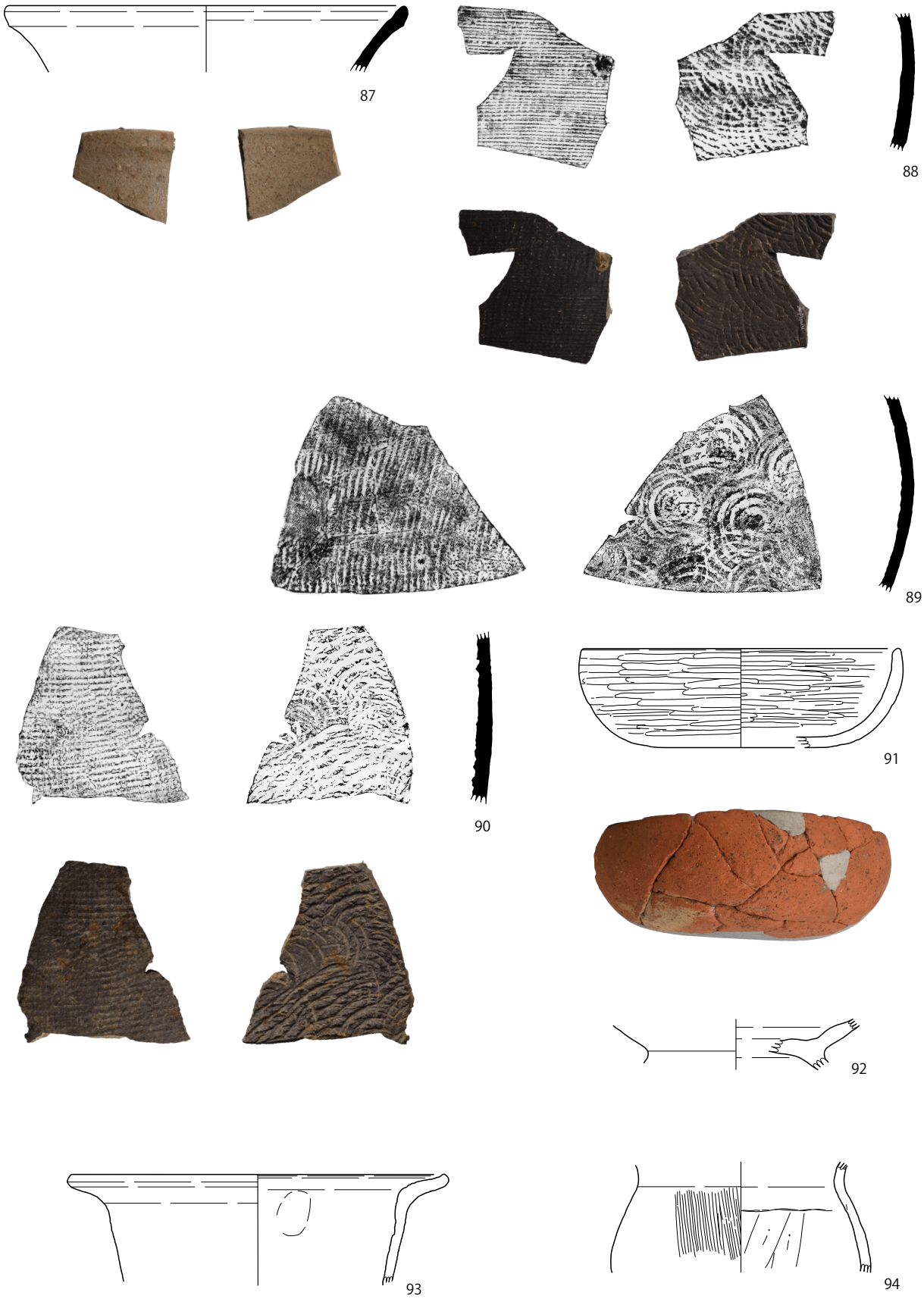


第 62 図　SX1009 出土遺物図 (1/3)

0　(1/3)　10cm

0 (1/3) 10cm

第 63 図　SX1009 出土遺物図 (1/3)



第 64 図　SX1009，包含層出土遺物図 (1/3)

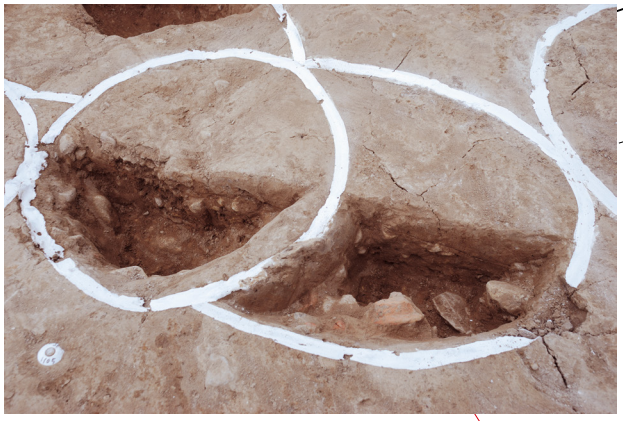
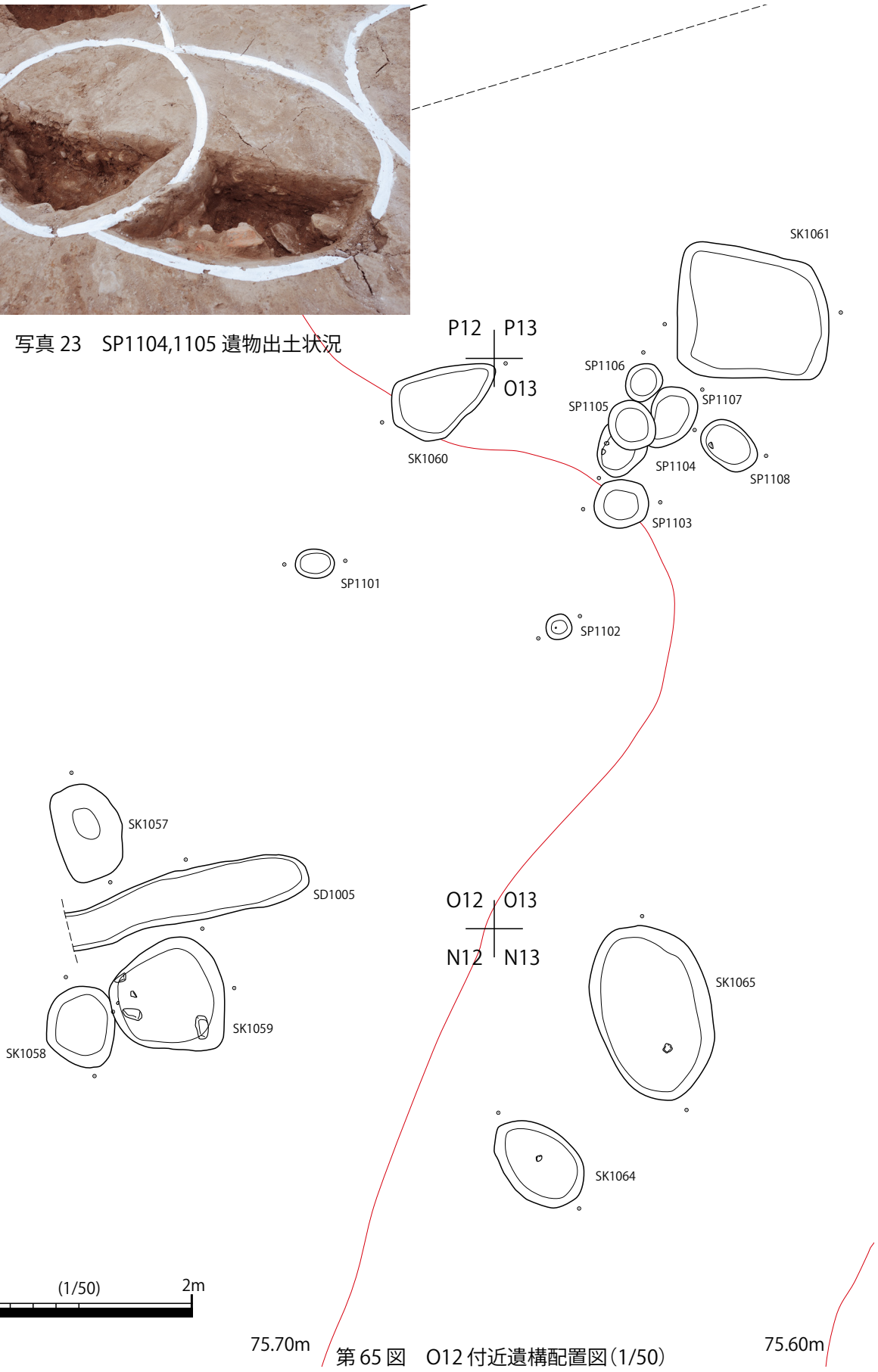
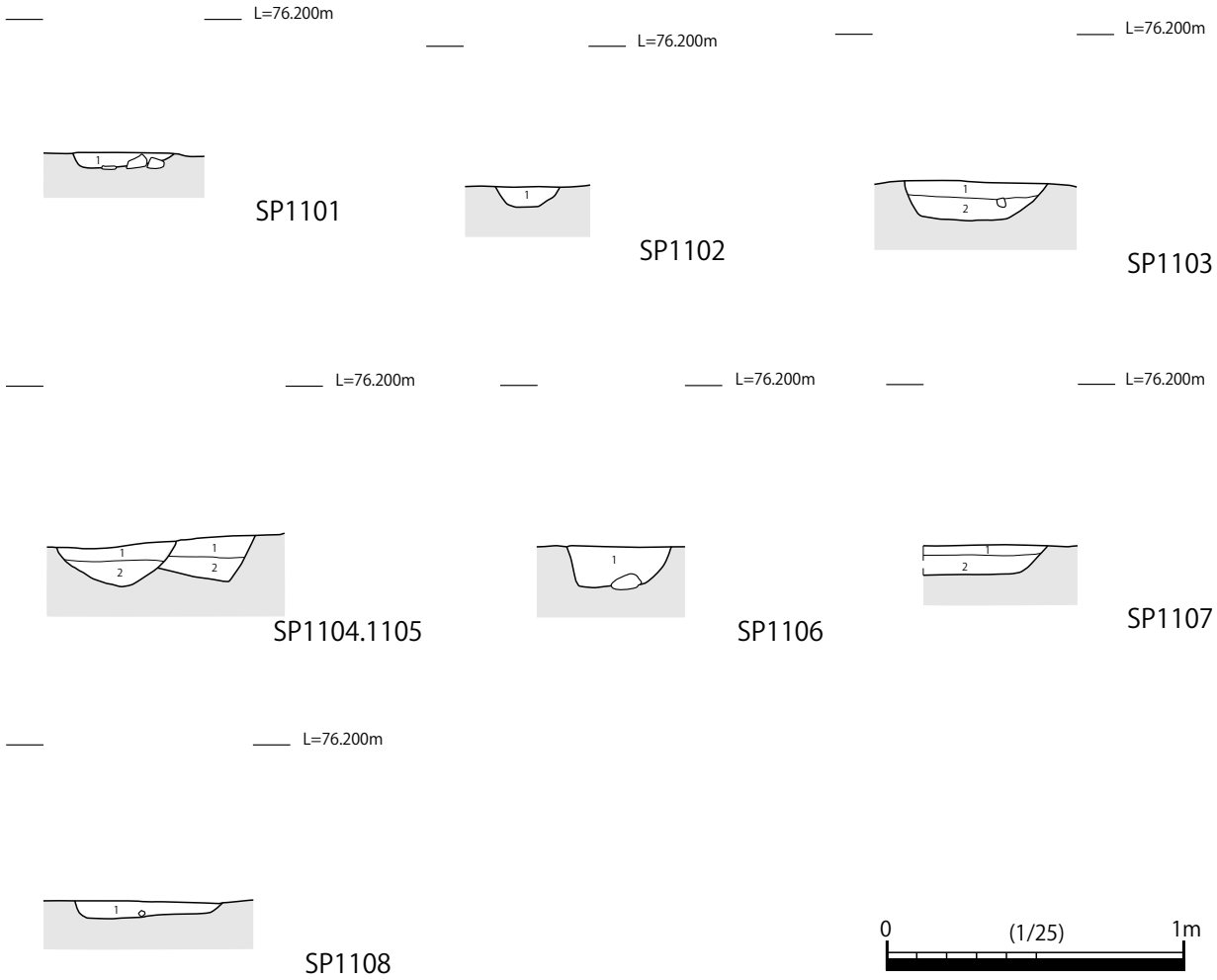


写真 23　SP1104,1105 遺物出土状況



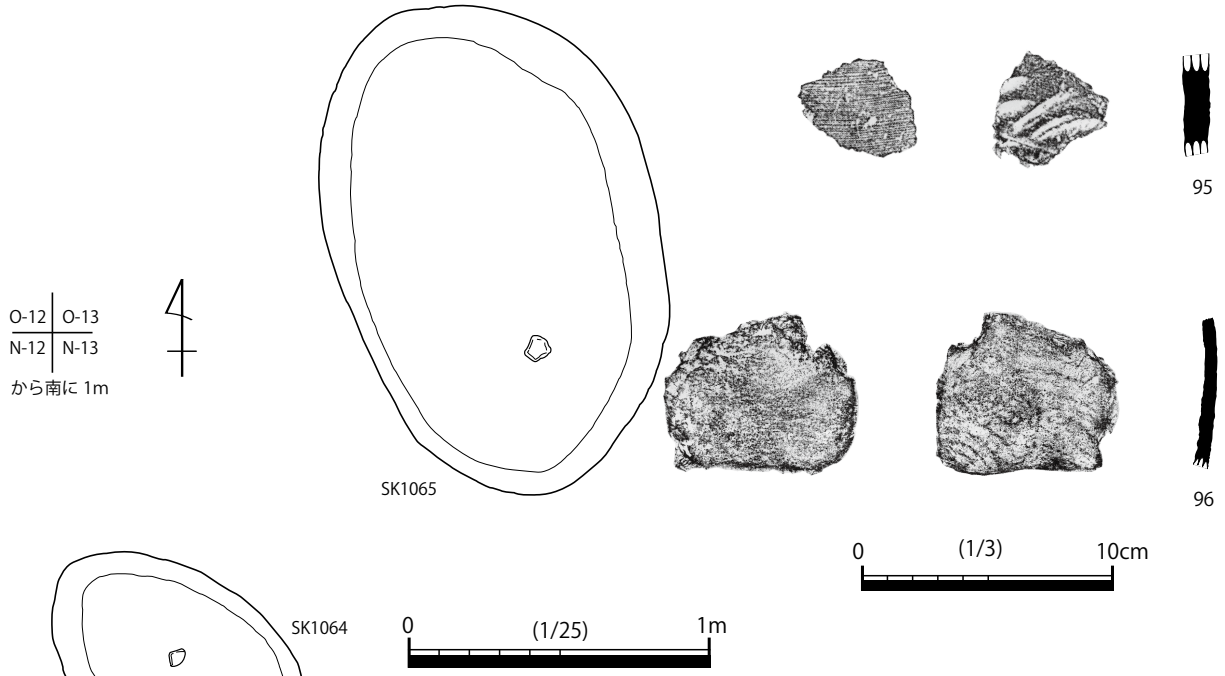
第 65 図　O12 付近遺構配置図（1/50）



第 66 図　SP1101 ～ 1108 遺構図 (1/25)

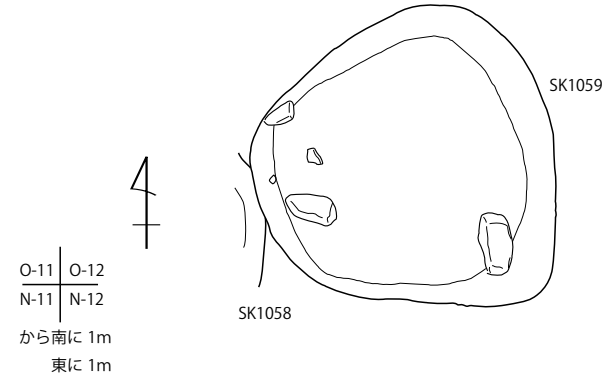
第 26 表　SP1101 ～ 1108 遺構計測表

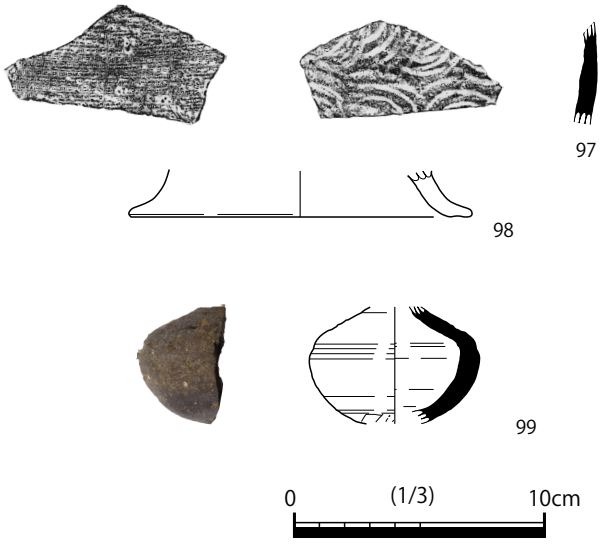
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1101	O-12	楕円形	皿形	33	26	6	1:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）底から径 =5cm 程度の円礫が多量に出土　底から径 =4cm 程度の土師質土器片が出土
SP	1102	O-13	円形	舟底形	24	22	7	1:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）
SP	1103	O-13	円形	舟底形	49	44	12	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SP	1104	O-13	不整形	逆台形	39	（22）	16	1：にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）　2:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2cm 程度の円礫を多量に含む）
SP	1105	O-13	円形	丸底形	46	39	12	1：にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3cm 程度の円礫を多量に含む）　1 層より砂性が強い
SP	1106	O-13	円形	舟底形	36	30	12	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =5cm 程度の円礫を多量に含む）
SP	1107	O-13	不整形	舟底形	54	40	10	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の炭化物を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3cm 程度の円礫を含む）上面に径 =1cm 程度の土師質土器片が出土
SP	1108	O-13	長方形	皿形	52	36	6	1：にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =2cm 程度の円礫を含む）底から径 =2cm 程度の須恵質土器片が出土

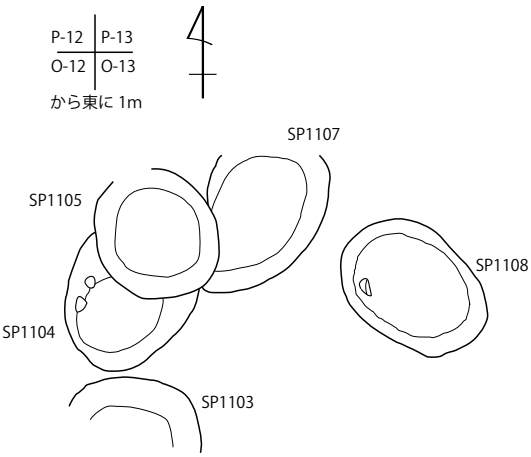


第 67 図　SK1064,1065 遺構図（1/25）出土遺物図（1/3）

写真 24　SK1059 完掘状況

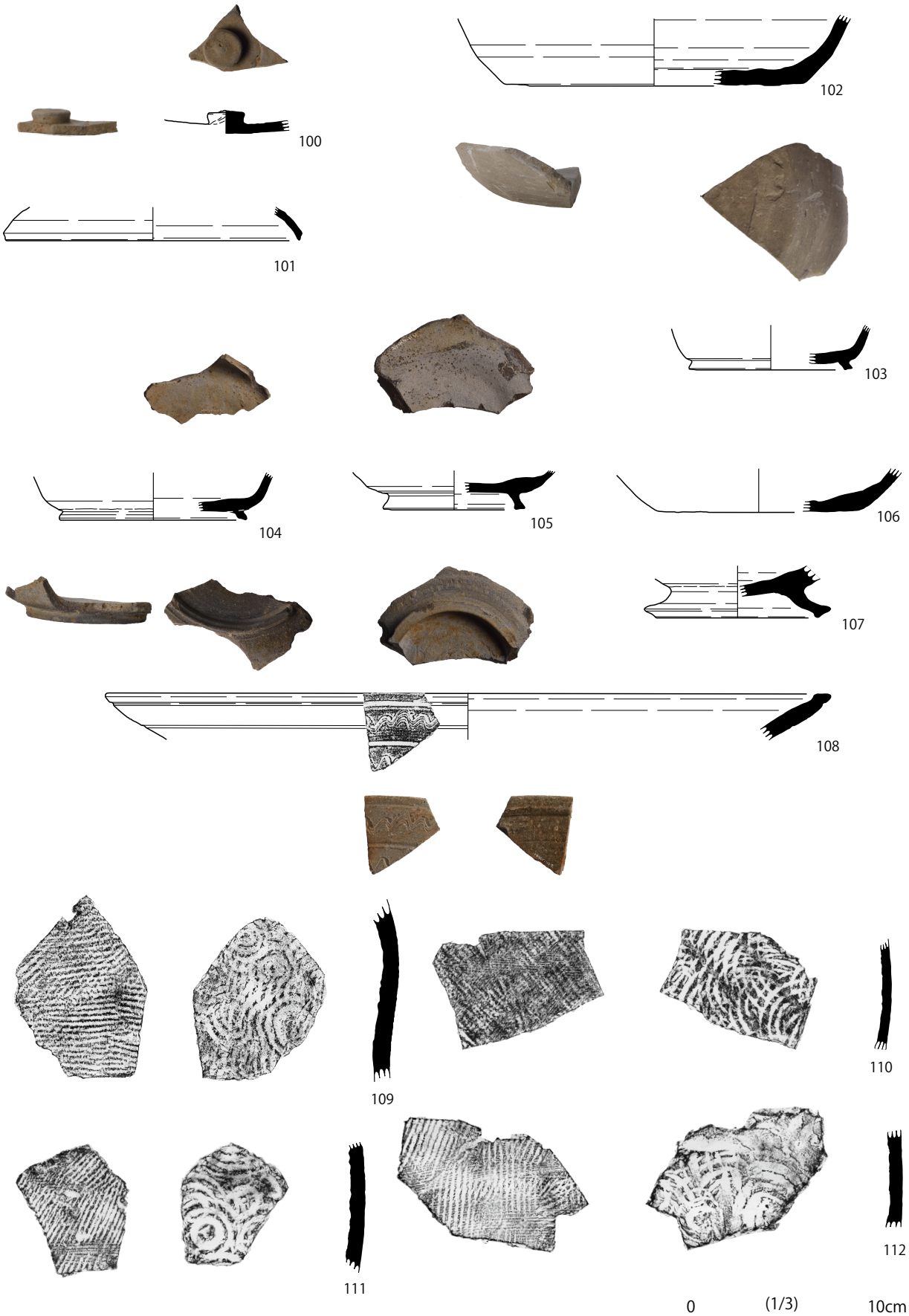




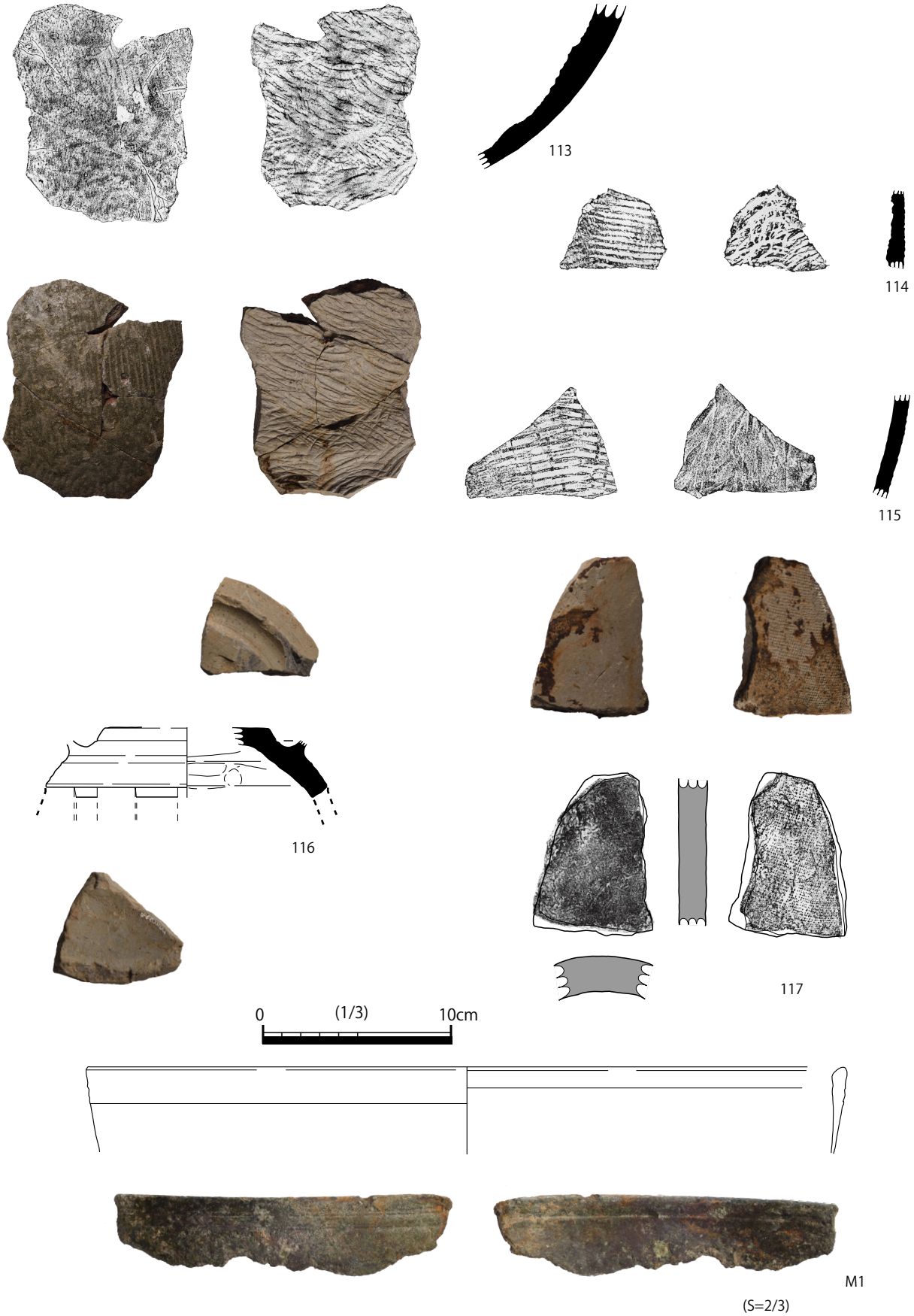


第 69 図　付近 SK,SP 遺構図 (1/25)

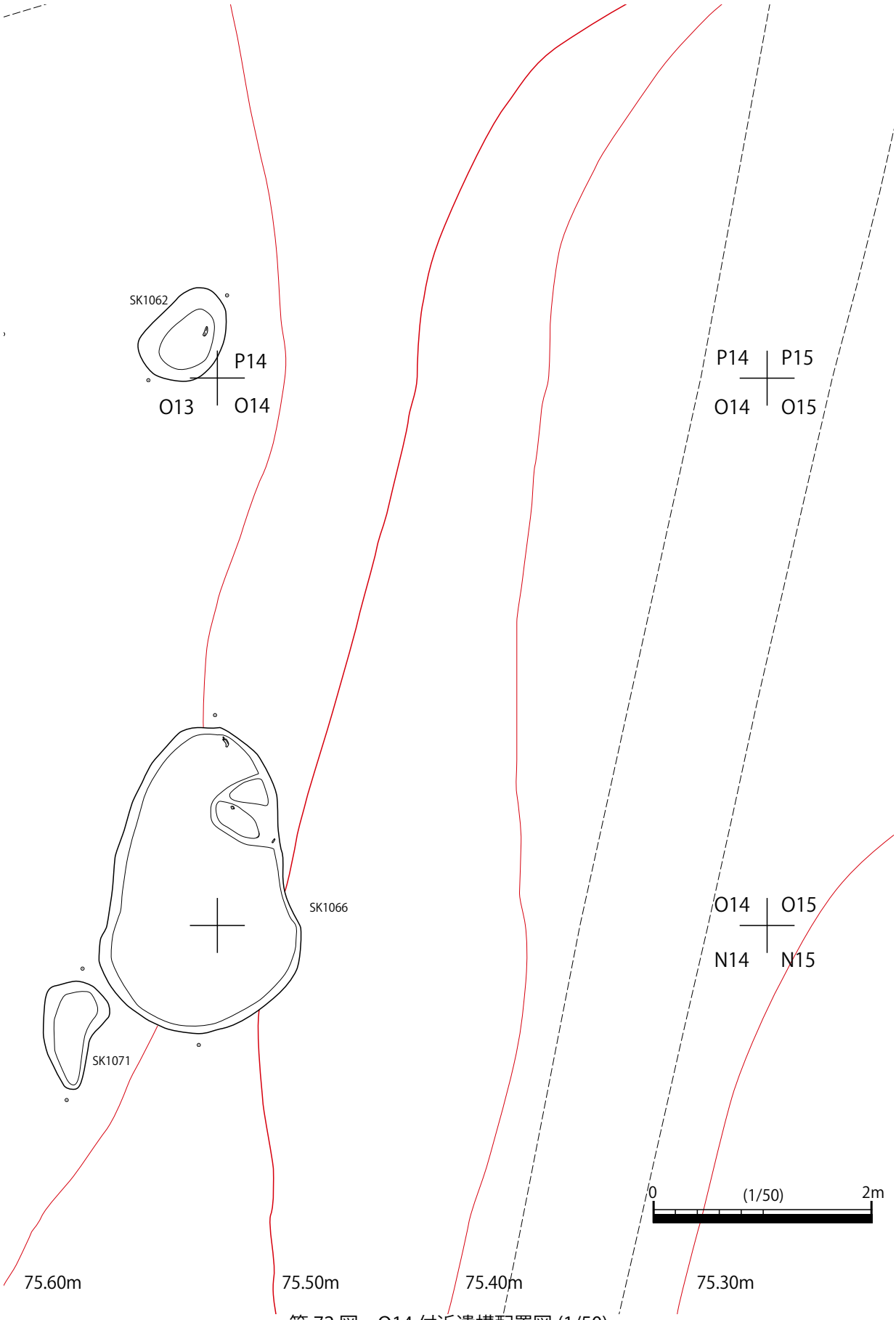
第 68 図　SK1059 遺構図 (1/25) 出土遺物図 (1/3)



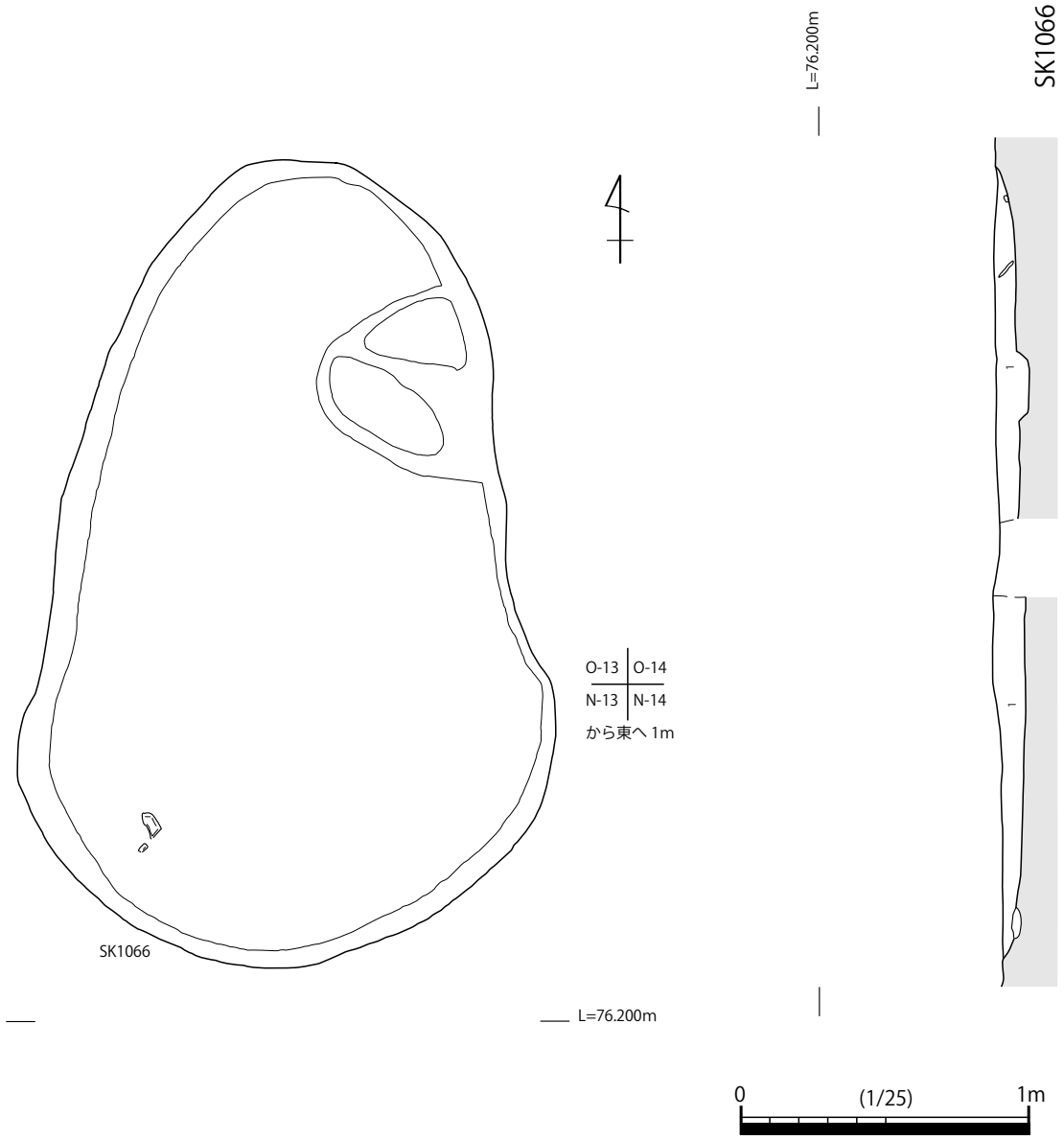
第 70 図　包含層出土遺物図 (1/3)



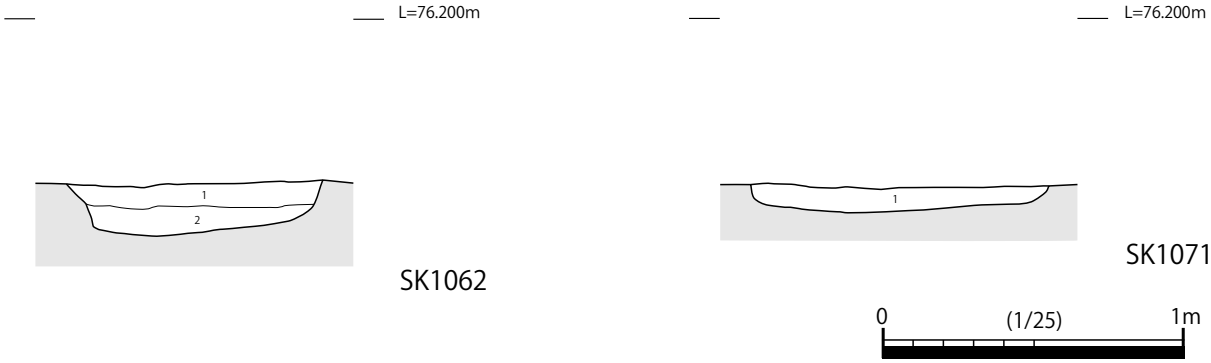
第 71 図　包含層出土遺物図 (1/3)



第 72 図　O14 付近遺構配置図 (1/50)



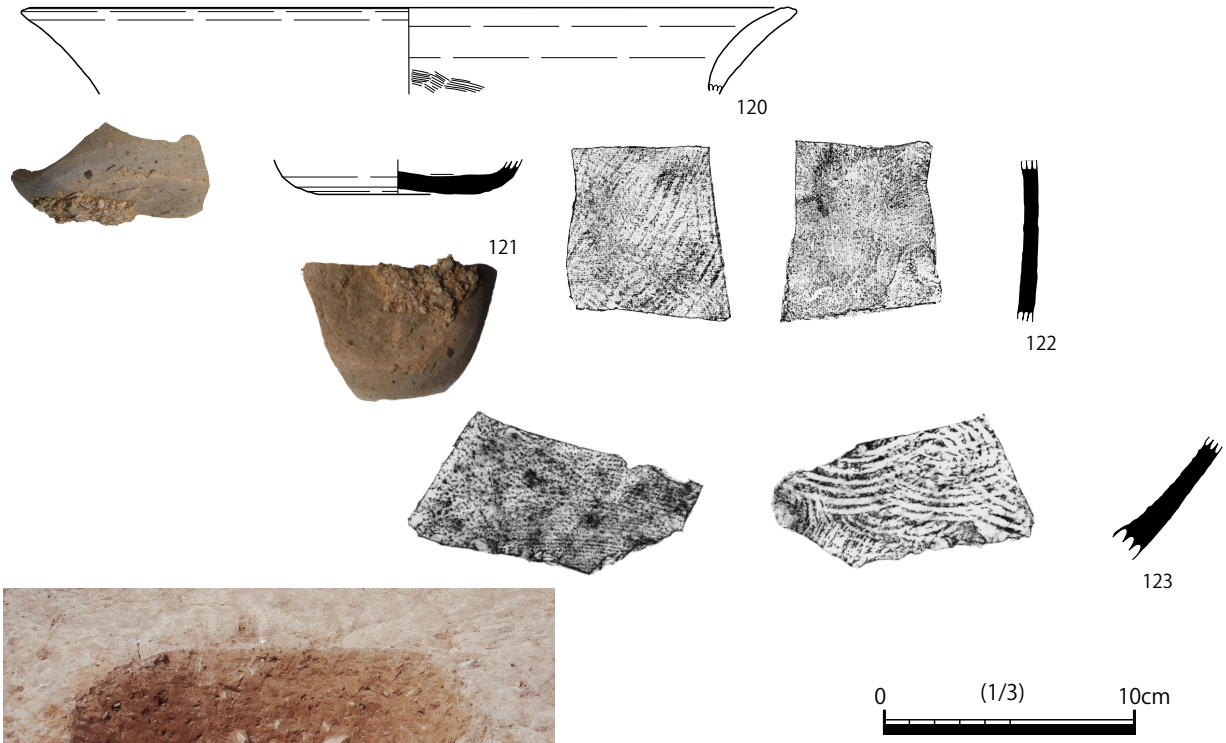
第 73 図　SK1066 遺構図 (1/25)、出土遺物図 (1/3)



第 74 図　SK1062,1071 遺構図（1/25）

第 27 表　SK1062,1066,1071 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1062	P-13	不整形	舟底形	91	65	17	N-40.00°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =5mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =5cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2cm 程度の円礫を少量含む）底から 8cm 程度の須恵質土器が出土
SK	1066	N.O-13.14	不整形	舟底形	278	184	12	N-2.25°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）底から土師質・須恵質土器が出土
SK	1071	N-13	不整形	皿形	100	60	9	N-3.00°-E	1：にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）底から 3cm 程度の土師質土器片が出土



第 75 図　包含層出土遺物図（1/3）

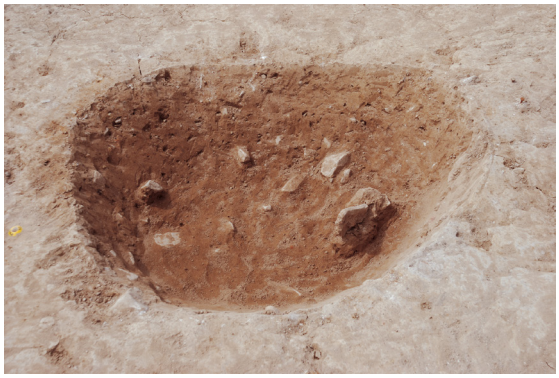
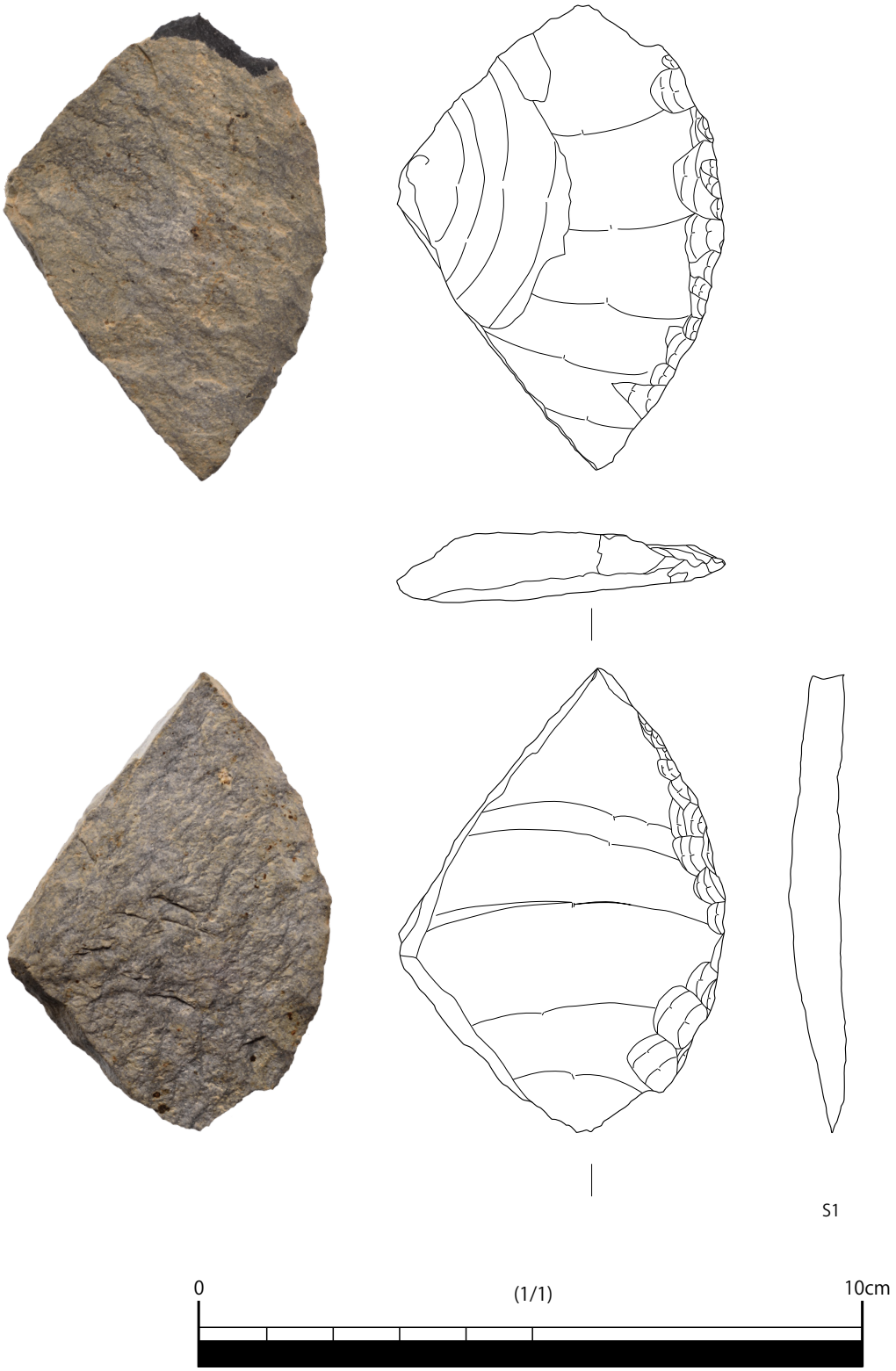
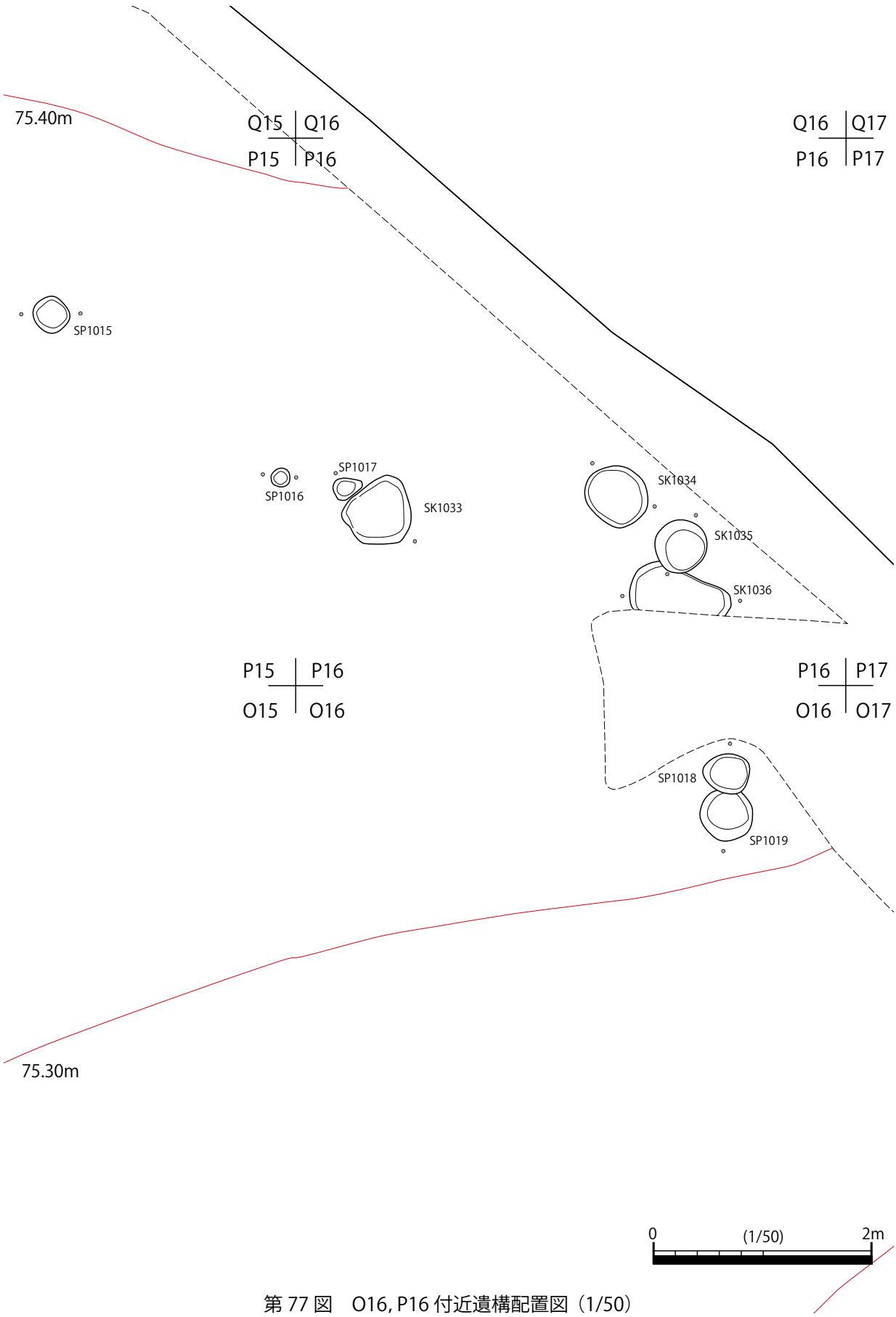


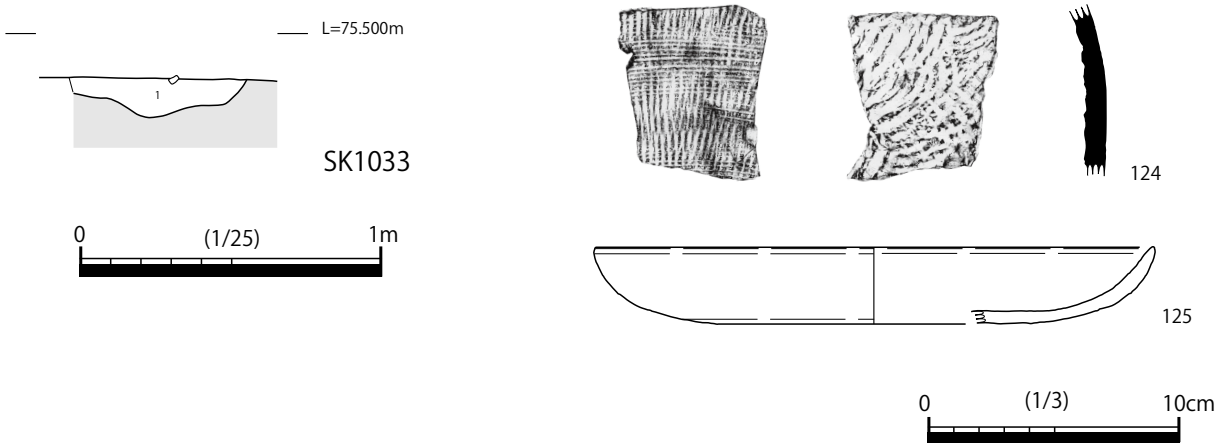
写真 25　SK1062 完掘状況



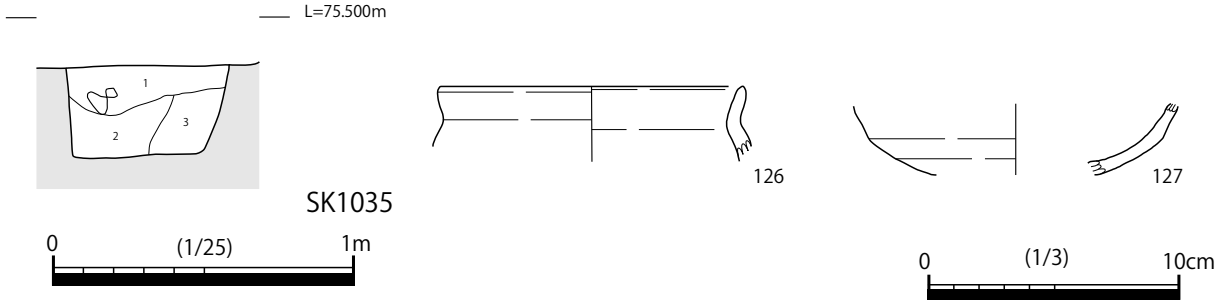
第76図　包含層出土遺物図（1/1）



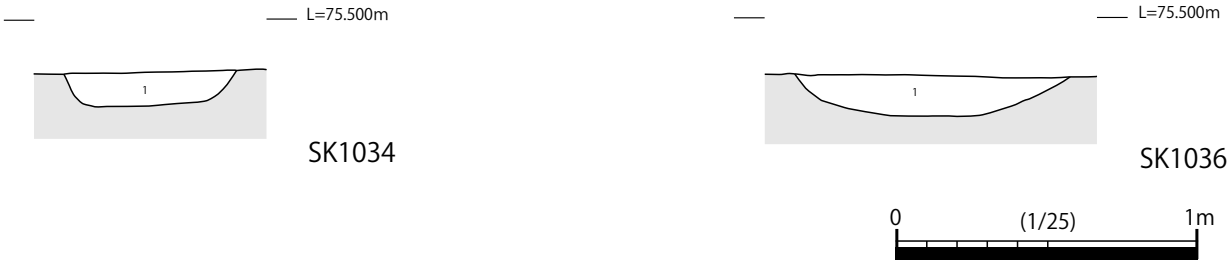
第 77 図　O16, P16 付近遺構配置図（1/50）



第 78 図　SK1033 遺構図（1/25）・出土遺物図（1/3）



第 79 図　SK1035 遺構図（1/25）出土遺物図（1/3）



第 80 図　SK1034, 1036 遺構図（1/25）

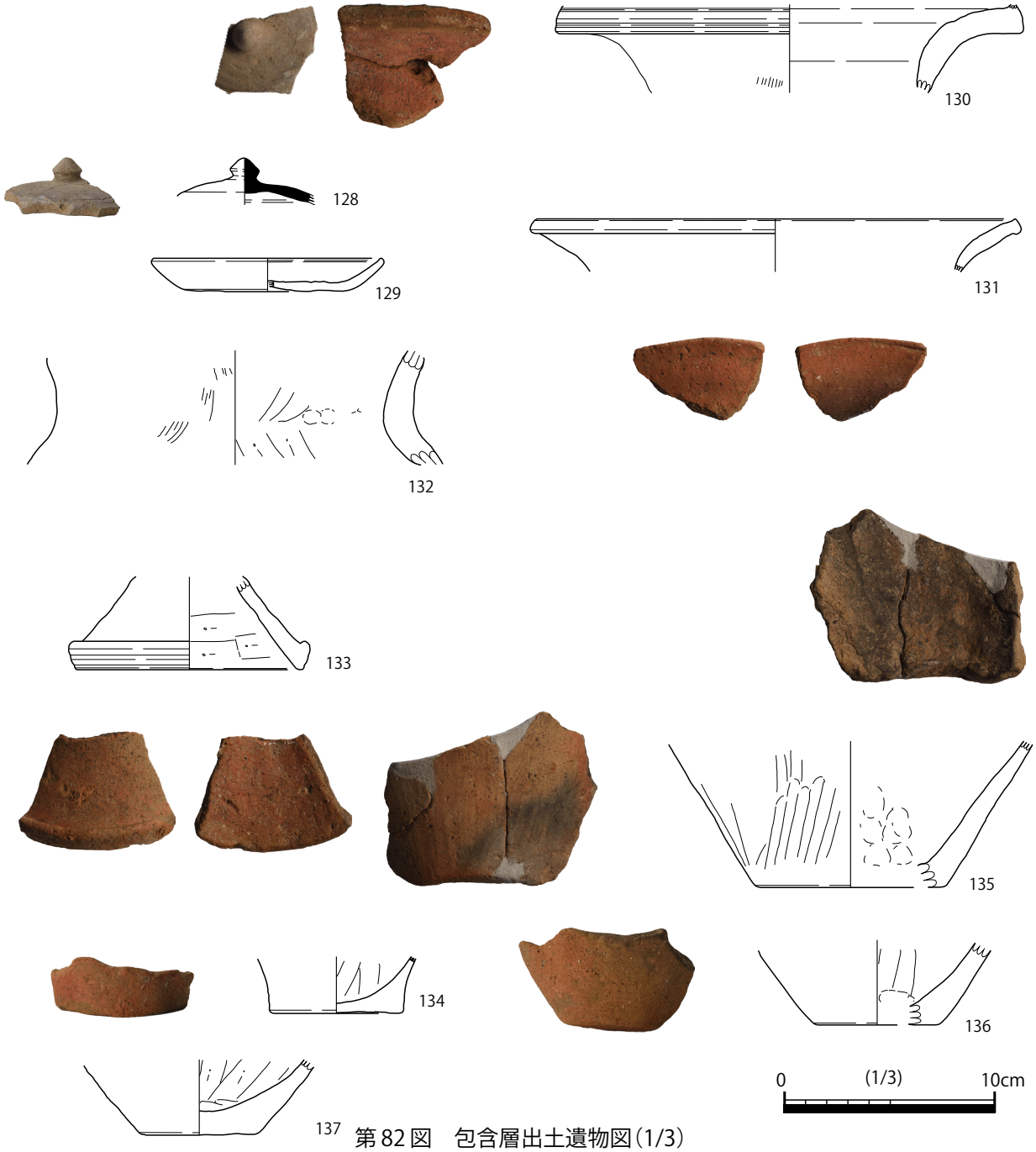
第 28 表　SK1033~1036 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1033	P-16	不整形	舟底形	63	58	13	N-25.00°-E	1:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径=1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =2cm 程度の円礫を含む）
SK	1034	P-16	円形	舟底形	58	53	10	N-15.50°-W	1:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径=1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む）
SK	1035	P-16	円形	逆台形	48	48	30	N-2.50°-W	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の炭化物を含む　径 =10cm 程度の角礫を含む） 2：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む） 3：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む）　2 層より砂性が強い　上面に土師質土器が出土
SK	1036	P-16	不整形	舟底形	92	（37）	13	N-87.00°-W	1:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径=1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =5cm 程度の角礫を含む）

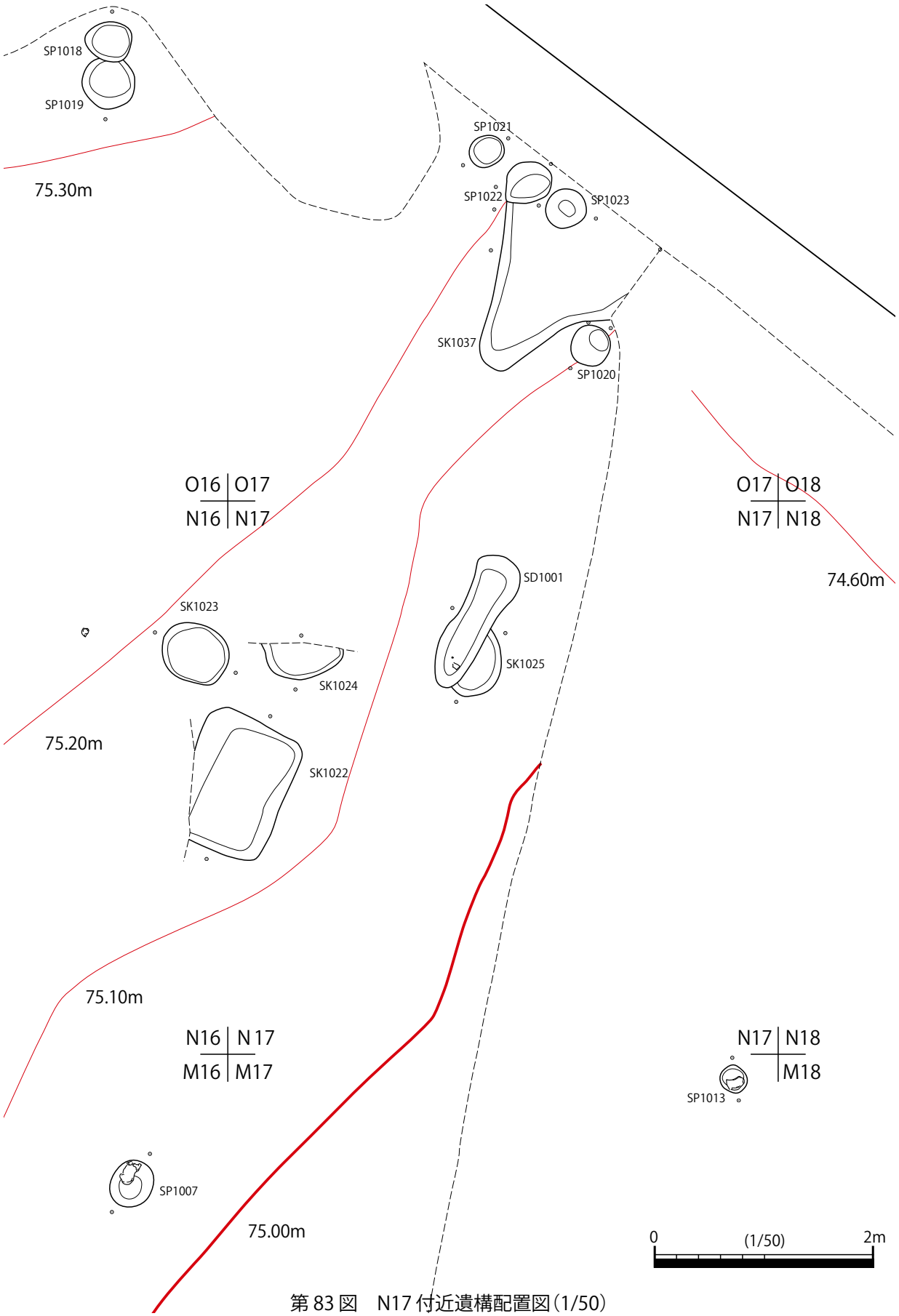
第 81 図　SP1018 遺構図（1/25）

第 29 表　SP1018 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1018	O-16	楕円形	舟底形	43	35	16	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2mm 程度の炭化物を含む）



第 82 図　包含層出土遺物図（1/3）

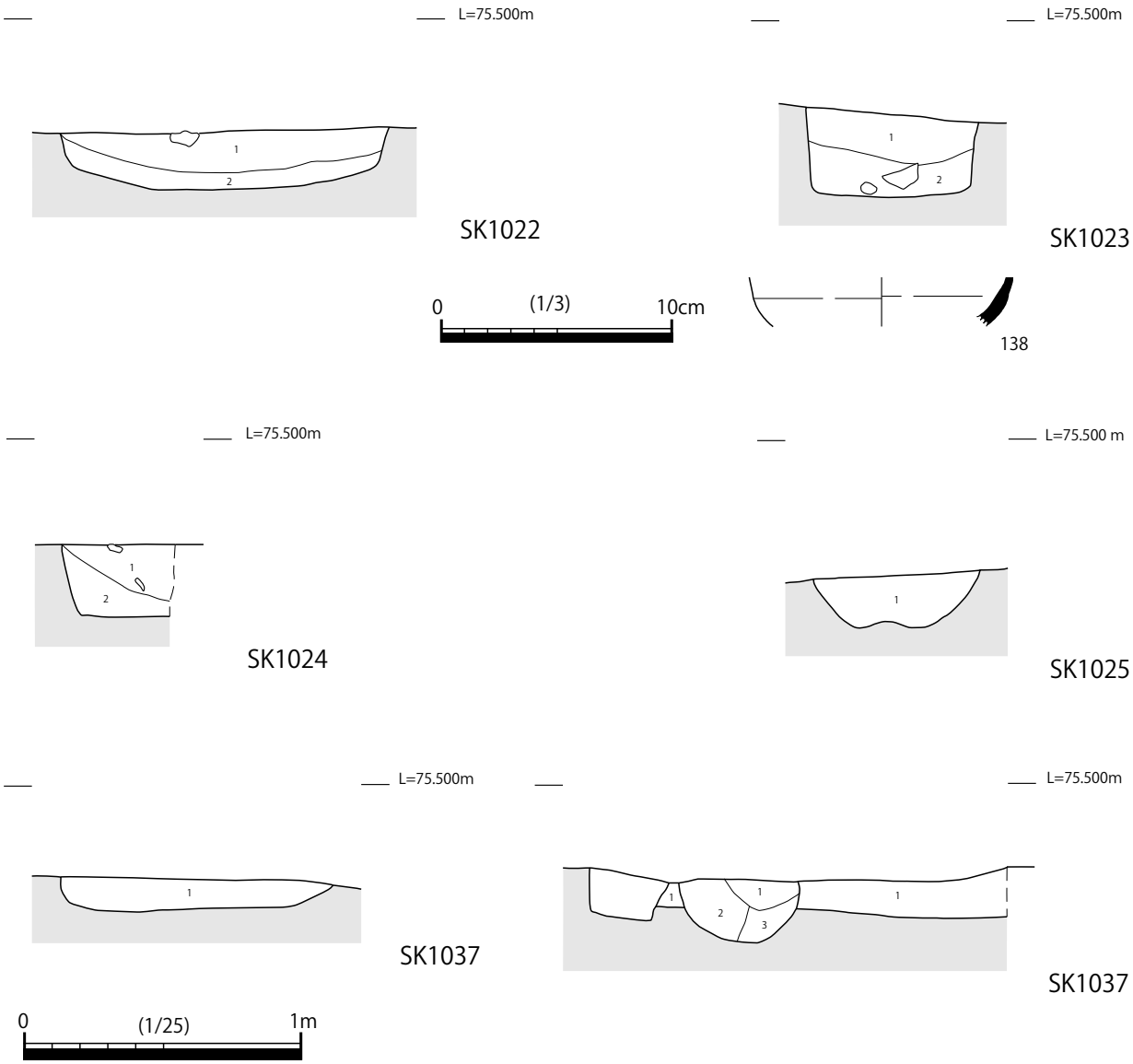


第 83 図　N17 付近遺構配置図（1/50）

第 84 図　SD1001 遺構図（1/25）

第 30 表　SD1001 遺構計測表

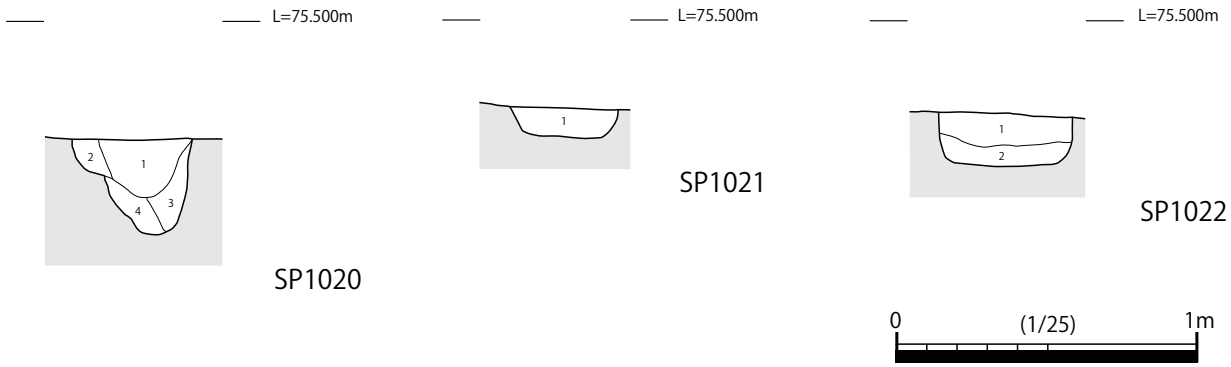
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SD	1001	N-17	不整形	不整形	130	32	14	N-79.25° -W	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =3cm 程度の土器片を含む） 2:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2mm 程度の炭化物を含む）底に須恵質土器が出土



第 85 図　SK1022 ～ 1037 遺構図・SK1023 出土遺物図（1/3）

第 31 表　SK1022~1025,1037 遺構計測表

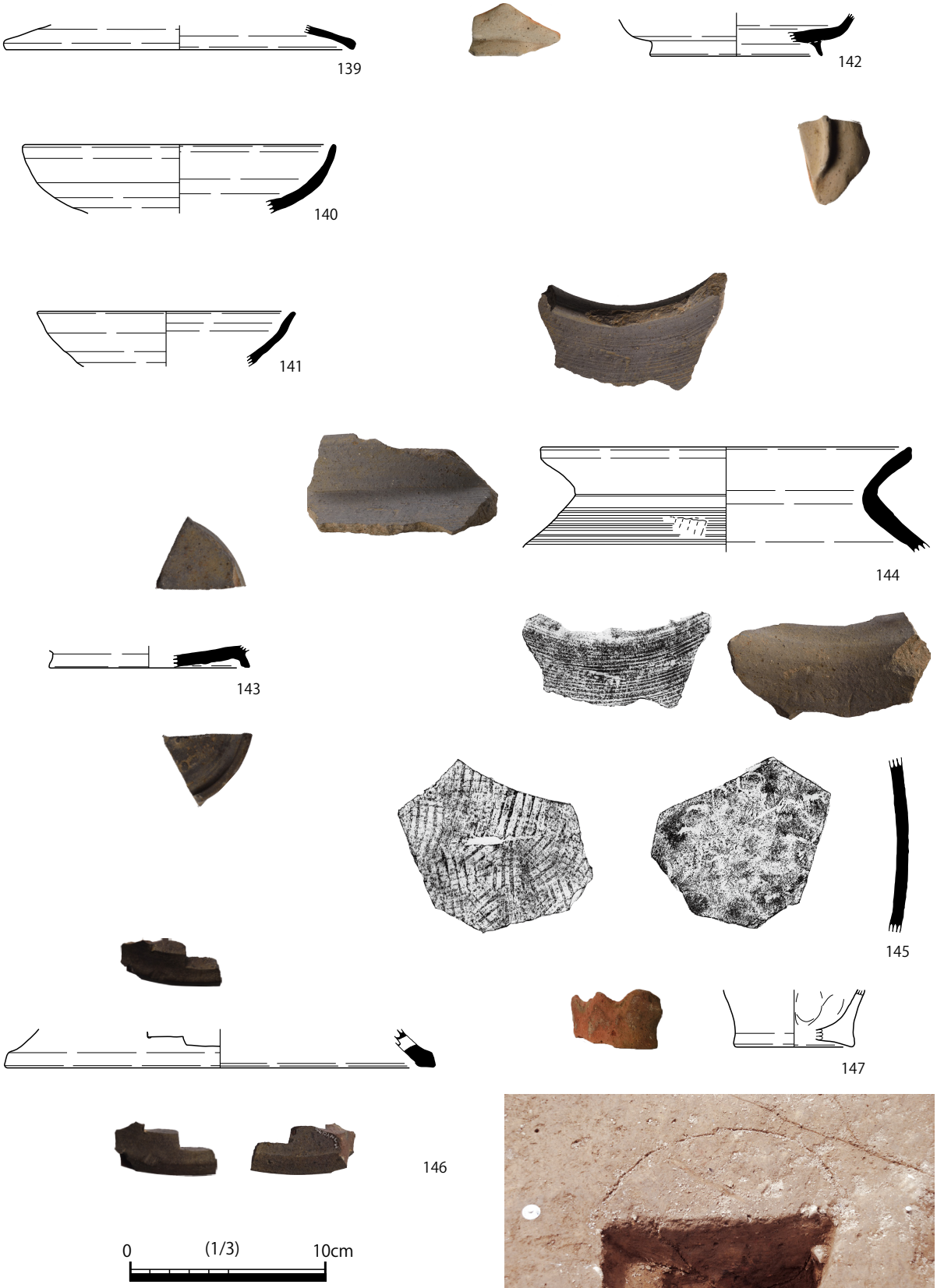
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1022	N-17、N-16	長方形	舟底形	120	（92）	20	N-21.75°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の炭化物を含む）
SK	1023	N-16	楕円形	逆台形	63	53	30	N-64.00°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の炭化物を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =10cm 程度の円礫を含む）　1 層より粘性が強い
SK	1024	N-17	不整形	逆台形	（77）	（34）	25	N-86.25°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分 , マンガン粒 , 炭化物を含む　径 =5cm 程度の円礫を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分 , マンガン粒 , 炭化物を含む）　1 層より砂性が強い
SK	1025	N-17	不整形	舟底形	（66）	（28）	19	N-29.75°-E	1：灰黄褐色 10YR5/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =2cm 程度の円礫を含む）
SK	1037	O-17	不整形	皿形	（182）	125	13	N-33.75°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）



第 86 図　SP1020 ～ 1022 遺構図（1/25）

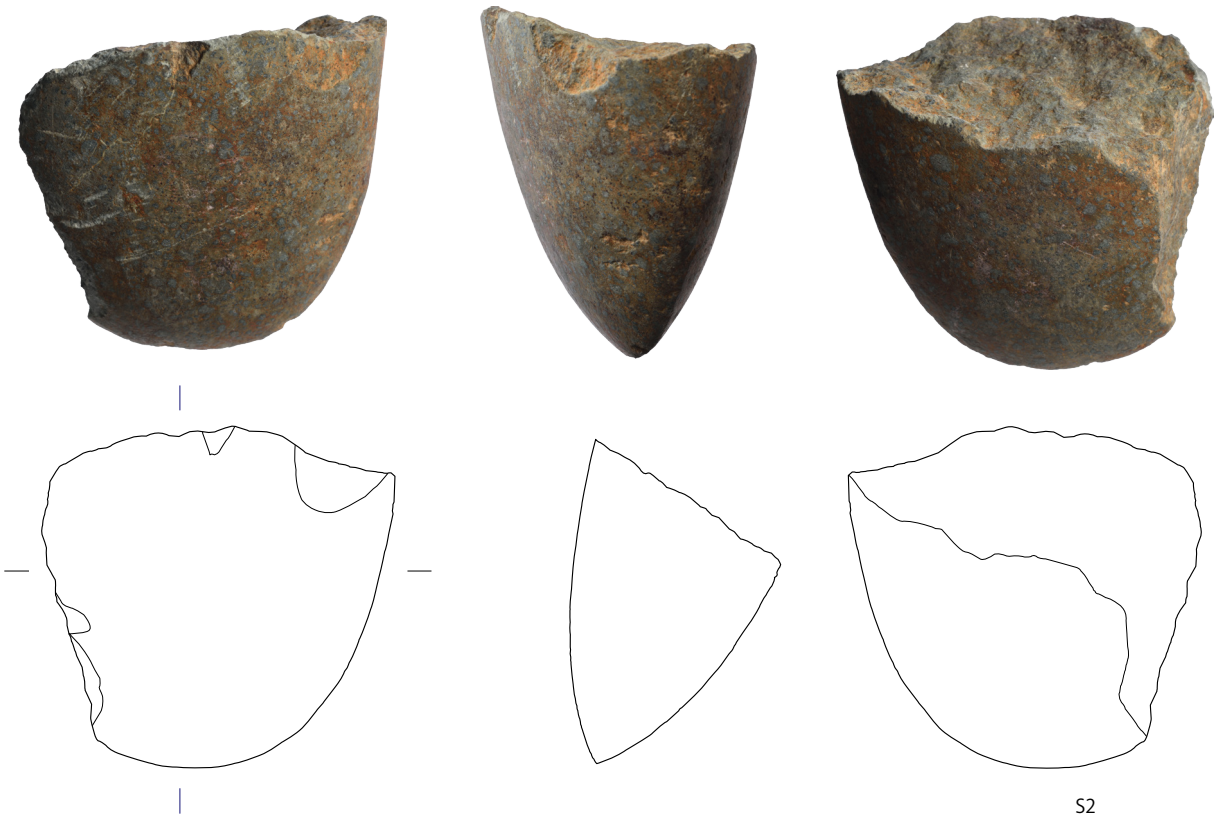
第 32 表　SP1020 ～ 1022 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1020	O-17	円形	舟底形	37	36	32	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =1cm 程度の土器片を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む　小斑状に焼土を含む　） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む） 3：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む）　2 層より粘性が強い 4：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む）
SP	1021	O-17	楕円形	舟底形	32	28	9	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =2cm 程度の円礫を含む）
SP	1022	O-17	楕円形	舟底形	38	38	17	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1cm 程度の炭化物を含む） 2：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1cm 程度の炭化物を含む）

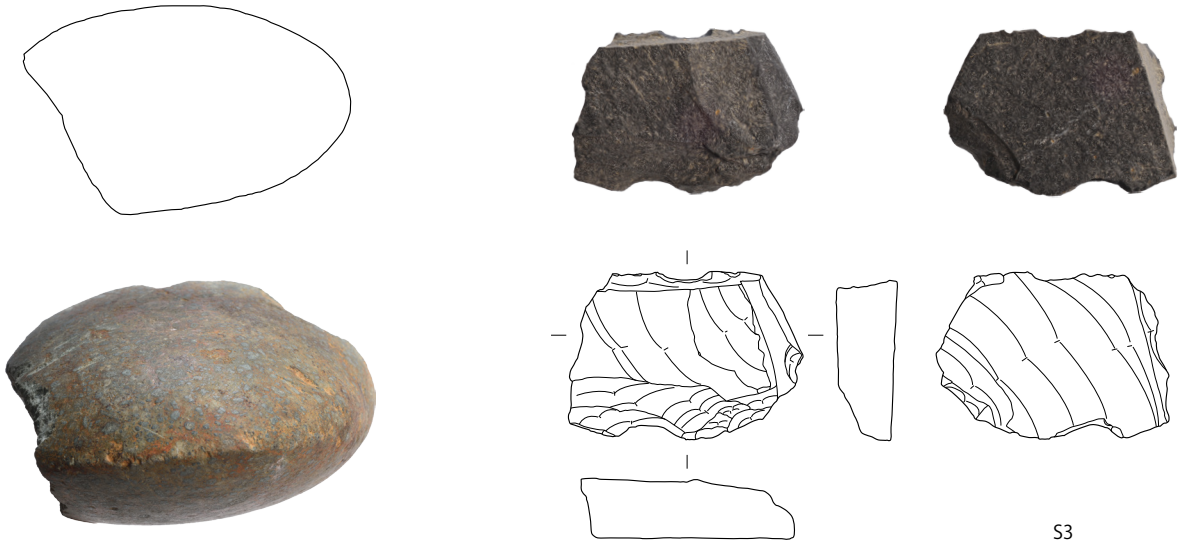


第 87 図　包含層出土遺物図（1/3）

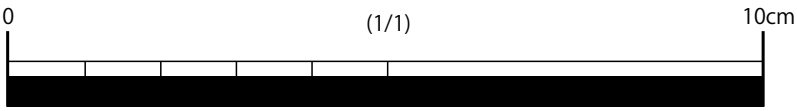
写真 26　SP1020 土層堆積状況



S2

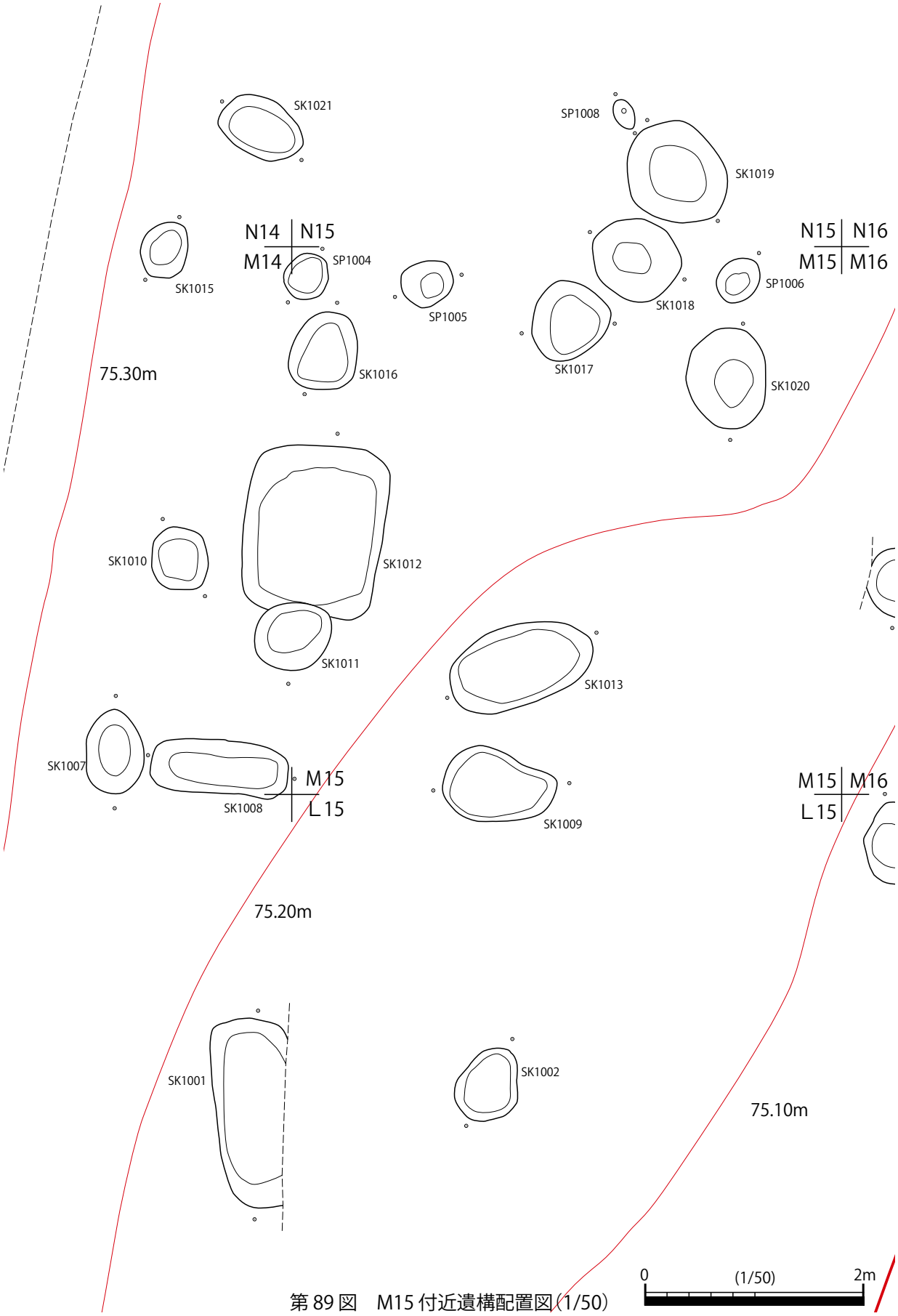


S3



第 88 図 包含層出土遺物図（1/1）

写真 27　N16 太型蛤刃石斧 (S2) 出土状況



第 89 図　M15 付近遺構配置図（1/50）

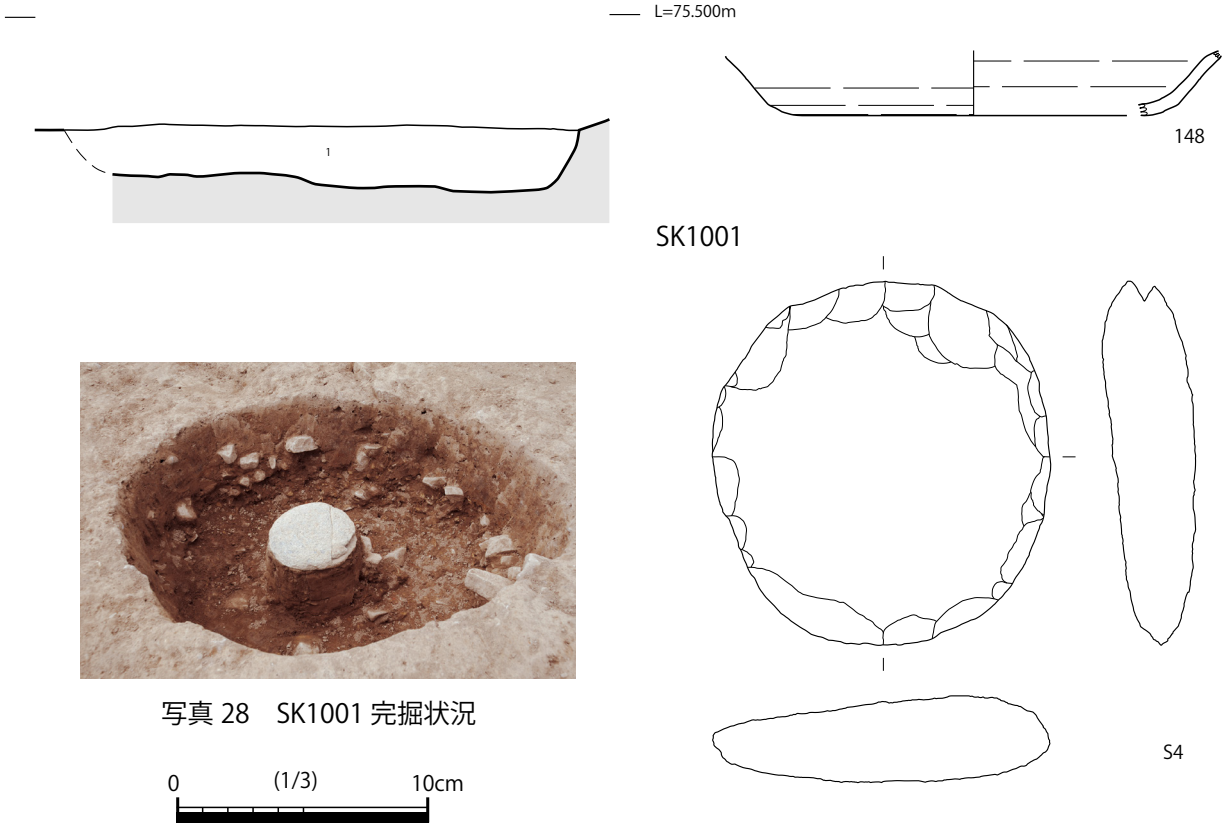


写真 28　SK1001 完掘状況

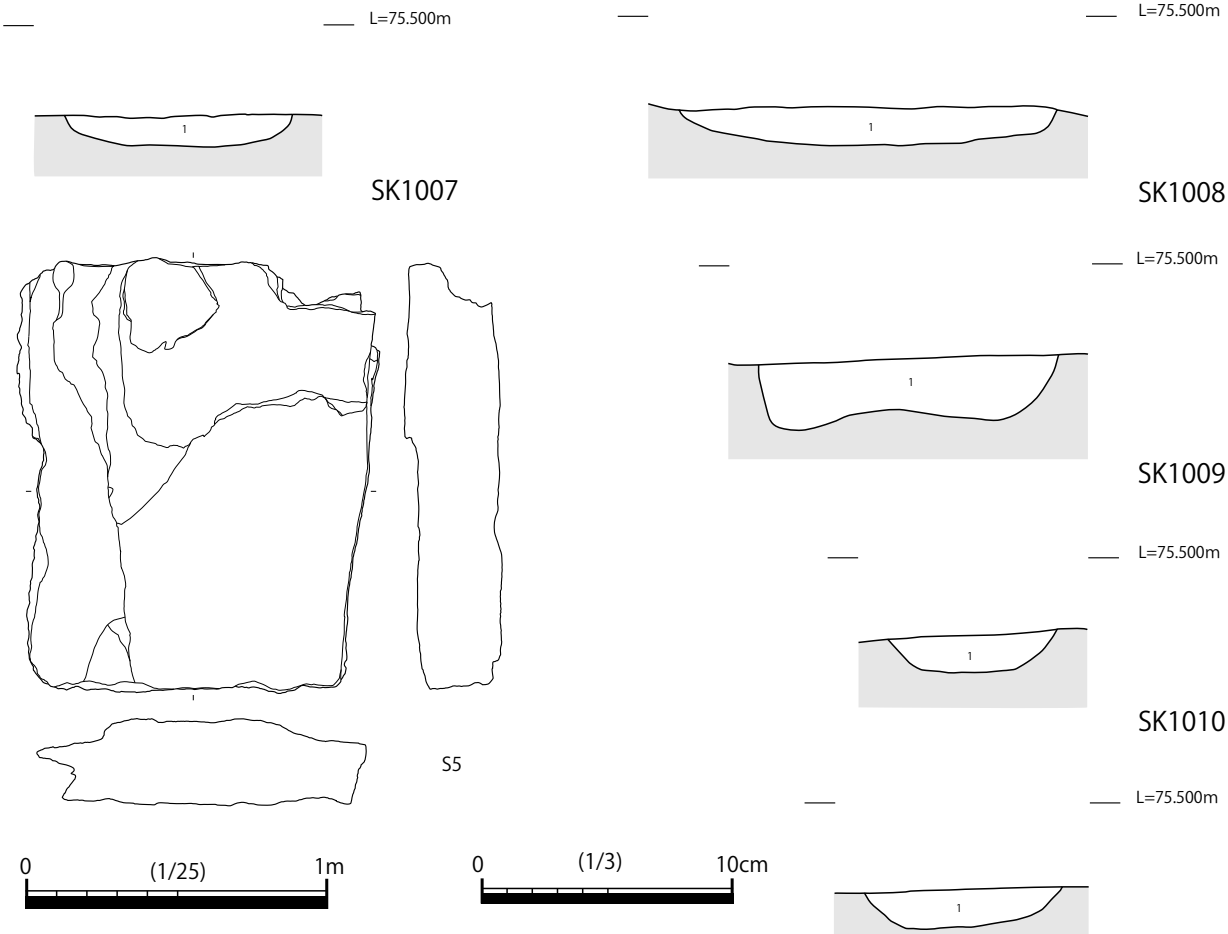
第 90 図　SK1001 遺構図（1/25）出土遺物図（1/3）

SK1002

第 91 図　SK1002 遺構図 (1/25)

第 33 表　SK1001,1002,1007~1010 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1001	L-15	長方形	舟底形	173	(60)	22	N-5.75°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良（径 =3mm 程度の炭化物を含む　径 =2cm 程度の土器片を含む　　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SK	1002	L-15	不整形	舟底形	72	56	24	N-28.00°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の炭化物を含む　径 =2cm 程度の土器片を含む　　径 =1cm 程度の円礫を含む） 2：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の炭化物を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む）
SK	1007	M-14	楕円形	舟底形	78	53	10	N-0.75°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分，マンガン粒，炭化物を含む　径 =2cm 程度の円礫を含む）
SK	1008	M-14	長方形	皿形	126	49	13	N-83.50°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分，マンガン粒，炭化物を含む　径 =2cm 程度の円礫を含む　径 =2cm 程度の土器片を含む）
SK	1009	L-15	不整形	舟底形	104	70	22	N-87.00°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分，マンガン粒，炭化物を含む　径 =1cm 程度の土器片を含む径 =5cm 程度の円礫を含む）
SK	1010	M-14	不整形	舟底形	62	54	12	N-30.75°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）

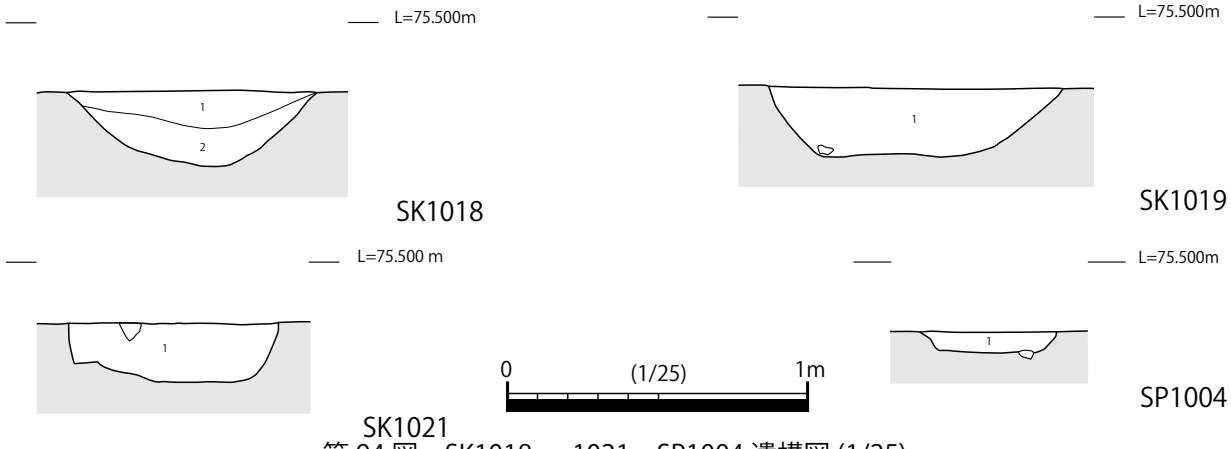


第 92 図　SK1007 遺構図 (1/25) 出土遺物図 (1/3)

第 93 図　SK1008 ～ 1016 遺構図 (1/25)

第 34 表　SK1011~1013,1015~1017 遺構計測表

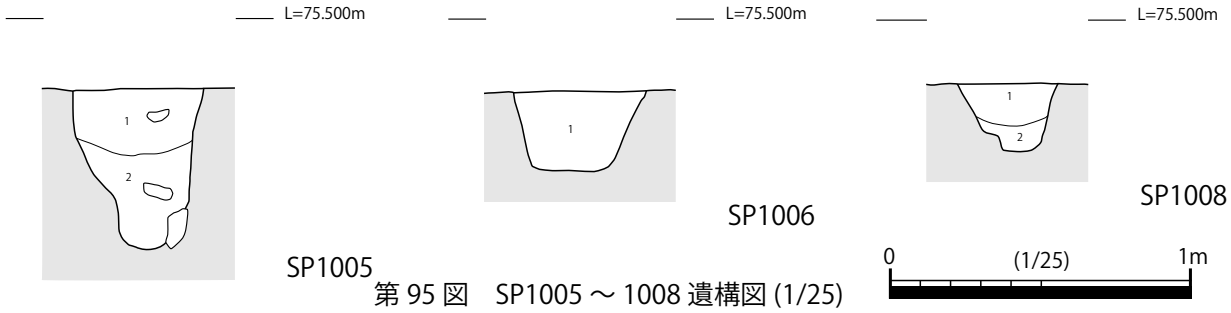
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1011	M-15	楕円形	舟底形	74	63	13	N-60.00°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分 , マンガン粒 , 炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SK	1012 南北	M-15	長方形	皿形	145	（123）	13	N-5.55°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の炭化物を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む）
SK	1013	M-15	楕円形	舟底形	135	74	18	N-68.25°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分 , マンガン粒 , 炭化物を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む）
SK	1015	M-14	楕円形	二段形	53	43	18	N-28.50°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の鉄分 , マンガン粒 , 炭化物を含む）
SK	1016	M-15	不整形	皿形	70	60	10	N-13.00°-E	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2mm 程度の炭化物を含む）
SK	1017	M-15	不整形	舟底形	74	74	20	N-21.05°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1cm 程度の炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む） 2：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む） 底に 15cm 超える角礫が出土



第 94 図　SK1018 ～ 1021，SP1004 遺構図 (1/25)

第 35 表　SK1018 ～ 1021 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1018	N-15	不整形	舟底形	82	70	25	N-77.00°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の炭化物を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の炭化物を含む）　1 層よりも粘性が強い
SK	1019	N-15	不整形	舟底形	100	84	23	N-51.50°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分 , マンガン粒 , 炭化物を含む）
SK	1020	M-15	楕円形	二段形	93	73	27	N-1.50°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む　径 =8cm 程度の円礫を含む　径 =5cm 程度の土器片を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む　1 層より砂性が強い
SK	1021	N-15	楕円形	舟底形	76	53	19	N-64.00°-W	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =3mm 程度の炭化物を含む　径 =8cm 程度の円礫を含む）



第 95 図　SP1005 ～ 1008 遺構図 (1/25)

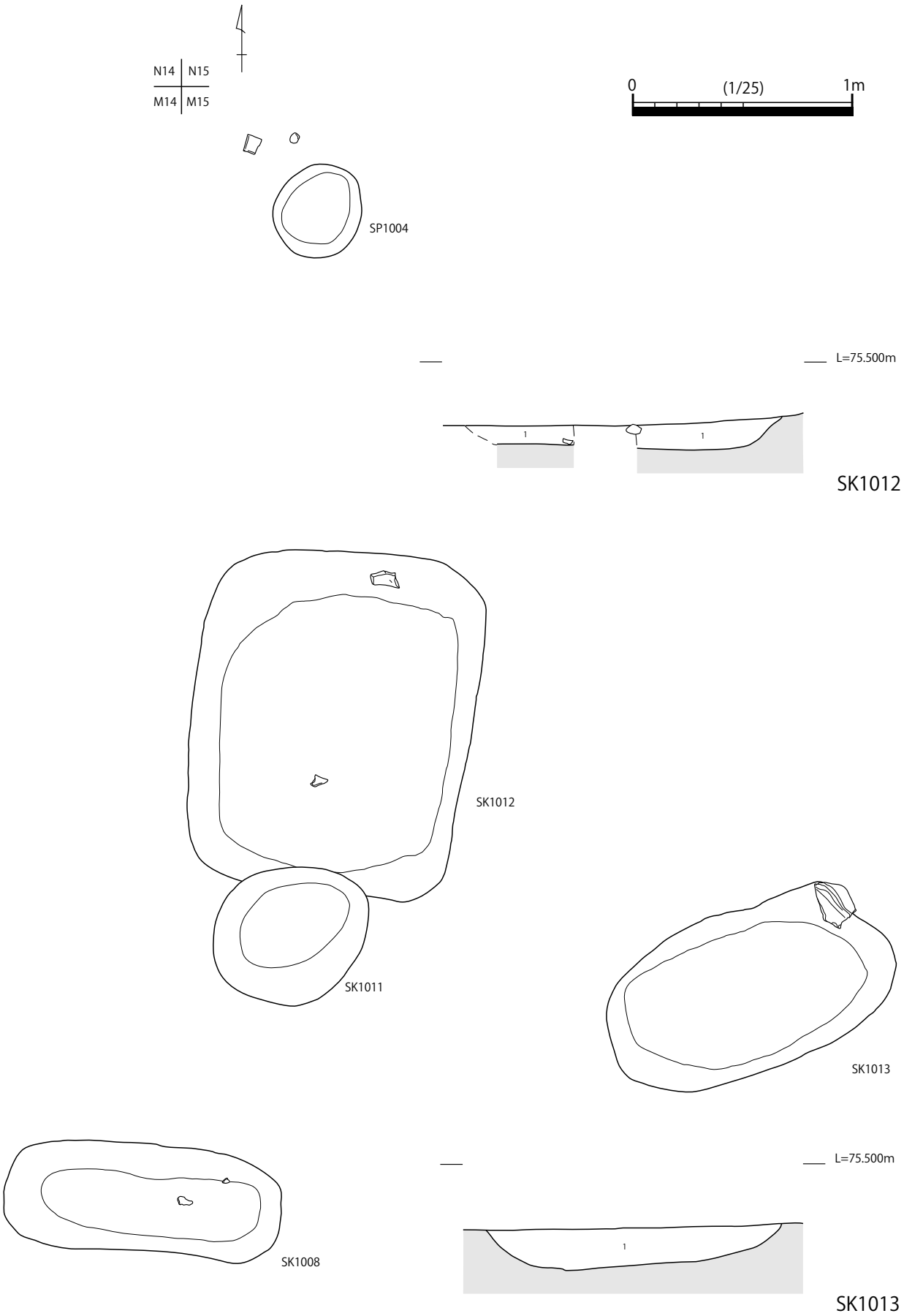
第 36 表　SP1004~1006,1008 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1004	M-15	楕円形	皿形	45	40	6	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SP	1005	M-15	楕円形	二段形	47	40	53	1：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =6cm 程度の円礫を含む） 2：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =6cm 程度の円礫を含む）
SP	1006	M-15	楕円形	逆台形	45	36	26	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む　径 =2cm 程度の円礫を含む）
SP	1008	N-15	楕円形	二段形	28	17	23	1：にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR5/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む）　1 層より砂性が強い

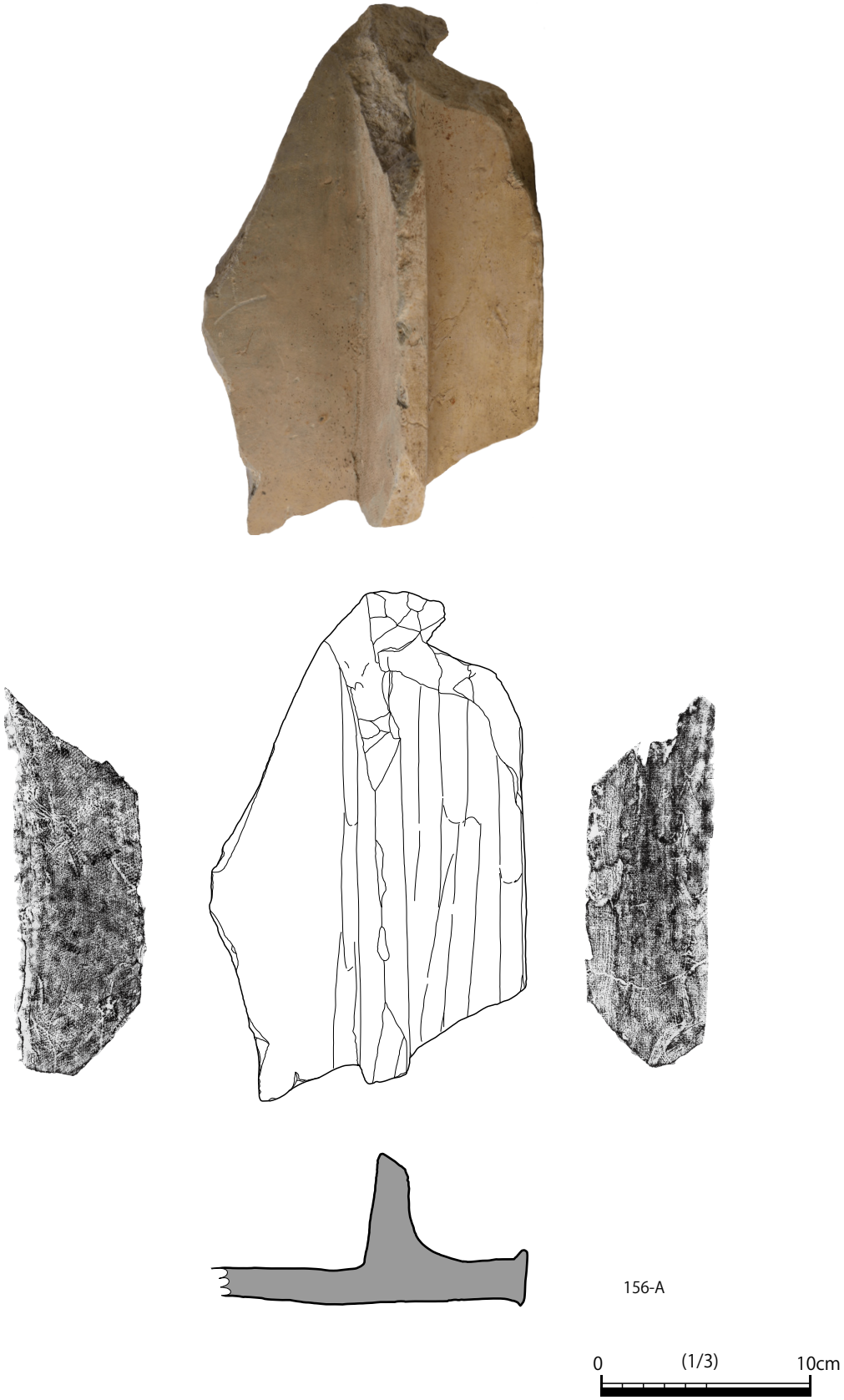
写真 29　SK1017 完掘状況

写真 30　SK1020 完掘状況

第 96 図　SK1017，1020 遺構図 (1/25) 出土遺物図 (1/3)



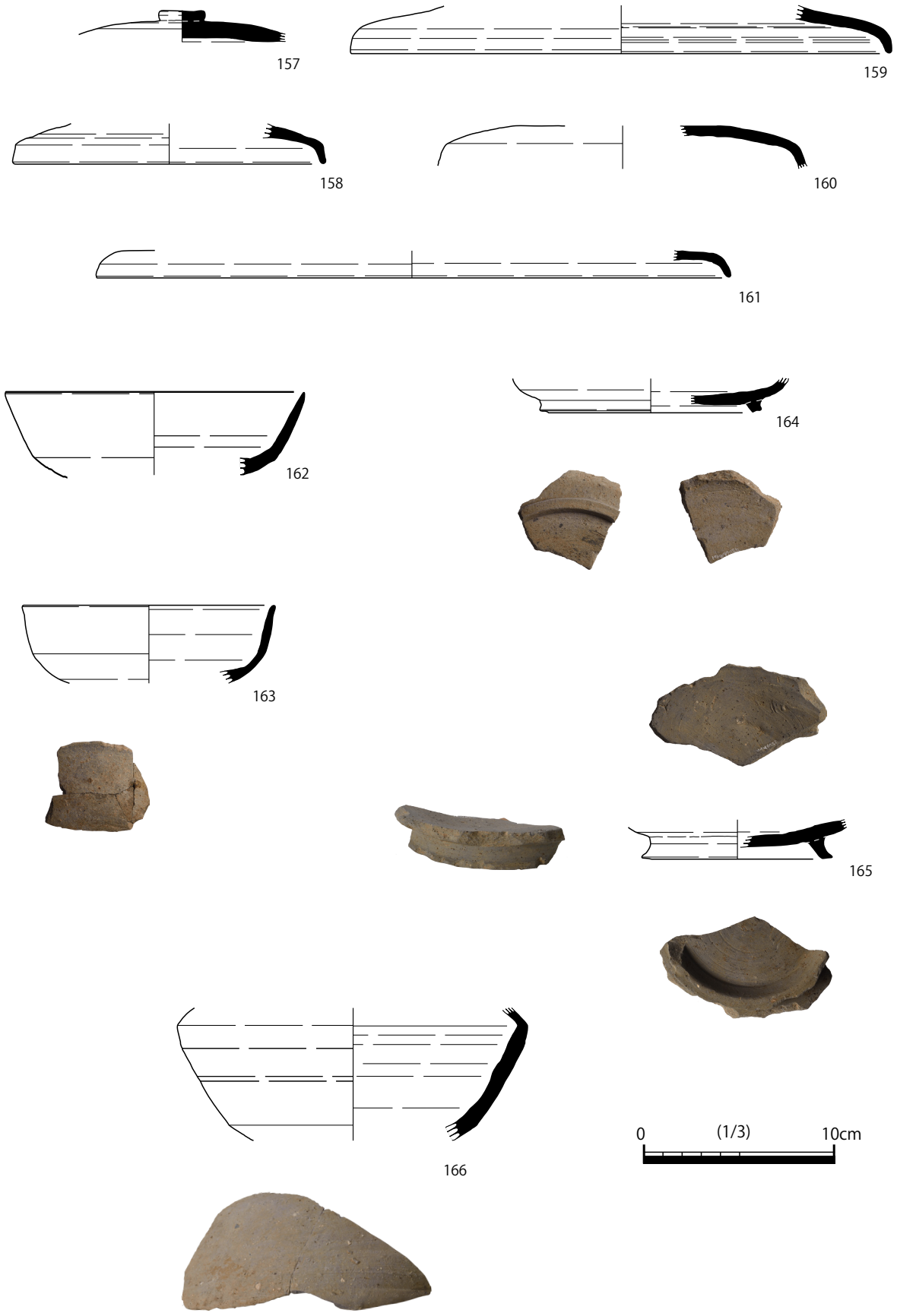
第 97 図　SK1012，1013 遺構図 (1/25)



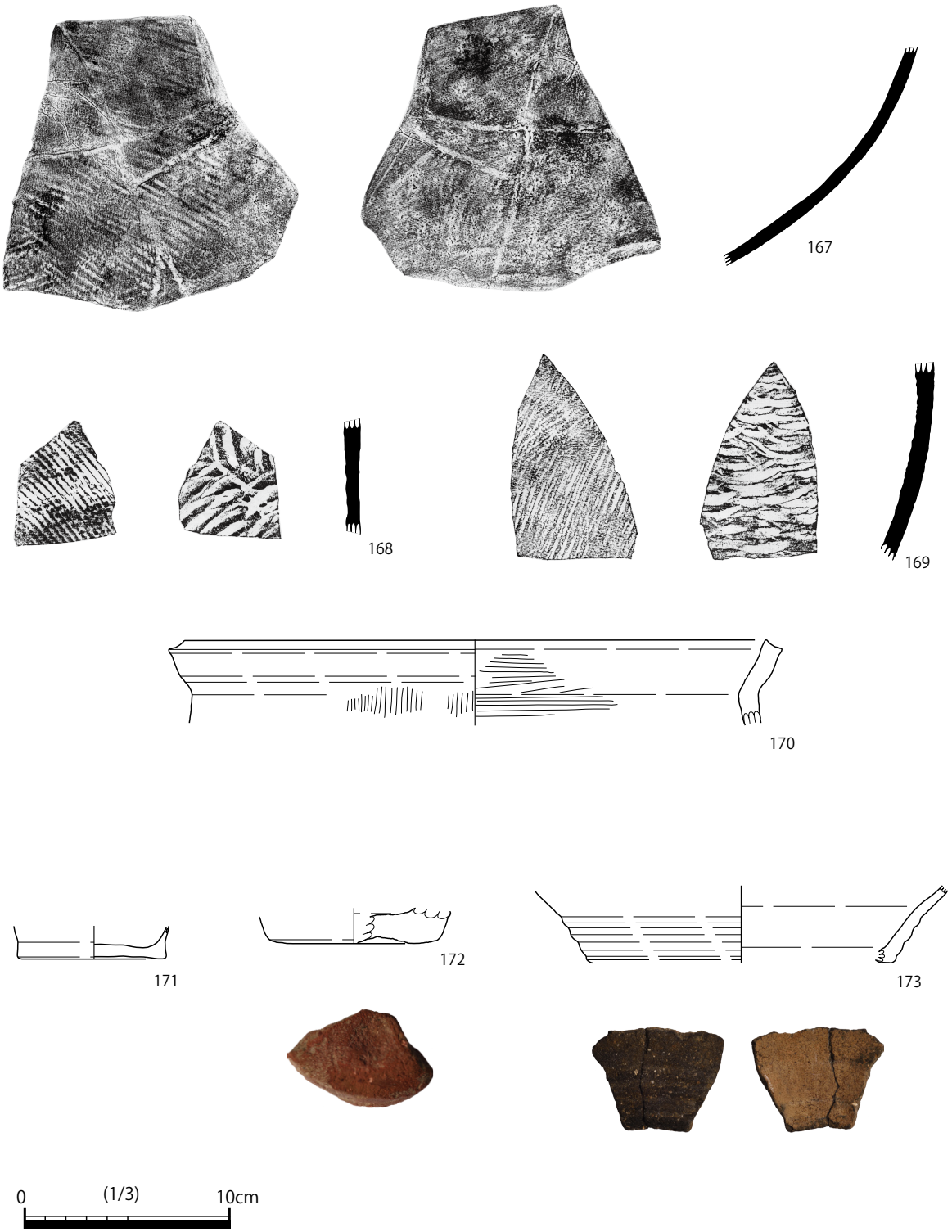
第 98 図 SK1012 出土遺物図 (1/3)

第 99 図　SK1012 出土遺物図 (1/3)

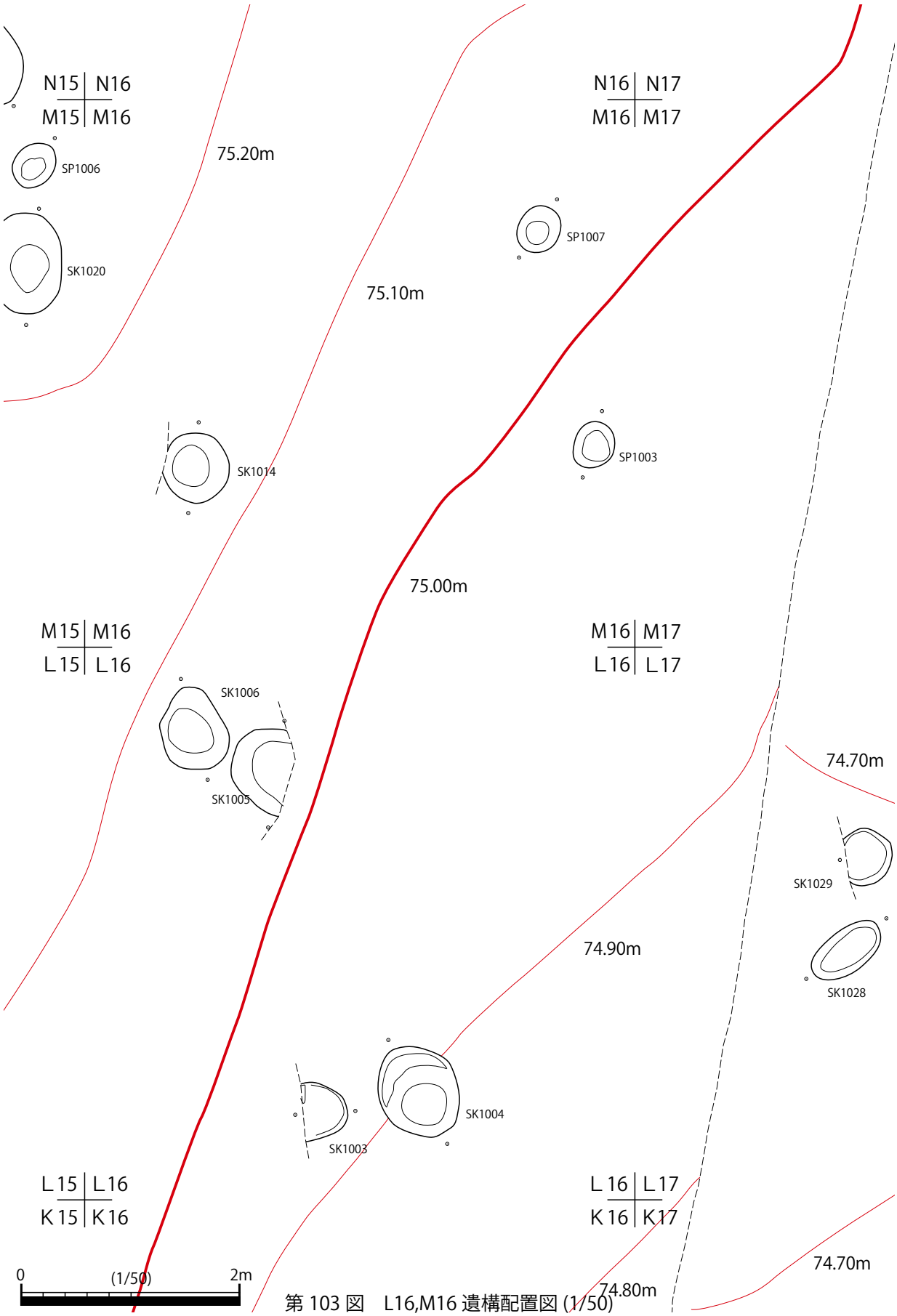
第 100 図　SK1012 出土遺物図 (1/3)(1/1)



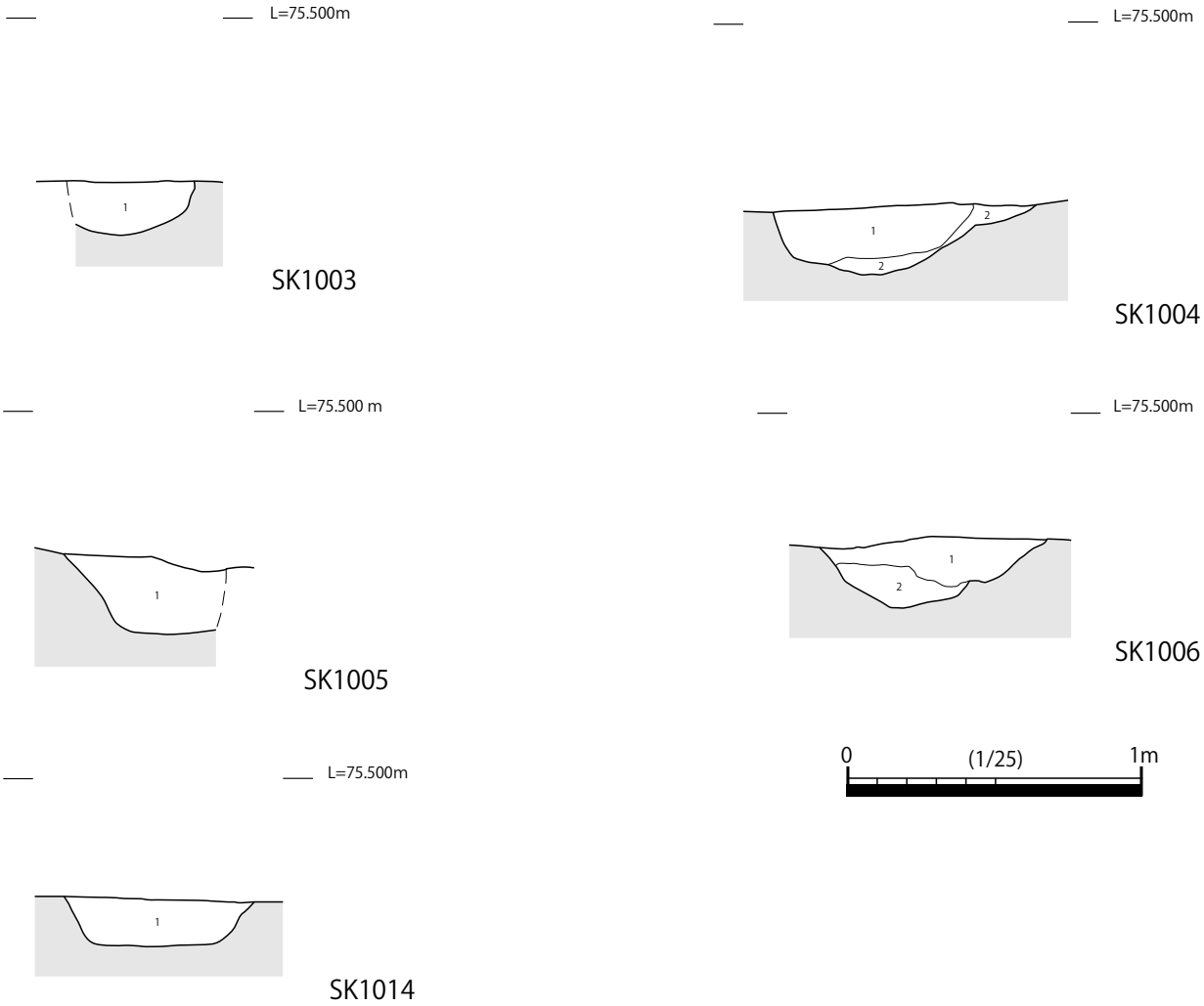
第 101 図　包含層出土遺物図 (1/3)



第 102 図　包含層出土遺物図 (1/3)



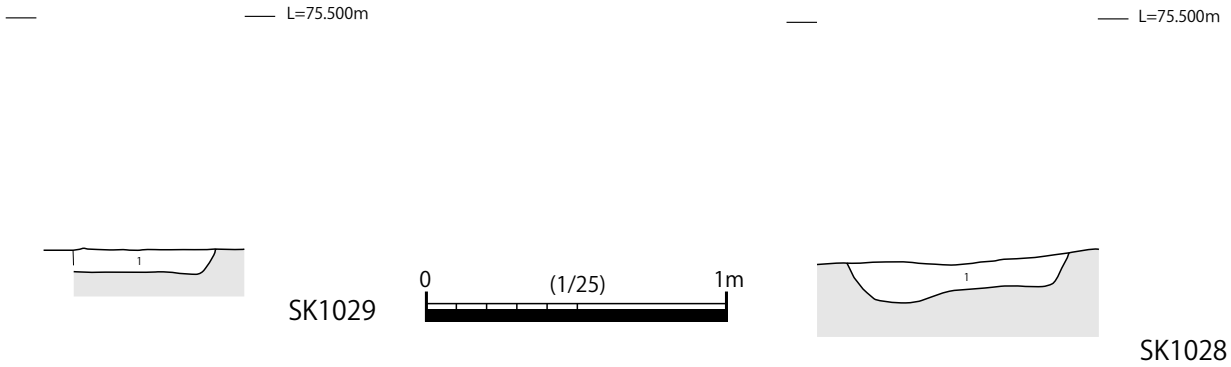
第 103 図　L16,M16 遺構配置図 (1/50)



第 104 図　SK1003 ～ 1014 遺構図 (1/25)

第 37 表　SK1003~1006,1014 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1003	L-16	不整形	舟底形	（41）	53	18	N-6.00°-W	1:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SK	1004	L-16	楕円形	舟底形	88	74	23	N-29.75°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（炭化物が小斑状に全体に広がる　径 =3cm 程度の円礫を含む） 2：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分 , マンガン粒 , 炭化物を含む）
SK	1005	L-16	不整形	舟底形	78	（56）	26	N-15.00°-E	1：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =1cm 程度の土器片を含む　径 =1cm 程度の円礫を含む）
SK	1006	L-16	不整形	舟底形	76	60	23	N-11.25°-W	1:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む） 2:にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）1 層より砂性が強い
SK	1014	M-16	円形	舟底形	64	（60）	16	N-6.25°-E	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の炭化物を含む）



第 105 図　SK1029，1028 遺構図 (1/25)

第 38 表　SK1028,1029 遺構計測表

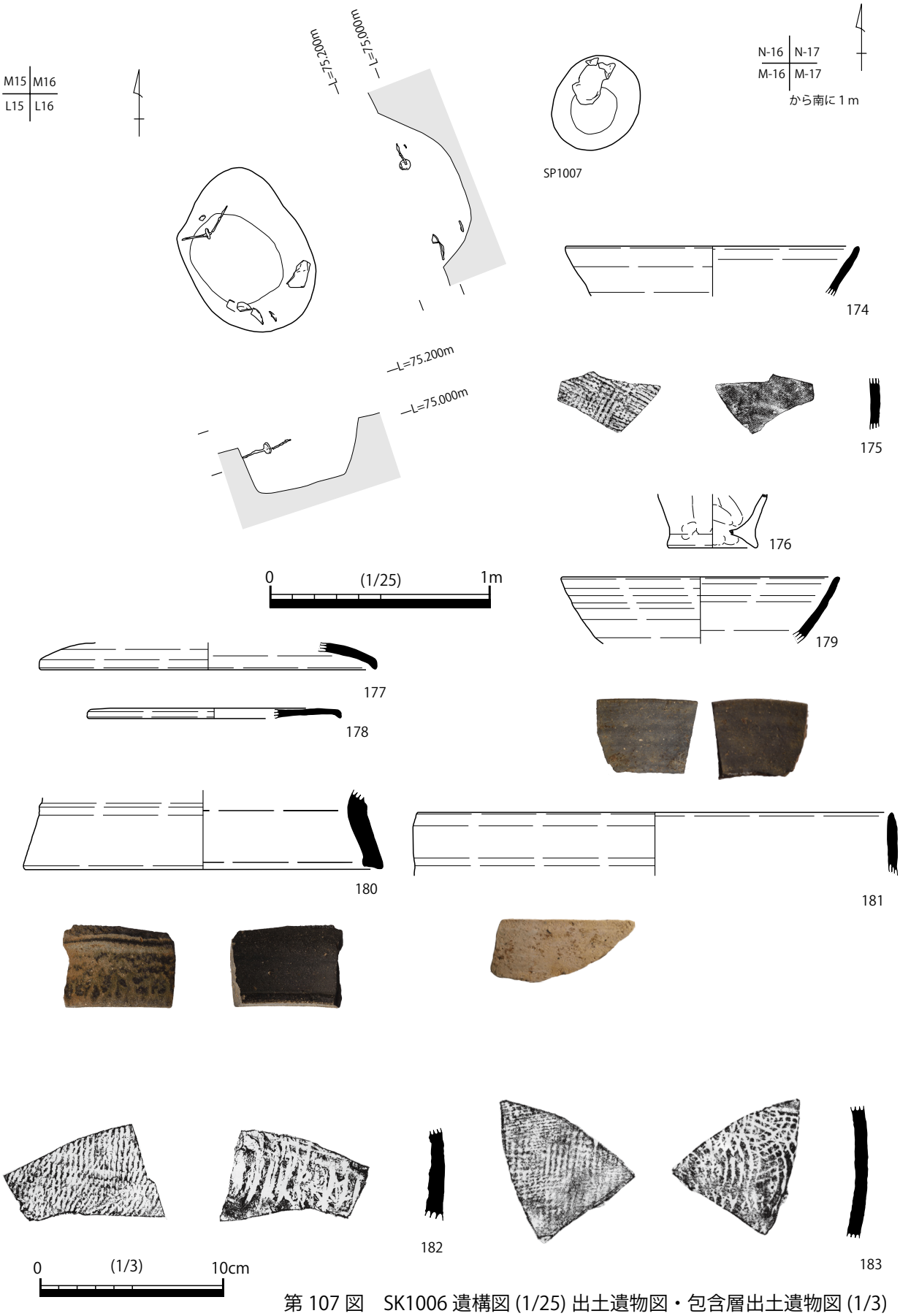
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1028	L-17	楕円形	舟底形	72	38	14	N-52.50°-E	1：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む）　径 =4cm 程度の円礫を含む）
SK	1029	L-17	不整形	舟底形	53	（43）	8	N-5.00°-W	1：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）　径 =4cm 程度の円礫を含む）

第 106 図　SP1003，1007 遺構図 (1/25)

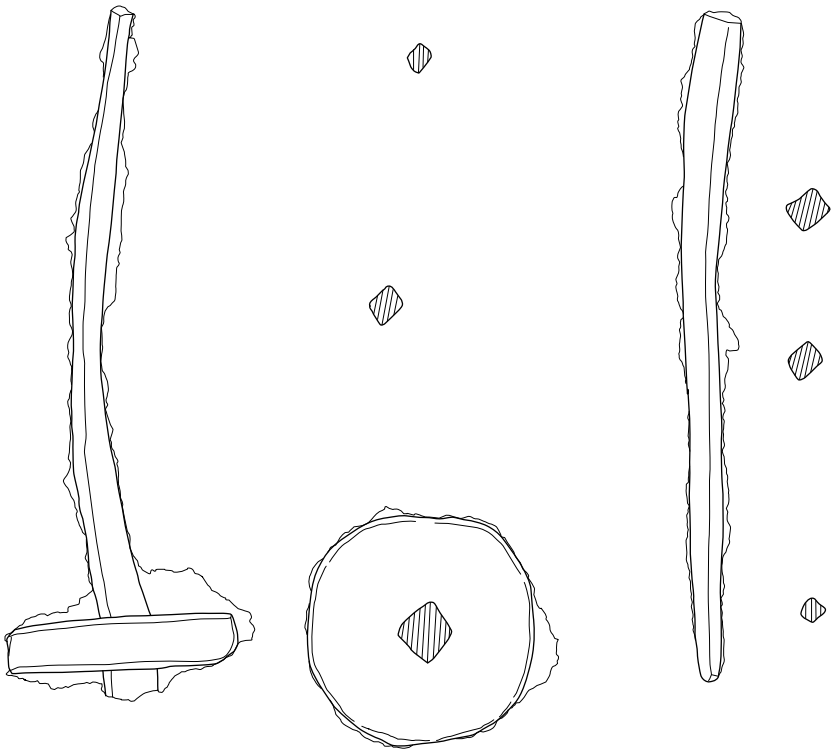
第 39 表　SP1003，1007 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1003	M-16	楕円形	丸底形	43	36	25	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =2cm 程度の炭化物を含む　径 =4cm 程度の円礫を含む　径 =1cm 程度の土器片を含む） 2：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =1cm 程度の土器片を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SP	1007	M-16	楕円形	舟底形	44	38	25	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む） 2：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む　径 =6cm 程度の円礫を含む）

標高 75.20m を測る M14,M15 グリッド付近（第 89 図）は、長軸 1.5m を測る隅丸方形や楕円形を呈する整形の土坑や直径 50㎝規模の小型土坑が点在する。小型土坑は柱穴の可能性がある。SK1001 からは周縁部に剥離痕がある結晶片岩川原石が確認された。土坑底面からは浮いた状態であり、根石では無い。同様に SK1007 からも結晶片岩割石が検出されたが、根石としての設置とは考えがたい。SK1017 からは土坑基底部に結晶片岩割石や砂岩礫が敷かれた状態で検出され



第 107 図　SK1006 遺構図 (1/25) 出土遺物図・包含層出土遺物図 (1/3)



第 108 図　SK1006 出土遺物図 (2/3)

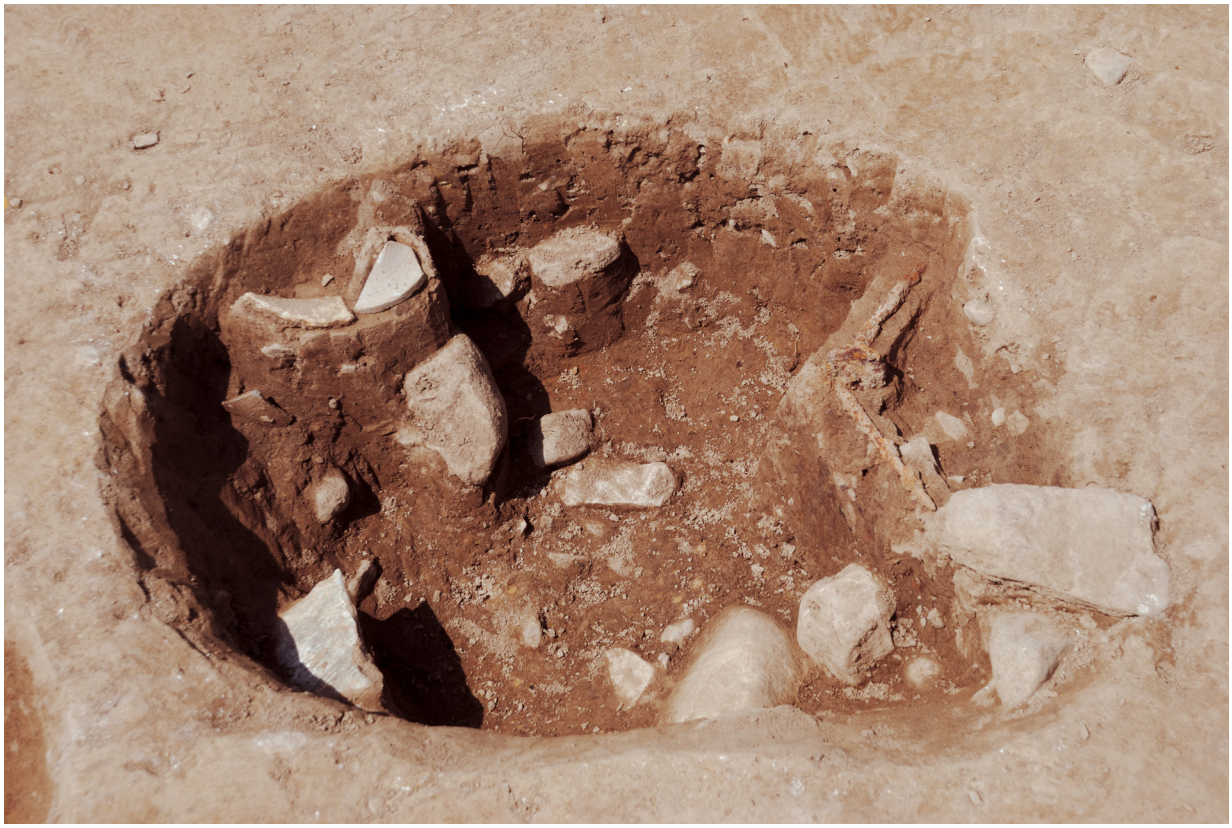
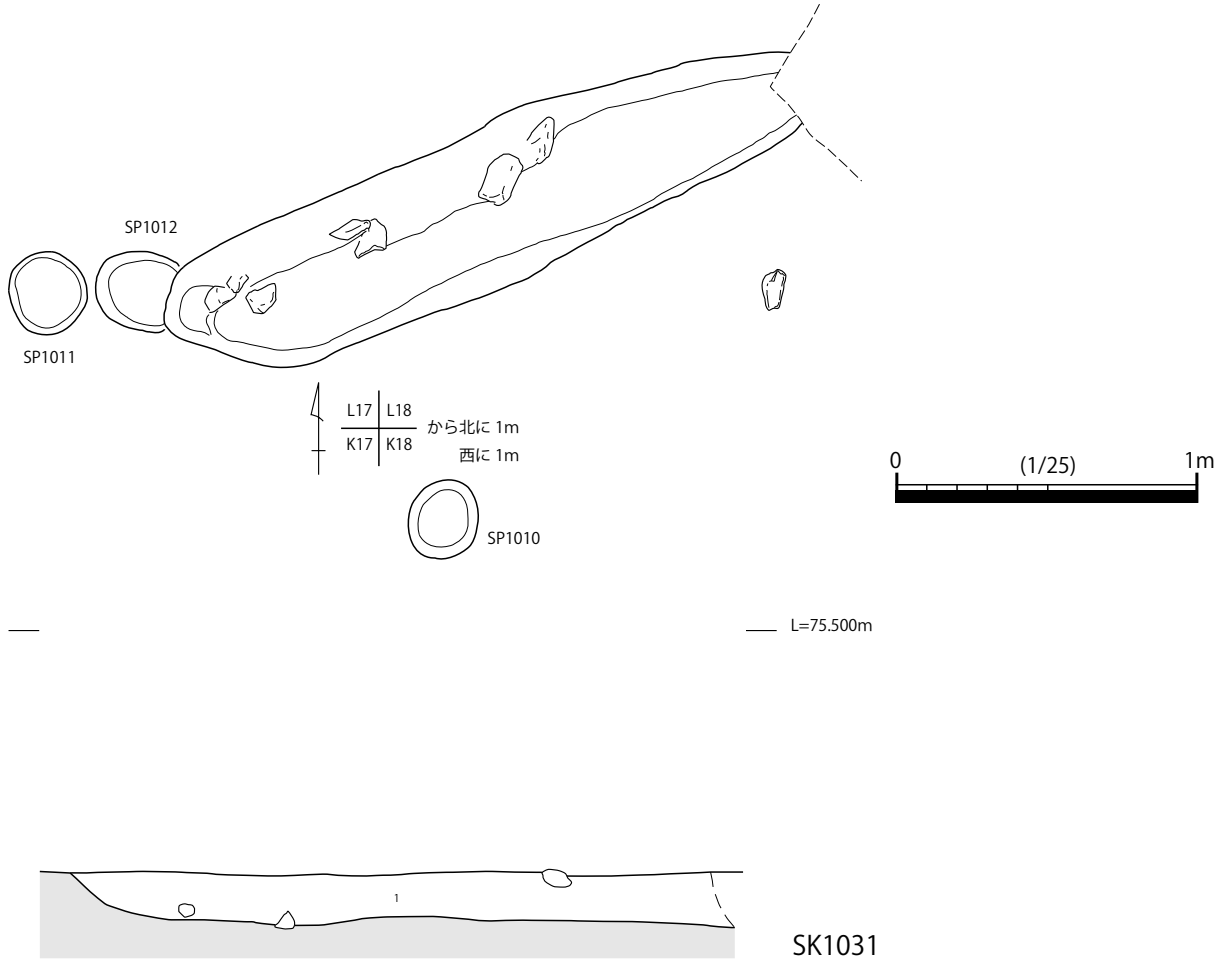


写真 31　SK1006 遺物出土状況

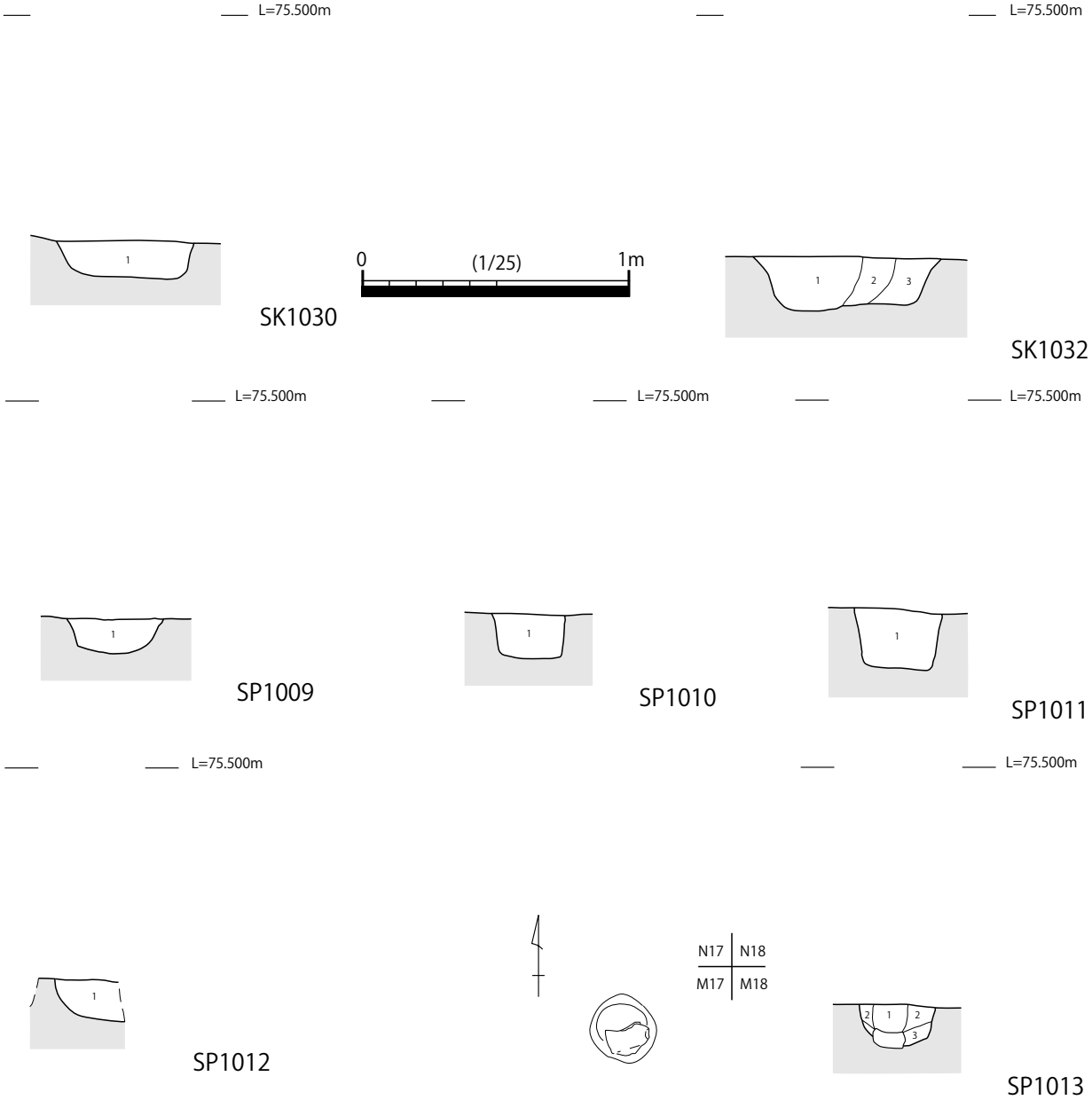
第 109 図　L17,M17 遺構配置図 (1/50)



第 110 図　SK1031 遺構図 (1/25)

第 40 表　SK1030~1032 遺構計測表

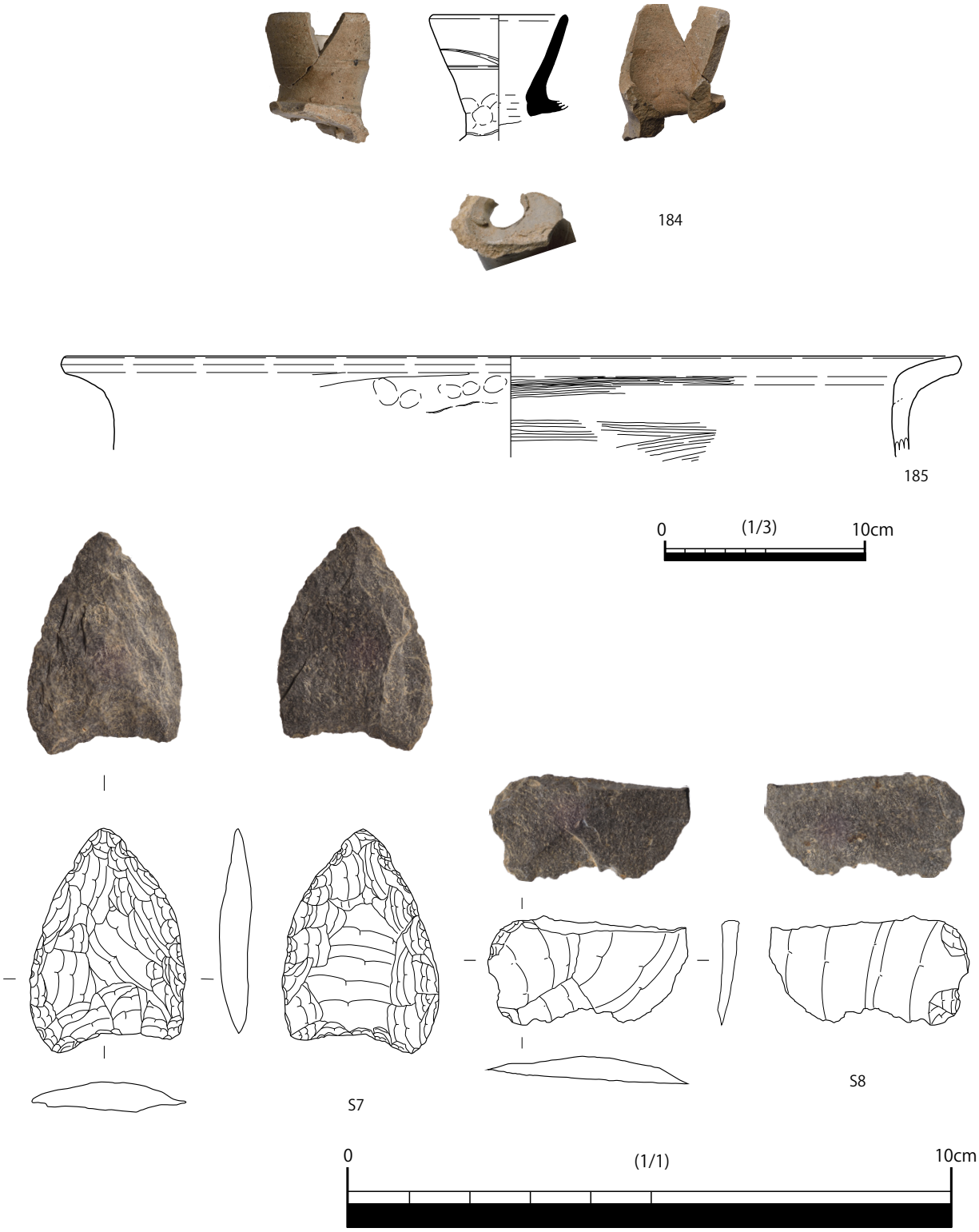
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	主軸方位	土色
SK	1030	K-17	楕円形	舟底形	53	41	14	N-75.75°-W	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む　径 =1cm 程度の土器片を含む）
SK	1031	K-17	楕円形	皿形	（219）	49	17	N-67.25°-E	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =5mm 程度の炭化物を含む　径 =8cm 円礫を含む）
SK	1032	M-17	円形	舟底形	67	66	20	N-20.00°-E	1：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良（径 =2mm 鉄分　マンガン粒を含む　径 =1cm 程度の炭化物を含む　径 =5cm 程度の土器片を含む） 2：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良（径 =2mm 鉄分　マンガン粒を含む　径 =1cm 程度の炭化物を含む　径 =1cm 程度の土器片を含む） 1 層より砂性が強い 3：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）



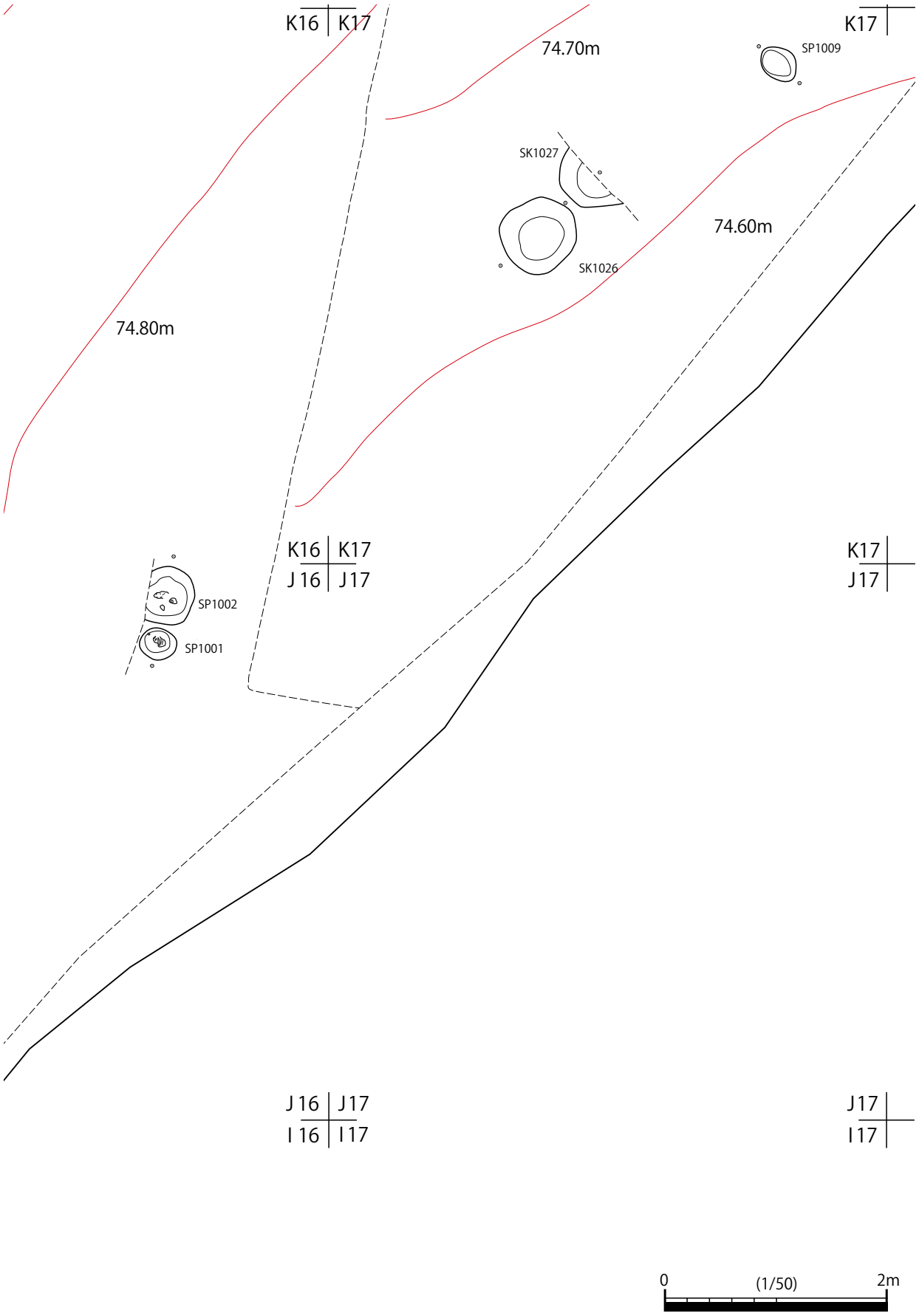
第 111 図　SK1030 ～ 1032, SP1009 ～ 1013 遺構図（1/25）

第 41 表 SP1009 ～ 1013 遺構計測表

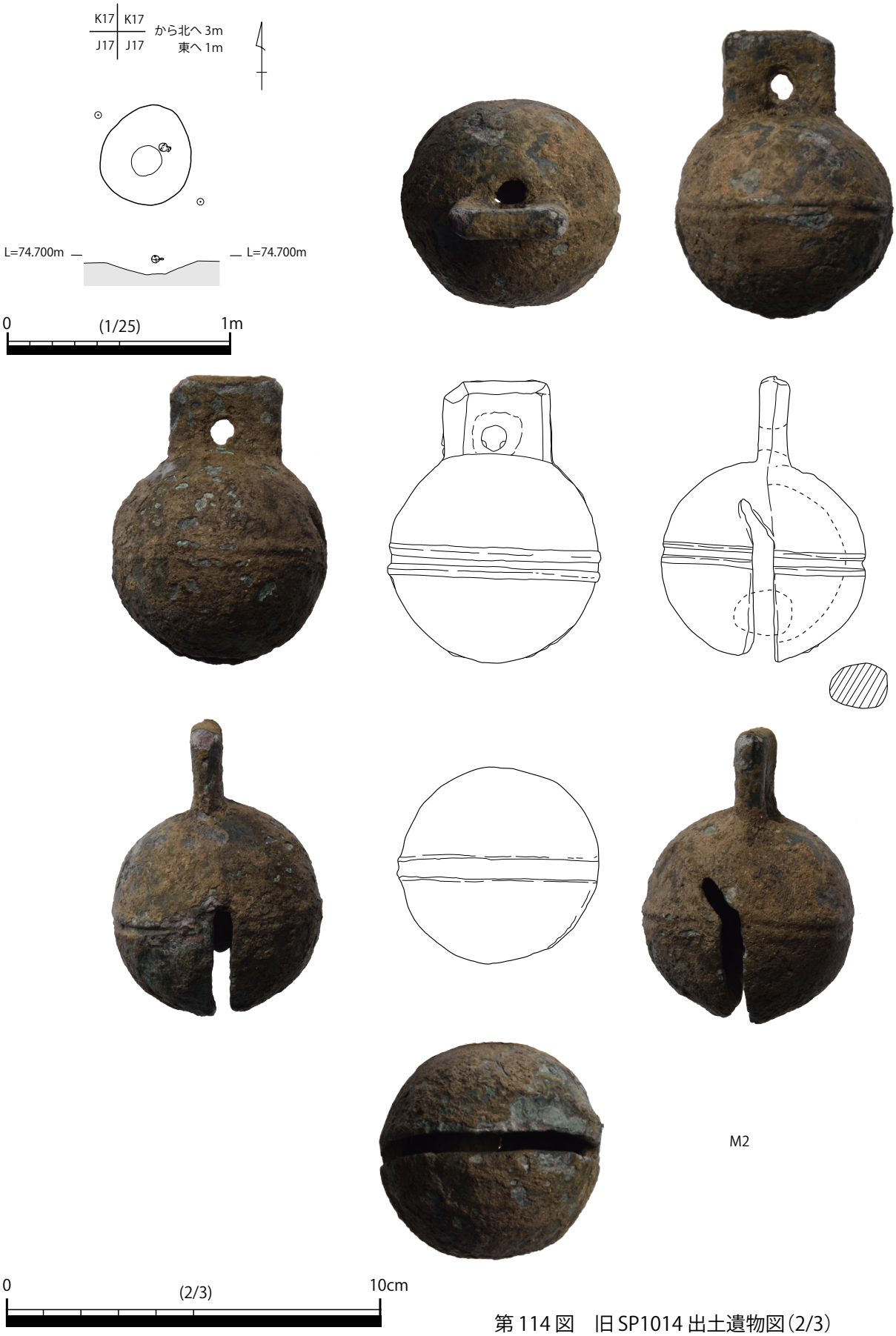
遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸（cm）	短軸（cm）	深さ（cm）	土色
SP	1009	K-17	楕円形	舟底形	37	28	13	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）
SP	1010	L-17	楕円形	長方形	25	24	16	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む）
SP	1011	L-17	楕円形	逆台形	28	26	22	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む）
SP	1012	L-17	不整形	不整形	（24）	25	14	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む）
SP	1013	M-17	方形	丸底形	26	25	15	1：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =5mm 程度の炭化物を含む　径 =5cm 程度の円礫を含む　径 =1cm 程度の土器片を含む） 2：にぶい黄褐色 10YR5/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む） 3：にぶい黄褐色 10YR5/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む　径 =15cm 程度の円礫を含む　2 層より砂性が強い）



第 112 図　包含層出土遺物図（1/3）（1/1）



第 113 図　K17 遺構配置図（1/50）



第 114 図　旧 SP1014 出土遺物図（2/3）

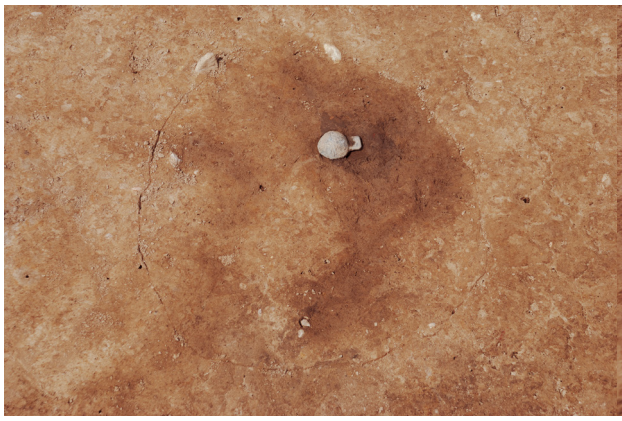


写真 32　青銅製鈴出土状況

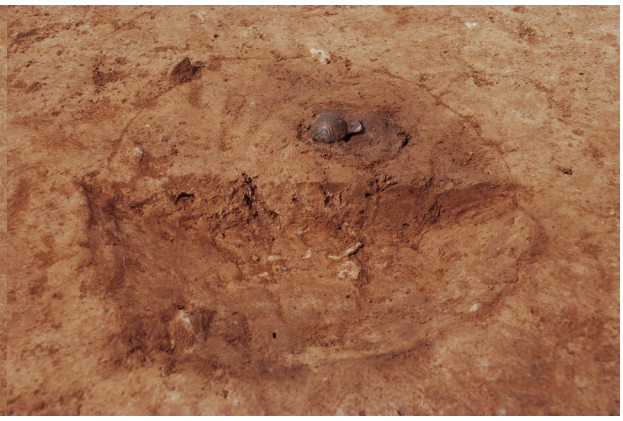


写真 33　青銅製鈴出土状況

写真 34　青銅製鈴出土状況

写真 35　青銅製鈴出土状況

ており、根石としての機能が想定される。SK1012 覆土上層において瓦質製置竈が出土。土坑内には焼土や炭化物層は検出されていないことから、土坑に火処としての機能は無く、流れ込みと推定される。

標高 75.00m を測る L16,M16 付近（第 103 図）では柱穴と小型土坑が散在するのみである。SK1006 より鉄製紡錘車が出土。古墳時代後期と推定される。

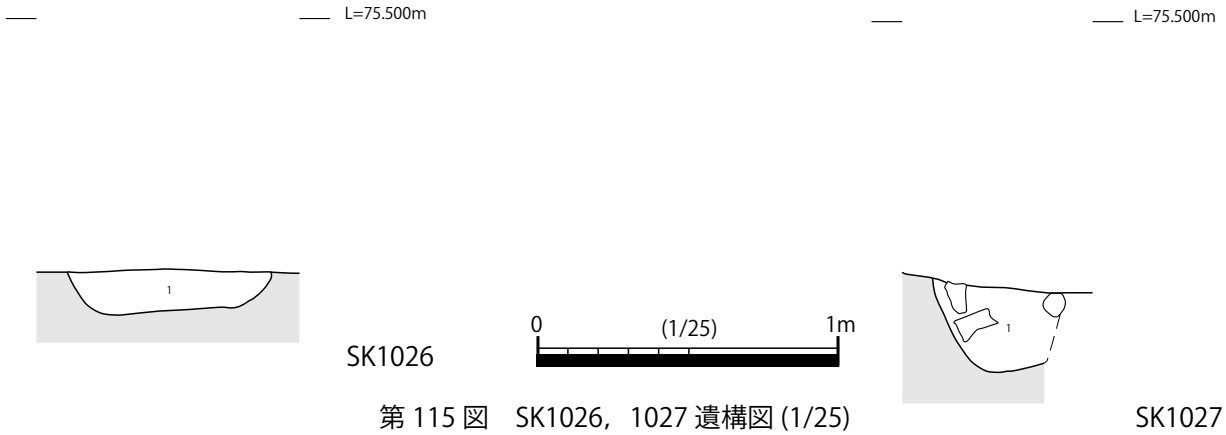
標高 74.70m を測る L17 グリッド付近（第 109 図）では、小型土坑が疎に散在するのみである。標高 74.70m の等高線に沿うように細長い土坑 SK1031 が展開するが、溝状遺構の可能性がある。

標高 74.60m を測る K17 グリッド付近（第 113 図）は、小穴や小型土坑が疎らに散在するのみである。包含層中より青銅製鈴（M2）が出土した。遺構検出時には小穴（旧 SP1014）覆土上面に伴うと解釈されたが、包含層よりの出土である。周辺に築造された古墳が破壊された際に流れ込んだものと推定される。

標高 74.80m を測る J15 グリッド付近（第 123 図）は遺構は疎らであり、I15 グリッド付近より遺構面上より須恵器等が比較的集中して出土したのみである。

2. 出土遺物

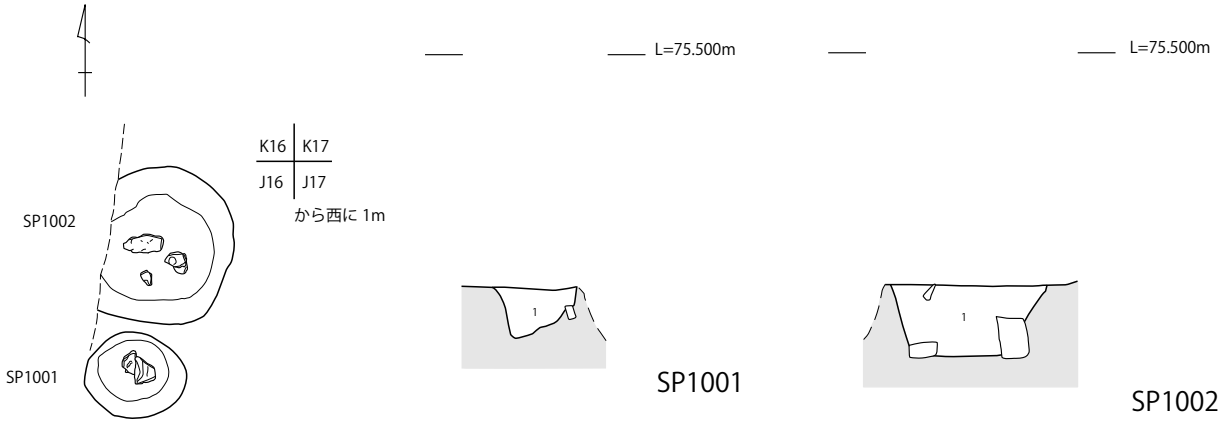
小型不明土製品（第 29 図－ 2）は L9 グリッドより出土した。側面には当て具（篦状工具）の押さえ



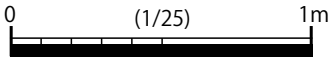
第 115 図　SK1026，1027 遺構図 (1/25)

第 42 表　SK1026，1027 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	主軸方位	土色
SK	1026	K-17	円形	舟底形	67	64	14	N-44.00°-E	1：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =1mm 程度の炭化物を含む　径 =3cm 程度の円礫を含む）
SK	1027	K-17	不整形	舟底形	(58)	(29)	27	N-44.75°-W	1：褐色 10YR4/4　粘性砂質土　しまり良　（径 =5mm 程度の炭化物を含む　径 =15cm を超えるの円礫を含む）



第 116 図　SP1001, 1002 遺構図（1/25）



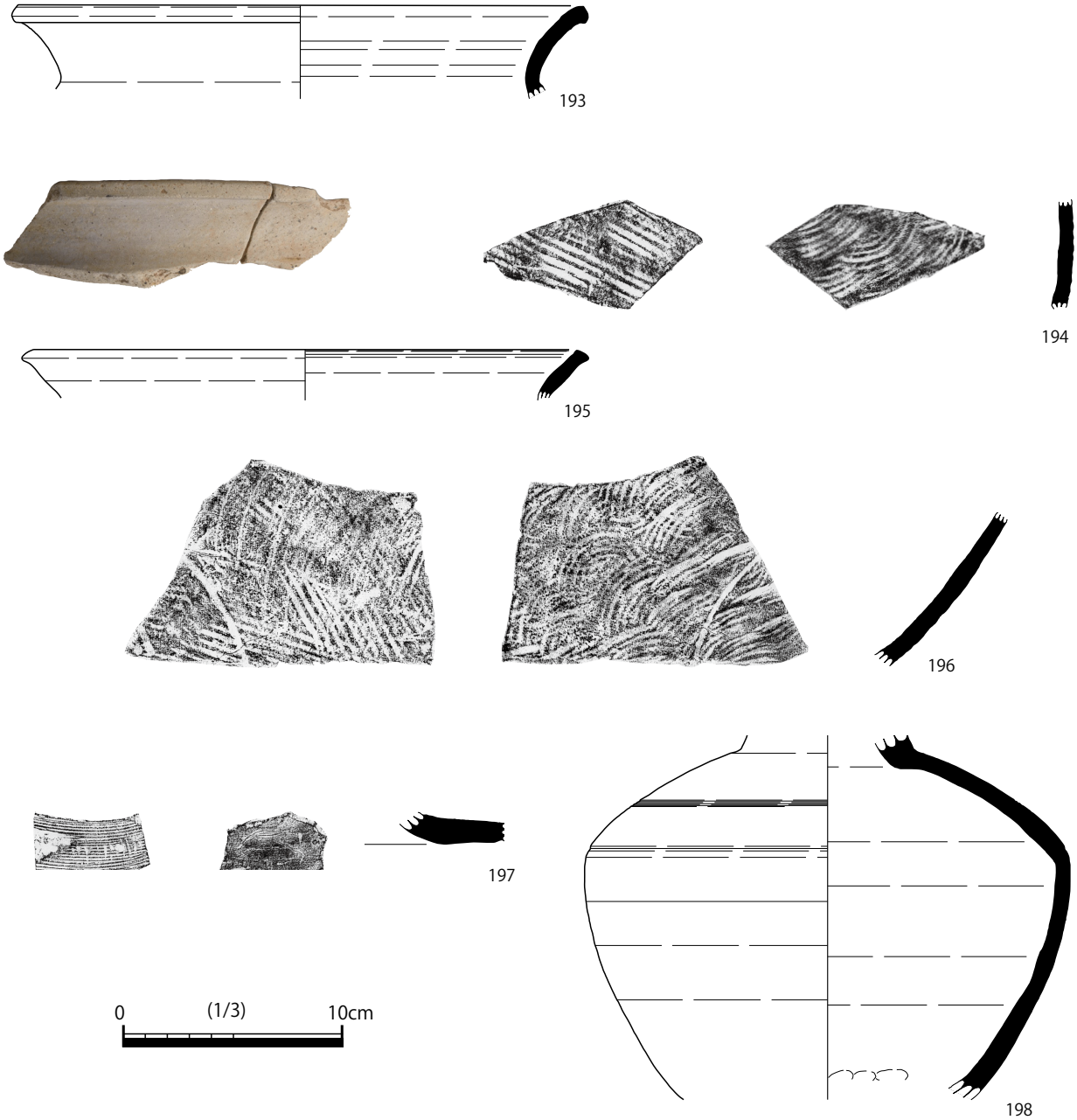
第 43 表　SP1001，1002 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	土色
SP	1001	J-16	楕円形	舟底形	34	27	16	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良（径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒、炭化物を含む）上面に須恵質土器が出土
SP	1002	J-16	不整形	不整形	52	(41)	23	1：にぶい黄褐色 10YR4/3　粘性砂質土　しまり良（径 =2mm 程度の炭化物を含む　径 =5cm 程度の円礫を含む）上面に須恵質土器が出土

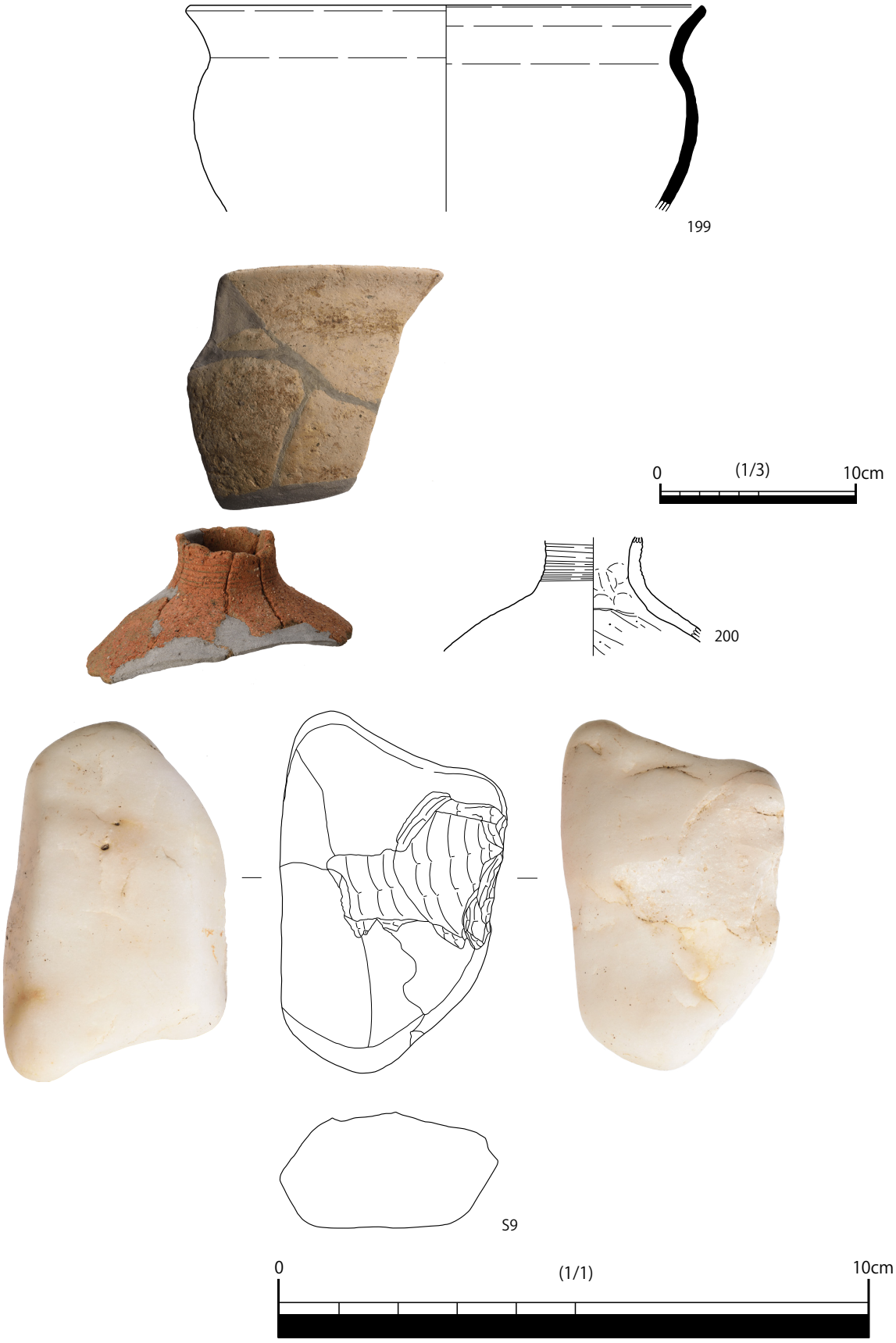
写真 36　SP1001,1002 完掘状況

写真 37　SP1002 完掘状況

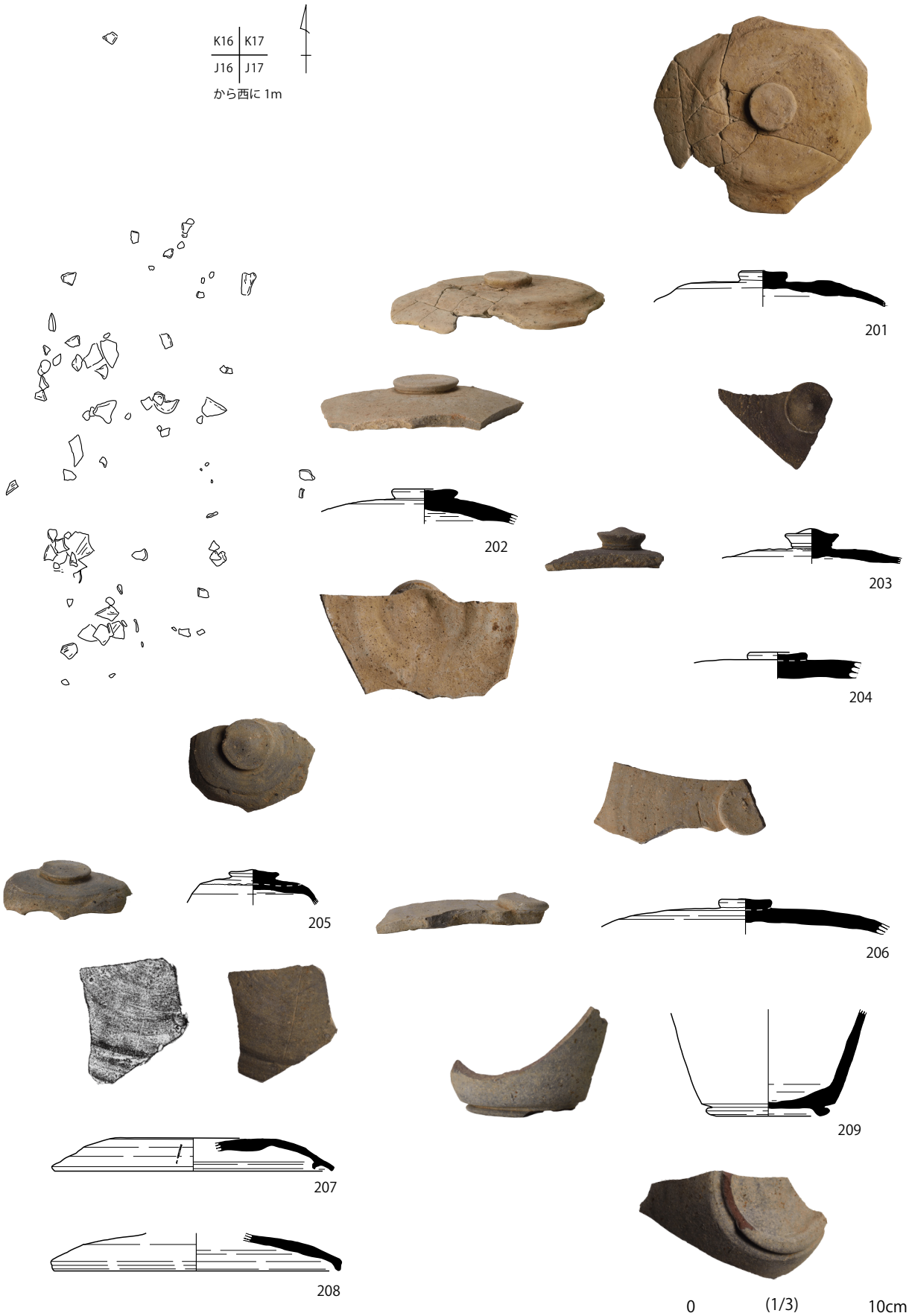
第 117 図　SX1002 出土遺物図（1/3）



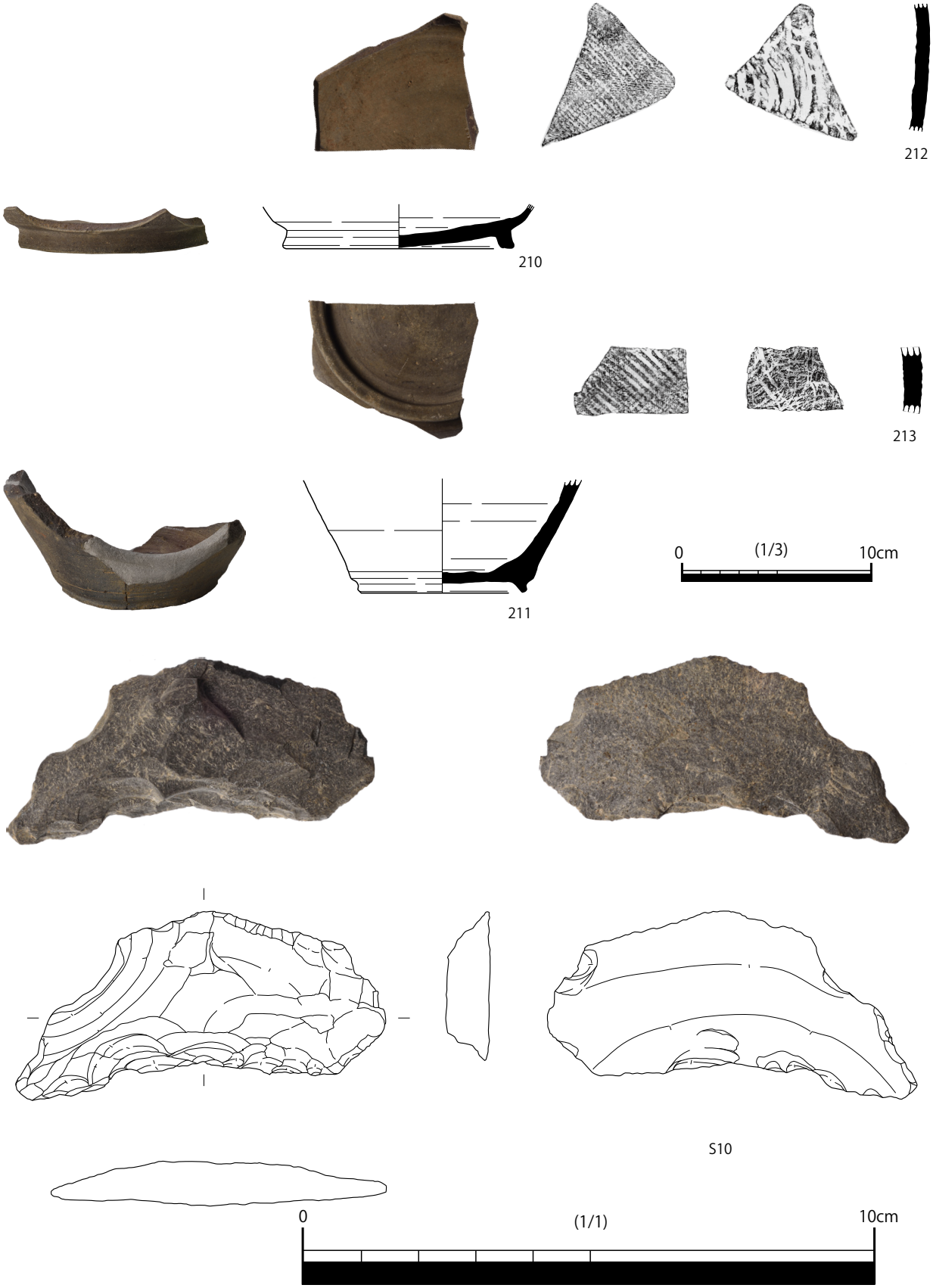
第 118 図　SX1002 出土遺物図（1/3）



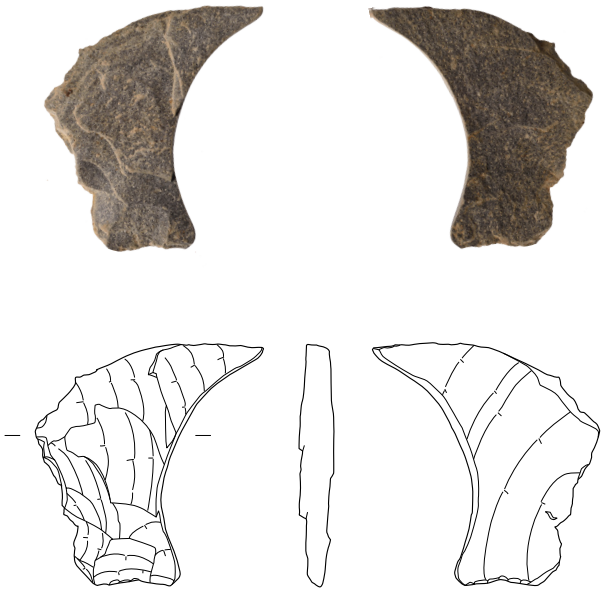
第 119 図　SX1002 出土遺物図（1/3）



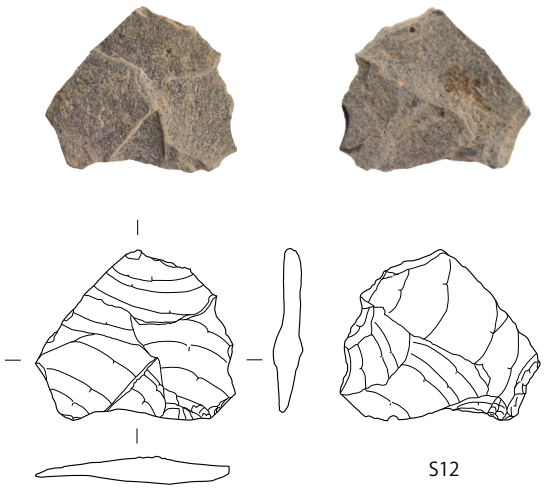
第 120 図　包含層出土遺物図 (1/3)



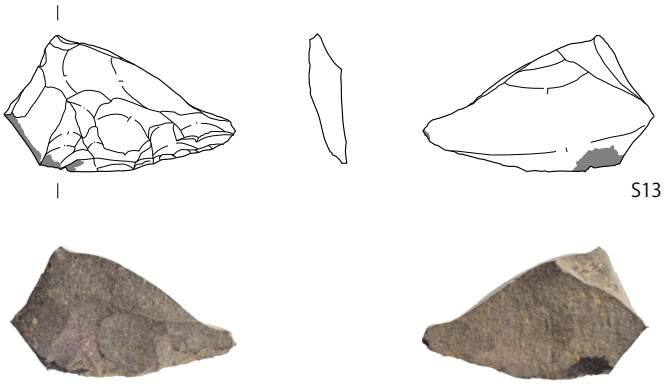
第 121 図　包含層出土遺物図 (1/3)



S11



S12



S13

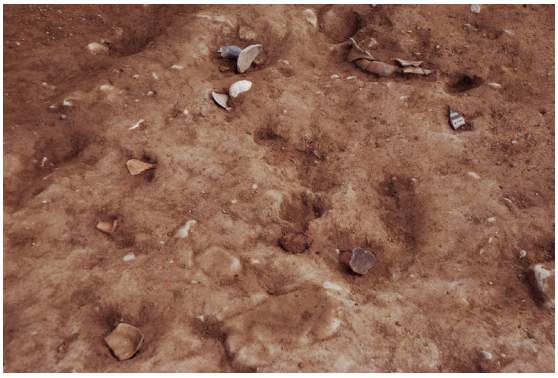
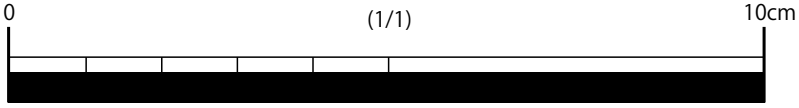


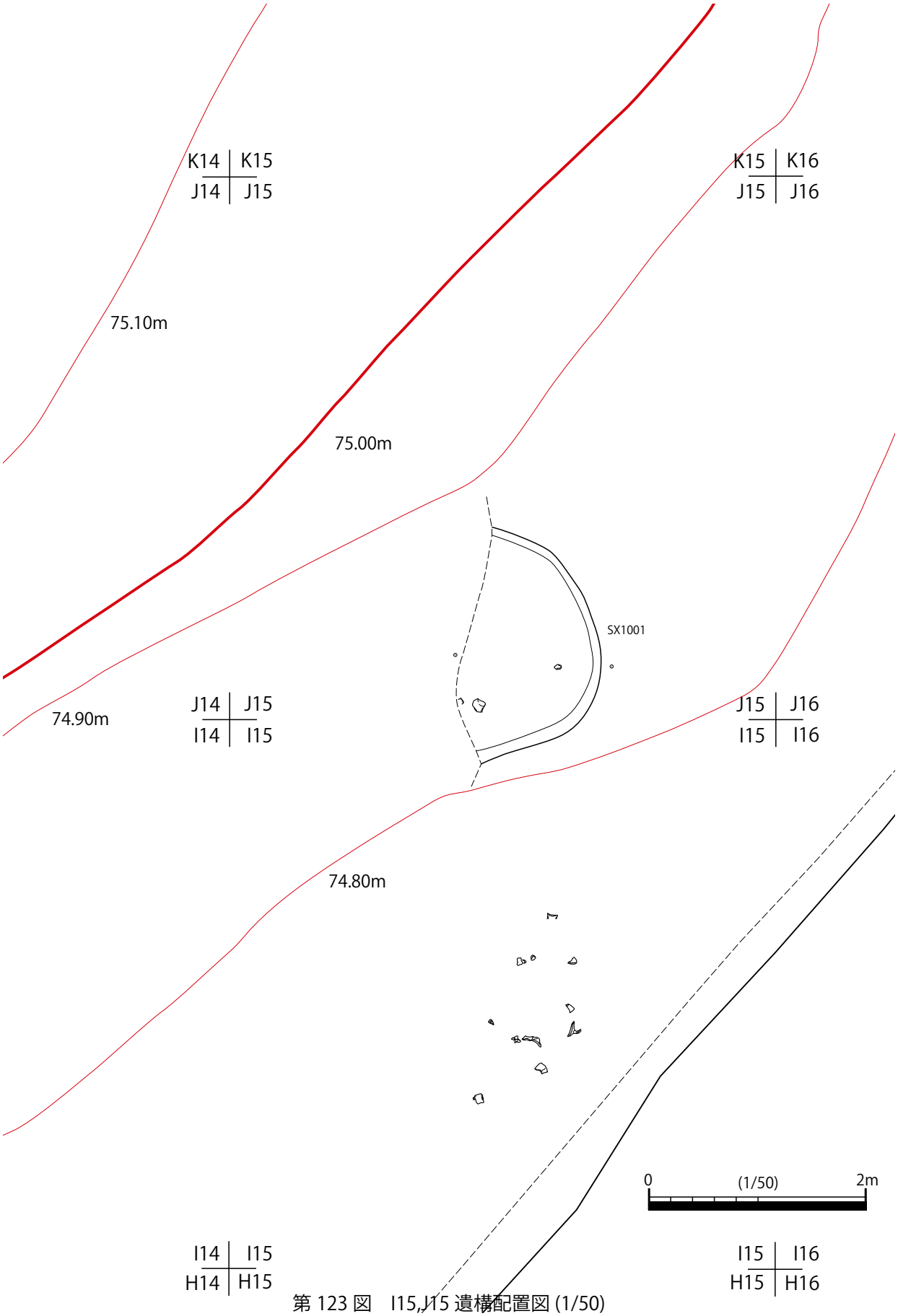
写真 38　I5 遺物出土状況

S14

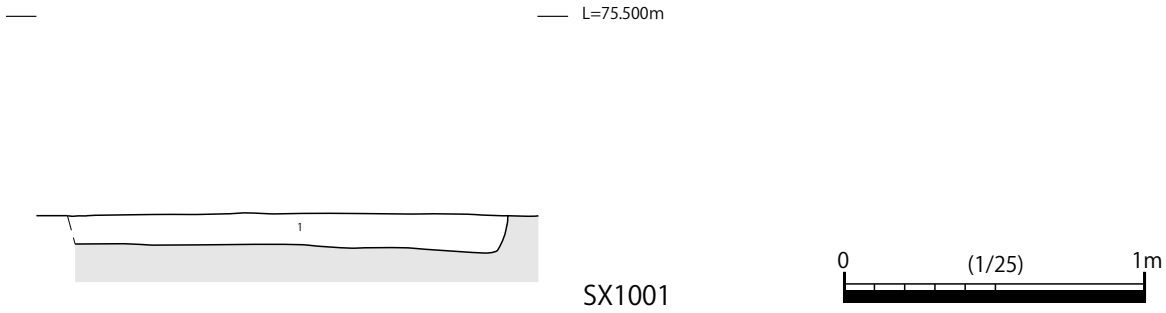
写真 39　I15 遺物出土状況



第 122 図　包含層出土遺物図 (1/1)



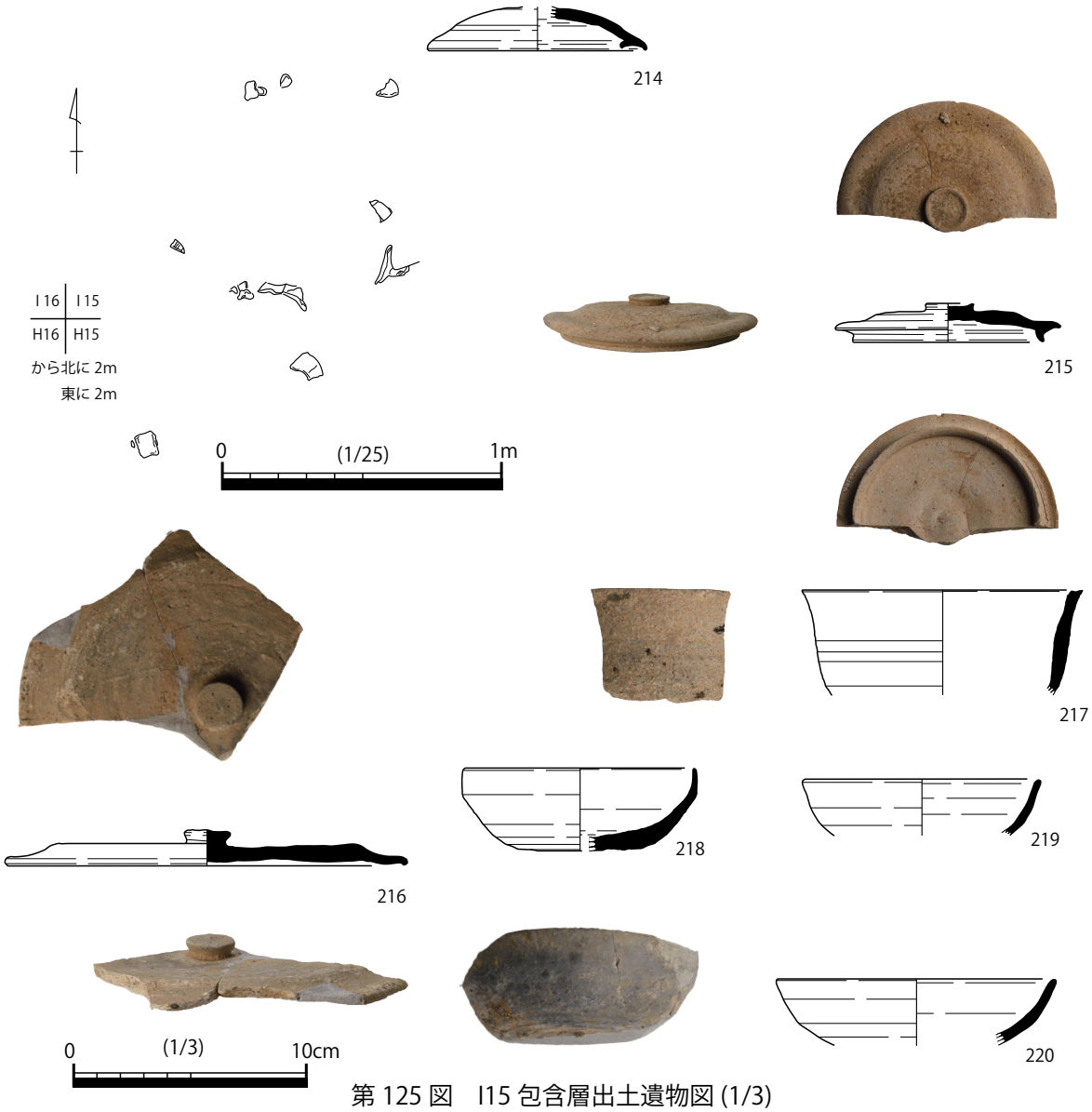
第 123 図　I15,J15 遺構配置図 (1/50)



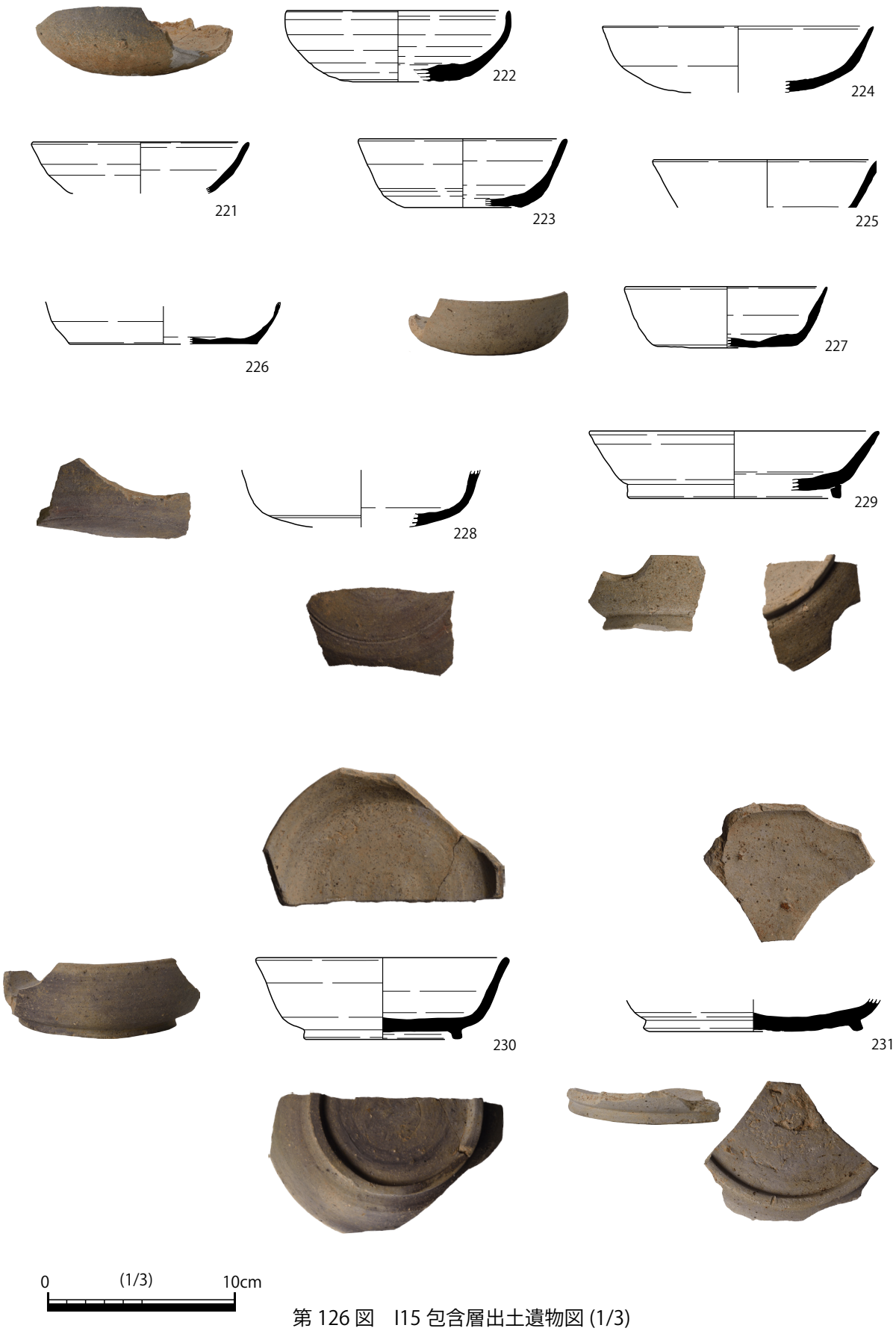
第 124 図　SX1001 遺構図 (1/25)

第 44 表　SX1001 遺構計測表

遺構	番号	小グリッド	平面形	断面形	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	主軸方位	土色
SX	1001	J-15	不整形	皿形	217	(126)	12	不明	1：灰黄褐色 10YR4/2　粘性砂質土　しまり良　(径 =1mm 程度の鉄分、マンガン粒を含む　径 =2cm 程度の土器片を含む)

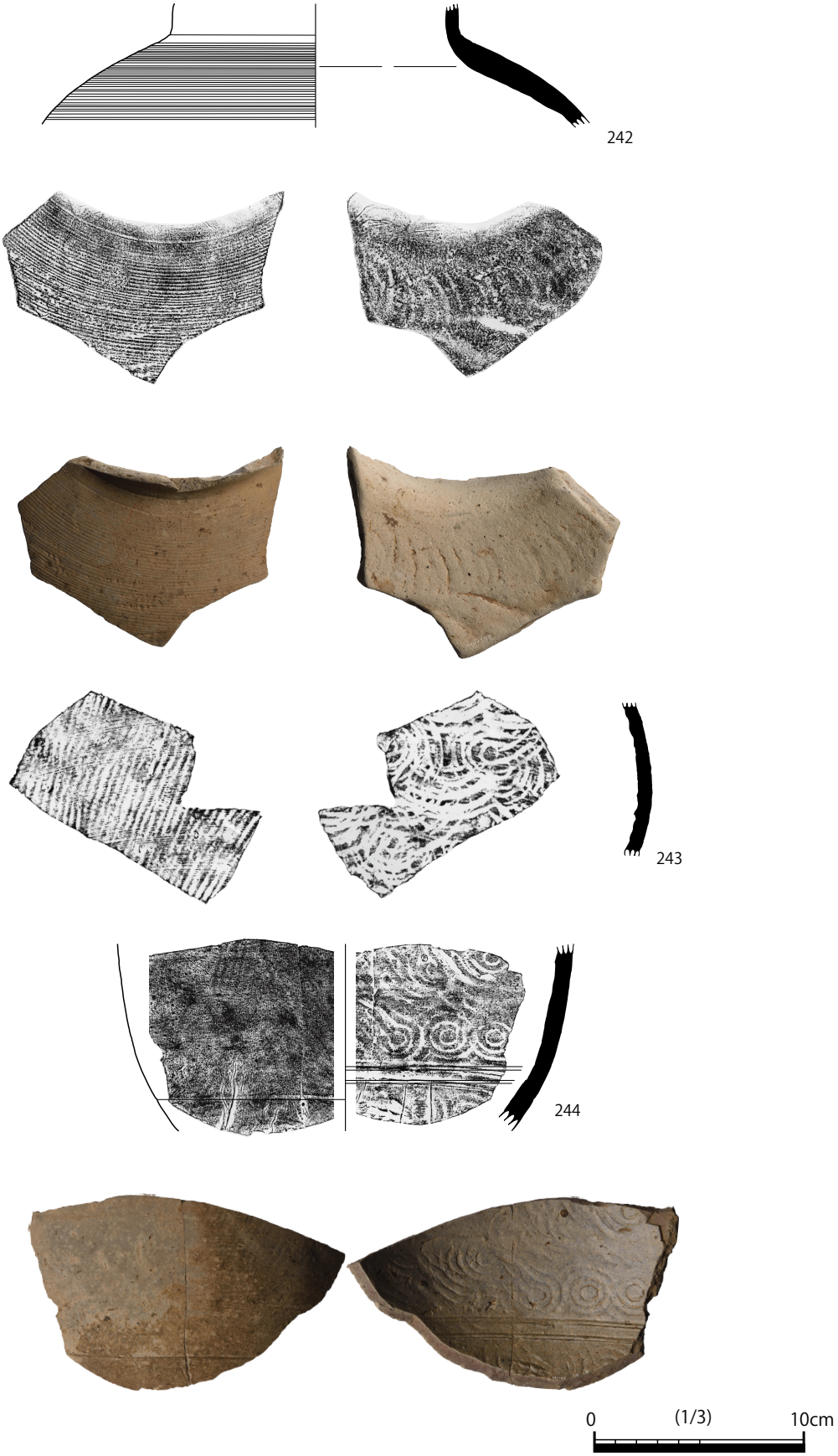


第 125 図　I15 包含層出土遺物図 (1/3)

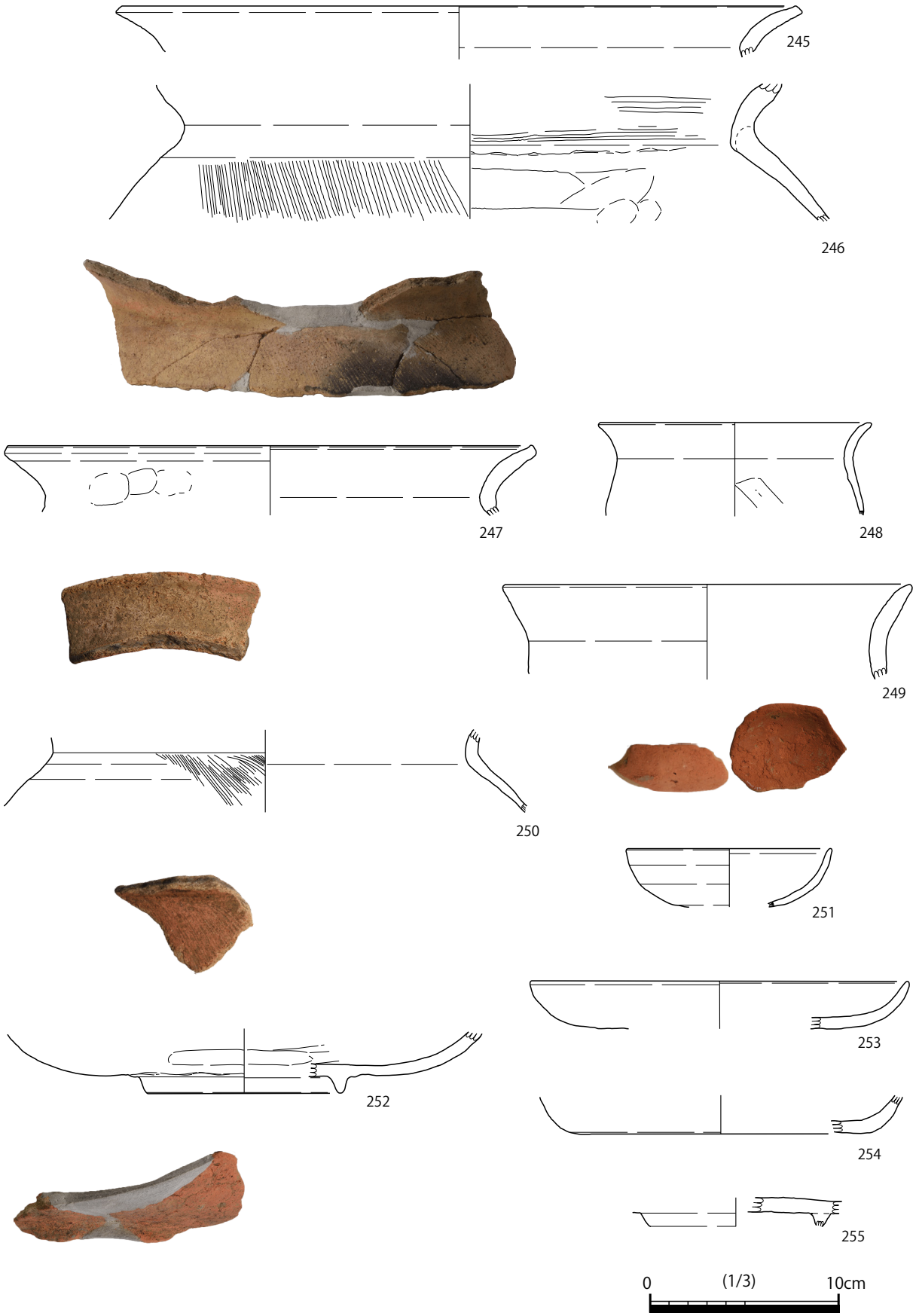


第 126 図　I15 包含層出土遺物図 (1/3)

第 127 図　包含層出土遺物図 (1/3)

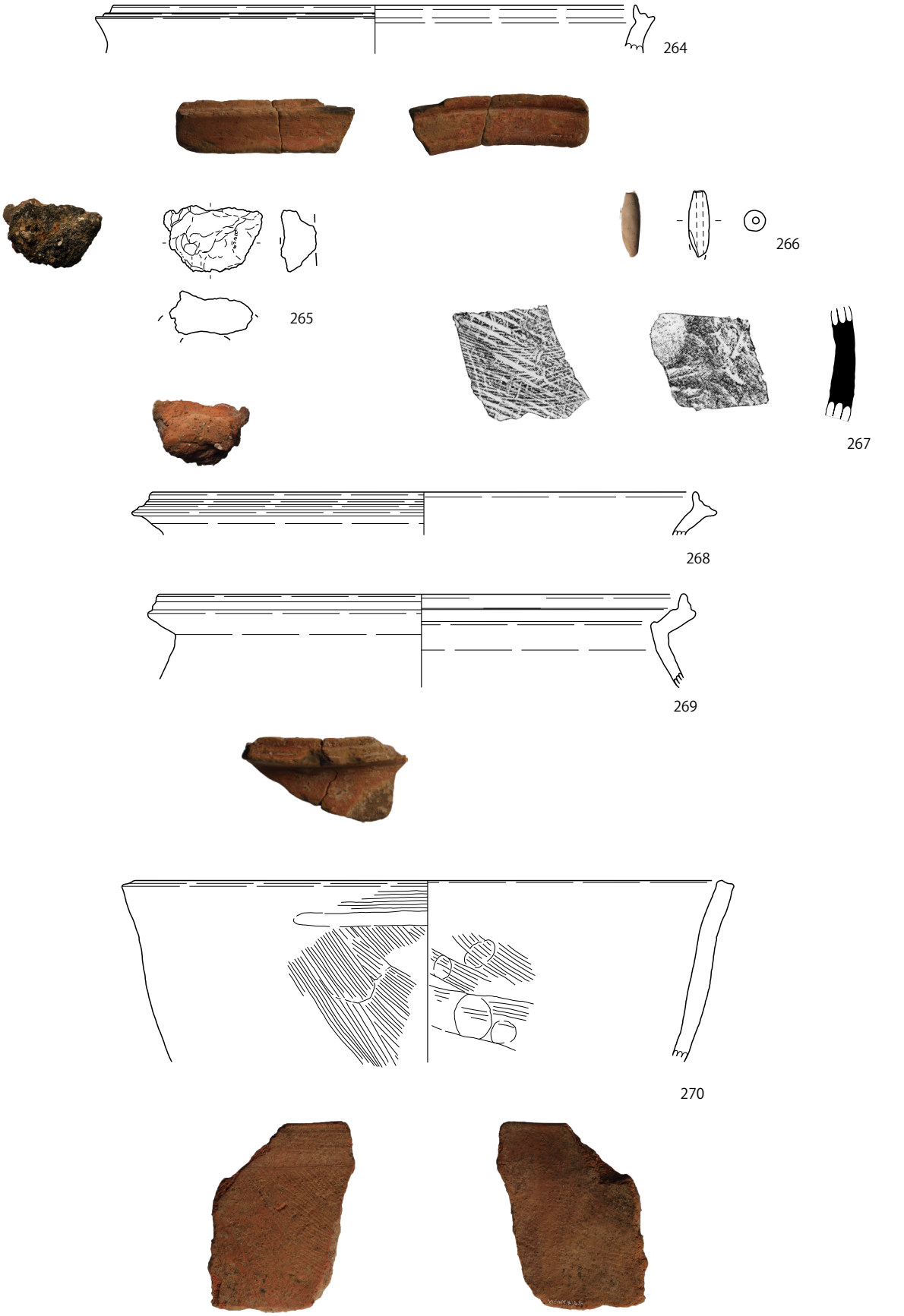


第 128 図 包含層出土遺物図 (1/3)



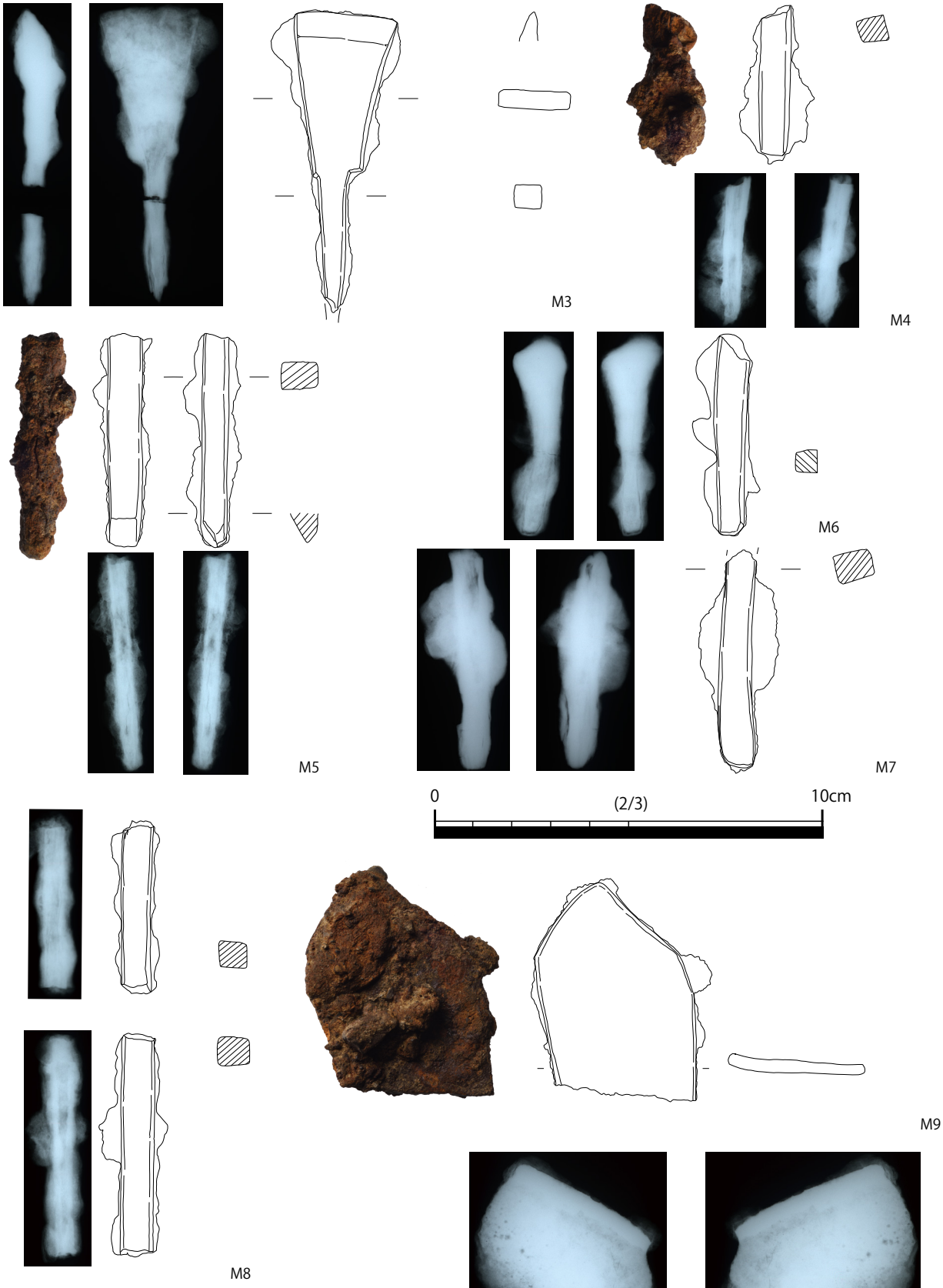
第 129 図　包含層出土遺物図 (1/3)

第 130 図　包含層出土遺物図 (1/3)

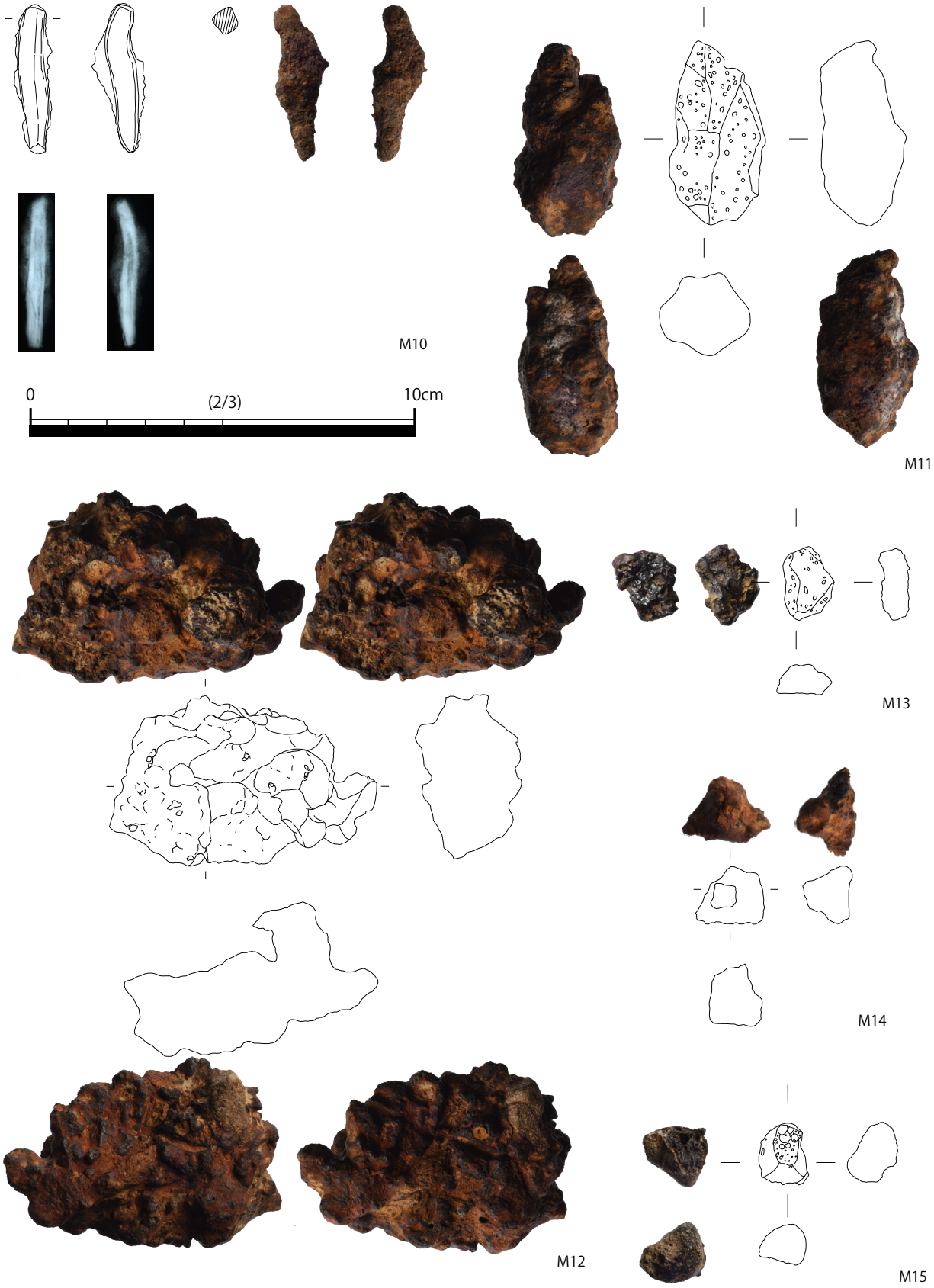


第 131 図　包含層出土遺物図 (1/3)

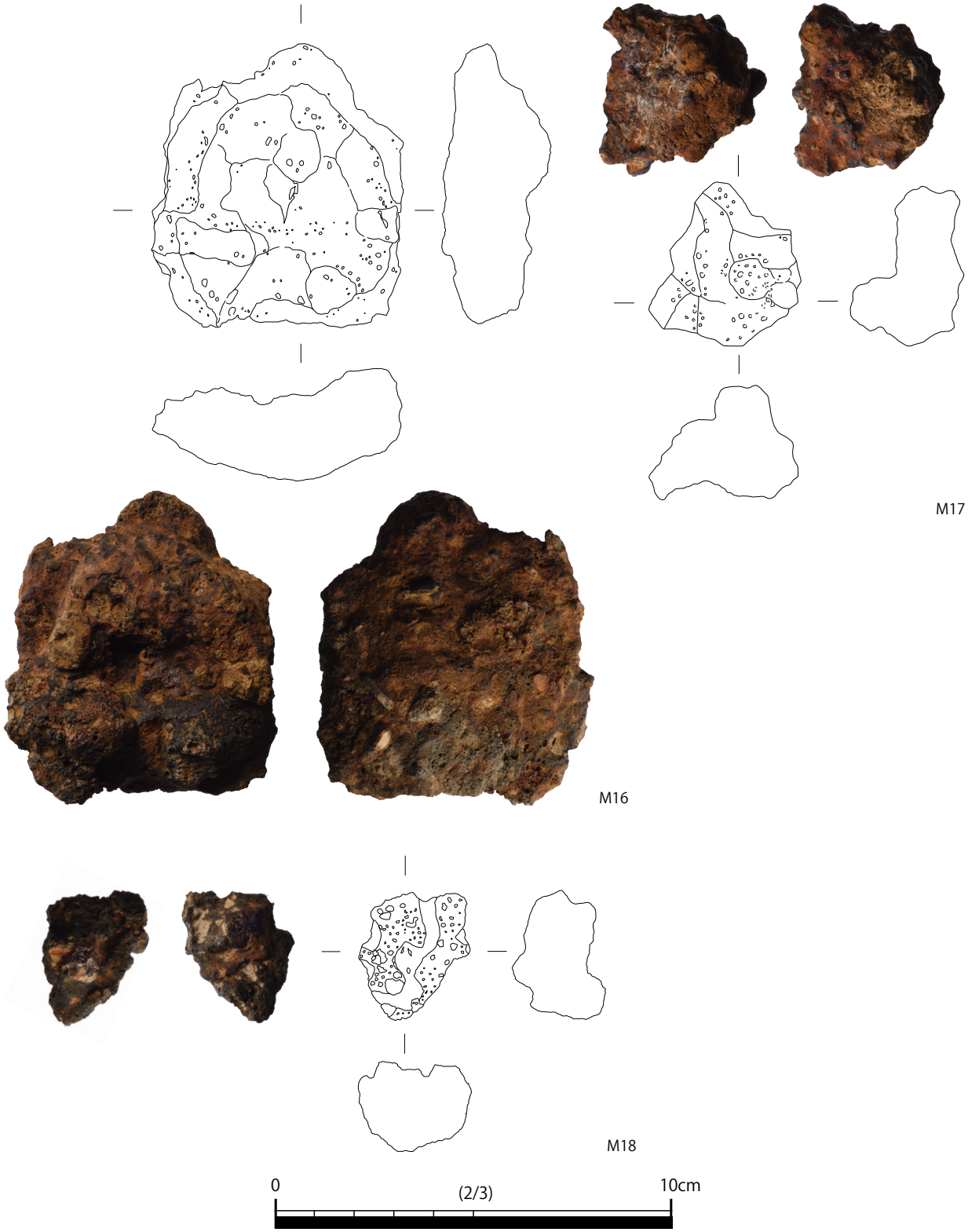
第 132 図　包含層出土遺物図 (1/3)



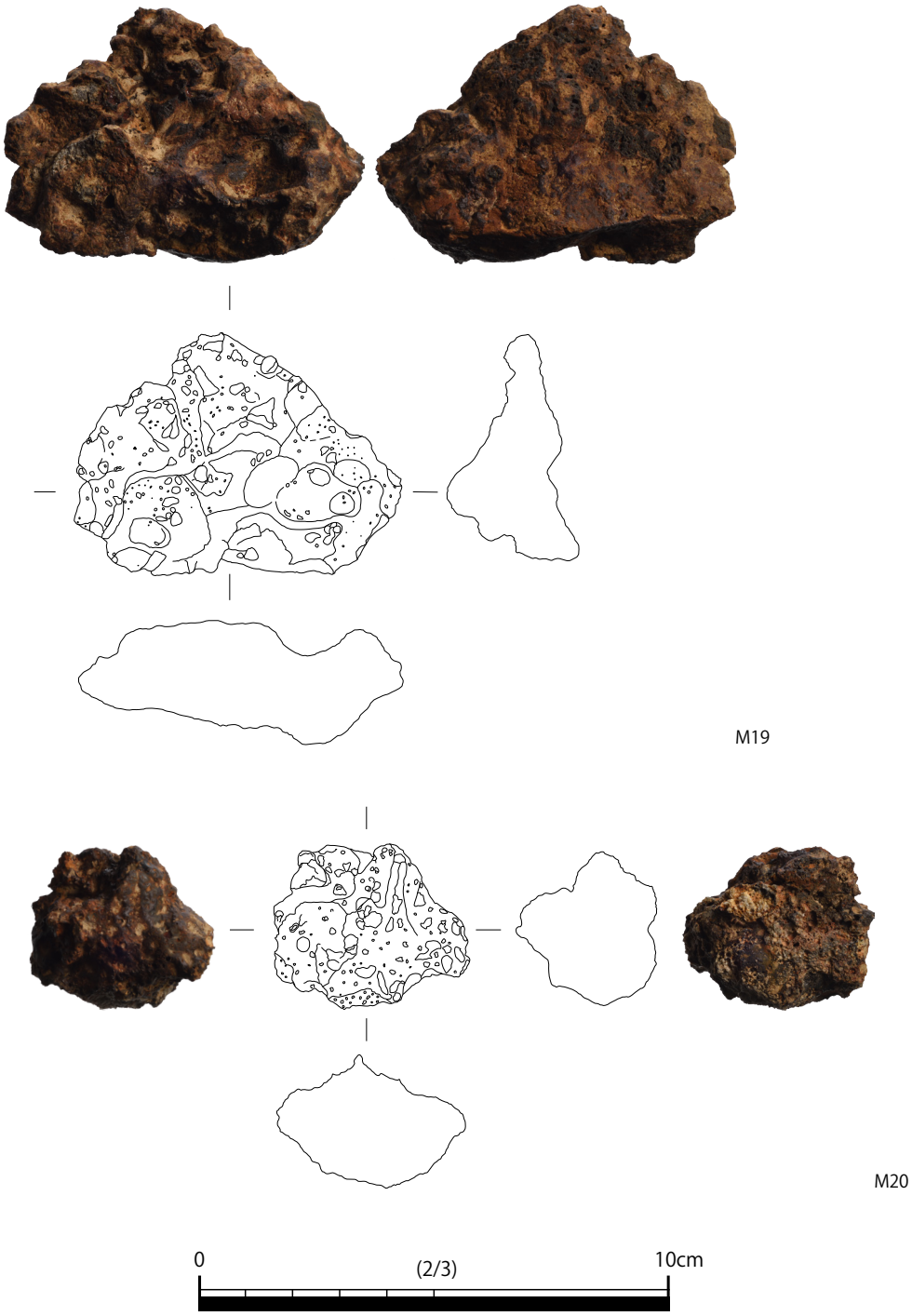
第 133 図　包含層出土遺物図 (2/3)



第 134 図　包含層出土遺物図 (2/3)



第 135 図　包含層出土遺物図 (2/3)



第 136 図　包含層出土遺物図 (2/3)

による正三角形状スタンプ痕により八角柱状を呈する。上部は外径より一回り小さい法量で面取りされ、上面はユビナデ整形されており、ソケット状を呈することから、別造りの土製品と組み合わされると推定される。小型塑像に伴う台座の可能性が想定される。

単弁蓮華文軒丸瓦（第 32 図―3）は SK1051 覆土正面より出土した。出土状況から包含層に伴う。笵傷から郡里廃寺出土瓦と同笵である。香川県まんのう町弘安寺や香川県さぬき市極楽寺と同笵である。

圏足円面硯（第 71 図―116）は包含層中よりの出土である。方形透孔が伴う。

銅碗（第 71 図―M1）は包含層中よりの出土である。外面口唇部直下に 2 条の圏線が、内面口唇部に

1 条圏線が施されている。

圏足円面硯（第 87 図―146）は包含層中よりの出土である。十字文透孔が伴う。

置竈（第 99,100 図―156）は SK1012 覆土上面より出土した。焼成は瓦質である。鍔部分には布目痕が残る。製作技法や胎土・焼成から、他の瓦同様に坊僧瓦窯で生産された可能性がある。

Ⅳ　まとめ

郡里廃寺

中山路遺跡が立地する同一段丘の南東側に郡里廃寺が展開する。郡里廃寺は 1967・68 年に実施された発掘調査により、東西 94m、南北 120m にわたる寺域に法起寺式伽藍配置の塔跡・金堂跡が確認された。2006・07・08 年の美馬市教育委員会による発掘調査が実施された。西側に現存する土塁状遺構（基底部幅約 3m、比高差 0.8m）には遺構覆土中から大量の瓦が伴う両側に浅い溝が確認されたことから、瓦葺き塀の基壇と推定される。塔跡を挟んだ東側でも同様の遺構が確認された事から、寺域東西約 100m と推定される。南北境界は不明瞭であるが、南門推定地において石敷遺構が検出されたこと等から、南北 120m と推定されている。但し、1・2 次調査において回廊跡と推定された石敷状遺構は、その後の調査では連続性が確認されていない。また同遺構が伽藍中軸に対し左右対称では無いことや金堂跡推定地と寺域西端との間隔が狭いこと等から回廊の存在自体を再検討する必要がある。

寺域中央付近に位置する旧六角堂基壇が塔跡に該当する。基壇築成土内には根石を充填した四天柱と心柱穴が掘削されている。根巻板を巻いた八角形を呈する心柱基底部には、舎利孔が伴う心礎が据えられている。心柱跡が現基壇面上と地下の二面で確認できることから、塔は建替がある。再建塔は、中間 2.3 m、脇間が 2.1 mの約 6.5 mに復元できる。なお、塔基壇の規模は一辺約 11.5 mに復元できる。

塔西側に位置する金堂跡は基壇・礎石等は削平により未確認であるが、基壇最下層と推定される粘質土層が東西 15m、南北 12m の範囲で検出されている。講堂跡は塔跡と金堂跡の中間付近が想定されているが、確定していない。付近の発掘調査で大量の瓦出土が確認された事から、構造物の存在が想定されている。

条里と郡衙

美馬郡衙所在地については、小字「土ヶ久保」比定案（郡里町史編集委員会 1957）や小字「宮西」比定案（羽山 1976）が示されている。いずれの説も小字「駅」から南に屈曲する撫養街道を古代の伝馬路と推定した事を根拠とする。これに対し、木原は、撫養街道は近世の道であり、古代官道に比べて直線部分もあるが大部分は屈曲・蛇行しているることから、小字「駅」は、近世撫養街道に伴う街道筋の駅・宿駅・伝馬宿・馬継（次）とも呼称された宿の所在跡であることを指摘した。更に小字「銀杏木」,「柿ノ木」,「宮西」の一画に、N－15°－Wの条里地割とは異なる正方位地割を示す地区が存在することから、美馬郡衙（評衙）や豪族居館の立地を想定した。また、吉野川下流域における統一条里施行時期が 8 世紀前半まで遡ることから、美馬市美馬町域も同時の施行と想定し、豪族居館や郡衙（評衙）が建設された後に、7 世紀中頃以降に美馬郡内を直線的に横断して伝馬路が敷設され、7 世紀後半に郡里廃寺が建立される。さらに伝馬路を基準にして 8 世紀前半頃に条里が施行されたとする（木原 2009）。

中山路遺跡からは遺溝、土坑、柱穴等が検出され、円面硯や軒丸瓦が確認された。しかし、礎石建物や正方位軸の掘立柱建物の古代寺院や官衙関連遺構は未確認である。唯一、性格不明遺構である SX2001 が当該期の竪穴住居である可能性が指摘出来る程度である。隣接する郡里廃寺東側地域に郡衙推定地が比定される段階では、西側地域に該当する中山路遺跡では小規模集落が展開していた可能性が

ある。また、後期古墳に属する副葬品や当該期の須恵器が包含層から出土することは、後期古墳が破壊されたことを示す。但し、この古墳破壊が郡里廃寺建立に伴うものか、条里制施行段階段もしくは中世・近世以降になるかは不明である。なお、包含層中より郡里廃寺に伴う軒丸瓦や円面硯が出土していることから、郡里廃寺の縮小・廃絶に伴い周辺の古墳も破壊された可能性が高い。

木原克司 2009「古代美馬の条里と交通路」『阿波学会紀要第 55 号　総合学術調査報告　美馬町』
木本誠二 2009「郡里廃寺跡の調査成果と史跡保存の経緯」『阿波学会紀要第 55 号　総合学術調査報告　美馬町』
郡里町（1957）:『郡里町史』.
美馬町教育委員会（1968）:『立光寺跡の発掘調査』.
美馬町教育委員会（1969）:『阿波・立光寺跡調査概報』.
美馬市教育委員会（2006）:『郡里廃寺跡第３次調査概要報告書』.
美馬市教育委員会（2007）:『郡里廃寺跡第４次調査概要報告書』.
美馬市教育委員会（2008）:『郡里廃寺跡第５次調査概要報告書』.

観察表

第 45 表　土器・瓦観察表

掲載番号	遺構番号	種別	器種	法量						備考	実測番号	旧取上番号
				器高	口径	頸部径	胴部最大径	底径	残存率			
1	SD1002	須恵器	甕								172	
3	SK1051	瓦	軒丸瓦								310	
4	I11 包含層	須恵器	蓋		(15.4)				8.3		88	
5	J11 包含層	須恵器	蓋	(18.6)							41	
6	J13 包含層	須恵器	蓋								7	
7	I11 包含層	須恵器	壺					(11.4)		底部外面からの敲打による穿孔	37	
8	I11 包含層	須恵器	高台付椀					(12.0)	12.5		89	
9	J13 包含層	須恵器	高台付椀	3.8	(12.7)			(7.0)	50		47	TS2
10	J12 包含層	須恵器	壺			(13.7)			8.3		42	
11	J12 包含層	須恵器	甕								44	
12	J12 包含層	須恵器	甕								46	
13	J12 包含層	須恵器	甕								43	
14	J13 包含層	須恵器	甕								48	
15	J13 包含層	須恵器	把手付								34	
16	J13 包含層	土師器	羽釜		(18.0)				15.0	讃岐からの搬入品	266	
17	J13 包含層	瓦	平瓦								292	
18	L12 包含層	須恵器	蓋								32	
19	L13 包含層	須恵器	蓋							抓接合痕を天井部内面に残す	117	
20	L13 包含層	須恵器	蓋		(15.15)				25.0		262	
21	K12 包含層	須恵器	高台付坏	3.5	(12.2)			(9.0)	25.0	高台は低く、削り出しの可能性もある	260	
22	k13 包含層	須恵器	高台付椀					(7.7)	25.0		112	
23	K12 包含層	須恵器	高台付坏					(10.2)	40.0		257	
24	K13 包含層	須恵器	高坏		(13.75)				12.5		96	
25	L12 包含層	須恵器	高坏							4 方向透かし孔有り	111	
26	K13 包含層	須恵器	高坏							脚部に透かし孔切り込み有り、方向不明。	98	
27	L13 包含層	須恵器	長頸壺			(5.1)			100		264	
28	L12 遺構面精査	須恵器	壺			5.05					113	

掲載番号	成形・整形・調整				胎土・焼成				
	口頸部	体部	底部	回転方向	粒径	密度	焼成	組成	色調
1		外：平行タタキ→カキ目（9条/1㎝） 内：青海波文			～2.0	やや精	やや良	石、長、雲、泥	外：暗灰（N3/0） 内：灰白（2.5Y7/1）
3		外：ユビナデ 内：ユビナデ+ユビオサエ			～5.0	やや粗	やや不良	石、長、砂	外：灰白（2.5Y8/1） 内：灰白（2.5Y8/1）
4	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		左	0.1～5.0	やや精	やや良	石、長	外：灰（N5/0） 内：灰（N4/0）
5	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→回転ナデ 内：回転ナデ		右	0.1～1.5	やや精	やや良	石、長、砂	外：灰（N6/0） 内：灰（N6/0）
6		外：回転ヘラケズリ→回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ→抓　内：回転ナデ	左	～5.55	やや精	やや不良	長、雲、赤、泥	外：橙（5YR6/6） 内：橙（5YR6/6）
7		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラ切り→高台貼付→回転ナデ 内：回転ナデ	右	0.5～1.5	精	良	石、長、黒	外：暗灰黄（2.5Y5/2） 内：灰白（5Y7/1）
8		外：回転ナデ　内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→貼付高台→ユビナデ 内：回転ナデ	左	～2.0	やや精	やや不良	結、石、黒	外：灰白（2.5Y8/2） 内：灰黄（2.5Y7/2）
9	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ　内：回転ナデ	外：回転ヘラ切り→高台貼付→回転ナデ 内：回転ナデ→１本ユビナデ	右	0.1～3.0	やや精	やや良	石、長、砂	外：灰（N5/0） 内：灰白（N7/0）
10	外：連簾文→回転ナデ 内：回転ナデ				0.1～6.0	やや精	やや良	石、長、砂	外：灰（N6/0） 内：灰（N/6/0）
11		外：格子タタキ→カキ目（7条/1㎝）　内：青海波文			0.5～1.5	やや精	並	石、長、砂	外：灰（N6/1） 内：灰（N6/0）
12		外：平行タタキ→カキ目（8条/1㎝）　内：青海波文			0.2～1.0	やや精	良	石、長	外：灰（N6/0） 内：灰（N6/0）
13		外:格子タタキ→ユビナデ　内:青海波文→ユビナデ			0.5～1.5	やや精	並	石、長、黒	外：灰（5Y5/1） 内：灰（N5/1）
14		外：格子タタキ→カキ目（12条/1㎝）＋平行タタキ工具ナデ 内：青海波文			0.1～1.0	やや精	並	石、長、雲	外：灰（7.5Y6/1） 内：灰（7.5Y6/1）
15		外：ユビナデ　内：ユビナデ			0.2～0.5	やや精	並	石、長、チ	外：灰（N5/0） 内：灰（N5/0））
16	外：ヨコナデ 内：ヨコナデ	外：ユビナデ 内：イタナデ			～1.0	やや粗	やや不良	石、長、金　雲、赤	外：橙（5Y6/8） 内：橙（7.5YR6/8）
17		外：縄席文タタキ 内：布目（7条/1㎝）			～3.0	精	やや不良	石、長、黒	外：灰（7.5Y5/1） 内：灰白（5Y8/2）
18		外：回転ヘラケズリ→回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→抓貼付 内：回転ナデ→１本ユビナデ	左	～2.0	やや精	やや良	長、黒	外：灰（N6/0） 内：灰白（N7/0）
19	外：回転ナデ 内：回転ナデ				0.1～3.0	やや精	やや良	長、泥、黒	外：灰白（N7/0） 内：灰白（N7/0）
20	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	右	～3.0	やや精	やや良	長、泥	外：灰（N5/0） 内：灰（N5/0）
21	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：貼付高台→回転ナデ 内：回転ナデ	右	～3.5	やや精	不良	石、長、砂、黒	外：灰白（5Y8/1） 内：灰白（5Y7/1）
22			外：回転ヘラケズリ→貼付高台→回転ナデ 内：回転ナデ→ユビナデ	右	0.1～1.0	やや精	やや不良	石、長、泥	外：灰白（N7/0） 内：灰白（N7/0）
23		外：回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→貼付高台→回転ナデ 内：回転ナデ→４本ユビナデ	右	～2.0	やや粗	並	石、長、黒	外：灰白（N8/0） 内：灰白（N8/0）
24	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ 内：回転ナデ→ユビナデ	右	0.1～1.5	やや精	やや良	長、泥	外：灰（N4/0） 内：灰（N6/0）
25		外：回転ナデ→ユビナデ 内：回転ナデ→絞り痕			0.5～2.5	やや精	やや不良	結、石、長、雲、黒	外：灰（5YR6/1） 内：灰（5YR6/1）
26		外：回転ナデ 内：回転ナデ＋絞り痕			0.5～3.0	やや精	やや良	石、長、雲	外：暗青灰（5PB4/1） 内：明青灰（5PB7/1）
27	外：回転ナデ 内：回転ナデ				～2.0	やや精	やや良	石、長、雲、黒	外：黄褐（2.5Y5/3） 内：灰黄（2.5Y6/2）
28	外：回転ナデ 内：回転ナデ				0.2～0.5	やや精	やや良	石、長、砂、黒	外：灰（N6/0） 内：灰（N6/0）

掲載番号	遺構番号	種別	器種	法量						備考	実測番号	旧取上番号
				器高	口径	頸部径	胴部最大径	底径	残存率			
29	K13 包含層	須恵器	壺				(19.4)		12.5		115	
30	L12 包含層	須恵器	壺			(7.2)	(17.1)		25.0		116	
31	L12 包含層	須恵器	双耳壺				(27.1)			耳部に自然釉付着、耳部はヘラケズリによる整形	38	
32	K12 包含層	須恵器	甕		(39.0)				4.0		261	
33	K13 包含層	須恵器	壺		(35.85)				4.2	櫛描波状文の上方に楕円形刺突文	95	
34	L12 撹乱層	須恵器	甕		(34.6)				8.3		35	
35	K13 包含層	須恵器	多嘴壺								97	
36	K12 包含層	須恵器	甕								265	
37	K12 包含層	須恵器	甕								93	
38	L11 包含層	須恵器	甕								189	
39	K12 包含層	須恵器	甕								92	
40	L12 遺構面精査	須恵器	甕						16.7		114	
41	K13 包含層	土師器	甕		(25.9)	(22.8)			12.5		270	
42	K13 包含層	瓦	丸瓦								299	
43	L12 包含層	瓦	丸瓦								291	
44	K13 包含層	瓦	平瓦								289	
45	L12 包含層	瓦	平瓦								295	
46	L12 包含層	瓦	平瓦								300	
47	K13 包含層	瓦	平瓦								296	
48	L13 包含層	瓦	平瓦								290	
49	K12 包含層	瓦	平瓦								298	
50	K12 包含層	瓦	平瓦								294	
51	SK1068	須恵器	甕								231	1
52	SK1063	須恵器	甕					(6.5)	8.5		226	1
53	SX1010	須恵器	坏					6.0	75	ヘラ記号	171	
54	M11 包含層	須恵器	壺			(12.95)			8.3	外面自然釉	66	
55	M11 包含層	須恵器	高坏								67	
56	M12 包含層	須恵器	広口壺？						33.3		65	

掲載番号	成形・整形・調整				胎土・焼成				
	口頸部	体部	底部	回転方向	粒径	密度	焼成	組成	色調
29		外：回転ナデ 内：回転ナデ		左	～1.0	精	やや良	長、泥	外：灰白（N7/0） 内：灰（N6/0）
30		外：回転ナデ→回転ヘラケズリ 内：回転ナデ		左	0.2～1.5	精	良	石、長、黒	外：灰褐（5YR5/2） 内：灰白（N7/0）
31		外：回転ナデ 内：回転ナデ		右	0.2～1.5	精	やや良	石、長	外：灰オリーブ（5Y6/2） 内：灰白（7.5Y8/1）
32	外：回転ナデ 内：回転ナデ				～2.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：黄灰（2.5Y6/1） 内：灰白（5Y7/1）
33	外：回転ナデ→櫛描波状文　内：回転ナデ				0.2～1.5	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰白（N7/0） 内：灰（N6/0）
34	外：回転ナデ→櫛描波状文　内：回転ナデ				0.5～2.0	やや精	並	石、長、黒	外：黄灰（2.5Y6/1） 内：灰黄（2.5Y7/2）
35		外：回転ナデ→ユビナデ 内：ユビナデ			0.2～1.0	やや精	良	石、長、黒	外：灰（N4/0） 内：灰（N5/0）
36	外：回転ナデ　内：回転ナデ	外：カキ目（7条/1cm） 内：青海波文→回転ナデ			～2.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰（N6/0） 内：灰（N4/0）
37		外：カキ目（6条/1cm） 内：青海波文			0.1～3.0	やや粗	並	石、長、黒	外：灰オリーブ（5Y6/2） 内：灰（N5/0）
38		外：平行タタキ→カキ目（16条/1cm） 内：青海波文→ユビナデ			0.1～2.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰（N5/0） 内：灰（N6/0）
39		外：平行タタキ→カキ目（5条/1cm） 内：青海波文→ユビナデ＋スリケシ			0.2～3.0	やや粗	並	石、長、黒	外：にぶい黄（2.5Y6/3） 内：灰オリーブ（5Y6/2）
40		外：カキ目（7条/1cm） 内：ユビナデ＋ユビオサエ			0.1～4.0	やや粗	不良	石、長、黒	外：灰白（2.5Y8/2） 内：灰白（2.5Y8/1）
41	外：ヨコナデ 内：ヨコナデ→ハケ（7条/1cm）	外：ハケ（7条/1cm） 内：イタナデ			～5.0	やや粗	やや不良	結、石、長、チ、雲、赤、泥	外：橙（7.5YR7/6） 内：橙（7.5YR7/6）
42		外：ユビナデ 内：布目（6条/1cm）			～2.5	やや粗	不良	石、長、チ、赤	外：にぶい黄橙（10YR7/3） 内：浅黄橙（10YR8/4）
43		外：縄席文タタキ 内：布目（7条/1cm）			～1.5	やや粗	やや不良	石、長、チ、黒	外：灰白（2.5Y8/1） 内：灰白（2.5Y8/1）
44		外：不明 内：不明			～1.5	やや粗	不良	石、長、チ、黒	外：灰白（5Y8/1） 内：灰白（5Y8/1）
45		外：格子タタキ 内：布目（7条/1cm）			～2.5	やや粗	並	石、長、雲、砂、黒	外：灰白（5Y7/1） 内：灰（5Y6/1）
46		外：布目（6条/1cm） 内：格子タタキ			～1.0	粗	不良	石、長、赤	外：明黄褐（10YR7/6） 内：黄橙（10YR8/6）
47		外：縄席文タタキ 内：布目（8条/1cm）			～2.5	粗	やや不良	石、長、砂	外：灰白（5Y7/1） 内：灰白（5Y7/1）
48		外：格子タタキ 内：ユビナデ			～1.0	精	不良	長、赤	外：浅黄（2.5Y7/4） 内：灰白（2.5Y8/1）
49		外：布目（7条/1cm） 内：不明			～1.0	粗	不良	石、長、赤	外：橙（7.5YR6/6） 内：浅黄（2.5Y7/4）
50		外：ヘラケズリ 内：布目（8条/1cm）			～4.0	やや粗	やや不良	石、長、チ、赤、黒	外：灰白（2.5Y8/1） 内：灰白（2.5Y8/1）
51		外：格子タタキ→回転ナデ　内：青海波文			～3.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：青灰（10BG6/1） 内：青灰（10BG5/1）
52		外：平行タタキ→ユビナデ　内：青海波文	外：ユビナデ　内：青海波文		～2.0	やや精	不良	石、長、黒	外：灰白（2.5Y8/2） 内：灰（N6/0）
53		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→ヘラ記号 内：回転ナデ	左	～2.5	やや粗	並	石、長、チ、黒	外：にぶい黄橙（10YR7/3） 内：灰黄（2.5YR7/2）
54	外：連簾文→回転ナデ 内：回転ナデ				0.1～2.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：暗緑灰（7.5GY4/1） 内：灰（N6/0）
55		外：回転ナデ→ヘラケズリ 内：回転ナデ→ユビオサエ	外：回転ナデ 内：回転ナデ：ユビナデ	左	0.5～3.0	やや粗	並	石、長、雲、黒	外：灰白（5Y7/1） 内：灰（5Y6/1）
56		外：回転ナデ 内：回転ナデ		右	0.1～1.5	やや精	やや良	長、泥	外：青灰（10BG6/1） 内：緑灰（10G6/1）

掲載番号	遺構番号	種別	器種	法量						備考	実測番号	旧取上番号
				器高	口径	頸部径	胴部最大径	底径	残存率			
57	M1 包含層	須恵器	壺				(15.05)		12.5		68	
58	M12 包含層	土師器	坏					(8.7)	16.6	外面赤色顔料塗布か？	24	
59	M11 包含層	瓦	丸瓦								288	
60	M12 包含層	瓦	平瓦								293	
61	SX1009	須恵器	蓋								278	36
62	SX1009	須恵器	坏	3.7	(9.2)			(4.6)	33.3		242	38
63	SX1009	須恵器	高坏		(15.2)			(18.8)	33.3		241	41
64	SX1009	須恵器	坏					(5.2)			275	23
65	SX1009	須恵器	高坏						75.0		244	8
66	SX1009	須恵器	高坏								238	30
67	SX1009	須恵器	甕			(21.8)			50.0		240	15
68	SX1009	須恵器	甕								277	1
69	SX1009	須恵器	甕								281	22
70	SX1009	須恵器	甕								276	13
71	SX1009	須恵器	甕								280	16
72	SX1009	須恵器	甕								279	12
73	SX1009	土師器	高坏					(8.0)		高坏脚部を切断後に端部をミガキか？坏へ転用か？	274	35
74	O11 包含層	須恵器	坏		(10.6)				15.6		163	
75	O11 包含層	須恵器	坏		(15.0)				33.3		255	
76	N11 包含層	須恵器	坏					(10.0)	25.0		127	
77	O11 包含層	須恵器	坏					(6.4)	25.0		251	
78	N11 包含層	須恵器	坏	3.3	(12.2)			(9.8)	25.0		211	
79	N11 包含層	須恵器	鉢	2.6	(11.05)			(6.1)	12.5		219	21
80	N11 包含層	須恵器	高台付椀					(9.15)	25.0		213	
81	N11 包含層	須恵器	高坏		(10.0)				25.0		128	
82	O11 包含層	須恵器	高坏						28.5		253	
83	O11 包含層	須恵器	高坏						25.0		252	
84	N11 包含層	須恵器	高坏							赤色顔料？が付着	118	
85	O11 包含層	須恵器	高坏					(9.5)	16.6		254	

掲載番号	成形・整形・調整				胎土・焼成				
	口頸部	体部	底部	回転方向	粒径	密度	焼成	組成	色調
57		外：回転ナデ 内：回転ナデ		左	0.1～2.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰（N6/0） 内：灰白（N7/0）
58		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ 内：ユビナデ		～1.0	やや精	やや不良	長、雲、赤、泥	外：橙（5YR6/6） 内：浅黄橙（10YR8/4）
59		外：ヘラナデ 内：布目			～2.0	精	やや不良	長	外：灰黄（2.5Y7/2） 内：灰（N5/0）
60		外：縄席文タタキ→ヘラナデ 内：布目（8条/1cm）→ヘラケズリ			～1.0	やや粗	やや不良	長	外：浅黄（2.5Y7/4） 内：にぶい黄（2.5Y6/4）
61			外：抓接合→回転ナデ 内：回転ナデ→ユビナデ	左	～0.5	やや精	並	石、長、黒	外：灰白（2.5Y8/2） 内：灰白（2.5Y8/2）
62	外：回転ナデ　内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	左	～4.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：青灰（5B5/1） 内：明青灰（5PB7/1）
63	外：回転ナデ　内：回転ナデ	外：回転ナデ→回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→脚接合 内：回転ナデ→1本ユビナデ	左	～3.5	やや精	良	石、長、黒	外：灰（5Y6/1） 内：暗青灰（5PB3/1）
64			外：回転ヘラ切り→ヘラナデ	左	～2.5	やや精	並	石、長、黒	外：灰黄（2.5Y7/2） 内：灰黄（2.5Y7/2）
65			外：回転ナデ 内：回転ナデ	左	～1.0	やや精	やや良	石、長	外：青灰（5B5/1） 内：明青灰（5PB5/1）
66		外：回転ナデ 内：回転ナデ		左	～2.0	やや精	やや良	長、チ、赤、泥	外：灰（N5/0） 内：灰（N5/0）
67	外：回転ナデ　内：回転ナデ	外：格子タタキ　内：回転ナデ			～3.0	やや精	不良	石、長、黒	外：灰（N5/0） 内：灰（N5/0）
68		外：平行タタキ→カキ目（8条/1cm）　内：青海波文			～2.0	やや精	不良	石、長、黒	外：浅黄（2.5Y7/3） 内：浅黄（2.5Y7/4）
69		外：平行タタキ→カキ目（11条/1cm）　内：青海波文→ユビナデ			～6.0	やや精	並	長、雲、砂	外：灰（5Y6/1） 内：灰（N6/0）
70		外：摩滅不明　内：青海波文			～1.5	やや精	不良	石、長、チ、黒	外：灰白（2.5Y8/2） 内：灰白（2.5Y7/1）
71		外：平行タタキ→カキ目（8条/1cm） 内：青海波文→ユビナデ			～3.0	やや粗	やや良	長、泥	外：灰（N6/0） 内：灰（N6/0）
72		外：平行タタキ 内：青海花文	外：平行タタキ 内：青海花文		～1.0	やや粗	やや不良	石、長、黒	外：灰（N5/0） 内：灰白（5Y8/1）
73			外：ユビナデ 内：ヘラミガキ		～1.0	やや粗	並	石、長、チ、赤、黒	外：橙（7.5YR7/6） 内:にぶい黄橙(10YR6/4)
74	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		右	0.1～3.0	やや粗	やや不良	石、長、黒	外：灰（5Y6/1） 内：灰白（2.5Y7/1）
75	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		左	～2.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：青灰（5PB6/1） 内：青灰（5PB5/1）
76		外：回転ナデ→回転ヘラケズリ＋粘土接合痕 内：回転ナデ	外：回転ヘラ切り 内：回転ナデ	左	0.1～2.0	やや精	良	石、長、黒	外：灰（N6/0） 内：灰（N6/0）
77		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→ユビナデ 内：回転ナデ	左	～2.5	やや精	やや良	石、長、泥	外：灰（N5/0） 内：灰（N5/0）
78	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラ切り 内：回転ナデ	左	0.1～1.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰（N5/0） 内：青灰（5PB5/1）
79	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：手持ちヘラケズリ 内：回転ナデ→ユビナデ	右	～1.0	やや精	やや良	長、黒	外：灰白（N7/0） 内：灰白（N7/0）
80		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラ切り→貼付高台→回転ナデ 内：回転ナデ→ユビナデ		～2.0	やや精	やや良	石、長、泥	外：灰（N6/0） 内：灰（N6/0）
81	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		左	～1.5	やや精	良	石、長、黒	外：灰白（2.5Y7/1） 内：灰黄（2.5Y7/2）
82		外：回転ナデ 内：回転ナデ→ユビナデ		左	～1.0	やや精	良	石、長、黒	外：灰（N5/0） 内：灰（N6/0）
83		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	左	～1.5	やや精	良	石、長、黒	外：灰（N4/09） 内：灰白（N7/0）
84		外：回転ナデ 内：回転ナデ			0.1～2.0	やや粗	やや不良	石、長、黒	外：灰白（2.5Y7/1） 内：灰黄（2.5Y7/2）
85			外：回転ナデ 内：回転ナデ	左	～0.5	やや精	良	石、長、黒	外：灰（N6/0） 内：灰（N6/0）

掲載番号	遺構番号	種別	器種	法量						備考	実測番号	旧取上番号
				器高	口径	頸部径	胴部最大径	底径	残存率			
86	N11 包含層	須恵器	甕		(30.0)	(26.8)			12.5		239	
87	O11 包含層	須恵器	甕		(21.0)				8.3		164	
88	N11 包含層	須恵器	甕								94	
89	N11 包含層	須恵器	甕								202	
90	N11 包含層	須恵器	甕								204	
91	O11 包含層	土師器	鉢	5.2	(16.5)			(8.85)	40		29	
92	N11 包含層	須恵器	脚台付鉢					(11.0)			212	
93	N11 包含層	土師器	甕		(19.55)	(16.1)			8.3		22	
94	N10 包含層	土師器	甕			(11.0)			16.6	内面頸部直下にスス付着	273	
95	SK1064	須恵器	甕								236	1
96	SK1065	須恵器	甕								237	1
97	SK1059	須恵器	甕								235	2
98	SP1104	土師器	器種不明					(13.14)	16.6	脚台付長頸壺もしくは脚台付皿等の脚部	215	1
99	SP1108	須恵器	瓦泉			(2.75)	(6.75)	(3.15)	20.0		224	1
100	N13 包含層	須恵器	蓋								258	
101	M13 遺構面精査	須恵器	蓋		(15.8)				10.0		57	
102	M13 包含層	須恵器	壺					(16.0)	12.5	底部ケズリダシによる高台状の段がある。	69	
103	M13 遺構面精査	須恵器	高台付椀					(8.4)	16.6		56	
104	M13 遺構面精査	須恵器	高台付椀					(9.85)	16.6		58	
105	M13 包含層	須恵器	高台付椀					(7.6)	33.3		60	
106	N13 包含層	須恵器	壺					(10.4)	25.0		217	
107	N12 包含層	須恵器	台付鉢					(8.6)	50.0		256	
108	M13 包含層	須恵器	器台		(38.6)				3.3	内面自然釉。　胎土に結晶片岩粒を含む。	70	
109	N12 包含層	須恵器	甕								124	
110	N12 包含層	須恵器	甕								263	
111	N12 包含層	須恵器	甕								120	

掲載番号	成形・整形・調整				胎土・焼成				
	口頸部	体部	底部	回転方向	粒径	密度	焼成	組成	色調
86	外：回転ナデ＋粘土接合痕 内：回転ナデ→ユビナデ	外：格子タタキ 内：青海波文			～ 2.0	やや精	不良	石、長、雲、黒	外：灰（5Y6/1） 内：灰（5Y5/1）
87	外：回転ナデ 内：回転ナデ			左	0.1 ～ 6.0	精	良	長、黒	外：灰黄（2.5Y6/2） 内：灰黄（2.5Y 7 /2）
88		外：平行タタキ→カキ目（7 条 /1㎝） 内：青海波文→ユビナデ			0.1 ～ 2.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：黒（N2/0） 内：灰（5Y4/1）
89		外：平行タタキ→回転ナデ 内：青海波文			～ 2.0	やや精	やや不良	石、長、黒	外：灰白（N7/0） 内：灰白（N7/0）
90		外：格子タタキ 内：青海波文			～ 2.5	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰（N5/0） 内：灰（N6/0）
91	外：ヘラミガキ 内：ヘラミガキ	外：ヘラミガキ 内：ヘラミガキ	外：ユビナデ 内：ヘラミガキ		～ 1.5	やや精	やや不良	結、石、長、チ、赤、泥	外：橙（5YR6/8） 内：橙（5YR6/8）
92		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ→貼付高台→ユビナデ 内：ユビオサエ→ユビナデ	右	～ 2.0	やや粗	並	石、長、黒	外：灰（N6/0） 内：灰（N6/0）
93	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：ハケ 内：ユビオサエ→ヘラケズリ			～ 4.0	やや粗	やや不良	石、長、チ、雲、赤	外：橙（7.5YR6/6） 内：橙（7.5YR6/6）
94	外：ユビナデ 内：ユビナデ＋ユビオサエ	外：ハケ（9 条 /1㎝） 内：ヘラケズリ			～ 3.0	やや粗	並	結、石、長、雲、赤、	外：明赤褐（5YR5/6） 内：黄橙（7.5YR7/8）
95		外：カキ目（10 条 /1㎝） 内：青海波文			～ 1.5	やや精	やや不良	石、長、雲、黒	外：灰（10Y6/1） 内：灰（10Y6/1）
96		外：平行タタキ 内：青海波文			～ 3.0	やや粗	不良	石、長、黒	外：灰白（5Y7/1） 内：灰黄（2.5Y7/2）
97		外：格子タタキ→カキ目（10 条 /1㎝） 内：青海波文			～ 1.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰白（5Y7/1） 内：灰白（N7/0）
98			外：ユビナデ 内：ユビナデ		～ 3.0	やや粗	不良	石、長、雲、赤、砂	外：橙（5YR7/8） 内：橙（5YR7/8）
99	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：手持ちヘラケズリ 内：回転ナデ	左	～ 2.5	やや精	やや良	石、長、泥、黒	外：灰（N4/0） 内：灰（N4/0）
100			外：回転ナデ→抓貼付 内：回転ナデ→ユビナデ→ユビオサエ	左	～ 1.5	やや精	やや良	石、長	外：黄灰（2.5Y6/1） 内：灰白（2.5Y7/1）
101	外：回転ナデ 内：回転ナデ			左	0.5 ～ 1.5	やや精	良	石、長、雲、黒	外：灰（N5/0） 内：灰白（N7/0）
102		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	左	0.2 ～ 1.5	やや精	並	石、長、黒	外：灰（5Y6/1） 内：灰（N6/0）
103		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラ切り→高台貼付→回転ナデ 内：回転ナデ	左	0.1 ～ 2.0	やや精	堅	長、砂	外：黒褐（10YR3/1） 内:にぶい赤褐（5YR5/4）
104		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラ切り→高台貼付→回転ナデ　内：回転ナデ	左	0.2 ～ 0.7	やや精	良	石、長	外：灰（N5/0） 内：白（N7/0）
105		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラ切り→高台貼付→回転ナデ 内：回転ナデ→ユビナデ	左	0.5 ～ 1.0	やや精	やや良	長、雲、黒	外：灰（N6/0） 内：灰白（N7/0）
106		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：ヘラナデ 内：回転ナデ	左	～ 2.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰黄（2.5Y7/2） 内：灰白（2.5Y7/1）
107			外：貼付高台→回転ナデ 内：回転ナデ	左	～ 1.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰（N6/0） 内：灰白（N7/0）
108	外：回転ナデ→櫛描波状文（6 条 /1㎝） 内：回転ナデ→ヘラケズリ				0.2 ～ 1.5	精	堅	結、長、黒	外：　灰　白（7.5Y7/1） 内：グレイみのオリーブ（8Y5.5/3）
109		外：平行タタキ 内：青海波文			0.2 ～ 1.0	やや精	良	石、長、黒	外：灰白（2.5Y7/1） 内：灰白（5Y8/1）
110		外：平行タタキ→カキ目（8 条 /1㎝） 内：青海波文			0.5 ～	やや精	良	石、長、黒	外：灰（N5/0） 内：灰（N5/0）
111		外：平行タタキ→ユビナデ 内：青海波文			2.0 ～ 2.5	やや精	並	石、長、泥	外：灰白（7.5Y7/1） 内：灰（N6/0）

掲載番号	遺構番号	種別	器種	法量						備考	実測番号	旧取上番号
				器高	口径	頸部径	胴部最大径	底径	残存率			
112	O13 包含層	須恵器	甕								259	
113	M13 遺 構 面精査	須恵器	甕							外面自然釉	54	
114	N13 包含層	須恵器	甕								119	
115	N13 包含層	須恵器	甕								216	
116	O13 包含層	須恵器	円面硯		(8.7)				16.6	方形スカシ 8 箇所か	285	
117	N12 包含層	瓦	丸瓦								297	
118	SK1062	須恵器	提瓶								220	1
119	SK1066	須恵器	壺			(8.6)			7.0	外面自然釉	221	5
120	N14 包含層	土師器	甕		(30.0)				6.3		21	
121	N14 包含層	須恵器	坏					(6.4)	33.3	底部に窯壁体付着。窯壁体には花崗岩やチャートを含む	125	
122	N14 包含層	須恵器	甕								218	1
123	N14 包含層	須恵器	甕								126	
124	SK1033	須恵器	甕								176	
125	SK1033	土師器	皿		(22.05)			12.4)	16.6		181	
126	SK1035	土師器	短頸壺		(12.0)	(11.8)					180	P16
127	SK1035	土師器	椀								315	
128	O16 包含層	須恵器	蓋							擬宝珠抓の接合には天井部に強く押しつけている	162	
129	O16 包含層	土師器	皿	1.55	(10.6)			(7.9)	12.5	底部外面に黒斑有り	28	
130	O16 包含層	弥生土器	壺		(21.4)				8.3		198	
131	O16 包含層	土師器	甕		(22.6)	(17.5)			12.5		201	
132	O16 包含層	弥生土器	壺			(14.0)			16.6		197	
133	O16 包含層	弥生土器	高坏					(10.6)	25	赤色チャート含む、搬入品か？	27	
134	O16 包含層	弥生土器	甕					(5.8)	50.0		196	
135	O16 包含層	弥生土器	壺					(8.8)	25.0		195	
136	O16 包含層	弥生土器	壺					(5.8)	25.0		200	

掲載番号	成形・整形・調整				胎土・焼成				
	口頸部	体部	底部	回転方向	粒径	密度	焼成	組成	色調
112		外：平行タタキ→カキ目（8条/1cm） 内：青海波文			～2.0	やや精	並	石、長、黒	外：灰（7.5Y5/1） 内：灰（5Y4/1）
113		外：平行タタキ 内：青海波文			0.2～1.0	やや精	並	石、長、赤、砂	外:オリーブ灰（10Y5/2） 内：灰白（5Y7/1）
114		外：平行タタキ 内：青海波文			0.1～4.0	やや精	良	石、長、黒	外：黒（N2/0） 内：灰（10Y6/1）
115		外：平行タタキ 内：青海波文→ユビナデ			0.1～2.5	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰（5Y6/1） 内：灰（N6/0）
116		外：回転ナデ 内：ユビオサエ→ユビナデ		左	～7.0	やや精	並	石、長、雲、黒	外：灰白（5Y7/2） 内：灰白（7.5Y7/1）
117		外：ヘラナデ 内：布目（10条/1cm）			～3.5	精	やや不良	長、黒	外：灰白（2.5Y7/1） 内：灰白（2.5Y7/1）
118		外：カキ目（11条/1cm） 内：青海波文			～1.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰白（7.5Y7/1） 内：灰（N4/0）
119	内：ユビナデ	外：平行タタキ→カキ目（14条/1cm） 内：青海波文→ユビナデ			～2.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰黄（2.5Y7/2） 内：灰（N7/0）
120	外：ヨコナデ 内：ハケ（10条/1cm）→ヨコナデ				0.2～1.0	やや精	並	石、長、チ、雲、赤	外：にぶい橙（7.5YR7/4） 内：にぶい橙（7.5YR7/4）
121		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラキリ 内：回転ナデ→2本ユビナデ	左	0.2～1.5	やや精	良	石、長、黒	外：灰（N6/0） 内：灰白（N7/0）
122		外：平行タタキ 内：青海波文→ユビナデスリケシ			～3.0	やや精	やや不良	石、長、黒	外：灰白（2.5Y7/1） 内:にぶい黄橙(10YR7/4)
123		外：回転ナデ→カキ目（10条/1cm） 内：青海波文			0.1～3.5	やや精	やや良	長、チ	外：灰（7.5Y6/1） 内：灰白（7.5Y7/1）
124		外：平行タタキ→カキ目（17条/2.7cm） 内：青海波文			～2.5	やや精	やや良	石、長、雲、泥	外：灰（N5/0） 内：灰（N6/0）
125	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：ヘラナデ 内：回転ナデ		0.2～1.0	やや粗	やや不良	石、長、チ、雲、赤、花	外：浅黄橙（7.5YR8/4） 内:にぶい黄橙(10YR7/4)
126	外：ユビオサエ→ヨコナデ 内：ユビオサエ→ユビナデ				0.5～3.0	やや粗	不良	結、石、長、雲、赤	外:にぶい黄橙(10YR7/4) 内:にぶい黄橙(10YR7/4)
127		外：ユビオサエ→ユビナデ 内：ヨコナデ			～3.0	やや粗	不良	結、石、長、雲、赤	外:にぶい黄橙(10YR7/4) 内:にぶい黄橙(10YR7/4)
128		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ→抓 内：回転ナデ	右	0.1～1.0	やや精	やや良	長、泥	外：紫灰（5RP5/1） 内：灰白（N7/0）
129	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		0.1～0.5	やや精	並	石、長、雲、赤	外：明赤褐（7.5YR5/8） 内：橙（7.5YR7/6）
130	外:ヨコナデ+ハケ（6条/1cm） 内：ヨコナデ				～1.5	やや粗	やや不良	結、石、長、チ、雲、赤	外：明赤褐（5YR5/6） 内:にぶい赤褐（5YR5/4）
131	外：ヘラナデ（8条/1cm）→ヨコナデ　内：ヨコナデ				～3.0	やや粗	やや良	石、長、雲、赤	外：橙（5YR6/6） 内:にぶい赤褐（5YR5/4）
132	外：ハケ（4条/1cm） 内：ユビナデ	外：ユビナデ 内：ヘラケズリ			～4.0	やや粗	並	結、石、長、チ、雲、赤	外：明赤褐（5YR5/6） 内：橙（5YR6/6）
133			外：ユビナデ 内：ヘラケズリ		0.2～6.5	やや粗	並	石、長、チ、花	外：にぶい橙（7.5YR6/4） 内：橙（5YR6/6）
134		外：ユビナデ 内：ユビナデ	外：ユビナデ 内：ユビナデ		～4.0	やや粗	やや不良	石、長、チ、雲、赤	外：明赤褐（5YR5/6） 内：にぶい褐（7.5YR5/4）
135		外：ヨコナデ→ヘラミガキ 内：ユビナデ→ユビオサエ			～3.0	やや粗	やや良	結、石、長、赤	外：にぶい橙（5YR6/4） 内：褐灰（7.5YR4/1）
136		外：ユビナデ 内：ユビナデ	外：ユビナデ 内：ユビオサエ→ユビナデ		～3.0	やや粗	やや不良	結、石、長、雲、赤	外：黄褐（10YR5/6） 内：黒褐（10YR3/1）

掲載番号	遺構番号	種別	器種	法量						備考	実測番号	旧取上番号
				器高	口径	頸部径	胴部最大径	底径	残存率			
137	O16 包含層	弥生土器	甕					(5.4)	25.0		305	
138	SK1023	須恵器	坏		(10.4)				12.5		175	
139	O17 包含層	須恵器	蓋		(17.65)				12.5		169	
140	O17 包含層	須恵器	坏		(15.65)				12.5		167	
141	N16 包含層	須恵器	坏		(13.0)				20.0		129	
142	N16 包含層	須恵器	高台付椀					(8.6)	8.3		121	
143	O17 包含層	須恵器	高台付坏					(10.2)	25.0		168	
144	O17 包含層	須恵器	甕		(18.6)	(15.4)			20.0		166	
145	N16 包含層	須恵器	甕							結晶片岩粒を含む	122	
146	O17 包含層	須恵器	円面硯					(21.6)	12.5	鍵形スカシあり	286	
147	N16 包含層	弥生土器	甕					(6.2)	25		19	
148	SK1001	土師器	皿					(13.8)	12.5		179	
149	SK1020	須恵器	蓋	3.5	(8.6)		(10.4)		33.3		250	2
150	SK1020	須恵器	坏	4.5	(5.2)			(5.0)	16.6		243	
151	SK1020	須恵器	坏								232	5
152	SK1020	須恵器	高坏								227	1
153	SK1020	土師器	甕		(17.6)	(15.0)			40.0		287	3
154	SK1012	須恵器	甕								234	1
155	SK1012	須恵器	壺					(28.8)	4.2		62	2
156	SK1013	瓦質	置竈							瓦工人による製作	284	1
157	K15 包含層	須恵器	蓋						33.0		203	
158	M14 包含層	須恵器	蓋		(16.1)				12.5		59	
159	M15 包含層	須恵器	蓋		(27.9)				8.3		61	
160	Ssk1012	須恵器	蓋						16.6	外面天井部に赤色顔料塗布	184	2
161	N15 包含層	須恵器	蓋		(33.4)				8.3		123	
162	L15 包含層	須恵器	坏		(15.6)			(9.0)	8.3		109	
163	M15 包含層	須恵器	椀		(13.05)			(11.5)	8.3		55	4
164	M15 包含層	須恵器	高台付椀					(11.6)	14.2		64	

掲載番号	成形・整形・調整				胎土・焼成				
	口頸部	体部	底部	回転方向	粒径	密度	焼成	組成	色調
137		外：イタナデ 内：ヘラケズリ	外：ヘラナデ 内：ユビナデ		～2.0	やや粗	波	結、石、長、雲、赤	外：橙（7.5YR6/6） 内：黒褐（10YR3/1）
138	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		左	0.1～1.0	やや精	並	石、長、黒	外：灰白（N7/0） 内：灰白（N7/0）
139	外：回転ナデ 内：回転ナデ			左	0.2～1.5	やや粗	不良	石、長、チ、黒	外：灰白（5Y8/1） 内：灰白（5Y8/1）
140	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ→回転ヘラケズリ 内：回転ナデ		左	0.1～1.5	精	良	石、長、黒	外：灰（N4/0） 内：灰（N4/0）
141	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		左	0.5～2.0	やや精	良	石、長、黒	外：灰白（2.5Y7/2/1） 内：灰黄（2.5Y7/2）
142		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→貼付高台→回転ナデ 内：回転ナデ	右	0.1～1.5	やや精	不良	石、長、黒	外：灰白（5Y7/2） 内：灰白（5Y7/2）
143			外：ヘラ切り→貼付高台→回転ナデ 内：回転ナデ→ユビナデ	左	0.1～2.0	やや精	良	石、長、黒	外：灰（N6/0） 内：灰（N5/0）
144	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：平行タタキ→カキ目（6条/1㎝） 内：スリケシ→回転ナデ		左	0.5～3.0	やや精	並	石、長、雲	外：灰（N6/1） 内：灰白（7.5Y7/1）
145		外：平行タタキ 内：ユビオサエ＋ユビナデ			0.1～3.5	やや精	やや良	結、石、泥	外：灰黄（2.5YR7/2） 内：灰白（2.5YR8/1）
146			外：回転ナデ 内：回転ナデ	左	～1.0	やや精	良	石、長、黒	外：灰（N4/0） 内：灰（5Y5/1）
147		外：ユビナデ 内：ユビナデ	外：ユビナデ 内：ユビナデ		0.5～2.0	やや精	並	結、石、長、雲、赤	外：橙（5YR6/6） 内:にぶい赤褐（5YR5/4）
148		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		0.2～1.0	やや精	やや不良	石、長、雲	外：黒褐（2.5Y3/1） 内：暗灰黄（2.5Y5/2）
149	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→抓貼付 内：回転ナデ→ユビナデ→ユビオサエ	左	～3.0	やや粗	不良	石、長、雲、赤	外：淡黄（2.5Y8/3） 内：灰白（10YR8/2）
150	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ→回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ 内：回転ナデ→ユビナデ	左	～5.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰（7.5Y6/1） 内：灰白（7.5Y7/1）
151		外：回転ナデ 内：回転ナデ			～1.0	やや粗	不良	石、長、黒	外：灰白（5Y7/2） 内：灰白（5Y8/1）
152		外：回転ナデ 内：回転ナデ		左	～2.0	やや粗	不良	石、長、チ、黒	外：灰白（5Y8/2） 内：灰白（5Y8/2）
153	外：ヨコナデ 内：イタナデ	外：ハケ（6条/1㎝） 内：ユビナデ			～4.00	やや粗	並	結、石、長、雲、赤	外：明赤褐（5YR5/6） 内：橙（5YR6/8）
154		外：平行タタキ→カキ目（11条/㎝）内：青海波文→ユビナデ			～4.0	やや精	不良	石、長、黒	外：灰白（2.5Y8/1） 内：灰白（2.5Y7/1）
155			外：回転ナデ 内：青海波文→ユビナデ＋ユビオサエ	左	0.2～1.0	やや精	やや不良	石、長、黒	外：灰（5Y6/1） 内：灰黄（2.5Y7/2）
156	外：ユビナデ 内：ユビナデ	外:ユビナデ＋布目（16条/1㎝） 内：ユビナデ			～6.0	精	並	結、石、砂、泥	外：浅黄（2.5Y7/3） 内：浅黄（2.5Y7/3）
157		外：回転ナデ→回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	外：回転ナデ→抓み 内：回転ナデ→2本ユビナデ	右	～1.0	やや精	やや不良	石、長、黒	外：灰白（2.5Y7/1） 内：灰白（7.5Y7/1）
158	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		右	0.1～3.5	やや粗	やや良	長、チ	外：灰（N6/0） 内：灰（N6/0）
159	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		右	0.1～1.0	やや精	やや良	長、黒	外：灰（N6/0） 内：灰（N6/0）
160		外：回転ナデ 内：回転ナデ		右	～3.0	やや精	並	石、鳥、黒	外：灰褐（7.5YR5/2） 内：灰（5Y6/1）
161	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		右	0.1～2.0	精	やや良	石、長、黒	外：灰（10Y6/1） 内：灰白（N7/0）
162	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	左	0.1～2.0	やや精	並	石、長、黒	外：灰黄（2.5Y7/2） 内：灰黄（2.5Y7/2）
163	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	右	0.2～1.0	やや精	良	石、長	外：灰（N5/0） 内：灰（N6/0）
164		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラ切り→高台貼付→回転ナデ 内：回転ナデ	右	0.5～3.0	やや精	並	石、長、雲、黒	外：灰白（N7/1） 内：灰白（N7/1）

掲載番号	遺構番号	種別	器種	法量						備考	実測番号	旧取上番号
				器高	口径	頸部径	胴部最大径	底径	残存率			
165	M15 包含層	須恵器	高台付鉢					(8.9)	25.0		63	
166	L15 包含層	須恵器	長頸壺				(18.3)		20.0		99	
167	K15 包含層	須恵器	甕								301	
168	M15 包含層	須恵器	甕								178	
169	M15 包含層	須恵器	甕								233	3
170	N15 包含層	土師器	甕		(28.1)	(27.4)			8		20	
171	K14 包含層	縄文土器	深鉢					(7.0)	50		307	
172	L15 包含層	土師質土器	甕					(6.0)	100		25	
173	L15 包含層	縄文土器	精製浅鉢								303	
174	SK1006	須恵器	椀		(16.0)				33.3		106	2
175	SK1006	須恵器	甕								230	4
176	SK1003	弥生土器	甕					(4.8)	33.3		186	
177	L16 包含層	須恵器	蓋		(18.1)				8.3		108	
178	L16 包含層	須恵器	蓋		(13.2)				16.6		107	
179	L16 包含層	須恵器	椀		(15.0)				12.5		26	
180	L16 包含層	須恵器	器台					(19.3)		自然釉付着・発泡	75	
181	L16 包含層	須恵器	鉢		(25.6)				8.3		228	3
182	L16 包含層	須恵器	甕								76	
183	L16 包含層	須恵器	甕								77	
184	M18 包含層	須恵器	平瓶		(6.6)	4.2			66.6	口頸部と体部は別造、体部に穿孔後に口頸部を接合	165	
185	L18 包含層	土師器	鍋		(44.05)	(40.2)			6.3		267	5
186	SX1002	須恵器	蓋								207	17
187	SX1002	須恵器	蓋		(13.8)				25.0		192	23
188	SX1002	須恵器	高台付椀					(11.5)	75	体部打ち欠きによる転用皿	51	19
189	SX1002	須恵器	壺			(5.0)			10.0		225	41
190	SX1002	須恵器	坏		(14.0)				116.6		208	15
191	SX1002	須恵器	高坏					(11.0)	8.3		170	4
192	SX1002	須恵器	双耳壺						8.5		191	
193	SX1002	須恵器	甕		(25.6)	(24.7)					249	21

掲載番号	成形・整形・調整				胎土・焼成				
	口頸部	体部	底部	回転方向	粒径	密度	焼成	組成	色調
165		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラ切り→高台貼付→回転ナデ 内：回転ナデ→ユビナデ		0.2～1.5	やや精	並	石、長、チ、黒	外：灰（N6/0） 内：灰（N6/0）
166		外：回転ナデ＋回転ヘラケズリ 内：回転ナデ		右	0.1～3.0	やや精	やや良	石、長、泥	外：灰白（N7/0） 内：灰（N6/0）
167		外：平行タタキ 内：青海波文→ユビナデ			～3.5	やや粗	不良	石、長、黒	外：灰白（5Y8/2） 内：灰黄（2.5Y7/2）
168		外：平行タタキ 内：青海波文			0.1～2.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰（10Y6/1） 内：灰白（N7/1）
169		外：平行タタキ 内：青海波文			～4.5	やや精	並	石、長、黒	外：灰（5Y6/1） 内：灰白（7.5Y7/1）
170	外：ヨコナデ 内：イタナデ	外：ハケ（5条/1㎝） 内：イタナデ			0.1～3.0	やや粗	並	石、長、チ、雲、赤、砂、泥	外：にぶい褐（7.5YR5/4） 内：にぶい橙（10YR7/4）
171			外：ユビナデ 内：ユビナデ→ユビオサエ		～5.0	粗	並	結、石、長、雲、赤、	外：黄褐（10YR5/6） 内：にぶい黄橙（7.5YR6/4）
172			外：ユビオサエ＋ユビナデ 内：ユビナデ	右	0.2～5.0	粗	並	石、長、雲、赤	外：明赤褐（5YR5/6） 内：明赤褐（5YR5/6）
173		外：ユビナデ 内：ユビナデ			～1.5	やや粗	並	結、石、長、雲	外：黒（10YR2/1） 内：にぶい黄橙（10YR7/4）
174	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		左	～2.0	やや精	やや不良	石、長、黒	外：灰黄（2.5Y7/2） 内：灰白（2.5Y8/2）
175		外：平行タタキ 内：青海波文→ユビナデスリケシ			～0.5	精	やや良	石、長、黒	外：灰白（N7/0） 内：灰白（7.5Y6/1）
176		外：ユビナデ 内：ユビナデ	外：ユビナデ 内：ユビナデ		～1.0	やや粗	並	石、長、雲、赤	外：明赤褐（5YR5/6） 内：橙（5YR6/6）
177	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		右	0.2～1.5	やや精	並	石、長、黒	外：灰白（5Y7/1） 内：灰白（5Y7/1）
178	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		右	0.2～0.8	やや精	やや良	長、黒	外：灰白（5Y7/2） 内：灰黄（2.5Y7/2）
179	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ			0.1～3.0	やや精	良	石、長、チ	外：灰（N4/0） 内：灰（N4/0）
180		外：回転ナデ 内：回転ナデ			0.2～2.0	やや精	堅	石、長、黒	外：灰白（N7/0） 内：青黒（10BG2/1）
181	外：回転ナデ 内：回転ナデ				～3.5	やや精	不良	石、長、黒	外：淡黄（2.5Y8/3） 内：淡黄（2.5Y8/3）
182		外：平行タタキ→ユビオサエ 内：青海波文→ユビナデ			0.1～2.0	やや精	良	石、長、黒	外：灰白（7.5Y7/1） 内：灰白（7.5Y7/1）
183		外：格子タタキ 内：青海波文			0.2～1.0	やや精	良	長、黒	外：灰白（5Y7/1） 内：灰（N4/0）
184	外：回転ナデ→1条沈線 内：回転ナデ→ユビナデ				0.1～1.5	やや精	やや良	長、泥	外：灰（N6/0） 内：灰白（N7/1）
185	外：ユビナデ＋ユビオサエ 内：ヨコナデ→ハケ（6条/1㎝）	外：ユビナデ 内：ハケ（6条/1㎝）			0.2～8.0	やや粗	やや良	石、鳥、チ、赤	外：にぶい褐（7.5YR5/3） 内：にぶい橙（7.5YR6/4）
186		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ→抓 内：回転ナデ	右	～0.6	やや精	不良	長、チ、泥	外：灰白（5Y7/1） 内：灰白（5Y7/1）
187	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：ヘラケズリ 内：回転ナデ→指長	左	～1.5	やや粗	やや良	石、長、雲、黒	外：灰（5Y6/1） 内：灰白（5Y7/1）
188	外：打ち欠き	外：打ち欠き 内：打ち欠き	外：回転ヘラケズリ→貼付高台→回転ナデ 内：回転ナデ→2本ユビナデ	右	～2.0	やや粗	不良	結、石、長、黒	外：淡黄（2.5Y8/3） 内：灰白（2.5Y8/2）
189		外：回転ナデ 内：回転ナデ			～1.0	やや精	良	石、長、黒	外：灰白（5Y8/1） 内：灰白（5Y8/1）
190	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		右	～1.5	やや精	不良	長、黒	外：灰白（2.5Y8/1） 内：灰白（2.5Y8/1）
191			外：回転ナデ 内：回転ナデ	左	～1.5	やや粗	並	石、長、黒	外：にぶい黄（2.5Y6/3） 内：灰黄（2.5Y6/2）
192	内：ユビナデ	外：回転ナデ 内：無文当具痕			0.2～1.5	やや精	良	石、長、黒	外：灰白（5Y7/1） 内：灰白（2.5Y7/1）
193	外：ヘラ工具押さえ→回転ナデ 内：回転ナデ				～4.0	やや精	やや不良	石、長、黒	外：灰白（2.5Y8/2） 内：灰白（2.5Y8/2）

掲載番号	遺構番号	種別	器種	法量						備考	実測番号	旧取上番号
				器高	口径	頸部径	胴部最大径	底径	残存率			
194	SX1002	須恵器	甕								193	29
195	SX1002	須恵器	壺		(34.8)				15.6		209	27
196	SX1002	須恵器	甕								210	30
197	SX1002	須恵器	甕								194	14
198	SX1002	須恵器	壺			(7.0)	(22.5)		33.3		49	2,8～10,20,23
199	SX1002	須恵器	甕		(25.9)	(23.9)			12.5		205	
200	SX1002	弥生土器	壺			5.2				花崗岩および花崗岩由来？の石英や長石を多く含み、讃岐地域からの搬入品か？	190	33
201	K17 包含層	須恵器	蓋						80.0		102	
202	K17 包含層	須恵器	蓋								36	
203	K17 包含層	須恵器	蓋								157	
204	SP1002	須恵器	蓋						33.0		206	
205	K16 包含層	須恵器	蓋							抓部接合痕有り、天井部内面ユビナデ＋ユビオサエ有り	100	
206	K16 包含層	須恵器	蓋						8.3		101	
207	K16 包含層	須恵器	蓋		(17.8)				6.3	天井部外面ヘラ記号有り	104	
208	K16 包含層	須恵器	蓋		(15.6)				20.0		105	
209	K16 包含層	須恵器	壺					(5.5)	25.0		156	
210	K16 包含層	須恵器	高台付鉢					(11.8)	25.0		103	
211	K16 包含層	須恵器	壺					(8.4)	50.0		91	
212	J16 包含層	須恵器	甕								159	
213	SP1002	須恵器	甕								229	1
214	I15 包含層	須恵器	蓋	(9.2)					16.6	擬宝珠抓付	71	
215	I15 包含層	須恵器	蓋	1.65	(8.05)		(9.65)		50.0	外面自然釉	81	
216	I15 包含層	須恵器	蓋	1.5	(17.0)				25.0		40	
217	I15 包含層	須恵器	椀		(12.0)				16.6	口縁端部～外面自然釉付着	85	
218	I15 包含層	須恵器	坏	3.55	(9.8)			(5.2)	33.3		31	
219	I15 包含層	須恵器	坏		(10.0)				16.6		73	
220	I15 包含層	須恵器	坏		(11.75)				16.6	内面赤色顔料塗布？	247	
221	I15 包含層	須恵器	坏		(11.4)				16.6		84	
222	I15 包含層	須恵器	椀	3.8	(11.7)		(12.6)	(6.4)	33.3		39	

掲載番号	成形・整形・調整				胎土・焼成				
	口頸部	体部	底部	回転方向	粒径	密度	焼成	組成	色調
194		外：平行タタキ 内：青海波文			～1.5	やや精	不良	長、黒	外：灰白（5Y7/1） 内：灰白（5Y8/1）
195	外：回転ナデ 内：回転ナデ			右	～1.5	やや精	不良	石、長、泥、黒	外：灰白（2.5Y8/2） 内：灰白（2.5Y8/2）
196			外：平行タタキ 内：青海花文		～1.3	やや精	不良	石、長、チ、黒	外：灰白（2.5Y8/1） 内：灰白（2.5Y8/1）
197		外：カキ目（9条/1㎝） 内：青海波文			～3.0	やや精	並	石、長、泥	外：灰白（N7/0） 内：灰白（N7/0）
198	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ 内：ユビオサエ→回転ナデ	右	～5.0	やや精	良	石、長、黒	外：褐灰（7.5YR5/1） 内：灰（N6/0）
199	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ			～3.0	やや精	不良	石、長、黒	外：灰白（2.5Y8/2） 内：灰白（2.5Y8/3）
200	外：ユビナデ→櫛描沈線 内：ユビナデ+ユビオサエ	外：ユビオサエ→ヨコナデ 内：ユビオサエ→ヘラケズリ			～3.0	やや精	並	石、町、チ、赤、花	外：橙（7.5YR6/6） 内：褐灰（7.5YR5/1）
201		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	右	0.1～1.5	やや精	不良	長、砂、泥、黒	外：灰白（5Y8/2） 内：灰白（2.5Y8/2）
202		外：回転ヘラケズリ→回転ナデ 内：回転ナデ		右	0.1～1.0	やや精	やや良	石、長、雲、砂	外：浅黄（2.5Y7/3） 内：浅黄（2.5Y7/3）
203		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ+粘土接合痕 内：回転ナデ	左	0.1～5.0	やや精	良	石、長、黒	外：黄灰（2.5Y5/1） 内：灰（N6/0）
204		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→抓 内：回転ナデ	左	～1.0	やや粗	不良	結、石、長、黒	外：浅黄（2.5Y8/3） 内：灰白（2.5Y8/1）
205		外：回転ナデ 内：回転ナデ		左	0.1～2.0	やや精	やや良	石、長、雲	外：灰（7.5Y5/1） 内：灰（7.5Y6/1）
206		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	左	0.1～1.3	やや精	並	石、長、チ、黒	外：灰白（2.5Y7/1） 内：灰白（5Y7/1）
207	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→回転ナデ 内：回転ナデ	右	0.1～3.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰（5Y6/1） 内：灰白（2.5Y7/1）
208	外：回転ナデ 内：回転ナデ→ユビナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		右	0.1～1.5	やや精	良	石、長、黒	外：灰黄（2.5Y7/2） 内：灰白（2.5Y7/1）
209		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラ切り→貼付高台→回転ナデ 内：回転ナデ	右	0.1～7.0	やや精	良	石、長、雲、砂	外：灰（N6/0） 内：灰（N6/0）
210		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→貼付高台→回転ナデ 内：回転ナデ→ユビナデ	右	0.2～4.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：褐灰（7.5YR4/1） 内：灰黄（2.5Y6/2）
211		外：回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	外：ヘラナデ→貼付高台→回転ナデ 内：ユビオサエ→回転ナデ	左	～2.5	やや精	良	石、長、黒	外：青灰（5B6/1） 内：青灰（5PB5/1）
212		外：平行タタキ→カキ目（11条/1㎝） 内：青海波文			0.1～2.0	やや精	並	石、長、黒	外：灰（N7/0） 内：灰黄（2.5Y7/2）
213		外：平行タタキ 内：青海波文			～1.0	やや精	良	石、長、黒	外：灰（N6/0） 内：灰白（N7/0）
214	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→回転ナデ 内：回転ナデ		左	0.1～4.0	やや精	やや良	石、長、雲、泥	外：灰（N4/0） 内：灰（10Y6/1）
215	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→回転ナデ 内：回転ナデ		左	0.1～1.0	やや精	やや良	長、泥	外：灰黄（2.5Y7/2） 内：灰白（2.5Y8/1）
216	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→抓貼付 内：回転ナデ→ユビオサエ+ユビナデ	右	～7.0	やや精	やや不良	結、石、砂、黒	外：灰黄（2.5Y7/2） 内：灰白（2.5Y8/2）
217	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→回転ナデ 内：回転ナデ		左	0.1～2.0	やや粗	やや良	石、長、黒	外：灰黄（2.5Y6/2） 内：灰黄（2.5Y7/2）
218	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	左	～0.5	やや精	良	結、石、黒	外：灰（N5/0） 内：灰白（2.5Y7/1）
219	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		左	0.2～1.0	やや精	良	石、長	外：灰（N5/0） 内：灰（N5/0）
220	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ→回転ヘラケズリ 内：回転ナデ		左	～1.0	やや粗	やや不良	石、長、黒	外：灰白（5Y8/1） 内：灰白（5Y8/1）
221	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		右	0.1～2.0	やや粗	やや良	石、長、チ、黒	外：灰黄（2.5Y6/2） 内：黄灰（2.5Y6/1）
222	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラ切り 内：ユビナデ	右	～1.5	やや精	やや良	長、泥	外：浅黄（2.5Y7/3） 内：灰白（2.5Y8/2）

掲載番号	遺構番号	種別	器種	法量						備考	実測番号	旧取上番号
				器高	口径	頸部径	胴部最大径	底径	残存率			
223	I15 包含層	須恵器	坏	3.65	(10.95)			(6.15)	33.3		248	
224	I15 包含層	須恵器	坏		(14.4)				16.6		223	16
225	I15 包含層	須恵器	坏		(12.0)				11.1		72	
226	I15 包含層	須恵器	坏					(10.0)	8.3		79	
227	I15 包含層	須恵器	坏	3.2	(10.6)			(7.4)	25.0		245	
228	H13 包含層	須恵器	高坏					(10.0)	25.0		90	
229	I15 包含層	須恵器	高台付椀	3.6	(15.4)			(11.2)	14.3		80	
230	J14 包含層	須恵器	高台付椀	4.3	(13.2)			(8.2)	12.5		53	
231	I15 包含層	須恵器	高台付鉢					(11.2)	25.0		78	
232	I15 遺構面	須恵器	高坏					3.3		坏部外面にヘラ記号有り、脚部内面にヘラ記号有り	33	15
233	I15 包含層	須恵器	高坏						3.5		246	
234	I15 包含層	須恵器	高坏						—		14	
235	J15 包含層	須恵器	高坏								158	
236	I14 包含層	須恵器	壺		(12.0)	(10.2)			10.0		87	
237	J15 包含層	須恵器	壺								160	
238	J14 包含層	須恵器	壺			(12.2)	(16.6)		5.8		52	
239	I15 包含層	須恵器	平瓶				(22.6)		33.3		30	
240	I15 包含層	須恵器	甕								74	
241	I15 包含層	須恵器	甕								82	
242	I15 包含層	須恵器	壺			(13.8)			25.0	結晶片岩粒を含む	83	
243	I14 包含層	須恵器	甕								86	
244	I15 包含層	須恵器	台付鉢						25.0	内外面自然釉	222	13
245	I15 包含層	土師器	甕		(35.3)				8		8	
246	I15 包含層	土師器	甕			(22.6)			33.3		269	12
247	I14 遺構面精査	土師器	甕		(27.6)	(23.8)			12.5		6	
248	I15 包含層	土師器	甕		(14.15)	(12.4)			16.6		12	
249	I15 包含層	土師器	甕		(21.3)	(18.8)			12.5	讃岐地域からの搬入品か？	9	

掲載番号	成形・整形・調整				胎土・焼成				
	口頸部	体部	底部	回転方向	粒径	密度	焼成	組成	色調
223	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→ユビオサエ 内：回転ナデ→２本ユビナデ	左	～1.5	やや精	並	長、雲、黒	外：灰（N6/0） 内：淡黄（2.5Y8/3）
224	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		左	～2.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：黄灰（2.5Y6/1） 内：黄灰（2.5Y6/1）
225	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ		左	0.1～1.0	やや精	やや良	長、黒	外：灰白（5Y7/1） 内：灰（5Y5/1）
226		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：ヘラ切り 内：回転ナデ	左	0.1～1.0	やや精	良	長、黒	外：灰（N6/0） 内：明青灰（5PB7/1）
227	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラ切り 内：回転ナデ	左	～4.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰黄（2.5Y7/2） 内：灰白（2.5Y7/1）
228		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→１条沈線 内：回転ナデ	右	0.1～3.0	やや精	良	石、長、黒	外：灰（5Y6/1） 内：灰オリーブ（5Y6/2）
229	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→貼付高台→ユビナデ 内：回転ナデ→ユビオサエ	右	0.1～1.0	やや精	やや良	長、黒	外：灰黄（H2.5Y7/2） 内：灰黄（H2.5Y7/2）
230	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラ切り→高台貼付→回転ナデ 内：回転ナデ	右	0.1～2.0	やや精	やや良	石、長、泥	外：灰（N6/0） 内：灰白（N7/0）
231		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→回転ナデ 内：回転ナデ	左	0.1～6.0	やや精	やや不良	長、泥、黒、花	外：灰（N7/0） 内：灰（N7/0）
232		外：回転ナデ 内：回転ナデ		右	0.1～3.0	やや粗	やや良	石、長	外：暗灰（N3/0） 内：暗灰（N3/0）
233			外：回転ナデ 内：回転ナデ	左	～0.5	やや精	良	石、長、黒	外：黄灰（2.5Y5/1） 内：黄灰（2.5Y5/1）
234		外：回転ナデ 内：回転ナデ		右	0.5～1.0	やや精	不良	長、雲、赤	外：灰白（2.5Y8/1） 内：淡黄（2.5Y8/3）
235		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→脚接合 内：回転ナデ→ユビナデ	右	0.2～2.5	やや粗	やや不良	石、長、チ、黒	外：灰黄（2.5Y7/2） 内：浅黄（2.5Y7/3）
236	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ 内：青海波文		左	～1.5	やや精	良	石、長、黒	外：灰白（5Y7/2） 内：灰白（5Y7/1）
237		外：回転ナデ→列点文（7条/1.5㎝）＋櫛描波状文 内：回転ナデ		左	0.1～1.0	やや精	良	石、長、砂	外：灰（10Y5/1） 内：灰（10Y6/1）
238		外：回転ナデ→回転ヘラケズリ　内：回転ナデ		左	0.5～2.0	やや精	良	石、長、雲	外：灰オリーブ（5Y6/2） 内：灰（5Y6/1）
239		外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→回転ナデ→把手貼付 内：回転ナデ→ユビオサエ	右	～2.5	やや精	良	石、長、黒	外：灰白（5Y7/1） 内：灰白（5Y7/1）
240		外：平行タタキ→ユビナデ 内：青海波文→ユビナデ			0.2～1.5	やや精	良	長、黒	外：灰（N4/1） 内：灰オリーブ（5Y6/2）
241		外：平行タタキ→カキ目（13条/1㎝）　内：青海波文			0.2～1.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰（10Y5/1） 内:オリーブ灰（5GY5/1）
242		外：格子タタキ→カキ目（10条/1㎝）　内：青海波文→ユビナデ＋スリケシ			0.5～3.0	やや粗	不良	結、石、長	外：灰白（5Y7/1） 内：灰白（5Y8/1）
243		外：平行タタキ→カキ目（12条/1㎝） 内：青海波文→ユビナデ			0.2～5.0	やや精	やや良	石、長、黒	外：灰（7.5Y4/1） 内：暗青灰（10BG4/1）
244		外：平行タタキ→回転ナデ 内：青海波文→強いイタナデ			～1.0	やや精	やや良	石、長、砂、黒	外：褐灰（7.5YR6/1） 内：灰白（5Y7/1）
245	外：ヨコナデ 内：ヨコナデ				0.1～3.0	やや粗	並	結、石、長、チ、雲、赤	外：橙（7.5YR7/6） 内：橙（7.5YR7/6）
246	外：ヨコナデ 内：ヨコナデ	外：ヨコナデ→ハケ（10条/1.5㎝） 内：ユビオサエ→ヨコナデ			～2.5	やや粗	並	石、長、チ、雲、赤、泥	外:にぶい黄橙(10YR7/3) 内:にぶい黄橙(10YR6/3)
247	外：ヨコナデ、ユビオサエ＋ユビナデ 内：ヨコナデ				0.5～2.0	やや粗	並	結、石、長、チ、雲、赤	外：にぶい橙（7.5YR7/4） 内：橙（7.5YR7/6）
248	外：ヨコナデ 内ヨコナデ	外：ユビナデ 内：ヘラケズリ			～7.5	やや粗	不良	結、石、長、チ、砂、泥	外：橙（5YR6/6） 内:にぶい黄橙(10YR7/4)
249	外：ヨコナデ 内：ヨコナデ				0.1～3.0	やや粗	不良	石、長、雲	外：橙（7.5YR6/6） 内：橙（7.5YR6/6）

掲載番号	遺構番号	種別	器種	法量						備考	実測番号	旧取上番号
				器高	口径	頸部径	胴部最大径	底径	残存率			
250	I15 包含層	土師器	甕			(22.4)			10.0	搬入品の可能性有り	214	8
251	I15 包含層	土師器	椀		(10.65)			(6.3)	8		15	
252	I15 包含層	土師器	皿					(19.8)	20.0		18	
253	I15 包含層	土師器	皿		(19.8)				16.6		316	
254	I15 包含層	土師器	盤					(14.8)	12.5		13	
255	I15 包含層	土師器	皿					(10.0)	33.3		16	
256	I15 包含層	土師器	把手付鍋								268	9
257	I15 包含層	土師器	把手付鍋							内面煮沸による黒化	272	
258	I15 包含層	土師器	把手付鍋								271	
259	I15 包含層	土師器	高坏						—	結晶片岩含まず、赤色チャートを多く含む。産地不明	11	
260	H14 包含層	弥生土器	高坏					(8.5)	25.0		199	
261	I14 包含層	弥生土器	甕					(6.25)	66.6		302	
262	I15 包含層	弥生土器	鉢					3.9			17	
263	H14 遺構面精査	弥生土器	甕		(15.4)	(14.2)			25	吉野川下流域からの搬入品	1	
264	I14 包含層	弥生土器	甕		(27.2)	(28.0)			10		308	
267	T12 包含層	須恵器	甕								45	
268	包含層	弥生土器	甕		(28.3)				12.5		2	
269	遺構面精査	弥生土器	甕		(25.6)				10		5	
270	包含層	土師器	甕		(30.6)				12.5		3	
271	SP1021	須恵器	高台付坏	3.7	(13.9)			(8.8)	15.6		161	

掲載番号	成形・整形・調整				胎土・焼成				
	口頸部	体部	底部	回転方向	粒径	密度	焼成	組成	色調
250	外：ユビオサエ→ヨコナデ 内：ヨコナデ	外：ハケ（6条/1㎝） 内：ユビナデ			～1.5	やや粗	やや不良	石、長、チ、雲、赤	外：橙（7.5YR7/6） 内：浅黄橙（10YR8/3）
251	外：ユビナデ 内：ユビナデ	外：ユビナデ 内：ユビナデ	外：ユビナデ 内：ユビナデ		0.2～1.5	やや精	やや不良	石、長	外：橙（5YR6/6） 内：橙（5YR6/6）
252		外：ユビオサエ→ユビナデ 内：ユビナデ	外：ユビナデ 内：ユビナデ		～2.0	やや粗	並	結、石、長、チ、砂、泥	外：橙（2.5YR6/8） 内：橙（2.5YR6/8）
253	外：ユビオサエ→ヨコナデ 内：ヨコナデ	外：ヨコナデ 内：ヨコナデ	外：ヘラナデ 内：ユビナデ		～5.0	やや粗	不良	結、石、長、雲、赤	外：橙（7.5YR6/6） 内：橙（7.5YR6/6）
254		外：回転ナデ 内：回転ナデ			0.1～2.0	やや精	並	石、長、雲、赤	外：橙（5YR6/6） 内：橙（5YR6/6）
255			外：回転ヘラケズリ→貼付高台→回転ナデ 内：ユビナデ	左	～2.5	やや精	やや不良	長、チ、雲、赤、泥	外：橙（2.5YR6/8） 内：橙（2.5YR6/8）
256		外：ユビナデ→ハケ（8条/1㎝） 内：ヘラケズリ＋ユビナデ			～5.0	やや精	やや良	結、石、長、雲、砂	外：にぶい橙（7.5YR7/4） 内：にぶい褐（7.5YR6/3）
257		外：ユビナデ→ハケ（6条/1㎝） 内：ヘラケズリ＋ユビナデ			～3.5	やや粗	並	結、石、長、雲	外：橙（7.5YR6/6） 内：黒（7.5Y2/1）
258		外：ユビナデ 内：ユビナデ			～7.0	やや粗	やや不良	結、石、長、チ、雲、赤、	外：橙（5YR7/8） 内：橙（7.5YR7/6）
259		外：ユビナデ 内：ユビナデ			0.1～1.5	やや粗	やや不良	石、長、チ、雲、赤	外：明赤褐（5YR5/8） 内：橙（7.5YR7/6）
260			外：ヨコナデ 内：ヨコナデ		～35.	やや粗	不良	石、長、チ、金雲、花	外：明赤褐（5YR5/6） 内：明赤褐（5YR5/6）
261		外：ヘラミガキ 内：ユビナデ	外：ユビナデ 内：ユビオサエ		～1.5	やや精	並	石、長、雲、泥	外：明赤褐（5YR5/6） 内：にぶい黄橙（10YR6/4）
262		外：タタキ→ユビナデ 内：ユビナデ	外：ユビナデ 内：ユビナデ		0.1～2.0	やや精	並	石、長、チ、雲、赤	外：明赤褐（5YR5/6） 内：橙（5YR6/8）
263	外：ヨコナデ 内：ヨコナデ				0.1～2.0	やや粗	不良	石、長、雲、赤	外：3にぶい黄橙（10YR6/3） 内：褐（10YR4/6）
264	外：ヨコナデ 内：ヨコナデ				～1.0	やや精	並	石、長、雲、赤	外：橙（5YR6/6） 内：明赤褐（5YR5/6）
267		外：平行タタキ→カキ目（7条/1㎝）　内：青海波文→ユビナデ			0.5～1.5	やや精	並	石、長、黒	外：オリーブ黒（7.5Y3/1） 内：灰（7.5Y5/1）
268	外：回転ナデ 内：回転ナデ				0.1～1.5	やや精	並	血、石、長、雲、赤	外：明赤褐（2.5YR5/6） 内：橙（5YR6/6）
269	外：ヨコナデ 内：ヨコナデ				0.5～2.0	やや精	並	石、長、チ、雲、赤	外：橙（5YR6/6） 内：橙（5YR6/6）
270	外：ハケ→ユビナデ 内：ヨコナデ	外：ハケ（8条/1㎝） 内：ユビオサエ→ハケ			0.2～3.0	やや粗	並	石、長、チ、雲、赤	外：橙（5YR6/6） 内：にぶい褐（7.5YR5/4）
271	外：回転ナデ 内：回転ナデ	外：回転ナデ→回転ヘラケズリ 内：回転ナデ	外：回転ヘラケズリ→貼付高台→回転ナデ 内：回転ナデ→ユビナデ	左	0.2～1.0	やや精	良	石、長、黒	外：灰（N6/0） 内：灰白（５Ｙ７／１）

第 46 表　石器観察表

掲載番号	実測番号	旧遺構番号		種類・石材	器種	長さ（cm）	幅（cm）	厚（cm）	重量（g）	特徴
S1	152	P13 包含層		サヌカイト	スクレイパー	4.9	7	1.05	29.14	
S2	304	N16 包含層		緑色岩	太型蛤刃石斧	6.2	6.5	4.1	24.5	
S3	154	N16 包含層		サヌカイト	楔形石器	2.24	3.135	0.8	8.15	
S4	313	SK1002	1	結晶片岩	不明	14.4	13.4	3.7	971.2	
S5	311	SK1007	1	結晶片岩	不明	17.3	14.4	3.85	705.5	
S6	177	SK1013		サヌカイト	スクレイパー	3.38	5.6	5.5	12.88	
S7	150	L18 包含層		サヌカイト	石鏃	3.645	2.51	0.55	4.32	
S8	153	M18 包含層		サヌカイト	剝片	1.8	1.32	0.29	2.01	
S9	188	SX1002	12	石英	燧石	5.745	9.165	2.92	201.5	
S10	155	K16 包含層		サヌカイト	スクレイパー	6.49	2.65	0.73	13.23	
S11	148	K17 包含層		サヌカイト	スクレイパー	3.2	3.05	0.45	3.23	
S12	317	K16 包含層		サヌカイト	剝片	2.23	2.55	0.325	1.69	
S13	318	K16 包含層		サヌカイト	スクレイパー	3.04	1.83	4.65	2.53	
S14	138	I15 包含層		サヌカイト	石鏃	2.04	2.35	0.3	1.13	
S15	147	K17 包含層		サヌカイト	剝片	1.72	3.31	0.51	2.4	
S16	306	J15 包含層		結晶片岩	扁平柱状片刃石斧	10.18	1.78	3.45	106.39	側面に未磨製面を残す

第 47 表　土製品観察表

掲載番号	実測番号	旧遺構番号	種類・石材	器種	長径（cm）	短径（cm）	高さ（cm）	重量（g）	孔径（cm）	胎土 / 粒径	胎土密度 / 焼成	焼成	胎土 / 組成	色調	特徴
2	23	L9 包含層	土製	不明土製品						0.1 ～ 2.0	やや粗	やや不良	石、長、雲、赤	外：橙（5YR6/6）	下段部は型による連弁文状の面取り面あり、塑像の一部（基壇部）か？上端部はユビナデによる整形、ソケット状に整形
265	10	I15 包含層	土製	羽口	（10.4）				（6.2）	1.0 ～ 5.0	粗	並	石、長、地、雲	外：褐灰（5YR4/1） 内：橙（7.5YR7/6）	発泡多数
266	4	包含層	土製	土錘	1.08	1.07	3.46	1.08		0.2 ～ 3.0	精	不良	石、長、チ	灰黄（2.5Y7/2）	

第 48 表　金属器観察表

掲載番号	実測番号	遺構番号	種類	器種	長さ（cm）	幅（cm）	厚（cm）	重量（g）
M1			青銅	銅碗				
M"			青銅	鈴				
M3	182	SK1012	鍛鉄	鉄鏃（方頭）	7.2	刃部 2.65　茎部 0.7	鏃身部 0.5　茎部 0.6	
M4	131	H14 包含層	鍛鉄	棒状	（3.9）	0.82	0.72	
M5	130	H14 包含層	鍛鉄	鑿	（5.5）	0.95	0.7	
M6	183	SK1001	鍛鉄	棒状	5.2	0.6	0.6	
M7	149	L15 包含層	鍛鉄	棒状	（5.6）	0.9	0.75	
M8	174	SX1009	鍛鉄	棒状	（10.2）	0.9	0.78	
M9	137	I16 包含層	鋳鉄	鋤先	6.95	5.7	0.4	
M10	140	K12 包含層	鍛鉄	釘？	4.9	0.60	0.55	
M11	139	I15 包含層		鉄滓	4.75	2.35	2.2	34.76
M12	134	H14 包含層		椀型滓	7.0	4.5	4.0	97.90
M13	133	H14 包含層		鉄滓（発泡）	1.9	1.4	0.75	1.36
M14	132	H14 包含層	鍛鉄	棒状	（1.75）	1.8	1.5	
M15	146	I15 包含層		鉄滓（発泡）	1.65	1.35	1.05	1.05
M16	143	K12 包含層		椀型滓	7.15	6.3	2.75	150.0
M17	136	I16 包含層		鉄滓	4.15	3.7	2.9	40.55
M18	145	K13 包含層		鉄滓	3.25	2.8	2.3	22.12
M19	135	J13 包含層		椀型滓	5.15	6.95	2.65	88.59
M20	144	K16 包含層		鉄滓	3.55	4.15	2.85	28.33

報告書抄録

ふりがな	なかやまじいせき
書名	中山路遺跡
副書名	平成28年度緊急地方道路整備事業（道の駅）関連埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	徳島県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第90集
編著者名	栗林誠治・徳島県教育委員会教育文化課
編集機関	公益財団法人　徳島県埋蔵文化財センター
所在地	〒779-0108　徳島県板野郡板野町犬伏字平山86-2
発行年月日	平成30年3月23日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
なかやまじいせき 中山路遺跡	とくしまけんみましみまちょうあざ 徳島県美馬市美馬町字 がんしょうじ　ほか 願勝寺69-2他	36207 207-102	34°03′ 16.60901″	134°03′ 28.29888″	2016年4月1日 ～9月30日	2,250㎡	平成28年度緊急地方道路整備事業（道の駅）関連埋蔵文化財発掘調査

所収遺跡名	種別	主な年代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中山路遺跡	集落	縄文時代 古墳時代 飛鳥時代 奈良時代	土坑・小穴・溝	須恵器・土師器・瓦	国史跡郡里廃寺跡に隣接する地点であるが、寺院関連遺構や官衙関連遺構は検出されず。

要約

寺院や官衙に直接関連する遺構は未確認であるが、郡里廃寺出土瓦と同型と推定される単弁十二葉蓮華文軒丸瓦や円面硯等が包含層中より出土しており、郡里廃寺からの流れ込みと推定される。また、青銅製鈴が包含層から出土しており、郡里廃寺建立時前後もしくは以降に周辺の後期古墳が破壊された可能性が想定される。

徳島県埋蔵文化財センター調査報告書　第90集

中山路遺跡

平成28年度緊急地方道路整備事業（道の駅）関連埋蔵文化財発掘調査報告書

発行日　平成30(2018)年3月23日

編　集　公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
〒779-0108　徳島県板野郡板野町犬伏字平山86番2
TEL（088）672-4545

発　行　徳　島　県　教　育　委　員　会
公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター

印　刷　株式会社　教育出版センター